WKD 982 02 70 21

09/2020

「Porsche」、「Porsche Crest」、「718」、「PCCB」、「PCM」、「PDK」、「PSM」、「PTM」、「Tequipment」およびその他の名称はDr. Ing. h.c. F. Porsche AGの登録商標です。

Printed in Germany.

本書の一部または全部の複製は、

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AGの文書による許可が無い限り禁止致します。

© Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

車両本体または車載マニュアルについてのご 質問、ご提案がございましたら、下記までご連 絡ください。

ご連絡先:

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG Vertrieb Customer Relations Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

「Apple」、「Apple」のロゴ、「Apple CarPlay」、「iPhone」、「iPod」、「iOS」、「Siri」は、米国およびその他の国で登録された米国アップル社の商標です。「App Store」は、米国およびその他の国で登録された米国アップル社のサービスマークです。

車両の装備について

ポルシェでは絶えず車両やアプリケーションの開発と改良を行っており、お客様の車両の装

備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部 異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品はオプションである場合や、車の が販売される国によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。追加装備品の詳価 については、ポルシェ正規販売店にお問い、この せください。各国の法律等の違いによりるの取扱説明書の内容が車両の仕様と異なるている場合があります。この取扱説明書に記しては、ポルシェ正規販売店にお明いたしてさい。 いま正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱いた方法とメンテナンスについてご説明いたします。

警告およびシンボル

この取扱説明書には様々な警告およびシンボルが使用されています。

▲ 危険

重傷または致命傷を負 う危険があります

「危険」の欄の警告を守らなかった場合、重傷 または致命傷を負う危険があります。

▲ 警告

重傷または致命傷を負 う恐れがあります

「警告」の欄の警告を守らなかった場合、重傷 または致命傷を負う危険があります。

▲ 注意

ケガまたは軽傷を負う 恐れがあります

「注意」の欄の警告を守らなかった場合、ケガ または軽傷を負う恐れがあります。

知識

「知識」の欄の警告を守らなかった場合、車両 を損傷する恐れがあります。

i インフォメーション

補足情報は「インフォメーション」の表示を 使って記載しています。

- ✓ 機能を使用するために満たす必要のある前 提条件
- ▶ お守りいただく必要のある指示
- 1. 指示が複数のステップに分かれる場合は、 番号が付けられています。
- 1. PCMでお守りいただく必要のある指示です。
- ▷ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている参照先を示します。

エアバッグ警告ラベル

▲ 危険

チャイルド シートの 助手席での使用

チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、助手席エアバッグが作動したときに重傷また は致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お子様が重傷または致命傷を負う危険があります。
- ▷「チャイルド シート」(139ページ)を参照してください。









マニュアルのレイアウト

目次

本書の目次から確認したいトピッ クを探すことができます。

▷ 1ページ~

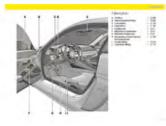
安全性とドライビングプレ ジャー



安全にドライビングプレジャーを 構成部品や操作系について十分に 新しい機能に関する補足情報を記 満喫していただくための方法を記 ご理解ください。 載しています。

▷ 3ページ~

概要図



▷ 15ページ~

実用的なヒント



載しています。

▷ 25ページ~

五十音順トピック



作方法についてお読みください。

▷ 29ページ~

テクニカルデータ

Constituting the registers of the Con-	of less followers:		
total Control	200	A TOTAL CO.	
	*	*	
Till and	600		
Sealer more	- 22	-55	
STATE SHOWS	100	200	
test.	15 type	a filippin	
THE PARTY	120	-	

ています。

▷ 264ページ~

索引



構成部品や操作系の機能および操 車両固有データについて記載され 探したい情報を簡単に見つけるこ とができます。

▷ 283ページ~

目次

安全性とドライビング プレジャー 3
概要図
運転席16
オーバーヘッド コンソール 20
コントロール パネル 19
ステアリング ホイールおよびインストル
メント パネル 17
センター コンソール18
テキストおよび文字を PCM に入力する 24
PCM ドライブ22
PCM の各操作部21
PCM の基本操作23
実用的なヒント
開閉操作とロック
ウィンドウ
警報システム93
コンバーチブル トップ96
車両キー111
セントラル ロッグ124
ラゲッジ コンパートメント リッド249
エアコンおよび人間工学
インストルメントおよびインテリア
ライト33
エアコン システム (マニュアル)
エアコン(2ゾーン オート エアコン)
エアバッグ システム 47
サンバイザー104
シート105
シート ベルト108
フニフリン が ナ フ・リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ステアリング ホイール117 チャイルド シート139

1 / L /	. 10
ミラー	. 233
リヤ ウィンドウ ヒーター /	
ドア ミラー ヒーター	259
1-7 2 7 - L - 9	. 250
*春仁 / ビニ ノ バー・フミ・フ たいっつ	٠
運転/ドライバー アシスタンス	ンノ
テム	
エンジンの始動および停止	52
オート スタート / ストップ機能	
クルーズ コントロール	
クロノ ストップウォッチ	o .
スポーツ エキゾースト システム	
<u> </u>	. 160
ドライビング データ ディスプレイ	
トランスミッション	. 162
トランスミッションおよびシャーシ コ	
ントロール システム	. 168
パークアシスト	
発進アシスタント	
ブレーキ	
フロントワイパー	
ポルシェ アクティブ サスペンション	. 17
	00
マネージメント (PASM)	. 200
ポルシェ スタビリティ マネージメント	
	. 21
ポルシェ トラック プレシジョン アプリ	. 220
ライト	. 240
ラップ トリガー	
リヤ スポイラー	
Porsche Car Connect	
· oronic car commodential	. 250

インストルメント パネルおよび	
チファンクションディスプレイ	
インストルメント パネル	
警告および情報メッセージ	75
マルチファンクションディスプレイ	
マルチファンクションディスプレイを	221
使用した車両設定	227
使用した単岡設定	221
エンターテイメントおよびコミ	ュニ
ケーション	_
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	151
電話ボイス コントロール	
	201
ポルシェコミュニケーション	
マネジメント システム (PCM)	
メディア	236
ラジオ	252
ナビゲーションおよび接続	
接続	120
デバイス マネージャー	
ナビゲーション	
ポルシェ コネクト アプリ	207
ポルシェコミュニケーション	207
マネジメント システム (PCM)	200
Apple CarPlay	
Арріе Оді Гіду	201
荷物および運搬	
カップホルダー	63
収納スペース	
スモーカーズ パッケージ	
電気ソケット	
ラゲッジ コンパートメント	245

目次

モビリティおよび軽修理

ウォッシャー液	37
エンジン オイル	
お手入れ	57
給油	
クーラント (冷却水)	67
けん引およびけん引によるエンジンの	
始動	94
ジャッキおよびリフティング	
プラットフォーム	
ジャンパー ケーブルによる始動	
セレクター レバーの緊急解除	
タイヤおよびホイール	
テスト スタンドでの測定	
バッテリー	
パンク	
ヒューズ	
ブレーキ フルード	
ヘッドライト	
ワイパーブレード	260
テクニカルデータ	
テクニカル データ	
無線装置 (EU の地域外)	280
하기	000

安全性とドライビング プ レジャー

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、駆るもののみが知る興奮。その味わいを常に大切にしたい。そのためポルシェ社では、安全とは究極の品質であると考えます。

この章では、ポルシェ車に安全にお乗りいただくためにお守りいただきたいことを記載しています。

完璧な技術 - これこそが、安全 の前提条件です。

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。そのため、確かな性能を維持するにはお客様による車両のお手入れと思いやりが不可欠となります。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

損傷および正常な作動状態の点検



技術的な不備のある車両は予期せぬ挙動に陥り、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し(少なくとも1カ月に 1度および長時間のドライブの前)、良好な 状態であることを確認してください。特に、 以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
 - ヘッドライト、ブレーキライトおよび方向指示灯がすべて正常に機能している
 - 空力部品に損傷がない
 - ワイパーブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が 遮られていない
 - ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷 がなく、適切な位置に調整されている
 - センサーおよびカメラに亀裂や損傷が ない
 - クーリング エア ダクト、センサーおよびカメラが(フィルム、ストーン ガード、ナンバープレートホルダーなどに)覆われていない
- ▶ 自動車電話や無線装置は必ず外部アンテナ に接続して使用し、車内の電磁波のレベル が限界値を超えないようにしてください。

タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト(破裂)する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。 ます。

- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。

▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを軽けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤ空気圧が低すぎる場合は、燃費が著しく低下する恐れがあります。

- ▶ 装着されているタイヤに合わせてタイヤ空 気圧を調整してください。
- ▷「タイヤ空気圧」(270ページ)を参照してく ださい。
- ► マルチファンクションディスプレイのタイヤ圧力(TPM)メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(129 ページ)を参照してください。
- マルチファンクションディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▷ 「パンク」(184ページ)を参照してください。

ライト類の点検



ライトが故障すると、周囲が暗いときに視界を確保できなくなります。他のドライバーがあなたの車両に気づくのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください:

- パーキング ライト、ロービーム、ドライビ ング ライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

空力部品の点検



スポイラーやアンダー パネルなど、空力部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす恐れがあります。

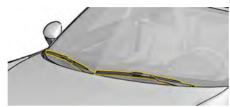
- ▶ 損傷していないか車両を点検してください。
- ▶ 構成部品が損傷または欠損している場合は、速やかに交換してください。

車両下回りのプラスチック フィンおよびホイール ハウジング ライナーに損傷がないかも

点検してください。擦り傷の場合は、大きな問 題はありません。

ホイール ハウジング ライナーの部品およびフィンの一部や全体が紛失している場合は、速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清 掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態 に維持してください。
- ▶ ワイパーブレードの凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパーブレードは定期的に交換してください。特にフロントウィンドウに筋が残るようになったら交換が必要です。
- ▷ 「ワイパー ブレード」(260ページ) を参照 してください。

ポルシェ正規販売店によるメンテナンス および仕様変更



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与える ばかりでなく、その機能が失われる恐れがあり ます。保証期間内に不適切なメンテナンス作業 を実施すると、保証が適用されないことがあり ます。

▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変 更は必ずポルシェ正規販売店で行ってくだ さい。これにより、車両の信頼性と走行安全 性が保証され、損傷を防ぐことができます。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたし ます。十分なトレーニングを受けた経験豊 かなスタッフが、最新の技術情報と専用工 具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約 束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットはポルシェ正規販売店で診断装置を接続するためのものです。イグニッションをオフにした状態で、外部装置 (ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど)を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたしたり、バッテリーが完全に消耗し、損傷する (完全に上がる) 可能性があります。外部機行時に次をレケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる機器も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの 物を置かないでください。

ポルシェ車に使用するスペア パーツ



- ▶ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。これにより、車両の信頼性と走行安全性が保証され、損傷を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。
 - ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ アクセサリーを取り付けるときは、Porsche Tequipment製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認した部品のみをお選びください。Porsche Tequipmentに関するインフォメーション:ポルシェ正規販売店にご相談ください。

i インフォメーション

他社製のスペアパーツまたはアクセサリーを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。 スペアパーツやアクセサリーを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ポルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリーを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供を のせるとき:ポルシェ ドライ バーへの注意事項

ポルシェ車は、100km/hまでわずか数秒という 加速タイムを誇ります。このパワーを思いのま まに操るには、走行前に万全の準備をして安全 を確保する必要があります。

このため、走行前の準備にも走行するときと同 等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの:シートベルトの 適切な着用



シートベルトは適切に着用し、正常に機能している場合にのみ乗員保護効果を発揮できます。

i インフォメーション

例え30km/h程度での走行中であっても、シートベルトを着用していないと重大な傷害を負う恐れがあります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。例えば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合にのみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短時間の運転であっても、シートベルトは 必ず着用してください。
- ▶ 乗員1名に対して必ず1つのシートベルトを 使用してください。
- ▶ コートなどの厚手の衣類は脱いでください。
- ボールペンや眼鏡など、堅い物や壊れやすい物の上にシートベルトがかからないようにしてください。

- ▶ シートベルトがねじれていないことを確認してください。
- ▶ 使用していないシートベルトは完全に格納されていることを必ず確認してください。
- ▶ 妊娠中の方:腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷したベルトやバックル、固定具などは交換してください。
- ▷「シート ベルト」(108ページ) を参照して ください。

エアバッグ システム



すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグシステムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 乗員とエアバッグが膨らむ空間との間に人 や動物を座らせたり、物を置いたりしない でください。
- ► エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上に足を乗せないでください。

変更を加えたエアバッグ システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

▶ シートに保護カバーを装着しないでください。

安全性とドライビングプレジャー

- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ 付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエア バッグ付近にアクセサリーを取り付けた り、ステッカーなどを貼り付けたりしない でください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサ リー類の配線を取り付けないでください。
- エアバッグ構成部品(ステアリング ホイール、フロントシート、ヘッドライナーなど)を取り外さないでください。
- ► エアバッグ システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▷ 「エアバッグ システム」(47ページ) を参照 してください。

車内の荷物はすべて固定



荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に荷物が飛び出すことがあります。これにより、乗員に危害が及んだりケガをする恐れがあります。

1 インフォメーション

例えば50km/hで走行中に衝突した場合は、固定されていない荷物がその重量の50倍の力で前方に放り出されます。例えば、1.5リットルの水が入っているペットボトルは75kgの力で車内に放り出されます。

▶ 荷物を載せるときは必ず固定してください。

- ▶ ラゲッジ コンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。
- ▶ 小物類は小物入れに収納し、確実に閉じてください。必ず小物入れから荷物が飛び出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ すべての乗員に安全対策を周知させてください。

荷物の適切な運搬および収納については:

▷ 「荷物の積載」(245ページ) を参照してくだ さい。

挟み込みの防止



人や動物が以下の車両部品の作動範囲内にいると、挟み込まれたりケガをしたりする恐れがあります。特に以下の部品が挙げられます:

- 調整式フロントシート
- ドア
- ウィンドウ
- フラップおよびリッド
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を操作する際は、人や動物が作動範囲内にいないことを確認してください。

お子様の動きの監視



多くの場合、お子様は危険を判断したり、危険な状況で正しく振る舞うことができません。お子様がシート調整などの自動設定を誤って作動させると、ケガをする原因になります。お子様は密閉された車内が高温になった場合など、緊急時に車外に脱出することができません。このような状況では、特に小さいお子様の場合、生命に関わる恐れがあります。

- ► テールパイプなどの高温部品や作動中の部 品にお子様を近づけないでください。
- ▶ タイヤ シーラントやエンジン オイルなど の有害物質は、お子様の手の届かない場所 に保管してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

チャイルド シートの安全な使用



チャイルド シートは適切に装着した場合のみ機能します。

▶ ポルシェ社で承認されたチャイルドシートのみを使用してください。

- ▶ チャイルドシートを使用する前に:この取扱説明書に加え、チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、指示に従ってください。
- ▷ 「チャイルド シート」(139ページ)を参照してください。

安全で適切な運転:常に正しい 判断をする

ポルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロールから緊急ブレーキ機能まで、走り出せばすべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下におく責任はドライバーにあります。

注意力低下の防止



運転中にPCMやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 走行中は決してミラーやシート、ステアリングホイールの位置を調整しないでください。シートやステアリングホイールが予期せず大きく移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。ミラーやシート、ステアリングホイールは、お出かけ前に適切な位置に設定してください。
- マルチファンクション ステアリング ホイール、インフォテイメント システムなどは、

交通状況が許す場合に限り操作することが できます。安全を確保できない場合は、適 切な場所に停車してください。

- ▶ 運転中に携帯電話やその他の携帯機器を使用しないでください。
- ▶ 常にハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングのスポークの間から ボタンを押さないでください。危険な状況 に素早く反応することができなくなります。

雨天時や積雪時のブレーキ挙動への注意



激しい降雨時や水たまりを通過したとき、また は洗車後などは、ブレーキ表面に水膜が形成さ れブレーキの効きが悪くなり、ブレーキペダ ルの踏力が重くなる恐れがあります。

また、凍結防止剤(融雪塩)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

- ▶ 特に駐車する前には何回かブレーキをかけ、ブレーキを乾燥させてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ 腐食したブレーキは「振動」が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



▷「タイヤおよびホイール」(129ページ)を参 照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生し た場合の適切な反応

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生 し、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。 運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレー キをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具 合原因がわからないときは、慎重に運転し 不具合の修理を受けてください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態を維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に诵過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越 えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

新しいタイヤはグリップ性能を十分に発揮できず、スリップしやすくなります。

▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、ゆっくりとした速度で慣らし運転を 行ってください。

ウインタータイヤでの走行

ウインター タイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂) する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ► マルチファンクションディスプレイで最高 許容速度を制限速度として設定する:
- ▷ 「制限速度の設定」(224ページ)を参照してください。

サマー タイヤでの走行

外気温が15 ℃以下のときに駐車操作やステアリング操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

▶ 外気温が7℃を下回った場合、ウインタータイヤに交換してください。

スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ (ウルトラハイパフォーマンスタイヤ) がサマータイヤとして車両のタイヤとして車両のタイヤは一般道路での使用が認証されており、法的要件セはレースサーキット(安全運転トレーングコース、スポーツドライビンの使用に強っています。スポーツイベント)での使用になっており、通常のタイヤロース、スポーツドライビンの使用になっており、通常のタイヤロでのでした設計になっており、通常のタイヤで優に、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツタイヤのした特徴を備る非常に低い温度下では硬化したものような状態は、タイヤのひび割れや摩にのながります。

▶ 外気温度が約-7°Cを下回るときは車両を走行させないでください。

特殊なトレッド パターンおよびカーカス、浅めのトレッド溝が主な特徴です。

これらのスポーツタイヤのデザイン特性として、通常の走行条件で使用する場合、従来のサマータイヤに比べて、以下のような影響があります:

- スポーツ タイヤはトレッドが浅めのため、 摩耗が早まる場合があります。
- すべてのタイヤにおいて走行可能距離は 個々のドライビングスタイルおよび使用状 況に応じて決まります。
- トレッドが浅いので、濡れた路面、特にハイドロプレーニング現象が発生しやすい状況 (冠水路、水たまり、轍など)に注意し、状況に合わせて速度を適切に調節してください。
- パフォーマンスの限界域付近で使用する と、タイヤの性能限界を超える危険性も増 大するため、十分注意を払ってください。
- ▶ 本車両を使用する人に、上記の特性とその 影響について知らせてください。

タイヤのトレッドが摩耗している場合、濡れた路面でハイドロプレーニング現象を起こす危険性が増大します。車両が路面から浮き上がり、コントロールや制動力を失う可能性があります。

▶ 濡れた路面や泥でぬかるんだ路面を走行する場合は十分に減速してください。

スポーツ タイヤはトレッドが浅めのため、摩 耗が早まる場合があります。

▶ 定期的にトレッドの深さを点検してください。

アシスタンス システムとその限界

車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は 避けてください。アシスタンスシステムは、 不適切な運転スタイルによる事故の危険性 を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

アシスタンス システムの参照先は次の通りです。

	ページ
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	219
発進アシスタント	180
ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)	206
ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	217
ポルシェ トルク ベクトリング (PTV)	168
ポルシェ アクティブ ドライブトレイン マウント (PADM)	168
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	129
オートマチック ヘッドライト、ダ イナミック ハイ ビーム	240
パーキング アシスタント、リバー ス カメラ	178
クルーズ コントロール	69
ナビゲーション システム	169

緊急ブレーキ機能



例えば、フット ブレーキが故障した場合はエレクトリック パーキング ブレーキを使用して急制動をかけることができます。

緊急ブレーキ機能は非常に高い制動力を発揮 するため、後続車を危険にさらす場合があり ます。

- ► 緊急ブレーキ機能は通常の制動時ではなく、緊急時にのみ使用してください。
- 緊急ブレーキ機能を作動させるには、(P)スイッチを押し続けてください。ブレーキを解除するには、スイッチを放してください。
- ▷「ブレーキ」(193ページ)を参照してください。

荷物積載時の運転

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ► ハンドリング特性の変化に合わせた運転を してください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

ローンチョントロールを使用した発進



発進時にローンチョントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。特定の状況では(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、 安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチョントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。
 - ▷「トランスミッション」(162ページ)を 参昭してください。
- ► スポーツ エキゾースト システムを排気音 最適化モードに切り替えて非常にスポー

ティな走行を行うと、ノイズがかなり大きくなります。そのため、社会的責任を自覚し、特に夜間は近隣住民のプライバシーを 尊重してください。

警告シグナルへの適切な反応



センサーが異常や部品の不具合を検出すると、 ライトやメッセージを使用して警告を発しま す。車両の警告シグナルを無視すると、事故や ケガを招く危険性が高まります。

- ▶ 走行前に警告灯およびメッセージの意味を 理解し、警告に対して適切に対処できるよ うにしてください。必要であれば停車して ください。
- ▷ 「警告灯および表示灯」(31ページ)を参照 してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

給油時の危険



燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる 恐れがあります。また、燃料と燃料蒸発ガスは 人体に有害です。

- ▶ 燃料を給油するときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙したりしないでください。
- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてく ださい。
- ► 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意 してください。
- ▷ 「給油」(65ページ) を参照してください。

車両の燃料タンクが事故で損傷した場合は、燃料が流出して発火や爆発を起こす恐れがあります。

▶ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

有害な液体類

9000 279



燃料だけでなく、エンジン オイル、トランス ミッション オイル、バッテリー液、クーラン トおよびブレーキ液も人体に有害です。

- ▶ メンテナンス作業は屋外か、屋内の換気が 良い場所のみで実施してください。
- オイルや液体類の容器には適切なラベルを 貼り、お子様の手が届かない所に保管して ください。
- ▶ 残った液体類は、環境に考慮した方法および条例に遵守して処分してください。

エンジンオイルは発火することがあります。エンジンオイルが付着した布を投げ捨てたり、換気せずに保管したりすると自然発火して火災の原因になります。

▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取って ください。 ► エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

有毒な排気ガス



排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中 毒を起こす恐れがあります。

- ▶ 停車中はエンジンを切ってください。密閉された空間でエンジンを不必要にアイドリングしないでください。
- ► エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車するか、または換気の良い場所で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き 出し人や物に損傷を与える恐れがあります。 車両から離れる前に、以下の点に注意してくだ さい。

- ► エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- ▶ PDK装備車: セレクター レバーをP位置に入れてください。

セレクター レバーを P 位置に入れてください。インストルメント パネルのセレクター

レバー位置 P が点滅している場合、パーキング ロックが正しくかかっていません。この場合は、セレクター レバーをRの位置に動かしてからPの位置に入れ直してください。

► マニュアルトランスミッション装備車:1速 またはリバースギヤに入れてください。

エンジン作動中およびエンジンを停止してからしばらくの間は、エキゾーストシステムが非常に高温になっています。火傷を負ったり、火災に至る恐れがあります。

- ▶ 可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温 のエキゾーストシステムに接触する恐れの ある場所に駐車しないでください。
- ▶ 車両後方に近づくときは、テールパイプから安全な距離を保ってください。
- ▶ お子様がテール パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

万一のときには:故障および緊 急時の安全確保

故障した場合は、安全を確保するために次の点 に注意してください。

緊急時はポイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイス コントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しない でください。

消火器を取り外す

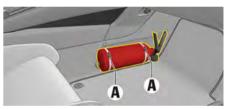
クラブ スポーツ パッケージ非装備車



車両に消火器が装備されている場合、助手席 シートの下に取り付けられています。

▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダー のPRESSボタンをもう片方の手で押してく ださい。

クラブ スポーツ パッケージ装備車



クラブスポーツパッケージ装備車では、助手席側フロントシートの足元に消火器が取り付けられています。

▶ 片手で消火器を押さえて、消火器ホルダー の2個のロックAをもう片方の手で解除して ください。

消火器を正しく安全に使用するために、以下の 点に注意してください。

- 消火器の定期点検時期を遵守してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。
- ▶ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。
- ▶ 消火器のハンドルに貼付されている消火器 メーカーの安全に関する指示に従ってくだ さい。

- ▶ 消火器は1~2年ごとにポルシェ正規販売店で点検を行ってください。
- ▶ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

車両への作業に関する注意事項



エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント タンクには圧力がかかっています。 クーラント タンクを不用意に開くと、熱いクー ラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキ ゾーストシステムの近くでは、十分注意し て作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イ グニッションをOFFにしてから行ってくだ さい。
- エンジンが熱いときは、クーラントリザーバータンクのキャップを開かないでください。水温計の表示が60℃を下回るまで待ってください。
- ▷ 「クーラント (冷却水)」(67ページ) を参照 してください。

車両への作業を行う場合、その種類によっては 負傷を防ぐために保護手袋を装着する必要が あります。

▶ 車両への作業を行う場合は、ポルシェ正規 販売店で実施してください。ポルシェ正規 販売店のご利用を推奨いたします。十分な トレーニングを受けた経験豊かなスタッフ が、最新の技術情報と専用工具や専用装置 を駆使し、確かな整備をお約束します。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの 始動



不適切なジャンパーケーブルを使用したり不適切な始動手順を行うと、回路がショートし火災が発生する恐れがあります。ジャンパーケーブルによるエンジンの始動中に、爆発性の高い電解質のガンがバッテリー周囲で発生します。 また 液に接触したり、ラジエーターファンとの部品が自動的に作動するとケガをする恐れがあります。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動を 行う前に:

▷ 「ジャンパーケーブルによる始動」(114ページ)を参照してください。

けん引



けん引時は事故を起こす危険が高まります。パワー アシスト機能が作動しないため、操舵力が増加します。ブレーキ ブースターが作動しない場合は、ブレーキ操作に大きな踏力が必要となります。

▶ けん引時にエンジンが停止している場合、 またはパワーアシスト機能またはブレーキ ブースターが作動しない場合は十分に注意 してください。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▶ 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引されるときは十分に注意してください。
- ▷「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(94ページ)を参照してください。

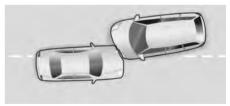
パンクしたとき



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる 恐れがあります。

- 決してパンクしたタイヤで走行しないでく ださい。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
- ▷ 「パンク」(184ページ)を参照してください。

万一事故が起きたとき



事故の後は、シートベルトプリテンショナー やエアバッグなどの安全装備が作動しなくな る恐れがあります。その場合は、安全装備が乗 員保護効果を発揮できなくなります。

▶ 安全装備が作動しなかった場合でも点検を 受けてください。

安全性とドライビングプレジャー

▶ 作動した安全装備は交換してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。 十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用 装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、 周囲に危険を知らせるために使用します。発炎 筒は、助手席足元前部のドア側に固定して あ ります。

▲ 警告

火傷や火災につながる 恐れがあります。

- ▶ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないで ください。引火する恐れがあります。
- ▶ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。

▶ お子様がさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を 損傷する恐れがあります。

▲ 注意

トンネルの中などで使 用すると、事故につな がる恐れがあります。

► トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ランプを使用してください。

発炎筒の使い方

- 1. キャップを外します。本体をひねりながら、 ケースから取り出します。
- 2 本体を逆に向けて、ケースに差し込みます。
- 3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこす ると着火します。

知識

▶ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示して ある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒 に交換してください。ポルシェ正規販売店 にお問い合わせください。

お出かけの前に車両に関する 重要な情報

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この期間は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

慣らし運転中は、次の点に注意してください。

- ▶ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転する ことを推奨いたします。できるだけ冷間始動 と近距離運転の繰り返しは避けてください。
- ▶ 自動車レース、スポーツドライビングスクールなどに参加しないでください。
- ▶ エンジン回転数が4,000rpmを超えないよう にしてください。エンジン冷間時は低回転 域で運転してください。

新しいブレーキ パッドの慣らし運転



新品のブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。多少ブレーキの効きが弱くなるため、強めにブレーキを踏む必要があります。ブレーキ パッドやブレーキ ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

地上高に注意する



この車両は地上高が低いため、路面に接触しや すくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して運転してください。
 - 立体駐車場などの急な坂道
 - 縁石
 - 凹凸のある路面を走行するとき
 - リフティングプラットフォーム

サーキット走行



公道走行とくらべ、サーキット走行には過度に大きな車両負荷を伴うため、純粋なレーシングカーでは短い間隔でのメンテナンスおよび構成部品の整備を行うことでこれに対処しています。これには、サーキット走行後毎の点検の実施および必要な場合の各構成部品の交換、規定期間の経過後のアッセンブリ全体のオーバーホールが含まれます。

▶ レースサーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にご確認ください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

サーキット走行終了後は「クーリングラップ」走行を実施し、大きな熱負荷が加わったシャーションボーネントの温度を下げる必要があります。車両をすぐに停車すると、熱を効果的に冷却できないことによって構成部品の温度を更に上昇させる結果に繋がります。これにより、個々の構成部品に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

ブレーキ システム

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。

サーキット走行時はブレーキ パッドおよびブレーキ ディスクに高負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12カ月以上経過したブレーキフルード:サーキット走行前に交換してください。
- ▶ サーキット走行の前後に、ブレーキパッド やブレーキディスクに摩耗がないか点検を 受けてください。

タイヤ

サーキット走行時はタイヤにも非常に高い負 荷がかかります。

- ▶ サーキット走行の前後に、タイヤに摩耗がないか点検を受けてください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。 ポルシェ社はレース用タイヤを承認してい ません。

エンジン オイル

- ▶ サーキット走行の前後に、エンジン オイルレベルを点検してください。
- ▷「エンジンオイル」(49ページ)を参照してください。

718 Cayman GT4

サーキット走行に関する注意事項については 以下を参照してください。

▷ 別冊の「サーキット走行の前に」

国外で走行する前に



すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。 国外で走行する前に以下の点を確認してください。

- 車両が故障した場合、修理は可能ですか?
- 車両の技術的な調整が必要ではありませんか?
- 十分なオクタン価の燃料が入手可能ですか?
- ヘッドライトは左側 / 右側通行向けに変更 する必要はありませんか?
- ▷ 「左側/右側通行でヘッドライトを切り替える」(230ページ)を参照してください。

車両データ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能(ドライバーアシスタンス システム)を提供します。またこの車両は ECU 制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

車両へのテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。一般に、この技術的情報には以下のような構成部品、モジュール、システムまたは環境の状態が保存されています:

- システム構成部品の作動状態(例:充填レベル)
- 車両または各構成部品に関するステータス メッセージ(例:ホイール回転数、速度、減 速度、横加速度)
- 重要なシステム構成部品(例:ライトやブレーキ)の作動不良や故障
- 車両を損傷する恐れのある事象についての インフォメーション
- 特別な走行状況での車両の反応(例:エア バッグの展開、スタビリティコントロール システムの作動)
- 環境条件(例:温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性で、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部のみが故障メモリに保存されます。またこの車両はECU制御式のコンフォートまたはエンターテインメント機能装備車です。

テクニカルデータの読み出し

車両の整備時、サービスネットワーク作業者(例:ワークショップ、ロードサービス、メーカー)は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。整備には修理、サービス点検、保証での作業、品質保証対策などが含まれます。データは車両のOBD(「オンボード診断」)用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。製品のモニタリング要件、または品質要件を満足するために、データの収集、処理、お

よび関連サービス ネットワーク作業員による 使用およびポルシェへの送信が実施されます。 車両の故障およびイベント メモリーは修理またはメンテナンス中にサービス センターによるリセットが可能です。

車両の機能を使用して

選択した機器に応じて、車両のコンフォートおよびインフォテインメント機能のその他の設定に加えてマルチメディアおよびアドレスブックデータ、またはナビゲーション目的等の情報をご自身で追加できます。このデータは車両で局所的に保存されたり、車両に接続と機器に保存されます(スマートフォン、USBスティックまたは MP3 プレーヤーなど)。車両にデータを保存している場合はいつでも当ったデータを保存している場合はいつでもサービスの使用中はデータを第三者に送信です。これは選択された設定に従ってのみ実施されます。

車両に必要機器が装備されている場合は、車両に内蔵された制御装置を使用して接続して接続してするれた制御装置を使用して接続御音はです。スマートフォンからの画像およびです。スマートフォンからの画像およびです。スマートフォンに送信することはできます。これは一般的な車両情報またはり異できます。これにより、アーションとは、ナビゲーションとは、ナビゲーションとはできなり、の再生など選ボータをより、のでは、アプリーととはできません。データ処理なりをしています。とはできません。データ処理なりなけ、はで使用のサプライヤーにより異なります。

設定可能であるかどうか、またどの設定が設定 可能かは、ご使用のスマートフォンのアプリお よびオペレーティング システムにより異なり ます。

オンライン サービスの使用

車両にワイヤレスネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステム間でデータの交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器(スマートフォンなど)によりワイヤレスネットワークに接続可能です。ワイヤレスネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これにはポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

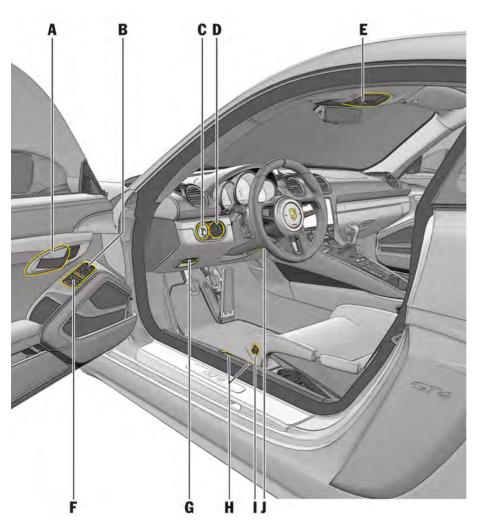
ポルシェオンライン サービスの場合は、各種機能についての説明が適切な場所(例:ポルシェコネクトウェブサイト)に提供されており、関連するプライバシー通知も提供されています。個人データはオンライン サービスの規定に従って使用されます。このデータは、ポルシェの専用ITシステムなど、安全性が確保された接続外の目的での個人データの収集、処理および使用は、法律またはお客様の同意に従ってのみ実施されます。

通常、(料金ベース) サービスや機能、または 車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、 ユーザー側の判断にて行うことが可能です。これは特に、法的要件機能およびサービスには適 用されません。

他のプロバイダーからオンライン サービスを使用する可能性がある場合は、責任は各プロバイダーにあり、各プロバイダーのデータ保護要件および使用規約に従うものとします。ポルシェはこのようなデータ交換については干渉いたしません。第三者サービスの個人データのタイプ、範囲、収集および使用目的については各サービスプロバイダーにお問い合わせください。

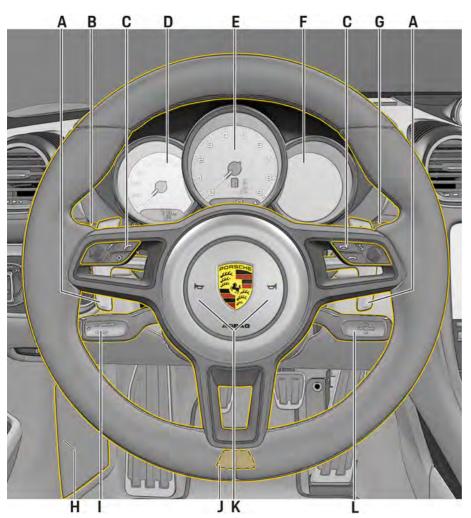
概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概観図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。



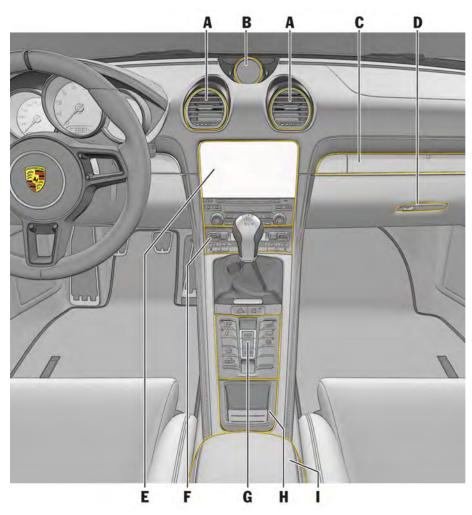
運転席

Α	インナー ドア ハンドル	\triangleright	P125
В	ドア ミラーの調節	\triangleright	P233
C	ライト スイッチ	\triangleright	P240
D	イグニッション ロック	\triangleright	P52
Ε	オーバーヘッド コンソール	\triangleright	P20
F	パワー ウィンドウ	\triangleright	P35
G	エレクトリック パーキング ブ	\triangleright	P193
	レーキ		
Н	フロント/リヤ ラゲッジ コンパー	\triangleright	P249
	トメント リッドのリリース		
ı	シート調節	\triangleright	P105
J	ステアリング ホイール調節	\triangleright	P117



ステアリング ホイールお よびインストルメント パ ネル

	עלין		
Α	PDKシフト パドル	\triangleright	P166
В	方向指示灯およびハイ ビーム	\triangleright	P243
С	電話、ラジオ、マルチファンク	\triangleright	P221
	ションディスプレイのマルチ		
	ファンクション ボタン		
D	スピードメーター	\triangleright	P30
	警告灯および表示灯	\triangleright	P31
Ε	タコメーター(回転計)	\triangleright	P30
	警告灯および表示灯	\triangleright	P31
F	マルチファンクション ディスプ	\triangleright	P30
	レイ		
	警告およびインフォメーション	\triangleright	P75
	メッセージ		
G	フロント ワイパー	\triangleright	P197
Н	故障診断用ソケット	\triangleright	P4
- 1	クルーズ コントロール	\triangleright	P69
J	ステアリング ホイール ヒーター	\triangleright	P117
K	ホーン		
L	マルチファンクション ディスフ	° ⊳	P221
	レイの操作レバー(マルチファン	,	
	クション ステアリング ホイール		
	非装備車)		
	7F4X IIII T- /		

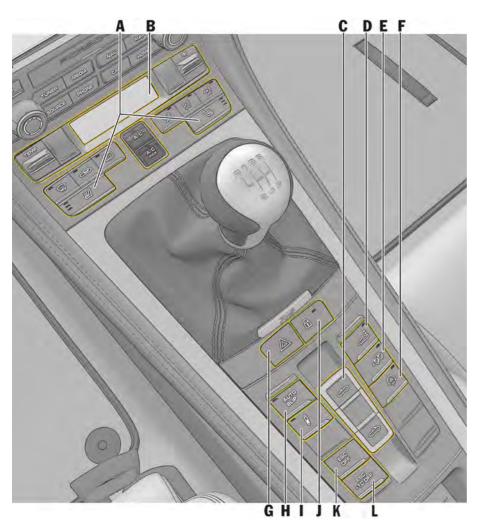


センター コンソール

Ⅰ 小物入れ

エア ベント	\triangleright	P44
クロノストップウォッチ	\triangleright	P71
カップ ホルダー	\triangleright	P63
グローブ ボックス	\triangleright	P115
ポルシェ コミュニケーション マ	\triangleright	P21
ネージメント(PCM)		
エアコン コントロール パネル	\triangleright	P18
コントロール パネル	\triangleright	P19
灰皿、シガー ライター	\triangleright	P119
	クロノストップウォッチ カップ ホルダー グローブ ボックス ポルシェ コミュニケーション マ ネージメント(PCM) エアコン コントロール パネル コントロール パネル	クロノストップウォッチ ▷ カップ ホルダー ▷ グローブ ボックス ▷ ポルシェ コミュニケーション ▽ ネージメント (PCM) エアコン コントロール パネル ▷ コントロール パネル ▷

⊳ P116

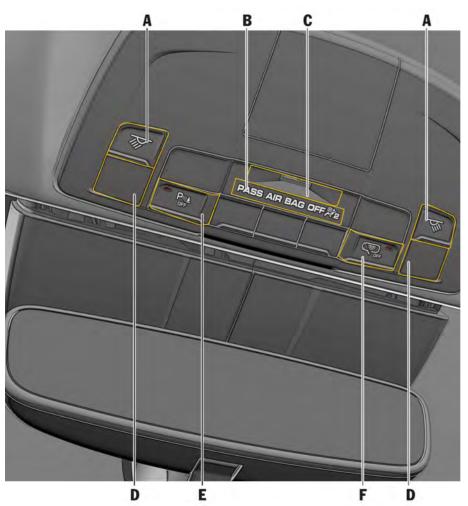


コントロール パネル

- ▶ P106 A シートヒーター
- B エアコン コントロール パネル ▶ P41
- C コンバーチブルトップ用コント ▷ P96 ロール パネル
- ⊳ P259 D リヤスポイラー
- E スポーツエキゾーストシステム ▷ P118 ボタン
- F オートスタート/ストップ、アダ ▷ P54 プティブ シリンダー コントロール
- ⊳ P244 **G** ハザードライト
- H マニュアルトランスミッション ▷ P163 装備車:AUTO BLIP(自動スロッ トルブリッピング機能)

または

- PDK装備車: PDKスポーツ モード ▷ P165
- I ポルシェ アクティブ サスペン ⊳ P206 ション マネージメント (PASM)
- ⊳ P124 J セントラル ロック
- K エレクトロニック スタビリティ ▷ P217
- コントロール (ESC)
- L エレクトロニック スタビリティ ▷ P218 コントロール (ESC) /トラク ションコントロール (TC)



オーバーヘッドコンソール

A インテリアライト/読書灯用ボタン▷ P33 B 助手席エアバッグOFF警告灯 ▷ P145 C インテリアライト ▷ P33 D 読書灯 ▷ P33

E パークアシスト ▷ P178 F 自動インテリア ライト ▷ P33



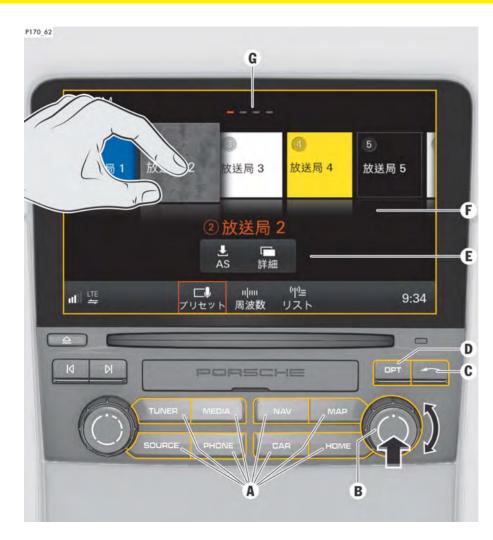
PCMの各操作部

- A 音量調節、PCM ON/OFF切替 ▷ P210
- B ラジオ ▷ P252
- C メディアおよびラジオ音源 ▷ P236
- D ミュージックおよびビデオ ▷ P236
- E 電話、メッセージおよびEメール P151
- **F** ナビゲーション ▷ P169
- G 車両およびシステムの設定 ▷ P215
- H 地図および交通情報通知 ▷ P173
- I メインメニュー、サウンド設定 ▷ P216
- ポルシェコネクトサービス ▷ P121 Apple CarPlay ▷ P261 MyScreen ▷ P213
- 」 ロータリー プッシュ ボタン P211 (PCMの操作用)
- K パックボタン:前の操作を取り 消す、選択を中止する、または 1つ前のメニューに戻る
- L メインメニュー、サウンド設定 に応じた設定
- に応した設定 M 時刻の設定 ▷ P210
- N タッチスクリーン ▷ P211 (PCMの操作用)
- O デバイス マネージャー (電話を P149 接続する、ワイヤレス インターネット アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay およびアプリの接続状態を表示する)
- P スキップ ボタン (曲/放送局の 設定)



PCMドライブ

Α	CD/DVDドライブ	\triangleright	P214
В	SDカード リーダー 1	\triangleright	P214
C	SIMカードリーダー	\triangleright	P120
D	SDカード リーダー 2	\triangleright	P214
Е	CD/DVDイジェクト ボタン	\triangleright	P214



PCMの基本操作

- A メインメニューを開く
 - ボタンを押してください (など TUNER)または

HOME メインメニュー の機能を選択してください。

- **B** PCMの操作用ロータリー プット P211 シュボタン
 - ▶ ロータリープッシュボタン Bを回して機能を選択して ください。
 - ▶ ロータリープッシュボタン Bを押して選択内容を確定 してください。
- C バックボタン:前の操作を取り 消す、選択を中止する、または 1つ前のメニューに戻る
- **D** メインメニュー、サウンド設定 に応じた設定
- E コントローラーの機能を開く P210 (近接センサーがアクティブの 場合は、手をPCMの近くに動か すだけです)
- F PCMの操作用タッチスクリーン▷ P211
 - ▶ タップ(指で軽く触れる)
 - ▶ 長押し(指を押し付けてその ままにする)
 - スクロール(上下にスワイプ する)
 - ▶ スワイプ(左右にスワイプ する)
 - ▶ ドラッグ&ドロップ(項目を タッチして、希望の位置まで ドラッグして放す)
 - ズーム(2本の指をディスプレイに触れたまま広げるまたは狭める)
- **G** 他のページを表示:左右にスワイプして他のページを開く



テキストおよび文字を PCMに入力する

•	0111127 (737 0		
Α	現在のカーソル位置	\triangleright	P21
В	候補のリスト	\triangleright	P21
C	大文字と小文字を切り替える	\triangleright	P21
D	文字、数字および特殊文字の入	\triangleright	P21
	力を切り替える		
Ε	キーボードを表示する/隠す	\triangleright	P212
F	手書き文字認識機能(タッチス	\triangleright	P212
	クリーンを使用して文字を入		
	力する)		
G	キーボードの調整	\triangleright	P212
Н	スペースの挿入(手書き文字認	\triangleright	P212
	識:タッチスクリーン上で指を		
	左から右にスワイプする)		
ı	入力を決定する	\triangleright	P212
J	項目を削除する(手書き文字認	\triangleright	P212
-	識:タッチスクリーン上で指を		
	右から左にスワイプする)		

K 英語、ひらがな、カタカナ、ロー P212 マ字、漢字の手書き認証:代替 文字の表示/非表示の切り替え

実用的なヒント

以降のページには、車両の各エリアに関する実 用的なヒントが掲載されています。

実用的なヒント

エアコン

項目	ヒント
アッパー ベンチレーション パネルの ON/OFF	2 ゾーン エアコン装備車の場合、アッパー ベンチレーション パネルの ON/OFF の切り替えは、マルチファンクション ディスプレイで 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶ベンチレーション パネル の順に選択することで行うことができます。
空気の状態に応じて、外気導入と内気 循環を自動的に切り替える	2ゾーン エアコン装備車の場合、自動内気循環の ON/OFF の切り替えは、マルチファンクション ディスプレイで 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶自動内気循環 の順に選択して行うことができます。
ドライバーが1人で乗車するときのエ アコン設定	ドライバーが一人で乗車するときは、運転席側のエアコン設定を車両全体に適用します。 ▶ エアコン コントロール パネルの AUTO ボタンを、エアコン ディスプレイに SYNC が表示されるまで押 し続けてください。

接続

項目	ヒント		
デバイスマネージャーを開く	デバイス マネージャーは、機器の接続 (例:電話または Bluetooth® オーディオ プレーヤーの接続、PCM を外部 WiFi ホットスポットに接続、Apple CarPlay およびアプリの使用) を集中管理します。 ▶ PCMのフッター または ② のシンボルを選択してください (接続状態により異なる)。または ■ PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶デバイス マネージャー		

マルチファンクション ステア リング ホイール

項目	ヒント			
マルチファンクション ステアリング ホイールの◇ボタンを割り当てる	マルチファンクション ステアリング ホイールの◇ ボタンに、マルチファンクション ディスプレイまたは PCMの任意の機能を割り当てることができます。 マルチファンクション ディスプレイで希望の機能を選択してください。 車両 ▶設定 ▶ハンドル操作 ▶○ ボタン ▶PCM 機能 または 組み合わせ機能			

ナビゲーション

項目	ヒント	
目的地の検索または入力	検索またはオンライン検索機能により、希望の目的地を入力または検索することができます。検索 機能では、PCM に内蔵されたデータベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、オンライン検索機能を利用してください。 ► NAV ボタンを押す ト検索またはオンライン検索 ト検索ワード (例:市、通り、名前) を入力し、リストから希望する項目を選択する ト開始 ▼ を押します。	

ボイスコントロール

項目	ヒント
ボイスコントロールの作動	ステアリング ホイール左側のレバーにある ((「)ボタンを押すと、アプリケーションに応じて様々な機能が起動します。 - 短く押す:PCMのボイス コントロールが有効になります。 - 長押しする:Siri®音声認識機能が有効になります(Apple CarPlayを組み合わせた場合のみ)。
乗員による音声操作	ボイス コントロール用のハンズフリー マイクロフォンはドライバー側に向いています。そのため、ドライバーのみがボイス コントロールを使用してください。

補給

項目	ヒント	
フィラー フラップの位置の表示	燃料計の矢印は、車両のフィラー フラップの付いている側面を示しています。 ▷ 「インストルメント パネル」(30ページ)を参照してください。	

電話

項目	ヒント
対応しているBluetooth®プロファイル	携帯電話で使用されているプロフィールのリストを表示するには、PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶ Bluetooth ▶ Bluetooth デバイス ▶ 該当する機器を選択 ▶ 詳細を選択してください。 また、携帯電話の取扱説明書に記載されている情報にも注意してください。
接続された2つの携帯電話を切り替える	携帯電話が既にPCMに接続されている場合は、もう1台の携帯電話をPCMに接続し、ユーザーが2つの携帯電話を切り替えることも可能です。 ▶ PHONE ボタン ▶ヘッドラインの
携帯電話の連絡先をPCMに転送する	どの携帯電話が接続されているか、またはSIMカードを使用しているかに関係なく、PCMの範囲内にある 携帯電話からBluetooth®経由で連絡先を転送することができます。 ▶ PHOINE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶ 連絡先を同期 ▶ 連絡先の同期に使用する 携帯電話を選択してください。

セントラル ロッキング

項目	ヒント
車両のロックを解除して、1つのドア のみロックを解除する	ドアロックおよびロック解除の設定が変更されました。 設定内容に関係なくすべてのドアを開くことができます。 ▶ キーの 分ボタンを5秒以内に2回押してください。 設定を変更するには、マルチファンクションディスプレイで 車両 ▶設定 ▶ロック を選択してください。

トピック

以降のページには、五十音順に項目が掲載され ています。 あ

か

さ

た

な

は

ま

b

わ

インストルメント パネル



図1:インストルメント パネルの表示

A-スピードメーター

B-タコメーター (回転計)

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

C-マルチファンクションディスプレイ

▷ 「マルチファンクションディスプレイ」 (221ページ)を参照してください。

D-トリップ メーターリセット ボタン/イ ンストルメント ライトおよび PCM の明る さ調節ボタン

▷「インストルメントおよびインテリア ライト」 (33ページ)を参照してください。

E-積算距離計/トリップメーター

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。 9,999kmを超えると、トリップメーターの表示が「0」に戻ります。 トリップメーターの手動リセット:

▶ トリップ メーター リセット ボタンDを約1 秒間押し続けてください。 トリップ メーターが「0」に戻ります。

F-デジタル スピードメーター

G-シフトアップ インジケーター

経済的な運転を促すシフトアップインジケーターは、選択しているギヤ、エンジン回転数およびアクセルペダルの踏み込み量に応じて点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。PDK装備車の場合、マニュアルモードでのみシフトアップインジケーターが使用可能です。

▶ シフトアップ インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

30

A-Z

H- セレクターレバー ポジション インジ ケーターおよびギヤ シフト インジケー ター

I-フィラーフラップ位置の表示

矢印は車両のフィラー フラップの付いている 側面を示しています。

]-燃料計

イグニッションがONのときに燃料の残量を示します。

▷ 「給油」(65ページ)を参照してください。 坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の 表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

燃料タンクの残量が規定値(モデルにより異なる)または最小残可走距離を下回り、イグニッションがON、またはエンジン作動している場合、燃料警告メッセージが表示されます。

▶ 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション コントロール システムに損傷を与える恐れがあります。

- ▶ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
- ▶ 警告灯が点灯したり、燃料警告メッセージが表示された場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないようにしてください。

警告灯および表示灯

知識

イグニッションをONにすると、すべての警告灯および一部のインジケーター ライトが短時間点灯します。不具合は警告灯により示されます。次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- イグニッションのスイッチを ON にしたと き、警告灯が短時間点灯 **しないとき**。
- エンジン作動中または走行中に、警告灯が点 灯または点滅するとき

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

不具合の原因が解消した場合のみ、該当する警告灯が消灯します。

スピードメーター内

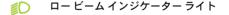
'...' タイヤ空気圧警告灯

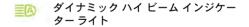
点滅または点灯する場合:

- 新しく装着したホイール (タイヤ空 気圧センサー) を学習している、ま たはホイールを認識できない場合
- タイヤ空気圧モニタリング システム(TPM)の故障または一時的な不具合
- タイヤ空気圧の低下
- ▶ 空気圧が低下した場合: 適切な場所に停車してください。運 転を続けないでください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング (TPM)」 (129ページ)を参照してください。

PDLS警告灯

TC OFF警告灯





<mark>) ‡</mark> リヤ フォグ ライト インジケーター ラ イト あ

か

さ

た

な

は

ま

や

わ

b

A-Z

インストルメント パネル				
あ	タコメ	(一夕一内	(ABS)	ABS警告灯
	SPORT	PDK スポーツ モード インジケーター ライト	22	PSM警告灯
か	(P)	エレクトリック パーキング ブレーキ 警告灯	OFF	PSM OFF警告灯
さ	₽	エミッション コントロール警告灯 (チェックエンジン) 点滅または気力する場合: 汚染物質の		
た		排出量を増加させ、損傷を引き起こす 原因となる作動不良(エンジンの失火 など)		
な		 ▶ 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。 ▶ 必要に応じて、安全な場所に停車してください。可燃物(乾燥した草や枯れ葉など)が高温の排気システ 		
は		ムに接触しないよう注意してください。 ▶ 必要な措置を講じて、エミッションコントロール システムの不具合を		
ま		解消してください。 ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ)を参照してください。		
や	**	エアバッグ警告灯		
8	*	シートベルト警告灯		
ら	(1)	ブレーキ警告灯		
わ	•	方向指示灯、左		
		ハイ ビーム インジケーター ライト		
A–Z	•	方向指示灯、右		

インストルメントおよび インテリアライトの点灯/消灯 インテリア ライト

インストルメント ライトの明 るさ調節



図2:調節ボタン

ライト センサーにより、周囲の明るさに応じ て照明が自動的に調節されます。

更に、車両のライト スイッチがONのときはイ ンストルメント パネルおよびスイッチの照明 を手動で調節することができます。

▶ 調節ボタンAを、希望の明るさになるまで左 右どちらかに回して保持してください。

▲ 警告

走行中の輝度の調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコント ロールを失う恐れがあります。

▶ 運転中は、ステアリング ホイールのスポー クの間に手を入れないでください。



図3:インテリア ライト/読書灯用ボタン

- A インテリア ライト/読書灯用ボタン
- B インテリア ライトの自動点灯/消灯機能

インテリアライト/読書灯の点灯/消灯

▶ ボタンAを押してください。

明るさを調節する(減光)

▶ ボタン A を希望の明るさになるまで少なく とも1秒間押し続けてください。

ルーム ランプの自動点灯/消灯機能

装備仕様により、自動インテリア ライトはボ タン Bを使用して、またはマルチファンクショ ンディスプレイのメニューからON/OFFを切り 替えることができます。

ボタンBを使用する:

- ▶ ボタンBを押してください。
 - インテリア ライトをOFFにすると、ボタン のインジケーターライトが点灯します。

インテリア ライトをONにすると、周囲が暗い ときに次のように作動します。

- 以下の場合に点灯します:ドアをロック解 除したとき、開いたとき、またはキーをイ グニッション ロックから抜いたとき
- 以下の場合に消灯します:両方のドアを閉 じたとき、約120秒の遅延後に消灯します。 この遅延消灯時間は、マルチファンクショ ン ディスプレイで変更できます。イグニッ ションをONにしたときや、車両をロックし たときは、直ちにインテリア ライトが消灯 します。

マルチファンクションディスプレイでの操作:

▷ 「ドアを開いたときのインテリア ライト自 動点灯の有効/無効 | (230ページ) を参照し てください。

バッテリー保護のためのインテリア ライ トの自動消灯機能

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止す るためにエンジンを停止してから約15分後に インテリア ライトが自動的に消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア ライトを手 動で点灯した後、約1分が経過すると自動的に 消灯します。

あ

か

7

た

な

1,±

ま

や

'n

わ

A-Z

オリエンテーション ライト

オーバーヘッド コンソールおよびイグニッ ション ロック部のライトにより、周囲が暗い ときに車両の主要な装備の位置を照らして乗 降性を高めます。これらのライトは車両のロッ クを解除したときに点灯し、車両をロックする と自動的に消灯します。

オリエンテーション ライトの明るさはマルチ ファンクションディスプレイで調節(減光)す ることができます。

▷ 「オリエンテーション ライトの明るさを調 節する1(230ページ)を参照してください。

アンビエント ライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが重内

をやわらかく照らします。 アンビエント ライト は、車両をロックすると自動的に消灯します。

あ

か

た

な









わ

ウィンドウ

サイド ウィンドウの開閉

▲ 警告

サイド ウィンドウの 開閉

サイド ウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じる時は、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイド ウィンドウを開閉するときは、作動中のサイド ウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときには、必ずキーを抜いてください。 車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワーウィンドウを
- 誤って操作し、ケガをする恐れがあります。 ▶ 危険が発生した場合直ちにキーのボタンを 放してください。
- ▶ お子様のみを車内に残さないでください。

▲ 警告

サイド ウィンドウの手動閉操作

ワンタッチ操作がサイド ウィンドウの抵抗を 感じて無効になった場合、手動閉機能を使用し てサイド ウィンドウを閉じると、最大の力で 閉じようとします。

▶ サイド ウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

i インフォメーション

サイド ウィンドウを閉じるときに障害物で作動が妨げられると、ウィンドウが停止した後、 再び数センチ下がります。

サイド ウィンドウの作動が約10秒以内に2回 妨げられると、そのサイド ウィンドウのワン タッチ操作ができなくなります。

サイド ウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイド ウィンドウを手動操作で一度完全に閉じてください。



図4:運転席ドアのパワー ウィンドウ スイッチ

- A 左側パワー ウィンドウ スイッチ
- B 右側パワー ウィンドウ スイッチ

✓ イグニッションをONにする または

✓ イグニッションを10分以内OFFにして、運転 席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていな い状態

サイド ウィンドウを開く

▶ サイド ウィンドウが希望の位置になるまで 希望のウィンドウのスイッチを押してくだ さい。

サイド ウィンドウを閉じる

▶ サイド ウィンドウが希望の位置になるまで 希望のウィンドウのスイッチを引いてくだ さい。

ロッカー スイッチには**2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

1段目 - 手動操作

▶ 該当するスイッチを1段目まで押すか、または引いてください。
サイドウィンドウが手動で開閉します。

ボタンを放すとウィンドウが止まります。

2段目 - ワンタッチ操作

✓ イグニッションをONにする

- ▶ 該当するスイッチを2段目まで素早く押すか、または引いてください。 サイドウィンドウが完全に開閉します。
- ▶ サイド ウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう1度スイッチを操作してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

p

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

+

ら

A-Z

わ

キーによるサイド ウィンドウの開閉



図5:キーによるサイド ウィンドウの開閉

サイド ウィンドウが希望の位置になるまで キーのウィンドウ開閉ボタンを押し続けて ください。

サイドウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりした場合、サイド ウィンドウの停止位置が消去されます。サイド ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのサイド ウィンドウに以下の作業を 行ってください:

- 1. スイッチを2段目まで引いて、一度サイド ウインドウを完全に閉じてください。
- 2 サイドウィンドウが完全に閉じた後、スイッチを再度短く2段目まで3回引いてください。
- 3. スイッチを押して、一度サイド ウィンドウ を完全に開いてください。

ウォッシャー液



図6:フロント ウィンドウおよびヘッドライト用ウォッシャー液タンク

下記の点を必ず守ってください:

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤(ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液)を混ぜ合わせてください。正しい混合比を遵守し、使用する添加剤の容器に記載されている注意事項に従ってください。
- 夏季:水とウィンドウ クリーナー濃縮液を 入れてください。
- 冬季:水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください。

次の条件を満たしているウィンドウ クリーナー濃縮液のみを使用してください:

- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック ヘッドライト レンズに適して いるもの

ポルシェ社が推奨するウォッシャー液濃縮液 については:ポルシェ正規販売店にご相談くだ さい。

警告シンボルへの対応

ウォッシャー液のレベルが低下すると、インストルメント パネルのマルチファンクションディスプレイに シンボルが表示されます。

- ▶ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

ウォッシャー液の補充

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。
- ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください。
- 2 ウォッシャー液を補充してください。
 - ▷ 「充填容量」(266ページ)を参照してく ださい。
- 3 キャップを慎重に閉じてください。

か

さ

た

な

は

ま

+

ら

わ

A-Z

エアコン システム (マニュアル)

一般的なインフォメーション



図7:エアコン コントロール パネル

マニュアル エアコン システムの風量、エア配分および温度設定は手動で調節することができます。

冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

i インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が 一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回 避します。

外気温度が約2℃を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にでき ません。

- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した 水分により車両下部に水たまりができるこ とがあります。これは正常な状態であり、故 障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブロワーおよび冷房機能が制限されOFFになります。

温度の設定



図8:温度設定および送風量調節

- Δ 温度の設定
- B 送風量の設定

温度を上げる/下げる

▶ TEMP ボタンを上方向または下方向に押して ください。

温度設定が最高温度に設定されているときは、エアコンディスプレイに**すべてのバー**が表示されます。

温度設定が**最低温度**に設定されているときは、エアコンディスプレイに**バーは表示されません**。

送風量の設定

設定した送風量は、金がタンの隣りにあるエアコンディスプレイにバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を上げる/下げる

▶ 金 ボタンを上方向または下方向に押してください。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイにOFFと表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムがOFFになります。

▲ 警告

風量**OFF**による視界の 妨げ

送風量をOFFにした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

► \$\text{\$\Displaystyle \text{\ti}\text{\texitilex{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\te}\}\text{\tint}\\ \text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\texi}\tex{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\text{\tetx}\\ \tintet{\text{\text{\text{\text{\texi}\text{\texitilex{\text{\texitilex{\text{\text{\texitilex{\texit{\texitilex{\texi}\tex{\texitilex{\texitiex{\texitilex{\texi}\tint{\texitilex{\texitit

送風口を手動で切り替える



図9:送風口切り替えボタン

送風方向の設定

✓ エアベントが開いている

- ▶ 分ポタンを押してください。 フロント ウィンドウおよびサイド ウィンドウへの送風を開始します。
- ► りポボタンを押してください。 中央および左右エア ベントからの送風を開始します。
- ▶ ♥ プボタンを押してください。 足元への送風を開始します。 該当するボタンのインジケーター ライトが 点灯します。

エアベントの調整



図10:エア ベントの調整

知識

エアベントを損傷する恐れがあります。

▶ 携帯電話のクレードルやプラグイン式のエアフレッシュナーなど、エアベントには何も挟まないでください。

エア ベントの開閉

▶ エア ベントのロータリー ノブを時計回り または反時計回りに回してください。

送風方向の調節

▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風 を送ることができます。

冷房機能のON/OFF

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したい ときは、冷房機能をONにしてください。



図11: 冷房機能のON/OFF

冷房機能をONにする

► A/C ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

冷房機能が作動します。

冷房機能をOFFにする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能をOFFにすることができます。

► A/C ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

冷房機能が解除されます。

あ

か

さ

た

な

11

ま

や

'n

ħ

か

7 た

な

11

ŧ

b

わ

A-Z

A/C MAXモード(最大冷房出力) 内気循環モードのON/OFF のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコン システムが最大 出力で重内を冷却します。



図12:A/C MAXモードの選択

A/C MAXモードをONにする

▶ ₩ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。

A/C MAXモードをOFFにする

▶ 級ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯し ます。



図13:内気循環ボタン

内気循環モードをONにする

▲ 警告

内気循環モードでの視 界の低下

内気循環モードではウィンドウが曇る場合が あります。外気が導入されないため、倦怠感を 引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 内気循環モードは長時間ONにしないでくだ さい。
- ▶ ごボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。

内気循環モードを停止する

▶ ≪ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯し ます。

インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約 3分後に内気循環モードが停止します。

フロント ウィンドウ デフロス ター



図14:フロント ウィンドウ デフロスター ボタン

デフロスターをONにする

(m) ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。 フロント ウィンドウおよびサイド ウィン ドウへの送風を開始します。 フロント ウィンドウの曇りや氷結を素早く 取り除きます。

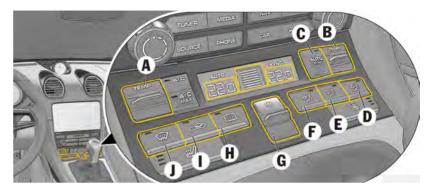
デフロスターをOFFにする

◯ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯し ます。

エアコン(2ゾーンオートエアコン)

概要

この概要説明は後述の「エアコン(2ゾーンオートエアコン)」の広範囲な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



希望する操作	操作方法	ページ
オート エアコンを使用する	ボタンCを押してください。	42
温度の設定	車内左側:ボタンAを上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。 車内右側:ボタンBを上(温度を上げる)または下(温度を下げる)に押してください。	43
送風量を手動で設定する	ボタンGを上(多くする)または下(少なくする)に押してください。	43
送風口を手動で切り替える	フロント ウィンドウ/サイド ウィンドウへの送風ボタンDを押してください。 中央およびサイド ベントからの送風:ボタンEを押してください。 足元への送風:ボタンFを押してください。	
フロント ウィンドウ デフロスター	ボタンJを押してください。	46
リヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーター をONにする (718 Cayman GT4)	ボタンHを押してください。	258
ドア ミラー ヒーターをONにする (718 Spyder)	ボタンHを押してください。	159
手動で内気循環モードをONにする	ボタンIを押してください。	45

ま

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

一般的なインフォメーション

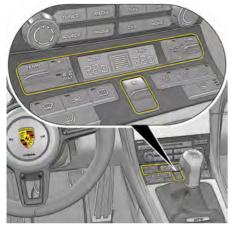


図15:エアコン コントロール パネル

オート モードでは、様々な環境条件(日射量、空気の状態など)に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコンシステムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。

温度は、左と右のゾーンで個別に設定できます。 エアコンシステムの設定を手動で変更すると、 オートモードが直ちに解除されます。ただし 手動操作で変更しなかった機能については、自 動制御を継続します。

i インフォメーション

追加のエアコン設定は、マルチファンクション ディスプレイで行うことができます:

▷「エアコン設定」(231ページ)を参照してく ださい。

センサーを覆わない



図16:エアコン用車内温度センサー

エアコン システムの能力を維持するために、次 のことを遵守してください:

▶ エアコン システムの室内温度センサーの上 にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り 付けたりしないでください。

冷房機能

冷房機能は空気を冷やしたり除湿します。

i インフォメーション

- エンジンの負荷が大きくなると冷房機能が 一時的に OFF になり、エンジンの過熱を回 避します。

外気温度が約2°C を下回ると自動的に OFF になり、このときは手動操作でも ON にできません。

- 冷房機能は、サイドウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。車内に熱がこもっている場合は、しばらくの間サイドウィンドウを開いて車内を換気してください。
- 設定温度を一時的に希望の温度より上げ下 げしても、希望する温度に到達する時間は 変わりません。
- 外気温度および湿度によっては、除湿した 水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故 障ではありません。
- バッテリー電圧が極端に低い場合は、フレッシュエアブロワーおよび冷房機能が制限されOFFになります。

オートモードをONにする

各ゾーンはオート モードに切り替えることが できます。

► エアコン コントロール パネルの SYNC ボタンを押してください。

エアコン ディスプレイの AUTOインジケーターが点灯します。

温度、送風量および送風口が自動的に制御されます。

1 インフォメーション

必要であればオートモードの制御を手動調節できます。手動で設定を変更すると、その機能の設定を再度変更するか、または AUTO ボタンを押すまで設定が維持されます。

温度の設定

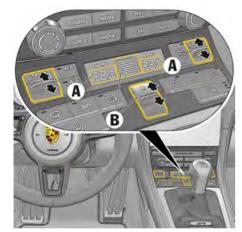


図17: 温度設定および送風量調節

- A 各ゾーンの温度設定
- B 送風量の設定

各ゾーンの温度は 16.5 °C ~29 °C の範囲で個別 に調整できます。

推奨:22℃

選択した温度がディスプレイに表示されます。

温度を上げる/下げる

▶ 該当するゾーンの TEMP ボタンを上方向または下方向に押してください。

ディスプレイに LO または HI が表示された場合、エアコンは冷房または暖房の最大出力で作動しています。このときオート モードはOFFになります。

i インフォメーション

SYNC モード選択時にいずれかのゾーンで温度 設定をLOまたはHIにすると、他のゾーンもLO またはHIに設定されます。

AUTOボタンを押すと、初期設定温度の22 ℃に切り替わります。

▷ 「運転席のエアコン設定を車内全体に適用する(SYNCモード)」(46ページ)を参照してください。

送風量の設定

設定した送風量は 分 ボタンの上部にあるエアコンディスプレイにバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、風量が多いことを示しています。

送風量を上げる/下げる

► 88 ボタンを上方向または下方向に押してください。

AUTO ボタンを押すと、オート モードに戻ります。

送風量を最小にすると、エアコンディスプレイにOFFと表示され、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムがOFFになります。

▲ 警告

風量**0FF**による視界の 妨げ

風量を OFF にした状態ではウィンドウが曇り やすくなります。

風量を再度強くする場合は、48 ボタンを上方向に押すか、またはオートモードを再度 ONにします。

送風口を切り替える



図18:送風口切り替えボタン

送風口を手動で切り替える

- ✓ エアベントが開いている
- 分 ボタンを押してください。 フロント ウィンドウおよびサイド ウィンドウへの送風を開始します。
- 以 ボタンを押してください。中央および左右エア ベントからの送風を開始します。
- ▶ 2』ボタンを押してください。足元への送風を開始します。該当するボタンのインジケーターライトが点灯します。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

ら

わ

送風口の手動切り替えの解除

▶ インジケーター ライトが点灯している(手 ▶ エアベントのロータリー ノブを時計回り 動で切り替えた) 送風口切り替えボタンを 再度押してください。

該当するボタンのインジケーター ライトが 送風方向の調節 消灯します。

または

あ

t-

な

は

ま

b

わ

AUTO ボタンを押してください。

送風量および送風口が自動的に制御され ます。

エア ベントの調整



図19:エアベントの調整

知識

エアベントを損傷する恐れがあります。

▶ 携帯電話のクレードルやプラグイン式のエ ア フレッシュナーなど、エア ベントには何 も挟まないでください。

エア ベントの開閉

または反時計回りに回してください。

▶ ルーバーの角度を調節して希望の方向に風 を送ることができます。

アッパー ベンチレーション パ ネルのON/OFF

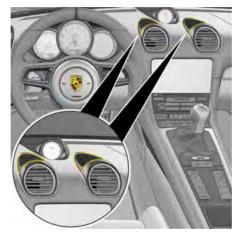


図20:アッパー ベンチレーション パネル

ダッシュボード上にあるベンチレーション パ ネルは、個別にON/OFFを切り替えることがで きます。

ベンチレーション パネルをOFFにすると、室内 で乗員に直接当たる風が和らぎます。エアコン システムは送風量を自動的に調整します。

アッパーベンチレーションパネルのON/OFF切 り替えに関するインフォメーション:

▷ 「エアコン設定」(231ページ)を参照して ください。

冷房機能のON/OFF

オート モードでは、冷房機能が常にONになり ます。冷房出力は完全に自動制御されます。

▷ 「オートモードをONにする」(42ページ)を 参照してください。



図21: 冷房機能のON/OFF

冷房機能をONにする

▶ A/C ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。

または

AUTO ボタンを押してください。 冷房機能が作動します。

冷房機能をOFFにする

例えば燃料を節約したいときなどには冷房機能を手動でOFFにすることができます。

► A/C ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード(最大冷房出力) のON/OFF

A/C MAXモードでは、エアコンシステムが最大 出力で車内を冷却します。

このとき車内温度は自動調節されません。



図22: A/C MAXモードの選択

A/C MAXモードをONにする

► AQ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。

A/C MAXモードをOFFにする

► AQ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

または

AUTO ボタンを押してください。

内気循環モードのON/OFF



図23: 内気循環ボタン

手動で内気循環モードをONにする

▲ 警告

手動内気循環モードで の視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

▶ 手動内気循環モードは長時間ONにしないで ください。 ► ★ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

手動で内気循環モードをOFFにする

► ★ ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

または

AUTC ボタンを押してください。

i インフォメーション

手動または自動で冷房機能をオフにすると、約3分後に内気循環モードが停止します。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて 自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。 外気温度が約5° $^{\circ}$ 0を下回ると、サイドウィンド ウの曇りを防止するため、内気循環モードが自 動的に停止します。

自動内気循環モードの設定に関するインフォメーション:

▷「エアコン設定」(231ページ) を参照してく ださい。

1 インフォメーション

通常は自動内気循環モード(初期設定)にして おくことを推奨いたします。 あ

か

さ

た

な

は

ŧ

や

'n

わ

か

た

な

11

b

わ

A-Z

全体に適用する(SYNCモード)

SYNCモードでは、運転席のエアコン設定が重 内全体に適用されます。

SYNCモードをONにする

- ▶ エアコンディスプレイに SYNCが表示される まで、AUTO ボタンを押し続けてください。
- ▶ 運転席側のTEMPボタンを操作して、運転席 側および助手席側の温度を調整してくだ さい。

SYNCモードをOFFにする

▶ AUTO ボタンを押してください。 または

助手席側のTEMPボタンを押してください。 エアコンディスプレイの SYNCインジケー ターが消灯します。

風量調節

オートモードでは3段階で送風の強さを調節 できます。

送風の強さ調節に関するインフォメーション:

▷ 「エアコン設定」(231ページ) を参照してく ださい。

運転席のエアコン設定を車内 フロントウィンドウデフロス



図24: フロント ウィンドウ デフロスター ボタン

デフロスターをONにする

▶ m ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。

フロント ウィンドウおよびサイド ウィン ドウへの送風を開始します。

フロント ウィンドウの曇りや氷結を素早く 取り除きます。

デフロスターをOFFにする

▶ (m) ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯し ます。

または

AUTO ボタンを押してください。

エアバッグ システム

適切なシート位置の選択

▲ 危険

不適切なシート位置ま たは適切に収納してい ない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しい シート位置を維持している場合にのみ、エア バッグ システムは保護効果を発揮することが できます。 荷物は必ず安全に収納してください。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエア バッグが膨らむ空間に人や動物を座らせた り、物を置いたりしないでください。
- ▶ ステアリング ホイールは、必ずリムの外側 から持つようにしてください。
- ▶ エアバッグが保護効果を有効に発揮するためには、運転者または乗員から一定の距離がある必要があります

不必要にエアバッグに近いシート位置を選択しないでください。

ドアの内側 (サイド エアバッグの拡張エリア) にもたれかからないでください。

- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。走行中はドアの小物入れを常に閉じておいてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。
- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートクッションの上に足を乗せないでください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで 衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設 計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。 フロントエアバッグは、運転席側ではステアリングホイールのパッド内、助手席ではダッシュ

ボードの中に取り付けられています。 サイドエアバッグはシート側面のシート ボル スターに格納されています。

ヘッド エアバッグはドア トリムの側面に取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝撃の角度および強さに応じて作動します。

▲ 危険

エアバッグ システム に変更を加えたことが 原因の不具合

変更を加えたエアバッグ システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

- ► エアバッグ システムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ► エアバッグの配線の近くには、アクセサ リー類の配線を取り付けないでください。
- ▶ ステアリングホイール、助手席エアバッグ 付近、サイドエアバッグ付近、ヘッドエア バッグ付近にアクセサリーを取り付けた り、ステッカーなどを貼り付けたりしない でください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ► エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

▲ 危険

作動済みエアバッグ システムの交換

エアバッグ システムは1回のみ作動するように設計されています。

► 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規 販売店で交換してください。

警告灯への対応

エアバッグシステムが故障した場合、タコメーターの赤い**エアバッグ警告灯 ♪** によって表示されます。

- ▶ 次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。
- イグニッションをONにしたときに警告灯が 点灯しない

または

イグニッションがONのときに警告灯が消灯 しない

または

- 走行中に警告灯が点灯する

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

A-Z

47

助手席エアバッグをOFFにする



図25:助手席エアバッグOFF警告灯

▲ 危険

助手席エアバッグを OFFにする

チャイルドシートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルド シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

▲ 危険

助手席エアバッグの故 障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド シートを取り付けない でください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグをOFFにするキースイッチ、助手席エアバッグOFF警告灯およびISOFIXアタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF - 助手席エア バッグOFF警告灯」(145ページ)を参照して ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

エンジンオイル

エンジン オイル レベルの点検

オイルレベルは定期的に点検してください(車両に燃料を補給するときなど)。

▷「サーキット走行」(13ページ)を参照して ください。

オイル レベル警告への対応

オイル レベルが低過ぎる場合、マルチファンクション ディスプレイに または のシンボルが警告メッセージとともに表示され、直ちにエンジンにオイルを補充する必要があることを知らせます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

エンジンオイル レベルの測定と表示

知識

オイルレベルが下限マークより下にある場合、エンジンが適切に潤滑されません。これによりエンジンが損傷するおそれがあります。

- ▶ オイルレベルを定期的に点検してください。
- ▶ オイル レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

エンジン オイル レベルの表示

i インフォメーション

特定の状況下では、オイルレベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。

- エンジン冷間時
- フルスロットで高速走行後の停車時
- エンジン油温が高すぎる場合
- リヤ ラゲッジ コンパートメント リッドが 開いている場合

マルチファンクション ディスプレイに該当す るメッセージが表示されます。

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車する
- ✓ エンジンが作動温度に達した状態で、1分間 以上停止する
- ▶ 車両 ▶オイル レベル

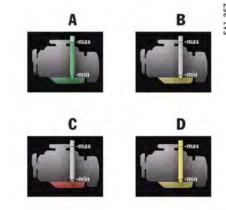


図26:オイル レベル表示

- A オイル レベルは適正 上限に達している
- B オイル レベル下限に達している
- c オイル レベルが下限を下回っている
- n オイル レベルが上限を超えている

表示が緑色Aの場合、オイルレベルは適正です。 最下部が黄色Bで表示されている場合、オイルレベルが下限まで低下しています。オイルレベルが低下していることを知らせるメッセージが表示されます。

- 次の機会にマルチファンクションディスプレイに表示されているエンジンオイルの量を補充してください。
- ► 表示された補充量以上のエンジン オイルを 補充しないでください。下限マークと上限 マークの差は約1リットルです。

最下部が赤色Cで表示されている場合は、オイルレベルが下限を下回っています。オイルレベルが低過ぎることを知らせるメッセージが表示されます。

- ▶ 運転を続けないでください。
- ► マルチファンクションディスプレイに表示 されているエンジン オイルの量を**直ちに**補 充してください。
- ► 表示された補充量以上のエンジン オイルを 補充しないでください。下限マークと上限 マークの差は約1リットルです。

最上部Dまで黄色で表示されている場合、エンジンオイルが容量の上限を超えて補充されていることを示しています。これによって車両が損傷するおそれがあります。

エンジンオイルの補充量が多すぎたときは、オイルレベルが上限を超えていることを知らせるメッセージが表示されます。

次の機会にオイル レベルを適正に戻してくだ さい。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの補充

▷ 「エンジン オイルの選択と補充」(50ページ) を参照してください。 あ

か

さ

た

な

は

まや

'n

わ

故障

オイル レベル測定が失敗した場合、オイル測 定機能に不具合があることを知らせるメッセージが表示されます。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンオイルの選択と補充

▲ 警告

エンジン オイルの 発火

エンジン オイルの残りが付着したまま換気せずに廃棄または保管された布は、自然発火して 火災が発生する原因となる恐れがあります。

- ▶ 布で飛散したエンジン オイルを吸い取って ください。
- ▶ エンジン オイルが浸み込んだ布は、廃棄するまで換気された場所で保管してください。

▲ 警告

高温のエキゾースト システム

エンジン稼働中はエンジン、周辺部品、およびエキゾーストシステムが高温になります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキ ゾーストシステムの近くでは、十分注意し て作業を行ってください。
- ► エンジンオイルの補充はエンジンを停止し、 イグニッションをOFFにしてから行ってく ださい。

知識

エンジン オイルの過不足はエンジンに損傷を 与えます。エンジン オイルが多すぎると青煙 の原因になり、長期的には触媒コンバーターに 損傷を与えます。

- ▶ オイル レベルが下限マークを下回らないよう に注意してください。
- ► 上限マークを超えるまでエンジン オイルを補充しないでください。補充しすぎた場合、次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

エンジン オイルがあふれて損傷する恐れがあります。ラゲッジ コンパートメントとラゲッジ コンパートメント内の荷物が汚れる恐れがあります。

▶ エンジン オイルを点検したり補充するときは、こぼしてラゲッジ コンパートメントや荷物を汚さないように注意してください。

下記の点を必ず守ってください:

- ポルシェ社が認証したエンジン オイルのみ を使用してください。定期点検時期(サー ビスインターバル)を遵守してください。
- エンジンに適合するオイルであれば、互い に混ぜ合わせることができます。
- オイル添加剤を混ぜないでください。

エンジンオイルの選択

ポルシェでは、Mobil 1 を推奨します。

車両	認証オイル	SAE粘度等級
すべて:	Porsche C40 またはVW 511 00	SAE 0W-40 ¹⁾ SAE 5W-40 ²⁾

- 1) すべての温度範囲に適応
- 2) -25℃を超える温度範囲に適応

1 インフォメーション

一般に、メーカーが認定するエンジンオイルの 仕様や規格は、オイル缶に記載されているかま たは販売店に表示されています。認定品かどう かを確認するには:ポルシェ正規販売店にご相 談ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

エンジン オイルの補充

- ✓ 718 Spyder: コンバーチブル トップが開いています。
- ▷ 「コンバーチブル トップの開操作」(96ページ) を参照してください。



図27:718 Spyderのオイル フィラー キャップ



図28:718 Cayman GT4のオイル フィラー キャップ

- マルチファンクションディスプレイのエンジンオイルレベルを確認してください。
 - ▷「エンジン オイル レベルの測定と表示」 (49ページ)を参照してください。
- リヤ ラゲッジ コンパートメントを開いてく ださい。
 - ▷ 「ラゲッジ コンパートメント リッドの開 閉操作とロック」(249ページ) を参照し てください。
- 718 Cayman GT4:キャップを反時計回りに回して取り外してください。
- オイル フィラー キャップを緩めて取り外してください。
- マルチファンクションディスプレイに表示 されている量のエンジンオイルを補充して ください。

表示された補充量以上のエンジン オイルを 補充しないでください。下限マークと上限 マークの差は約1リットルです。

- ▷「エンジン オイル レベルの測定と表示」 (49ページ)を参照してください。
- 6. オイル フィラー キャップを慎重に取り付け てください。
- 7. 718 Cayman GT4: キャップを取り付けた後、 時計回りに回してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

エンジンの始動および停止

イグニッションロック

キーは、ステアリング コラム左側のイグニッション ロックに差し込んでください。

知識

過剰な重さにより損傷する恐れがあります。差し込んだキーに過剰な重さ(キーの束、キーホルダーなど)がかかると、イグニッションロックが損傷する恐れがあります。

▶ 差し込んだキーに過剰な重さがかからないようにしてください。



図29:イグニッション ロックへのキーの差し込み

i インフォメーション

キーを差し込んだまま放置するとバッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、キー抜き取りの 緊急操作を行った場合のみイグニッション ロックからキーを抜き取ることができます:

▷ 「キーの緊急ロック解除」(112ページ) を参 照してください。

イグニッション ロックには3つのスイッチ位 置があります。



図30:イグニッション ロックの位置

- 0 初期位置
- 1 イグニッションON
- 2 エンジン始動

0-イグニッションOFF (初期位置)

イグニッションロックが位置0のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。 キーはこの位置にあるときのみ抜き取ることができます。

1-イグニッションON

ほとんどの電装品が作動可能になります。インストルメントパネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を占検します。

1 インフォメーション

イグニッションを ON にしてから 10 分以上電装品を ON にしなかった場合、再度イグニッションを ON にする必要があります。

キーをロック位置 0 (初期位置) に回してください。

イグニッションを、またはエンジンを始動すると、キーが抜き取れなくなります。

2-エンジン始動

エンジンが始動すると、キーがロック位置2から1に自動的に戻ります。

ステアリング ホイールのロッ ク/ロック解除

▷ 「ステアリング コラムのロック解除/ロック」 (160ページ)を参照してください。

あ

か

2

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

52

エンジンの始動

- 1. フットブレーキを踏んでください。
- マニュアルトランスミッション装備車:クラッチペダルをいっぱいに踏み込み続けてください。
- 3 ギヤレバーをニュートラルに、あるいはセレクターレバーをPまたはNの位置にしてください。
- 4. アクセルペダルは踏まないでください。
- 5. キーをイグニッション ロック位置2に回し てください。

エンジン スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。

イグニッション ロック位置2 (エンジン始動) にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

▶ エンジンが始動しない場合は、10 秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにキーをロック位置 0 (初期位置) に戻してください。停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないよう注意して運転してください。

触媒コンバーターの加熱フェーズ (モデルおよび国によって異なります)



図31: 触媒コンバーターの加熱フェーズ中の表示

触媒コンバーターの加熱フェーズ中はトルクが低下します。この間、インストルメントパネルのマルチファンクションディスプレイには の記号が表示されます。触媒コンバーターが作動温度に達し次第、この記号の表示は消えます。

エンジンの停止

▲ 警告

パワー ステアリング およびブレーキ ブー スターの作動が停止し ます。

パワー ステアリングおよびブレーキ ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンが停止しているときは、ステアリング ホイールやブレーキ ペダルの操作に強い力が必要になります。

- ► イグニッションをOFFにする前に、必ず車両 を停車させてください。
- 1. 停車してください。
- 2 キーをイグニッションロック位置0に回してください。
- ▶ 降車時はキーを抜き取り、エレクトリックパーキングブレーキを作動させ、PDK装備車の場合はセレクターレバーをP位置に、マニュアルトランスミッション装備車の場合はギヤレバーを1速またはリバースにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

2

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

オート スタート/ストップ 機能

オート スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車した場合、エンジンを自動で停止するためのすべての条件が満たされると、オートスタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。車両が徐行中に停車した場合も、エンジンが自動的に停止することがあります。これにより、オートスタート/ストップ機能は燃料の消費を節減します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての安全機能が作動可能な状態になっています。

アダプティブ シリンダー コン トロール

アダプティブ シリンダー コントロールは、エネルギー効率を高めるために、特定の条件下で3つのシリンダーを自動的に停止します。この3気筒休止機能はエンジンノイズに影響を及ぼします。

アダプティブ シリンダー コントロールを OFF にする

- ▶ オート スタート / ストップ機能を OFF にします。
- ▷ 「オート スタート/ストップ機能のON/OFF」 (55ページ) を参照してください。

エンジン自動停止の条件

- ✓ オート スタート/ストップ機能がONになっている
- ✓ ラゲッジ コンパートメント リッドが閉じ ている
- ✓ エンジン、トランスミッション、エアコン が作動温度に達している
- ✓ 前回エンジンが自動停止してから、車両を 徐行運転した

✓ PDK装備車

ブレーキペダルを踏んでいる セレクターレバーが D、N、または Pの位置 にある、または 1 または 2 速を手動で選択 している

✓ マニュアルトランスミッション装備車: シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じられている シフトレバーがニュートラルで、クラッチペダルは踏んでいない

マニュアル トランスミッション装備車: エンジンの自動停止 および自動始動

エンジンの停止

- 1. ブレーキペダルを踏んで停車してください。
- 2 ギヤシフト レバーはニュートラルにしてく ださい。
- クラッチペダルから足を放してください。
 エンジンが停止します。

自動始動

- ✓ シートベルトを着用する
- ✔ 運転席ドアを閉じている
- クラッチペダルを踏んでください。エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

i インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコン で乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

PDK装備車:エンジンの自動停止および自動始動

自動停止

1. ブレーキペダルを踏んで停車してください。

ブレーキペダルを踏み続けてください。

停車中にセレクター レバーをPの位置に動かしてください。

自動始動

- ✓ セレクター レバーがP、DまたはNの位置に ある、あるいは1速または2速ギヤを手動で 選択している
- ▶ ブレーキペダルを放してください(セレクターレバーがPの位置にない)。

またはアクセルペダルを踏み込ん

アクセル ペダルを踏み込んでください。 **または**

ステアリング ホイールを動かしてください。 **または**

PDKセレクター レバーをRの位置にしてください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で 発進できます。

1 インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたときや、エアコンで乗員の快適性を確保するためなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

降車後の作動(セレクター レバーがPの 位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレバーをP位置にして、ガレージドアを開くためなどの理由で車両から降車する場合(運転席ドアが開いていて、ブレーキペダルが踏まれていない場合)には、エンジンは自動的に始動しません。

ドライバーが車両から離れてから30秒以内に車両に戻り、運転席ドアを閉じてプレーキをかけると、オートスタート/ストップ機能が再開します。

上記の条件のいずれかが満たされなかった場合、エンジンは**手動で**始動する必要があります。エンジンを手動で始動する必要があることを示すメッセージが、マルチファンクションディスプレイに表示されます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75ページ) を参照してください。

降車後の作動(セレクター レバーが、D またはNの位置にあるとき)

エンジンが自動停止した後、PDKセレクターレ バーをD. MまたはNの位置にして降車しようと した場合 (運転席ドアが開いていて、ブレーキ ペダルが踏まれていない場合)には、エンジン が自動的に始動し、オート スタート/ストップ 機能がまだ作動中であることをドライバーに 知らせます。

セレクター レバーがDまたはMの位置にある場 合、エレクトリック パーキング ブレーキも作 動します。

- (P) スイッチのインジケーター ライトとブ レーキ警告灯 (1) が点灯します。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

オート スタート/ストップ機能 の例外

例えば次のような状況では、オート スタート/ ストップ機能は使用できません。

- クリーピング時
- AC MAXモード(最大冷却出力)の作動中
- 「フロントデフロスター」が作動している とき
- 標高が高いとき

例えば次のような状況では、オート スタート/ ストップ機能が一時的に制限されます。

- エアコンやヒーターを高負荷で作動させて いるとき
- バッテリーの充電状態が低いとき
- 上り坂や下り坂
- オート エンジン チェック機能など車両が 初期点検を実行しているとき
- 外気温度やバッテリー温度が非常に低いま たは高いとき
- 渋滞中で短時間の停車を繰り返すとき(国 別仕様により異なる)

インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの 条件が満たされると、エンジンが自動的に再始 動します。

オート スタート/ストップ機能 のON/OFF



図32:オート スタート/ストップ ボタン

OFFにする

- ▶ (A) ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。
 - エンジンの自動停止およびアダプティブ シ リンダーコントロールは作動解除されます。

ONにする

- ▶ A ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯し ます。
 - アダプティブ シリンダー コントロールが 作動状態のとき、車両を停止するとエンジ ンは自動的に停止します。

アダプティブ シリンダー コントロールに関す るインフォメーション:

▷ 「アダプティブ シリンダー コントロール」 (54ページ)を参照してください。

オート スタート/ストップ機能 の表示

エンジンの自動停止および再始動の

オート スタート/ストップ機能でエンジンが 自動停止した場合、マルチファンクション ディスプレイのインジケーター ライトが緑色 に点灯します。

あ

か

さ

t-

な

1,1

ま

や

b

わ

A-Z

55

か

t

た

な

は

\mathcal{P}_{λ}

エンジンが自動停止しない、または 再始動可能な状態になっていない

オート スタート/ストップ機能が利用できない、またはエンジンが自動停止した後に再始動しない場合は、停車中にマルチファンクションディスプレイのインジケーター ライトが黄色に点灯します。

以下の原因によります:

- エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。または
- オート スタート/ストップ機能の例外条件 が、少なくとも1つ以上満たされている。
- ▷「エンジン自動停止の条件」(54ページ)を 参照してください。
- ▷ 「オート スタート/ストップ機能の例外」 (55ページ) を参照してください。

故障の表示

故障したときは、オート スタート / ストップ機能が解除されたことを示すメッセージがマルチファンクション ディスプレイに表示されます。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

や

b

わ

お手入れ

▲ 警告

ブレーキ ディスクの 水暯

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダル を強く踏まなければならない場合があります。

- ▶ 洗車後はブレーキを点検してください。
- ▶ ブレーキを乾燥させるため、後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

i インフォメーション

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

- ▶ カーケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
- ▶ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください
- ▶ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには:ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店ではコンディションリポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

知識

高圧洗浄機およびスチーム クリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります:

- コンバーチブル トップ (718 Spyder)
- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブ フィルム
- 塗装面
- エンジン コンパートメント内の構成部品と 電装部品/装備品スペース
- パーキング アシスタント センサー
 - リバースカメラ
 - ワイパーブレード
 - ▶ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
- ▶ デコラティブ フィルムを洗浄するときは、 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーを使 用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50cm以上離してください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチーム クリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせて使用しないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合りせて使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェットノズルを直接向けないでください。
- ► エンジン コンパートメント内の作業を行う 前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やして ください。
- ▶ 高圧洗浄機のジェットは、絶対に開口部(スパークプラグシャフト、エアクリーナーハウジング、エアフィルターなど)に向けないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。

車両の洗浄

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤(塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の排せつ物、樹液や花粉などは、車体に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両またはコンバーチブル トップは、完全な防漏構造ではありません。車両/コンバーチブル トップの洗浄時、車内に水が入る事もあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください:

- ▶ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも 季節の変わり目には洗車して汚れを落とし てください。
- ▶ ばい煙、油脂類、オイル、および重金属な どが適切に処理できる場所でのみ洗車を 行ってください。
- ▶ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
- ► 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗 車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多 量の水で洗ってください。ポルシェ社では、 Porsche Tequipment製品のカーケア用品を 使用することを推奨いたします。
- ▶ 洗車を開始するときは、はじめに車両に たっぷりと水をかけ、表面の主な汚れを洗 い流してください。
- 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

自動洗車機

知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプショ ン部品やボディ表面から突出しているパーツ が指傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに 確認してください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、すべてのスポイ ラーを格納してください(718 Spyder)。

以下の表を参考にし、車両を安全かつ慎重に洗 重してください:

危険

守るべきこと

コンバーチブルトッ ▶ コンバーチブル プのファブリックを 損傷する恐れがあり ます (718 Spyder)

ウィンドウが下がっ ▶ イグニッションを ていると車内に水が 入ります (718 Spyder)

OFFにしないでく ださい。 または

トップ部にホット

ワックス処理をし

ないでください。

▶ 車両をロックして ください。

洗車機で洗車中にワ ▶ フロント / リヤ イパーが不意に作動 して損傷する恐れが あります

- ウィンドウのワイ パーをOFFにして ください。
- ▶ 洗車機での洗車 中はヘッドライ トウォッシャー を操作しないで ください。

危险

守るべきこと

外装部品への損傷

- ▶ ドア ミラーを格納 してください。
- ▶ リヤスポイラーを 展開している場 合、格納してくだ さい。

ホイールへの損傷

洗車機のガイド レールの寸法を よく確認してく ださい。 タイヤのリム径が 大きく高さが低く なるに従い、損傷 のリスクも大きく なります。

ハイグロスまたはシ ▶ ルクグロス ホイール への傷

洗車機のホイー ル用洗浄ブラシ を使用しないで ください。

コンバーチブル トップの清掃 (718 Spyder)

知識

高圧洗浄機の洗浄ジェット、不適切な自動洗車 機、またはホットワックス処理により、コン バーチブルトップを損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗浄機やスチーム クリーナーをコンバー チブル トップの洗浄に使用しないでくだ さい。
- ▶ カブリオレでは、洗浄プログラムのある自動 洗車機を使用してください。
- ▶ コンバーチブル トップ部にホット ワックス 処理をしないでください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを 守ってください:

▶ コンバーチブル トップは車両を洗車する度 に毎回洗う必要はありません。通常は、清 潔な水でコンバーチブル トップを洗うのみ で十分です。

- ▶ 雪や氷を縁の鋭いもので取り除かないでく ださい。
- ▶ 毛の柔らかいブラシを使用して、織目に 沿ってブラッシングレコンバーチブルトッ プのほこりを取り除いてください。
- ▶ 汚れが頑固な場合にのみ、シャンプー&コン バーチブル トップ クリーナーを混ぜたぬ るま湯で洗浄し、スポンジか柔らかいブラ シで軽く擦ってください。
- その後きれいな水でシャンプー& コンバー チブル トップ クリーナーを残さず洗い流 してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー ケア用品を使用する ことを推奨いたします。
- 洗車後、少なくとも年に1度はコンバーチブ ルトップ ケア製品を使用してコンバーチ ブル トップ カバーのお手入れを行ってく ださい。コンバーチブル トップ用のケア用 品が塗装面やガラスに付着しないよう注意 してください。塗装に付着した場合はすぐ に取り除いてください。
- ▶ コンバーチブル トップ カバー本体または 縫い目や折り目から漏れが生じた場合は、 コンバーチブル トップ専用ケア用品を使用 してください。容器に記載されている指示 に従ってください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー ケア用品を使用する ことを推奨いたします。
- ▶ 鳥の排せつ物は直ちに除去してください。 排せつ物に含まれる酸がコンバーチブル トップのゴムを膨張させ、水漏れを起こす 原因となります。
- 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブ ルトップおよびコンバーチブルトップエ レメントは天候が良いときにのみ開いてく ださい。
- コンバーチブル トップ カバーから染みを落 とす際は、柔らかいラバー スポンジで慎重 に擦って除去してください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装面に付着した汚れの粒子は、適切にお手入れ をしないと塗装に損傷を与える場合があります。

▶ 乾いた布でほこりを拭きとらないでください。

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を 使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は経年変化により光沢が失われていくため、洗車後は塗装保護剤等で定期的に保護する必要があります。この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

塗装面の艶出し

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

汚れ、染みの除去

タール、グリース、昆虫の死骸などは適切な洗剤で速やかに除去した後、丁寧に水で洗い流してください。長時間放置すると、塗装が変色する原因となります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

小さな傷の補修

▶ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の 小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に 修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。

.錆を取り除いたら、その箇所にプライマー(防 錆剤)を塗布してから、上塗り塗装を施してく ださい。

ペイント データは車両のデータ バンクに表示されています。

▷ 「車両の識別データ」(265ページ) を参照してください。

ウィンドウの清掃

▷ 「ワイパー ブレード」(260ページ) を参照 してください。

i インフォメーション

フロント サイド ウィンドウには、ガラスの汚れを抑制する(疎水性の)撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

► ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 定期的にウィンドウクリーナーを使用して、 ウィンドウの内側と外側を清掃してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。

► 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクトリムーバーで取り除いてください。 ポルシェ社では、 Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

アンダーコーティングの補修

▲ 警告

エキゾースト システ ム付近の可燃物

エキゾースト システム部に防錆剤やアンダーコーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

▼ エキゾーストマニホールド、エキゾーストパイプ、触媒コンバーター、ヒートシールド、およびその周囲には、アンダーコーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。 しかし、走行中に保護コーティングが損傷する

しかし、走行中に保護コーティングが損傷する ことは避けられません。

ポルシェ正規店で車両底部を定期点検し、 必要に応じて保護コーティングを修復して ください。ポルシェ正規販売店にご相談く ださい。

デコラティブ フィルムの清掃

知識

清掃中にデコラティブ フィルムが剥がれ損傷 する恐れがあります。

- ▶ ポリッシュやホット ワックスを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機やスチーム クリーナーを使用しないでください。
- ▶ 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの 水を使用してください。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

A-Z

ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品、プラスチック 面、車両カメラの清掃

知識

洗剤がコントローラまたはスイッチに侵入し、 損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を 使用するとプラスチック面に損傷を与える場 合があります。

- 車内のプラスチック製部品に直接水や室内 用ウィンドウクリーナーをスプレーしない でください。
- ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品。プラスチック面および車両カメラを清掃するときは、きれいな水と少量の中性洗剤、またみではインテリアウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を 使用しないでください。

ホイールのお手入れ

▲ 警告

クリーナーなどの溶剤 によるブレーキ ディ スク上の膜の発生

ブレーキ ディスクにクリーナー (リム クリーナーなど) が付着した場合、ブレーキ ディスクに膜ができて制動力が低下する恐れがあります。

- ブレーキ ディスクにホイール クリーナーな どの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ ブレーキ ディスクにホイール クリーナー などの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機な どで完全に洗い流してください。
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

塗装の被膜を破壊するような光沢剤やpH値が 不適切なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは 使用しないでください。

- ► 軽合金製ホイールには、中性洗剤のみを使用してください(pH値:4~10)。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカー ケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▼ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは 洗車ブラシを使用してホイールを洗浄して ください。冬季に凍結防止剤がまかれる地 域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄す るようにしてください。
- ▷ 「自動洗車機」(58ページ)を参照してくだ さい。

ドア、ルーフ、コンバーチブル トップ、リッドおよびウィンド ウ シールの清掃

知識

インナー ドア シールをコーティングしている 潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダ メージを受けることがあります。

- ▶ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ 防錆剤を使用しないでください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

▶ 全てのシールの汚れ(凍結防止剤、砂塵など) を、温かい石鹸水で定期的に清掃してくだ さい ▶ 凍結する恐れがある場合は、適切なカーケア用品でアウタードアシール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、 不適切な処理を行なうと革製品を痛める場合 があります。

- ▶ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本 革は、裏側まで湿らせないよう注意してくだ さい。
- ▶ 革製品に付着した水滴は直ちに取り除いて ください。

正しいお手入れと洗浄のために以下のことを 守ってください:

- ► 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロファイバー布を湿らせて、表面の細かな汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
- ▶ 汚れがひどいときは(水などによる染み以外) レザー クリーナーで取り除いてください。
- ▶ 容器にある使用上の注意を確認してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。
- ▶ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

カーペット、フロア マットの 清掃

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速やブレーキ操作が難しくなる場合があります。

- ▶ 車両に適切なフロア マットのみを使用して ください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、 しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロア マットを重ねて置かないでください。
- ▶ 清掃などの際に、フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ▶ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
- ▶ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロアマットをカー アクセサリーとして用意しています。

エアバッグ カバーの清掃

▲ 危険

不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切なクリーナーやケア製品で清掃してエアバッグシステムに浸透させたり、不適切な取り扱いを行うと、システムに損傷を与える恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない危険があります。

- ▶ ステアリング ホイールのカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドア パネルなどの部品を改造しないでください。
- エアバッグの周囲には洗剤や液体を使用しないでください。

内張りの清掃

ピラー、ヘッドライナー、サンバイザーなどのファブリック ライニングは、素材に適した洗剤やドライフォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

Alcantara® / Race-Tex / その他の 生地のお手入れ

Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地でできたマイクロファイバーカバーの清掃には、皮革ケア製品を使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分で。研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、Alcantara®の表面が傷むので注意してください。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の 石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってくだ さい。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

Alcantara®/ Race-Tex 製のマイクロファイバーカバーが装備されたステアリング ホイールは、

常に肌と接触するため、汚れの度合いが高くなります。

▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の 石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってくだ さい。

汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めた クリーニング用溶剤で柔らかい布を濡らし、外 側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シート ベルトの清掃

正しい清掃のために以下のことを守ってください。

- ► ベルトの汚れには中性洗剤を使用してください。
- ▶ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染色および脱色しないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用すると PCMに浸透し、不適切な取り扱いを行うとPCM に損傷を与える恐れがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ PCM に直接クリーナーや他の液体を吹きつけないでください。
- ▶ 湿らせた布で慎重に画面を拭いてください。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

ら

わ

さい。

あ

か

た

な

は

車両の保管

ださい。

車両を長期保管する場合ポルシェ正規販売店 にご相談ください。腐食保護対策、お手入れと メンテナンス、および保管に関する情報および アドバイスを提供いたします。

正しい清掃のために以下のことを守ってくだ

▶ 画面は傷が付きやすくなっています。時々、 清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイ バークロス)やクリーニング用ブラシで慎

清掃の際、表面に大きな力を加えないでく

▶ 指紋は少し湿らせた布や刺激性の少ない洗

重にPCMを清掃してください。

▷「バッテリー」(181ページ) を参照してくだ さい。

バッテリーを切り離した状態で車両をロック する場合のインフォメーション:

▷ 「緊急ドア ロック」(128ページ)を参照してください。

ま

ì

わ

カップ ホルダー

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあり ます。

- ► カップ ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ ホルダーに置かないでください。
- ► 熱い飲み物が入った容器には適していません。
- ▶ 運転中はカップ ホルダーを収納しておいて ください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあり ます。

- ▶ カップ ホルダーに収まる容器のみを使用してください。
- ▶ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ ホルダーに置かないでください。

カップ ホルダーを使用する

グローブ ボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップ ホルダーが2個装備されています。



図33:カップホルダー

カップ ホルダーを開く



図34:カップ ホルダーを開く

- カップ ホルダー パネルを押してください (図33)。
 - パネルが開きます。
- 2 左右どちらかのカップ ホルダーのマークを 押してください。 カップ ホルダーが開きます。
- 3. パネルの中央を閉じて、カップ ホルダーを 固定してください。

カップ ホルダーを引き出す

カップ ホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

わ

b

か

さ

た

な

は

ま

+

i

わ

A-Z



図35:カップ ホルダーを引き出す

- 1. ホルダーを引き出してください(図35)。
- 2 カップ/容器を入れてください。
- **3.** 慎重にホルダーを押し込み、カップ/容器の サイズに合わせてください。

カップ ホルダーを折り畳む

- 1. カップ ホルダーを押し込んでください。
- 2 中央のパネルを開いてください。
- カップホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
- 4. 中央のパネルを閉じてください。

給油

▲ 警告

給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、燃焼または爆発が起こる 恐れがあります。

▶ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

▲ 警告

燃料蒸発ガスの吸引、 および燃料の皮膚への 付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

- ▶ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてく ださい。
- ▶ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意 してください。

1 インフォメーション

場合により燃料に硫黄が多く含まれることがあります。このため、エンジンで燃焼する際に特定の運転条件下で不快な臭い(いわゆる腐った卵の匂い)が発生する可能性があります。ポルシェ社にはこの特性に対する責任はなく、車の故障を示すものではありません。

イグニッションをONにすると、インストルメントパネルに燃料の残量が表示されます。

▷ 「J - 燃料計」(31ページ)を参照してください。

タンク内の燃料残量が一定量(モデルによって 異なる)を下回り、イグニッションがON、ま たはエンジンが作動している場合、マルチファ ンクションディスプレイの警告灯 灯します。

- ▶ 最寄りの給油所で給油してください。
- ▷ 「充填容量」(266ページ)を参照してください。

適切な燃料の選択

知識

不適切な燃料を使用するとエンジン、燃料系統、およびエキゾースト システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 下記の仕様に準拠する燃料のみを使用してください。
- ▶ メタノールを含む燃料を使用しないでくだ さい。

i インフォメーション

通常、燃料のオクタン価に関する情報は、ガソリンスタンドの給油機に掲載されています。ガソリンスタンドのスタッフからも情報が得られます。

エンジンは**金属系添加物を含まない無鉛プレミアム ガソリン**を使用した場合に最適に作動するよう設計されています。

モデル 推奨燃料 代替燃料

最低オクタン価:

すべて: 98 RON/88 95 RON/85 MON MON

エンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると燃費が悪化することがあります。

(E5)

(E10)

1 インフォメーション

推奨燃料が入手困難な場合は、緊急措置としてオクタン価91 RON/82.5 MONの金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用することができます。ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

- ▶ オクタン価が91 RON/82.5 MON以上 の金属 系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用し てください。
- ► オクタン価が91 RON/82.5 MONの無鉛ガソ リンを使用した場合は、フルスロットルで 走行**しないで**ください。

オクタン価の低い燃料と添加 剤の使用

知識

ポルシェ社が承認していない添加剤を使用した場合、エンジン、燃料系統、エキゾーストシステムに損傷を与える恐れがあります。

▶ ポルシェ社が承認した添加剤のみを使用してください。

地域によっては、燃料の析出挙動がポルシェ社の基準を満たしていないことがあります。ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号:000 043 209 02

- ▶ 混合比率は、添加剤に付属の取扱説明書に 従ってください。
- ▶ 定期点検時期(サービスインターバル)、特にオイル交換時期を遵守してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

やら

わ

A–Z

65

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

燃料の給油

知識

デコラティブ フィルムに燃料が付着すると、 フィルムが色褪せる原因になります。

▶ デコラティブ フィルムに燃料が付着したと きは、直ちに拭き取ってください。



図36:フィラーフラップを開く



図37: タンク キャップを開く

- ✓ エンジンを停止する
- ✓ イグニッションをOFFにする
- ✓ 車両をロック解除する
- フィラー フラップの後部(図36)を押すと、 フラップが開きます。 この車両に使用できる燃料の種類について は、フィラー フラップの裏のステッカーに 明示されています。
- タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
- 取り外したキャップをホルダー(図37)に かけてください。
- 4. 給油ノズルは確実にフィラーの奥まで差し込み、注入時はノズルを下に向けて給油してください。
- 5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。給油ノズルが自動停止したら、それ以上給油を続けないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。
- ▷ 「充填容量」(266ページ)を参照してくだ さい。

- 6 給油後は直ちにキャップを取り付けて、 ロック音と手ごたえを感じるまで、しっか りと締め込んでください。
- 7. フィラー フラップを閉じてフィラー フラップの後部(矢印)を押し、しっかりと閉じてください。

i インフォメーション

タンクのキャップを紛失したときは、必ずポルシェ純正部品を使用してください。

フィラー フラップの緊急操作



図38:緊急時のフィラーフラップの操作

フィラー フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、手動でフィラー フラップを開くことができます。

- 1. 助手席側ドアを開いてください。
- 2 助手席ドア開口部にあるボタン (図38) を 引いてください。

フィラー フラップが開きます。

クーラント(冷却水)

エンジン クーラントには年間を通じた腐食 防止と、-37 ℃までの凍結防止の働きがあり ます。

クーラント レベルを定期的に点検することは、 メンテナンスの一部です。

▶ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

ポルシェ社では、Glysantin[®] G40[®] (または G12++/VW TL 774 G に準拠した同等の不凍液) の使用を推奨しています。

警告シンボルへの対応

知識

クーラントの温度が高すぎると、マルチファンクションディスプレイに シンボルが表示されます。 シンボルが表示された 場合は、クーラント レベルが低くなりすぎています。

赤色の警告メッセージが表示された後も走行を続けると、エンジンを損傷する恐れがあります。

- ▶ エンジンをOFFにして冷やしてください。
- ▶ クーラント レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

クーラントレベルの点検と補充

- ✓ 718 Spyder: コンバーチブル トップが開いています。
- ▷ 「コンバーチブルトップの開操作」(96ページ) を参昭してください。



図39:718 Spyder のクーラント リザーバー タンク



図40:718 Cayman GT4 のクーラント リザーバー タンク

▲ 警告

高温のエンジン部品や クーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾーストシステム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラントタンクには圧力がかかっています。 クーラントタンクを不用意に開くと、熱いクー ラントが突然吹き出す恐れがあります。

- ▶ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキ ゾーストシステムの近くでは、十分注意し て作業を行ってください。
- ▶ クーラントの補充はエンジンを停止し、イ グニッションをOFFにしてから行ってくだ さい。
- エンジンが熱いときは、クーラントリザーバータンクのキャップを開かないでください。水温計の表示が60℃を下回るまで待ってください。
- ▷ 「B 冷却水温度」(227ページ)を参照して ください。

あ

か

さ

な

た

は

ŧ

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

- ✓ 車両を平坦な場所に駐車する
- ✓ エンジンが冷えていて、クーラント温度が 60℃以下である場合
- ✓ または のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示されます。
- ✓ または □ のシンボルがクーラントの補充を促すメッセージとともに表示されていない場合は、給水パイプ基部でクーラントが目視確認できない場合のみクーラントを補充してください。給水パイプ内のクーラントレベルは初回のエンジン始動後に低下するため、MAXマークは補充中のみの目安となります。
- リヤ ラゲッジ コンパートメントを開いてく ださい。
- 718 Cayman GT4: キャップを反時計回りに回して取り外してください(図40)。
- 3 慎重にクーラント リザーバー タンクの キャップを開き、内部の圧力を逃がしてく ださい。
- 4. キャップを完全に取り外してください。
- 5. クーラント レベルを読み取ってください。 クーラントレベルがMAXマークを超えない ように注意してください。(給水パイプ基部 でクーラントレベルが目視で確認できない)
- 6. 必要に応じてクーラントを MAX マークまで 補充してください。 MAXマークを**超えない** ように注意してください。

不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみ を補充してください。

給水パイプ内のクーラント レベルは初回の エンジン始動後に低下するため、MAXマー クは補充中のみの目安となります。

7. クーラント リザーバー タンクのキャップを 動かなくなるまで回して閉めてください。

- 8. 718 Cayman GT4:キャップを取り付け、時計回りに回してください(図40)。
- 9. 冷却システムを点検してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポ ルシェ正規販売店のご利用を推奨いたしま す。十分なトレーニングを受けた経験豊か なスタッフが、最新の技術情報と専用工具 や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束 します。

i インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。

クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。

▶ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

クルーズ コントロール

クルーズ コントロールを使用すると、約30~240km/hの範囲でアクセルペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。

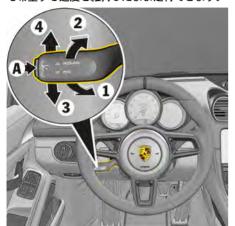


図41: クルーズ コントロール操作レバー

- A クルーズ コントロールのON/OFF
- 1 設定/希望する速度を上げる
- 2 設定速度を下げる
- 3 クルーズ コントロールの中断 (OFF)
- 4 保存した速度の再開 (RESUME)

1 インフォメーション

アクティブブレーキ機能は、特に下り坂などで設定速度を維持するため、自動的に作動します。

▲ 警告

危険な交通状況や路 面状態が悪い状況で の走行

交通状況により十分な距離と一定の速度での 走行に適さない場合、クルーズ コントロール の使用が事故の原因となる場合があります。

▶ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が 悪い場合(冬場の滑りやすい路面、濡れた 路面、起伏の多い路面など)でクルーズコ ントロールを使用しないでください。

クルーズ コントロールON(スタンバイ)

▶ クルーズ コントロール操作レバーのボタン Aを押してください。



クルーズ コントロールON

マルチファンクション ディスプレイ のグレーのアイコンは使用可能状態 を示します。

速度の設定(維持)

- 1. アクセル ペダルの操作で希望する速度まで 加減速してください。
- 2 ステアリング コラムのクルーズ コントロール操作レバーを前方(1の位置)に押してください。



設定速度

オレンジ色に変わったクルーズ コントロールアイコンの下に走行中の速度が表示され、自動的に維持されます。

速度の変更

▶ 速度を上げるには、ステアリングホイールのレバーを前方に押します (図41、1)。 短く押す=1 km/h、長く押す=10 km/h ▶ 速度を落とすには、ステアリング ホイール側にレバーを引きます(図41、2)。 短く引く=1km/h、引き続ける=10km/h 新しく設定した速度がマルチファンクションディスプレイに表示されます。

i インフォメーション

通常走行と同じようにアクセルペダルを踏むと加速します。これにより保存された速度は変更されません。アクセルを緩めると保存した速度に戻ります。

クルーズ コントロールの中断 (OFF)

クルーズ コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ コントロールのコントロール レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

- ▷ 「クルーズ コントロールの再開(RESUME)」 (70ページ)を参照してください。
- コントロール操作レバーを下に押してください (図41,3)。または
- ▶ ブレーキ ペダルまたはクラッチ ペダルを 踏んでください。または
- ▶ セレクター レバーをNの位置にしてくだ さい。

クルーズ コントロールの自動中断:

- 設定速度より約25km/h以上速い速度で、20秒 以上走行した場合
- 上り坂などで、設定速度より約60km/h以上 遅い速度で60秒以上走行した場合
- ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が0.5秒以上作動した場合

あ

か

さ

t-

な

は

ŧ

や

ら

わ

クルーズ コントロールの再開 (RESUME)

▶ 操作レバーを上に押してください(図41,4)。 設定速度に加減速します。

か

さ

た

な

あ

クルーズ コントロールOFF

- ▶ クルーズ コントロール操作レバーのボタン Aを押してください。 設定速度が消去され、シンボルマークが消 灯します。
- **i** インフォメーション

イグニッションをOFFにすると保存した速度が 消去されます。

は

ま





A-Z

わ

クロノ ストップウォッチ

クロノ ストップウォッチはレース サーキット や業務上の走行時等の時間計測にご使用いた だけます。計測した時間は保存したり、評価し たりすることができます。PCMのディスプレイ が利用できます (装備によって異なります)。 以下の情報を保存および評価することができ ます。

- ラップ回数
- ラップ距離
- ラップタイム
- オプション:その他の各種データ(車両位 置、速度、または外気温度など)

記録中、以下の項目を表示することができます。

- 現在のラップ回数
- 最速ラップ タイムおよび、それと比較した 現在のラップ タイム
- 基準ラップに関して走行した距離の割合
- 現在のラップ タイムが最新のラップ タイ ムより速いか、遅いか、または同一かを表 示するカラー レート
- 現在の燃費の残量で走行可能な残りの距離 およびラップ回数
- まだ残っている記憶時間
- オプション:現在のラップのトラック進捗 状態と基準ラップ

ダッシュボードのストップ ウォッチ



図42:ダッシュボードのクロノ ストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ ディスプレイ とデジタル ディスプレイがあります。

アナログ ディスプレイ

- 大きい指針:秒
- 小さい指針:時間および分

このディスプレイは12時間が経過するとゼロ から再スタートします。

デジタルディスプレイ

- 秒、1/10秒、および1/100秒 デジタル ディスプレイおよびマルチファンク ションディスプレイは99時間と59分まで表示 できます。

ストップウォッチの明るさ調節

▷ 「インストルメント ライトの明るさ調節 | (33ページ)を参照してください。

ダッシュボードのストップウォッチ ライ トのON/OFF

▷ 「インストルメントライトの明るさ調節」 (33ページ)を参照してください。

ストップウォッチ時刻の表示

▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時 刻表示」(229ページ)を参照してください。

ストップウォッチタイムの表示

ラップ タイムは異なる場所に表示することが できます。

- ダッシュボードのクロノ ストップウォッチ
- マルチファンクションディスプレイの**クロ** ノメニュー
- PCM の SC 😈 の下のメイン メニュー CAR

あ

か

さ

た

な

11

ま

や

'n

わ

A-Z

か

た

な

は

b

わ

A-Z

マルチファンクション ディス プレイでの実行



図43:クロノ メニュー

- A ラップ カウンター 現在のラップ回数
- B 現在のラップ タイム

(緑色:最速ラップよりも速い、 黄色:最速ラップと同タイム、 赤色:最速ラップよりも遅い)

C 最速のラップ タイム

D サークルディスプレイ(基準ラップと比較して どれだけラップを完了しているかを示す)

i インフォメーション

ストップウォッチ作動中にクロノ メニューを 終了しても、計測は続きます。

ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度ONにすると、ストップウォッチは作動を再開します。

計時の開始

▶ クロノ▶開始

データの記録が開始されます。基準ラップ がまだ保存されていない場合は、記録の中 の初めラップが基準ラップとして使用さ れます。

計時の停止

✓ 計時が開始されている

▶ クロノ ▶停止

計時の継続

✔ 計時が停止している

▶ クロノ ▶停止 ▶連続

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ タイムはラップ タイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

✓ 計時が開始されている

▶ クロノ ▶ラップ

ラップ カウンターの値(図43のA)が1ずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップ タイム(図43のC)として保存されます。現在のラップ タイム(図43のB)とサークルディスプレイ(図43のD)の色が変わることによって、現在のラップタイムが最速ラップより速いか、遅いか、または同一かを表示します。

1 インフォメーション

1回のセッションで最大99ラップを保存することができます。

中間ラップの保存

✓ 計時が開始されている

▶ クロノ ▶中間

中間タイムが短時間表示されますが、保存 はされません。時間測定はバックグランド で継続しています。

ストップウォッチ タイムのリセット

✔ 計時が停止している

▶ クロノト停止トリセット すべてのストップウォッチタイムをゼロ にリセットすることができます。

PCMでの計時の表示

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ) を参照してください。

ストップウォッチの表示

- ✓ 計時が開始されている
 - ▷ 「計時の開始」(72ページ) を参照して ください。
- 1. **CAR** ボタン ▶SC ひ
- ストップウォッチディスプレイをスクロール(スワイプ)してください。

図44:ストップウォッチディスプレイ(記録中)

- A 現在の燃費の残量で走行可能なラップ回数
- B まだ残っている記憶時間
- C 最速のラップ タイム
- D 現在のラップ タイム

(緑色:最速ラップよりも速い、 黄色:最速ラップと同タイム、 赤色:最速ラップよりも遅い)

- E ラップ カウンター 現在のラップ回数
- F サークルディスプレイ(基準ラップと比較して どれだけラップを完了しているかを示す)

トラック進捗の表示

- ✓ 計時が開始されている
 - ▷ 「計時の開始」(72ページ) を参照して ください。
- 1. CAR ボタン ▶SC む
- トラック進捗ディスプレイをスクロール (スワイプ) してください。

P170 35



図45:記録中 - トラック進捗ディスプレイ

- A 基準ラップ (灰色)
- B 現在の車両位置
- C 現在のラップ

(緑色:最速ラップよりも速い、 黄色:最速ラップと同タイム、 赤色:最速ラップよりも遅い)

記録の表示および編集

1回のセッションで最大99ラップを記録することができます。基準ラップがまだロードされていない場合は、記録の中の初めラップが基準ラップとして使用されます。 最大で10時間の記録が可能です。

記録の表示

- ✔ 計時が停止している
 - ▷ 「計時の停止」(72ページ) を参照して ください。
- 1. CAR ボタン ▶SC む
- 2 記録ページまでブラウズ (スワイプ) してください。
- 3. 記録フォルダーを選択してください。
- 4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。

記録データの表示

- 1. CAR ボタン ▶SC ひ
- **2 記録ページ**までブラウズ (スワイプ) してください。
- 3. 記録フォルダーを選択してください。
- 4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。
- 5. コントローラーの**統計 過** を選択してく ださい。

個別のラップに関する情報が表示されます。

記録のトラック進捗の表示

- ✓ **CAR** ボタン **SC Sport Chrono 設定**、 **追加データを記録**機能が作動している
- 1. CAR ボタン ▶SC む
- 2 記録ページまでブラウズ (スワイプ) してください。
- 3. 記録フォルダーを選択してください。
- 4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記録を表示させてください。
- 5. コントローラーの地図 を選択してください。 ラップのトラック准排に関する情報が表

ラップのトラック進捗に関する情報が表示されます。

ラップの表示および編集

- 1. CAR ボタン ▶SC む
- **2 記録**ページまでブラウズ(スワイプ)してください。
- 3. 記録フォルダーを選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ŧ

や

'n

わ

か

た

7

な

ま

は

b

わ

A-Z

- 4. 希望の記録を選択して(記録001など)、記 録を表示させてください。
- 5. コントローラーの統計 🔤 を選択してく ださい。

個別のラップに関する情報が表示されます。

- 6. 希望のラップを選択してください。
- 7. コントローラーの希望の設定を選択して ください。
- **保存** (3): 基準ラップとしてラップの保存
- **地図** : ラップのトラック進捗を表示
- **削除 1**: ラップの削除

基準ラップの設定

- ✓ 計時が停止され、リセットされている
 - ▷ 「マルチファンクション ディスプレイで の実行」(72ページ)を参照してください。
- 1. CAR ボタン ▶SC ひ
- 2 記録ページまでブラウズ (スワイプ) して ください。
- 3. 基準ラップより、希望の基準ラップを選択 してください。 希望の基準ラップが表示されます。
- 4. コントローラーの Ref 設定を選択してくだ さい。

PCMの設定入力

記録および基準ラップの管理

- 1. CAR ボタン ▶SC ひ ▶ OPT ボタン
- 2 希望のオプションを選択してください。

- 録のデータ名を変更することができます。
- **データを移動**:記録および基準データを、 SDカードまたはUSB大容量記憶装置にエク スポート、またはインポートすることがで きます。
 - **インポート**: データをインポートできる ようにするためには、データが記憶装置 のスポーツクロノ フォルダーに保存さ れる必要があります。選択および選択解 除で、インポートするデータを選択して ください。**インポート**で、選択したデー タをインポートしてください。
 - エクスポート:選択および選択解除で、 エクスポートするデータを選択してく ださい。エクスポートで、選択したデー タをエクスポートしてください。
- データを削除: 基準ラップおよび記録の データ名を削除することができます。

その他の設定

- 1. CAR ボタントSC ヴ ▶ OPT ボタン ▶Sport Chrono 設定
- 2 希望のオプションを選択してください。
- **追加データを記録**:ラップの長さおよび ラップ タイムとは別に、他の走行データ(速 度など)を1秒間隔で記録することができま す。トラック進捗も地図に表示させること が可能です。
 - ▷ 「記録の表示および編集」(73ページ) を 参照してください。
- 許容距離差:基準ラップの長さと任意の ラップの長さがどのくらい異なるかを表示 します。長さの逸脱が大きいラップは評価 に含まれません。

- データ名を変更する: 基準ラップおよび記 - **評価の最大タイム差**: 記録時に速度が同一 (黄色マーク) と評価されたラップ間の最大 のタイム差を表示します。

警告および情報メッセージ

警告シンボルが表示されたときは、本書の該当する章を必ずお読みください。

一部の警告灯には、点灯すると警報も同時に鳴るものがあります。

すべての前提条件が満たされた場合にのみ、警告シンボルが表示されます。そのため、すべてのフルードレベルは定期的に点検してください。

警告と情報メッセージの分類

赤色 システムの故障または警告

黄色 故障、システム故障、情報、または指示

自色 故障、システム故障、情報、または指示

-	Δ
女	王

インストルメント パネルの表示 マルチファンクションディスプレイの メッセージ 意味および必要な措置

-- ^



点灯



安全ベルトを装着します

シートベルトが着用されていません。

▶ シートベルトを着用してください。

*

■ 助手席エアパッグ オン / オフ ■

助手席エアバッグがONまたはOFFです。



故障 エアバッグ表示灯 要修理 エアバッグ警告灯が故障しています。

継続走行可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



ステアリングを解除します

ステアリングロックに大きく負荷がかかっています。

継続走行可能です。

▶ ステアリング ホイールを左右に回して、ステアリング ロックを解除してく ださい。



完了すると ハンドルがロックされます ステアリング ロックが作動していません。

▶ ステアリングホイールをロックするには、車両をロックしてください。



パワー ステアリング故障 操舵力増大 継続走行可 パワーステアリングは利用できません。

継続走行可能です。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

^{*} ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置 を駆使し、確かな整備をお約束します。

か

さ

た

な

は

ま

b

わ

	ストルメント ルの表示	マルチファ メッセージ	ンクションディスプレイの	意味および必要な措置
/\ \	ルの扱小		ステアリング サポート制限中 相応の継続走行可	パワー ステアリングが一時的に制限されます。 継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(1)	点灯	(()) 3	ブレーキ液レベル ₹全な場所に停車してください	ブレーキ液レベルが低すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	点灯	(<u>()</u>)	故障制動力配分 車両を安全な場所に停車してく ださい	制動力配分に故障があります。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(1)	点灯	(())	ブレーキ冷却 故障	ブレーキ温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(ABS)	点灯	(ABS)	故障 ABS/PSM 慎重に走行してください	ABSまたはポルシェスタビリティマネージメント (PSM) に故障があります。継続走行可能です。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(1)	点灯	(O)	ブレーキ パッド要交換 継続走行可能	ブレーキパッドが摩耗しています。 ▶ 直ちにブレーキ パッドを交換してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
(1)	点滅	(P)	緊急プレーキ	エレクトリック パーキング ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動中です。 緊急ブレーキの後、シンボルは消灯します。
(P)	点灯	(P)	故障 パーキング ブレーキ	パーキング ブレーキに故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

安全			
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置	
	電動パーキングプレーキが サービスモードです	パーキング ブレーキがサービス モードになっています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
(1) 点滅	(P) パーキングブレーキ解除	パーキング ブレーキが作動しています。 ▶ エレクトリック パーキング ブレーキのスイッチを引いてください。 ▷ 「エレクトリック パーキング ブレーキ」(193ページ)を参照してください。	
(1) 点灯	ブレーキ ペダルを操作	パーキングブレーキが作動しています。▶ エレクトリック パーキングブレーキを解除するときは、ブレーキ ペダルを 踏んでください。	
	雨 / 光センサー故障 要修理	雨/光センサーが故障しています。 ▶ フロント ワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
■○ 点滅	ベンディング ライト故障 要修理	コーナリング ライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
● 点灯	ビーム ライト制御 故障 要修理	ドライビング ライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
	ヘッドライト レベリング制御 故障 要修理	ヘッドライトレベリング制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
■ □ 点滅	ヘッドライト制御 故障 要修理	ヘッドライト制御が故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	
	例:左前ウィンカーを点検し ます	インジケーターライトが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*	

^{*} ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	ハイビームアシスト使用不可 ハイビーム手動で操作 要修理	ハイビーム アシスタントが故障しています。 ▶ ハイビームを手動で点灯してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ハイピーム アシスト制限中 カメラ視野無場合により要ガラス洗浄	カメラの不具合により、ハイビーム アシスタントが一時的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。
		故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PDLS+制限中カメラ視野無場合により要ガラス洗浄	カメラの故障により、ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス(PDLSプラス)は一時的に使用できません。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。
		故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 PDLS+ ハイビーム 手動で操作 要修理	ポルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLSプラス) が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	サイド マーカー ランプ点灯	ドライビング ライトまたはパーキング ライトが点灯しています。
	パーキング ライト オン	左または右のパーキング ライトが点灯しています。
	ワイパー故障 要修理	ワイパーが故障しています。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
*ポルシェ正規販売がを駆使し、確かな整		- ニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置

78

か

7

た

な

1,1

ま

や

b

わ

A-Z

5	安全	安全		
	インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置	
か	点滅または 点灯	タイヤを交換しましたか 設定を更新してください	タイヤを交換した後は、タイヤ設定を更新する必要があります。 ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を更新してください。 ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(129ページ)を参照してください。	
さ	(!) 点灯	タイヤ空気圧 要減速	設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 ▶ 速度を落としてください。▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。▷ 「タイヤ空気の充填」(133ページ)を参照してください。	
		B	718 Cayman GT4: タイヤ空気圧モニタリング システムのレース サーキット モードが作動しています。 公道での走行には、レース サーキット モードを使用 しないでください 。	
な	* ポルシェ正規販売ルを駆使し、確かな整		ーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置	
は				

A-Z

ま

や

b

わ

エンジン		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	オイル レベルが下限を下回っ ている 直ちにオイル充填	オイルレベルが最低値を下回りました。 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 運転を続けないでください。 車体または車体の下に明らかなオイル漏れがないか点検してください。明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けないでください。 マルチファンクションディスプレイ上でオイル測定を選択してください。 「エンジンオイルレベルの測定と表示」(49ページ)を参照してください。 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。 「エンジンオイルの選択と補充」(50ページ)を参照してください。
	オイル レベルが上限を超えて いる 整備工場へ 継続走行可	オイル レベルが最大値を超過しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 油量測定整備工場へ 整備工場へ 継続走行可	オイル レベル測定に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	油量最低ラインオイル要充填	オイル レベルが最低値に達しました。 ▶ エンジン オイルを補充してください。 ▷ 「エンジン オイルの選択と補充」(50ページ)を参照してください。
	現在オイルレベル表示は不可	特定の状況下では、オイル レベルが表示されないことがあります。以下の場合に発生します。 - エンジン冷間時 - エンジンを高回転で全負荷運転した後の停車時 - 油温が高すぎます。 ▶ オイル レベル測定を再度実施してください。 ▷ 「エンジンオイル レベルの測定と表示」(49ページ)を参照してください。

*ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

エンジン		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	油圧が低すぎます 停車して下さい	エンジンオイル圧力が低すぎます。
	油圧測定故障 継続走行可 整備工場へ	オイル圧力測定に故障があります。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	油温高過ぎ 負荷軽減	エンジン油温が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ マルチファンクションディスプレイ上でオイル測定を選択してください。 ▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」(49ページ)を参照してください。
		▶ 必要に応じてエンジンオイルを補充してください。▷ 「エンジンオイルの選択と補充」(50ページ)を参照してください。
	故障表示油温 整備工場へ 継続走行可	エンジン油温計が故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
* ポルシェ正規販売ルを駆使し、確かな整		ーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置

82

エンジン

インストルメント パネルの表示

マルチファンクションディスプレイの メッヤージ

意味および必要な措置

クーラント表示が 最高マーク



すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可

クーラント レベルが低すぎます。

- ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてくだ さい。
- ▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充してください。
- ▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(67ページ)を参照してください。

故障が継続する場合:

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



冷却水要充填 モーター温度 要監視

クーラント レベルが低くなっています。

- ▶ クーラントレベルを点検し、必要に応じてクーラントを補充してください。
- ▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(67ページ)を参照してください。

故障が継続する場合:

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

クーラントまたは エンジン オイルの 温度表示が最高 マーク



モーター温度超過 停車して冷まして下さい クーラント温度または油温が高すぎます。

- ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンを OFF にして冷やしてくだ さい。
- ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていな いか点検してください。
- クーラントおよびエンジンオイルのレベルを点検してください。
- ▷ 「クーラントレベルの点検と補充」(67ページ)を参照してください。
- ▷ 「エンジンオイルレベルの測定と表示」(49ページ)を参照してください。
- ▶ クーラントまたはエンジンオイルを、必要に応じて補充してください。

故障が継続する場合:

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



故障 表示 冷却水温 継続走行可 整備工場へ

冷却水温度計が故障しています。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



故障 冷却システム 整備工場へ 要修理

冷却システムが故障しています。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*



故障 エンジン ルーム ファン 全負荷回避綁繞走行可

エンジン コンパートメント ブロワーが故障しています。

▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

か

7

た

な

は

ま

や

b

わ

^{*} ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置 を駆使し、確かな整備をお約束します。

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
<u></u>	低下したエンジン出力 継続走行可 整備工場へ	エンジン出力が低下します。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
- - -	故障 エンジン制御 整備工場へ 継続走行可	エンジン制御システムが故障しています。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
水温計の警告灯が 点滅します。	故障エンジン制御	エンジン制御システムが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	de	モデルおよび国によって異なります: 触媒コンバーターの加熱フェーズ 触媒コンバーターが作動温度に達し次第、この記号の表示は消えます。

さ

た

な

は

ま

や

b

エンジン		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	パティキュレート フィルター を点検します 取扱説明書をお 読みください	モデルおよび国によって異なります: パティキュレートフィルターがすすでいっぱいです。 フィルターを自動清掃するためのドライビングスタイルで運転してください。 マニュアルトランスミッション装備車:スロットルブリッピング機能をOfしてください。 または PDK装備車:PDKスポーツモードをONにします。 「AUTO BLIP (自動スロットルブリッピング機能)のON/OFF」(163ページ)を参照してください。 「PDKスポーツモードのON/OFF」(165ページ)を参照してください。 クルーズコントロールをOFFにしてください。 シフトアップ・インジゲーターによる指示があった場合にのみ次のギヤにシフトアップしてください。 (可能であれば路上で)最高許容速度まで加速し、アクセルペダルから足を完全に離して再度減速します。法定速度を遵守してください。 メッセージが表示されなくなるまでこの手順を繰り返します。 故障が継続する場合: ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
<u>C</u> i	パティキュレート フィルター 継続走行可 整備工場へ	モデルおよび国によって異なります: パティキュレート フィルターがすすでいっぱいです。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	安全な場所に停車してください	モデルおよび国によって異なります: パティキュレートフィルターがすすでいっぱいです。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。* -ニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置

A-Z

わ

か

さ

た

な

は

ま

b

わ

マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
故障 ジェネレーター 安全な場所に停車してください	オルタネーターが故障しています。 ▶ 適切な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 ▶ 運転を続けないでください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
バッテリー機能制限中 <mark>- +</mark> 整備工場へ	バッテリー機能が制限されます。 継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
バッテリー 弱 エンジンを始動 し しばらく 稼働させて下さい	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電するため、エンジンを始動してください。
バッテリー残量 低 - + 電力消費物オフ	バッテリーの充電状態が低すぎます。 バッテリーの放電を防ぐため、コンフォート機能への電源供給が停止されます。 継続走行可能です。
停車中にバッテリー - + 保護が有効でした	バッテリー保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、停車時に電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。
バッテリーの 放電保護が有効です 容量 xx %	バッテリー放電保護が有効です、または有効でした。 バッテリーの放電を防ぐため、車両電装品の作動が停止されました。 継続走行可能です。 ▶ バッテリー容量を監視してください。必要に応じてバッテリーを充電して ください。 ▷ 「バッテリーの充電」(183ページ)を参照してください。
バッテリー要充電 - + 正しい極性に注意	バッテリーの充電状態が低すぎます。 ▶ バッテリーを充電してください。 ▷ 「バッテリーの充電」(183ページ) を参照してください。
エンジンを手動で 始動してください	▶ イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。
ギアセレクター 正確に入れて ください	PDK装備車:セレクターレバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 ▶ セレクターレバーを正しい位置にシフトしてください。
	メッセージ 故障 ジェネレーター 安全な場所に停車してください ・ サ パッテリー機能制限中整備工場へ ・ サ バッテリー 弱エンジンを始動ししばらく稼働させて下さい ・ サ ペッテリー 残量 低電力消費物オフ ・ サ イッテリー 保護が有効でした ・ 大ッテリーの 放電保護が有効です容量 xx% 水ッテリー要充電正しい極性に注意 ・ エンジンを手動で始動してください ・ メッテリー 正確に入れて

86

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

車両		
	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	選択レバーをP位置にします	PDK装備車:キーを抜き取る前や駐車する場合は、選択レバーをP位置にします。 ▶ 選択レバーをP位置にします。
	選択レバーをP位置またはN位 置にします	PDK装備車: エンジンを始動できるのは、セレクター レバーが P または N の位置にあるときのみです。 ▶ 選択レバーを P 位置または N 位置にします。
	ブレーキを踏みます	PDK装備車:ブレーキペダルが踏まれているときのみ始動可能です。 ▶ 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクター レバー ポジション ディス プレイが点滅	T/M 故障 安全に停車してください	PDK装備車:トランスミッションが故障しています。 インストルメントパネルにセレクターレバーの位置が表示されなくなります。 次に停車するまでは走行が可能です。 運転を続けないでください。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。 ▶ ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。 ▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(94ページ)を参照してください。
I	変速機 温度超過 冷却のため 停車して下さい	PDK装備車:トランスミッションの温度が高すぎます。 ▶ 適切な場所に停車してください。トランスミッションを冷やしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
セレクターレバー ポジションディス プレイが点滅	故障 R ギア不可 継続走行可能。	PDK装備車:トランスミッションが故障しています。 リバースギヤに入らないことがあります。 スムーズな変速ができなくなりますが、継続走行可能です。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	T/M 温度 高すぎる 負荷を 下げる	PDK装備車:トランスミッションの温度が高すぎます。 継続走行可能です。車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 ▶ 適切な場所に停車してください。 ▶ エンジンにかかる負荷を小さくしてください。 ▶ アクセルペダルで車両を保持せず、ブレーキを使用してください。 ▶ 警告が消えるまでセレクター レバーを P または N の位置にしてエンジンをフィメドリングさせてください。

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

アイドリングさせてください。

あ	車両		
	インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
か		クラッチを踏みます	マニュアル トランスミッション装備車: クラッチ ペダルが踏まれているとき のみ始動可能です。 ▶ 始動時はクラッチ ペダルを踏んでください。
さ		非常通報が有効です	車両からの緊急通報がSOCで確認されました。
た		緊急通報故障 整備工場へ	緊急通報機能が故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
		緊急通報が故障しました	車両からの緊急通報をSOCに転送することが できませんでした 。
な		緊急通報のサービス契約が終了 しました	緊急通報サービスのサービス契約期間が終了しましたが、ポルシェ サービス ポータルで延長可能です。
は		表示 外気温 故障 要修理	外気温表示に故障があります。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
ŧ		故障 スポイラー 要減速	718 Spyder:走行安定性が損なわれます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
や		減速 幌を停止位置へ移動	▶ コンバーチブル トップを全開または全閉にしてください。
'n		幌 要修理 車両 運転不可	コンバーチブル トップがサービス位置にあります。 ▶ サービス ポジションから移動させてください。
		フードを開きます / 閉じます	終端位置になるとメッセージが消えます。
わ		故障幌制御要修理	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
A-Z	*ポルシェ正規販売局を駆使し、確かな整		-ニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置

さ

た

な

は

ま

to

b

車両		
インストルメント パネルの表示	マルチファンクションディスプレイの メッセージ	意味および必要な措置
	例: xxx km 以内に修理してく ださい。	▶ 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。
燃料計の警告灯が 点灯	目的地までの距離に注意してく	燃料タンクが空です。
	ださい	▶ 最寄りの給油所で給油してください。
		▷ 「給油」(65ページ) を参照してください。
	故障燃料計	燃料計が故障しています。
	要修理	▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	扉 / 後ろカバーが開いています	▶ 該当する車両のドアまたはカバーを閉じてください。
	洗浄水を補充します	 ウォッシャー液が空です。
		▶ ウォッシャー液を補充してください。
		▷ 「ウォッシャー液」(37ページ) を参照してください。
	車両キー内のパッテリーを交換	キーの電池が消耗しています。
	します	▶ 電池を交換してください。
		▷ 「キーのバッテリー交換」(111ページ)を参照してください。
	イグニッションキーを抜いてく ださい	▶ イグニッションキーを抜き取ってください。
	ウのご和田と世紀いまします。 しいかしし	- 1. ビナガルナ 2000 中 5 もっ ラ 2 ・ - 1 ・ 1 ・

* ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

A-Z

わ

90

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

ンストルメント ネルの表示	マルチファ メッセージ	ンクションディスプレイの	意味および必要な措置
)) 点滅		PSM が診断モードです	ポルシェ スタビリティー マネージメント(PSM)が診断モードです。
0)			
	A	PADM 無効 要修理 継続走行可	ポルシェ アクティブ ドライブトレイン マウント (PADM) が無効になっていま ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	•	故障 シャーシ システム	サスペンション システムが故障しています。 ▶ 直ちに適切な場所に停車してください。▶ 運転を続けないでください。▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ŧ	χ障 サスペンション システム 慎重に走行してください	サスペンション システムが故障しています。 ハンドリング性能に悪影響が出ます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	A	故障 アシスタント システム / カメラ 要修理	アシスタンス システムまたは車両カメラが故障しています。 ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	A	見野 前面カメラ 制限中 場合に より 要ガラス洗浄	アシスタンス システムまたはカメラが天候状態やウィンドウの汚れにより一 的に使用できなくなっています。 ▶ 必要であればウィンドウを清掃してください。
			故障が継続する場合: ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

*ボルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

A-Z

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します:

- ドア、ラゲッジ コンパートメント リッド、 およびヘッドライトの警報接点
- 室内モニタリングシステム:車両をロック した後の車内への侵入(例えばサイドウィンドウを壊して車内に侵入したとき)
- 傾斜センサー(国別の装備仕様:車両の傾き(例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき)*

これらの警報接点のいずれか1つでも作動すると、アラーム ホーンが約30秒間鳴り、ハザードライトが点滅します。

その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します (国により異なる)。

1 インフォメーション

国別の仕様によっては、キーをイグニッションロックから抜き取った場合は、最後にドアまたはラゲッジコンパートメントリッドを閉じてから30秒後に警報システムが自動的に作動します。これは車両をロックしていない場合でも同様です。

室内モニタリング システムおよび傾斜センサーが解除されます。ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドを開くと、警報が作動します。

- ▶ 降車時は常に車両をロックしてください。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。
 作動した警報システムを解除するには:

► ドアをロック解除する**または**イグニッションをONにしてください。

警報システムのON/OFFを切り 替える

- ▶ 車両をロックすると、警報システムが作動 します。
- ▶ 車両をロック解除すると、警報システムが 解除されます。

i インフォメーション

ドア ロックにエマージェンシー キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしなければなりません。

警報システムが作動するまでの時間は、国に よって異なる場合があります。

作動した警報システムをOFFに する

▶ ロック解除 **または**

イグニッションをONにしてください。

室内モニタリング システムお よび傾斜センサー * をOFFに する

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリングシステムと傾斜センサー*を一時的にOFFにする必要があります。

- ▷「ドアをロックする」(125ページ)を参照してください。
- ► ドアを開いた場合、警報システムが作動す ることを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

室内モニタリングシステムと傾斜センサーは、ロック解除後いずれのドアも開かず、30秒後に自動的にロックされた場合、OFFの状態を維持します。

キーを使用する

▶ キーの ポタンを2回押してください(約2秒以内)。

ハザード ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー ドアハ ンドルを引くことにより、車内からドアを 開くことができます。

機能表示

車両のロック状態は、セントラル ロッキング ボタンのインジケーター ライトの点滅速度で 示されます。

警報システムを起動させたとき

車両をロックしたときにインジケーター ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させたとき(室内モニタリング システムと傾斜センサーがOFFのとき)

車両をロックするときにインジケーター ライトが素早く点滅した後、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル ロッキング システムと警報シ ステムの故障

インジケーター ライトが10秒間点灯した後、短く2回ずつ20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

* 日本仕様に設定はありません。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

1 インフォメーション

- けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
- ■両をけん引するときは十分注意してください。発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
- ▶ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリックパーキングブレーキやステアリングコラムロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

けん引または押しがけによる 始動

- ▶ Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車では、トランスミッションに重大な損傷を与える恐れがあるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動はできません。
- ► マニュアルトランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時にのみ実施してください。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する場合があります。

けん引ロープまたはけん引 バーの使用

- ▶ けん引ロープ/けん引バーの規格と取り扱い 方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照し てください。製品メーカーが指示する注意事 項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。

▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

けん引ロープを使用する

- 車両をけん引するときは、けん引フックを 車両に取り付けてから、けん引ロープをけ ん引フックに取り付けてください。
- ▷「けん引フックの取り付け」(95ページ)を 参照してください。
- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーを使用する

▶ けん引バーを斜め方向に取り付けないでく ださい。

けん引

▲ 警告

パワー アシスト機能 が作動しないことによ る操舵力とブレーキ踏 力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリングアシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。ステアリング操作およびブレーキ操作に大きな力が必要となります。

▶ 車両をけん引するときは十分注意してください。

車両をけん引する場合、この車両より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。 エンジンが停止している場合、トランスミッションオイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください。

PDK装備車に関する重要なインフォメーション:

▶ セレクター レバーの緊急解除を行った、またはPDKトランスミッションが緊急作動モードになっている場合(警告メッセージがトランスミッション故障を表示している)、車両を絶対にけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

- ▷ 「セレクター レバーの緊急解除」(123ページ) を参照してください。
- ▷ 「鉄道、船舶、積載車での輸送」(95 ページ) を参照してください。

バッテリーに不具合がある、またはバッテリー が完全に上がってしまった車両に関する注意 事項

バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、バッテリーを交換するか、ジャンパー ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。

- ▷「バッテリー」(181ページ)を参照してください。
- ▷ 「ジャンパーケーブルによる始動」(114ページ)を参照してください。

4輪が接地した状態でのけん引時の注意事項

▶ けん引される車はイグニッション スイッチをONにして、ブレーキライトや方向指示灯が機能し、ステアリングロックが解除されるようにしてください。

片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引 時の注意事項

- ► イグニッションをOFFにしてください。キー をイグニッションロックに残し、ステアリ ングロックがかからないようにしてくだ さい。
- ▶ 車両のライトが十分に点灯していることを 確認してください。

けん引

- ▼ マニュアル トランスミッション装備車:シ フトレバーをニュートラルにしてください。
- ▶ PDK装備車: セレクター レバーをNの位置に してください。セレクター レバーの表示も 含めて正しくNの位置にするには、車両をけ ん引する前にエンジンを一度始動しなけれ ばなりません。セレクター レバーがNの位 置にあり、ディスプレイ上でもセレクター レバー位置がNになれば、車両をけん引でき ます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

わ

b

- ▶ けん引されるときの速度は 50km/h 以下にしてください。けん引距離は50km以内にしてください。50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーで車両を輸送してください。
- ▷ 「鉄道、船舶、積載車での輸送」(95 ページ) を参昭してください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

- ▶ 車両を救出するときは十分に注意してください。
- ▶ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。
- ▶ 可能な限り、立ち往生した車両を進入した タイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出し てください。

けん引フックの使用

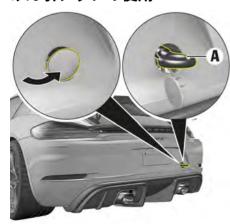


図46:リヤのけん引フック



図47:フロントのけん引フック

けん引フックの取り付け

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▷ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System TMS) または工具セットの取り外しおよび 収納」(245ページ) を参照してください。
- フロントおよびリヤのプラスチック カバー の上端をバンパー内に押し込む、または適 切な工具を使用して慎重にプラスチック カ バーを取り外してください。
- 2 プラスチック カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
- 3. けん引フックAを反時計回りにいっぱいにね じ込み(逆ねじ)、手で締め付けてください。

けん引フックの取り外し

1. けん引フック A を時計方向に回して外して ください (逆ねじ)。

- フロントおよびリヤのプラスチックカバー を開口部の上端に差し込んでください。
- 3. プラスチック カバーをかぶせ、端部を押し てバンパーにはめ込んでください。
- 4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール 部のみを固定してください。絶対にけん引 フックにひもを取り付けないでください。
- ▶ 室内モニタリング システムと傾斜センサー を解除してください。
 - ▷ 「室内モニタリング システムおよび傾斜 センサー*をOFFにする」(93ページ)を 参照してください。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

_ _

か

さ

た

11

コンバーチブル トップ

- ▷ 「お手入れ」(57ページ)を参照してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。
- ▷「ラゲッジ コンパートメント リッドの開閉 操作とロック」(249ページ)を参照してく ださい。

知識

コンバーチブル トップを損傷する恐れがあります。

- ▶ 次の場合には、コンバーチブル トップを操作しないでください。
- 温度が0℃以下のとき
- 車両の片側が縁石、リフト、ジャッキなどで 持ち上がっているとき
- コンバーチブルトップフィンがリヤトランクリッドの車両側ファスニングに差し込まれているとき
- ▶ コンバーチブル トップ コンパートメント 内に何も入っていないことを確認してくだ さい。
- ▶ ロールオーバー バーの後方や周囲に物がないことを確認してください。
- ▶ 走行するときは、コンバーチブル トップは 必ず完全に開いた状態か完全に閉じた状態 にしてください。
- ▶ コンバーチブル トップの開閉はコンバーチブル トップの上方に十分な空間があることを確認してから行ってください。ガレージなどでは特に注意が必要です。
- ▶ 染みや擦り切れを防ぐため、コンバーチブルトップは乾いた清潔な状態のときにのみ開いてください。
- ► 日光を長時間浴びると布地やラバーが傷んだり色褪せが起こるため、可能であれば車両は日陰に駐車してください。
- ▶ 強風や嵐のときはコンバーチブル トップを 作動させないでください。

i インフォメーション

天候により、コンバーチブルトップ コンパートメントが濡れることがあります。コンバーチブルトップ コンパートメントが濡れている状態は、故障や不具合を示すものではありません。

i インフォメーション

コンバーチブル トップ フィンがリヤ トランク リッドの車両側ファスニングに差し込まれて いる場合、リヤ トランク リッドを開くことは できません。

▶ 走行開始前に、コンバーチブルトップフィンが固定されていることを必ず確認してください。

コンバーチブル トップの開閉 操作

▲ 注意

コンバーチブル トッ プの開閉操作

コンバーチブル トップを開閉するときは、コンバーチブル トップ機構またはコンバーチブルトップ機構またはコンバーチブルトップコンパートメントリッドと車両の固定部品との間に身体の各部が挟まれないように十分に注意してください。

- コンバーチブルトップ機構またはコンバー チブルトップ コンパートメントリッドによって乗員がケガをしないように注意してください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じるときは、サンバイザーのバニティーミラーのカバーを閉じておいてください。

コンバーチブル トップのロックを解除すると、 サイド ウィンドウは自動的に下がります。 コンバーチブル トップをロックすると、サイ ド ウィンドウは自動的に閉じます。

コンバーチブル トップの開操作 車内のボタンを使用したコンバーチブル トップのロック解除

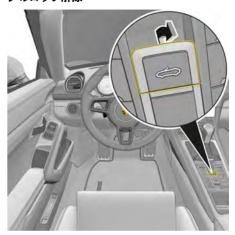


図48:ボタンによるコンバーチブル トップのロック 解除操作

- ✓ 安全に停車する
- ✓ イグニッションをONにする
- ウインドウが希望の位置になるまで、コンバーチブルトップのロック解除ボタンを引き続けてください。

マルチファンクション ディスプレイにメッセージが表示されます。

コンバーチブル トップがフロント ウィン ドウのフレームからロック解除されます。 リヤトランクリッドがロック解除されます。

わ

コンバーチブル トップ フィンの格納

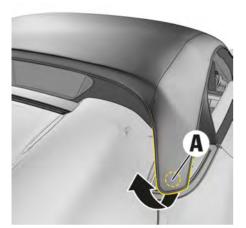


図49:コンバーチブル トップ フィンの格納

知識

コンバーチブル トップを損傷する恐れがあります。

- ▶ リヤ ラゲッジ コンパートメント リッドは、 コンバーチブル トップ フィンが切り離され ていることを確認してから開くようにして ください。
- 2 コンバーチブル トップ フィンのロックAを 押してください。
- 3. コンバーチブル トップ フィンを**リヤ トランク リッドの車両側ファスニング**から引き出し、ロックAを解除してください。



図50:コンバーチブルトップフィンの切り離し

4. コンバーチブル トップ フィンをコンバーチブルトップ側留め具に挿し込んでください。 コンバーチブル トップ フィンとコンバーチブル トップ側留め具の2個の矢印マークを同じ高さにそろえると、締結を容易に行うことができます。



図51:コンバーチブル トップ フィンの格納

5. 運転席側および助手席側のコンバーチブル トップフィンを締結してください。 あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

カ

さ

た

な

は

ま

+

ら

わ

A-Z



図52:コンバーチブル トップの収納

- **6.** リヤ トランク リッドを完全に開いてください。
- 7. コンバーチブル トップのフロント部を両手でつかみ、トランク リッド方向に一定の力で引いてください。
- 8. コンバーチブル トップをコンバーチブル トップ コンパートメントに収納してくだ さい。
- コンバーチブル トップをコンバーチブル トップ コンパートメントの中に押し下げて ください。

コンバーチブル トップがサポート ポイントに正しく設置されていることを確認してください。



図53: コンバーチブル トップ フラップの閉操作

- **10.** 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップ フラップを閉じてください。
- 11. リヤトランク リッドを閉じてください。

コンバーチブル トップの閉操作



図54:ボタンによるコンバーチブル トップのロック 操作

コンバーチブル トップのロック ボタンを引いてください。

または

運転席シートの横にあるリヤ ラゲッジ コンパートメントのリリース ボタンを引いてください。

マルチファンクション ディスプレイにメッセージが表示されます。

リヤトランクリッドがロック解除されます。

▷ 「ラゲッジコンパートメントリッドの開 閉操作とロック」(249ページ) を参照し てください。



図55:コンバーチブル トップ フラップの開操作

- 2 リヤ トランク リッドを完全に開いてください。
- 3. 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップフラップを開いてください。

知識

車両またはコンバーチブル トップを損傷する 危険があります。

► 手動コンバーチブル トップの操作を行う前 に、必ずコンバーチブル トップ フラップを 開いてください。

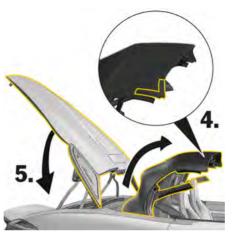


図56:コンバーチブルトップの閉操作

- コンバーチブルトップのフロント部を両手でつかみ、フロントウィンドウフレームに届くまで均等に引いてください。
- 5. リヤトランクリッドを閉じてください。

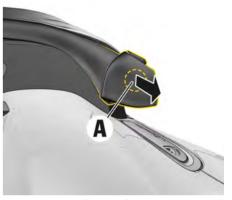


図57: コンバーチブル トップ フィンをコンバーチブル トップ側留め具から引く

- 6. コンバーチブル トップ フィンのロックAを 押してください。
- 7. **コンバーチブル トップ側留め具**からコンバー チブル トップ フィンを引き出し、ロック機 構を解除してください。

//

た

さ

な

は

ま

t

ら

わ

A-Z

コンパーチブル トップ フィンの取り付け

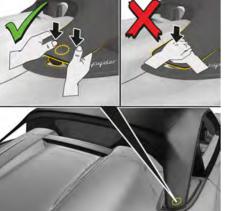


図58: コンバーチブル トップ フィンの取り付け

- 8. コンバーチブル トップ フィンの外縁を両手 で持ち (図58)、リア ラゲッジ コンパートメ ント リッドの車両側留め具に強く押します。
- これを行う際に、コンバーチブル トップの フィンのリリース ボタンを押さ ないで く ださい。

中央を押すと、コンバーチブル トップの フィンは正常に取り付けられません。

- コンバーチブル トップのフィンを確実に ロックしたことが 耳で聞こえることを確 認してください。
- 9. 運転席側および助手席側のコンバーチブルトップフィンを締結してください。

コンバーチブル トップ フィンの確認



図59:コンバーチブル トップ フィンの確認

知識

車両を損傷する恐れがあります。コンバーチブルトップフィンが正しく締結されていないと、車両が動いているときにフィンが外れる恐れがあります。

- ▶ コンバーチブル トップ フィンの内部の赤いマークが見えないことを確認してください。
- 10. フィンの底面を確認します。

フィンの底面の赤いマーク (図59) が見えて はいけません。

- 次に
 - 進行方向車両右側から右コンバーチブル トップのフィンを確認します。
 - 進行方向車両左側から左コンバーチブル トップのフィンを確認します。
- 赤いマークが見える場合、フィンは正常に 取り付けられていません。

▶ "コンバーチブルトップフィンの取り付け" 以降の手順を再度行ってください。

コンバーチブル トップのロック



図60:ボタンによるコンバーチブル トップのロック 操作

11. コンバーチブル トップの車内のハンドルを持って、フロント ウィンドウ フレーム側に動かしてください。同時に、コンバーチブル トップがフロント ウィンドウ フレームにロックされ、ウィンドウが希望の位置になるまでコンバーチブル トップのロックボタンを押し続けてください。

マルチファンクション ディスプレイのメッセージが消えます。

ウィンドディフレクターの取り外し/取り付け

知識

▶ すべてのウィンド ディフレクター部品が正 しい位置にしっかり固定されていることを確 認してください。特にコンバーチブルトップ を開いて走行するときは注意してください。

ウィンドデフレクターの取り付け

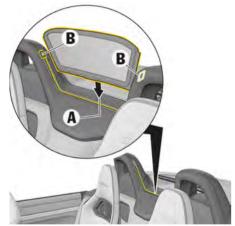


図61: ウィンドデフレクターの取り付け

▶ ウィンド ディフレクターを上方からマウントAに差し込み、次に固定箇所Bでカチッと音がするまでウィンド ディフレクターを押し下げてください。

ウィンドデフレクターの取り外し

▶ 固定箇所Bの1つを押して、ウィンドディフレクターをマウントAから引き上げて取り外してください。

1 インフォメーション

コンバーチブル トップが閉じているときに、ウィンド ディフレクターを取り外すと車内の 換気が促進され、リヤ ウィンドウの曇りを防ぐ ことができます。特に寒く湿度の高い場合に有 効です。

コンバーチブル トップの緊急 操作

▲ 警告

緊急操作中のコンバー チブル トップの作動

- ▶ 緊急操作を行うときは十分に注意してください。
- 緊急操作を行っている間は、ボタンを使用 してコンバーチブルトップを操作しないで ください。

知識

コンバーチブル トップとコンバーチブル トップ ロックを損傷する恐れがあります。

- ▶ 緊急操作を行っている間または操作後は、ボタンを使用してコンバーチブルトップを操作しないでください。
- ▶ ゆっくりと慎重に運転してください。
- ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。 十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用 装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

コンパーチブル トップ システムの点検

緊急操作を行う前に以下を点検します。

- コンバーチブルトップをボタンで操作するとき、イグニッションをONにしましたか?
- ヒューズに不具合がありませんか?
- ▷「ヒューズの点検および交換」(190ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

らわ

A-Z

手順1:コンバーチブルトップの閉操作 「コンバーチブルトップの閉操作」(98ページ) を参昭してください。

手順2:コンパーチブル トップ フィンの 取り付け

▷ 「コンバーチブル トップ フィンの取り付け」 (100ページ)を参照してください。

手順3:コンバーチブル トップ フィンの 確認

▷ 「コンバーチブルトップフィンの確認」 (100ページ)を参照してください。

手順4:コンバーチブル トップのロック

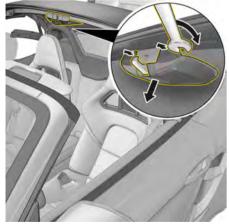


図62:コンバーチブル トップ ロック カバーの取り 外し

- 1. 工具キットからスパナ (13 A/F) を取り出してください。
- ▷ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System TMS) または工具セットの取り外しおよび

収納」(245ページ)を参照してください。

2 スパナを使用して、コンバーチブルトップロックのプラスチックカバーを注意深くこじって固定箇所(図62)から外し、取り外してください。

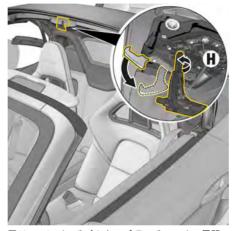


図63:コンバーチブル トップ ラッチ フックの展開

- 3. コンバーチブル トップの緊急操作用キー H を工具セットから取り出してください。
- ▷ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(245ページ) を参照してください。
- 4. キーHをコンバーチブルトップロックに差し込み(図63)、反時計方向に回してラッチフックを完全に開いてください(回すときに抵抗を感じます)。



図64: コンバーチブル トップをフロント ウィンドウ のフレームに引き寄せる

5. コンバーチブルトップのコンバーチブルトップ モーター部(図64)を手でつかみ、フロントウィンドウフレームに引き寄せてください。

▲ 注意

閉じるときに挟まれて ケガをする恐れがあり ます

閉じるときに、コンバーチブル トップが作動 する範囲内またはコンバーチブル トップ ロッ ク付近に身体の一部があると、挟まれる恐れが あります。

- ▶ 以下に注意してください。
- 閉じるときは、コンバーチブル トップの作動範囲内に誰もいないこと。
- コンバーチブルトップの可動部やコンバー チブルトップロック周辺のエリアに手を いれないでください。

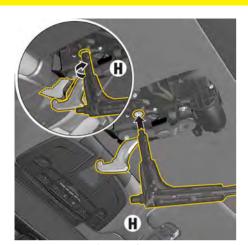


図65:コンバーチブル トップのロック

6 コンバーチブルトップを完全に閉じる場合、 ラッチ フックがキャッチに完全に噛み合い、コンバーチブルトップが完全に閉じる まで、キーHを時計回りに回してください (図65を回すときに抵抗を感じます)。 な

は

ま

や

b

わ

サンバイザー

サンバイザーの調節



図66:サンバイザーの調節

▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向から の直射日光を遮ってください。

バニティー ミラーを開く

▲ 注意

バニティー ミラーの カバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、 ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱す る恐れがあります。

▶ 走行中はカバーを閉じてください。



図67:バニティー ミラーを開く

▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラー のカバーを開きます。 バニティ ミラーのライトが点灯します。

知識

バニティー ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

▶ カバーを全開位置から無理に開かないでく ださい。

あ

か

た

さ

な

は

ま

や

'n

わ

A-Z

シート

適切なシート位置の選択

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が 重要です。運転席シート位置を調整するには、 以下の手順を実施してください。

- 1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周 囲がよく見える高さに調節してください。
- 2 シートの前後位置を調節し、ブレーキペダ ルをいっぱいに踏み込んだときに、足が伸 びきらない状態になる位置に調節してくだ さい。
- 3 ステアリング ホイールの L部分を握ってく ださい。シートのバックレストの角度とステ アリング ホイールの位置は、腕がほとんど まっすぐ伸ばされた状態になるように調節 してください(フルバケットシートを除く)。
- 4. 必要に応じて、シートの前後位置を調節し てください。

シートの調節

▲ 警告

運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要 以上に大きく動き、運転操作を誤る恐れがあ ります。

▶ 運転中はシート調節を行わないでください。

▲ 注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範 囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫され たり挟まれたりする恐れがあります。

▶ シートが動く範囲に人や動物がいないこと を確認してからシート位置を調節してくだ さい。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーな どを損傷する恐れがあります。

▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザー との間に十分なスペースを確保してから シート位置を調節してください。

1 インフォメーション

チャイルド シート システム用ISOFIXリテーニ ングラグを助手席に取り付けた車両では、助手 席シート バックレストの調節範囲が制限され ます。

スポーツ シートプラスの調節

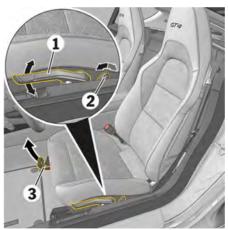


図68:スポーツ シートプラスの調節

- 1 シートの高さ調節
- 2 シートバックレストの角度調整
- 3 シートの前後調節

▶ レバー1 を操作して、シートを希望の高さ に調節してください: レバーを上げる=座面が上昇します。

レバーを下げる=座面が下降します。

- ▶ スイッチ2を操作して、シートバックレスト を希望の角度に調節してください。
- ▶ ロック レバー3を引き上げ、シートを希望 の前後位置に移動させてからレバーを放し てください。 シートがしっかり固定されていることを確 認してください。

アダプティブ スポーツ シート プラスの 調節

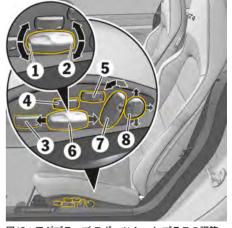


図69: アダプティブ スポーツ シート プラスの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 座面の深さ調節
- 4 座面のサイドサポートの調節
- 5 バックレストのサイド サポートの調節
- 6 シートの前後調節
- 7 シートバックレストの角度調整
- 8 ランバーサポートの調節

あ

か

7

t-

な

1,1

ま

や

'n

わ

A-Z

か

さ

な

た

は

ま

b

わ

A-Z

シート位置、または終端位置まで調節して ください。

フルバケットシートの調節

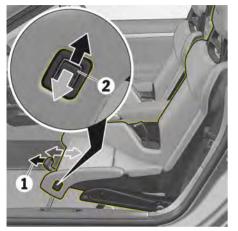


図70:フルバケットシートの調節

▲ 危険

チャイルド シートの

フル バケット シートでのチャイルド シート の使用は、重傷または致命傷を負う危険があ ります。

フル バケット シートでチャイルド シートを使 用した場合、事故の際に保護効果を十分に発揮 できません。

▶ フル バケット シートではチャイルド シート を使用しないでください。

▶ 各スイッチを矢印の方向に押して、希望の ▶ ロック レバー 1を引き上げ、シートを希望 の前後位置に移動させてからレバーを放し てください。

> シートがしっかり固定されていることを確 認してください。

▶ スイッチ2を矢印方向に押し、希望のシート 位置、または最低/最高位置になるまで調節 してください。

バックレストを倒す



図71:バックレストを倒す

バックレストを倒す

▶ シート バックレストの側面にあるレバーを 引き上げて(図71)、バックレストを前方 に倒してください。

バックレストを垂直位置に調節 する

▲ 警告

バックレストが固定さ れていない

シートのバックレストが固定されていないと 怪我を負う危険があります。

- ▶ シートバックレストを後方へ倒した場合、 固定されていることを確認してください。
- ▶ シートバックレストをカチッとはまるまで 後方へ倒してください。

シート ヒーターをON/OFFに する



図72: **シート ヒーター** ボタン

シート ヒーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にする

▶ 該当のボタンを押してください(数回)。 ヒーターの設定に応じた数のインジケー ターライトが点灯します。

シートヒーターをOFFにする

▶ 該当のボタンをすべてのインジケーター ライトが消灯するまで(数回)押してください。

1 インフォメーション

車内の温度が高いときはシート ヒーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、シート ヒーター の作動が制限され、その後OFFになります。

あ

か

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

た

さ

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

シートベルト

シートベルトの適切な着用

▲ 危険

シートベルトを着用し ていない、または正し く使用していない

シート ベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルト を着用することが義務付けられています。
- ▶ 1本のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服 (ジャケットなど)は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物(メガネ、ボールペン、携帯電話など)の上からシートベルトを締めないでください。
 - 衝突の際に怪我をする危険性が高くなり ます。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、または ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

▲ 危険

損傷したシートベルト を使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかった シートベルト、または摩耗したシートベルト は、事故の際に保護効果を十分に発揮できま せん。

シートベルト プリテンショナー システムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシート ベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルト バックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルト バックルは汚れないように 保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムとフォースリミッターは、早急に交換してください。
- ▶ 更に、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや 損傷を防ぐために完全にリトラクターに 巻き取らせてください。
- ▷ 「シート ベルトの清掃」(61ページ) を参照 してください。

シート ベルト プリテンショナー

シートベルト プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト プリテンショナーの作動条件:

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

i インフォメーション

シートベルトプリテンショナーが作動すると、 煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルト警告灯および警 告シンボルを確認する

イグニッションをONにすると、インストルメントパネル内の赤色の警告灯 グが、運転席シートベルトが着用されるまで数秒間点灯します。

さらに、マルチファンクション ディスプレイ に警告が表示されます。

速度が約24km/hを超えると、インストルメントパネルの赤色の警告灯 ♣ が点滅し、警告音も鳴ります。

シート ベルトを着用する



図73:シートベルトを着用する

- 1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座 してください。
- 2 シートベルトを着用したときにベルトが肩の中央を通って上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください(フルバケットシートを除く)。
- 3 シートベルトのラッチを手で持ち、ゆっく りと一定の速さで引き出して、腰の低い位 置および胸部にかかるように着用してくだ さい。

i インフォメーション

シート ベルトは、次のような場合にロックされます。

- 車両が傾いた場合。
- シートベルトが突然引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

- 4. シートベルトのラッチは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください(図73)。
- 5 シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
- 6 腰ベルトは必ず腰の低い位置 (骨盤) にぴったりとかかるように確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上に引っ張ってください。

妊婦:腰ベルトをできる限り低い位置まで 下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部 の圧迫を避けるようにしてください。

7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

シートベルト バックルを解除 してシートベルトを外す

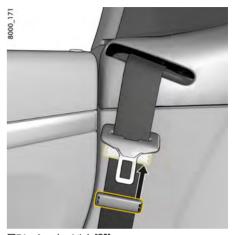


図74:シートベルト解除

- 1. シート ベルトのラッチを手で持ってくだ さい。
- 2 バックルの赤色のボタンを押してください。
- ベルトラッチは、シートベルト引き出し口の約7cm下にプラスチックスライドで固定してください(図74)。

プラスチック スライドがシート ベルト ラッチを手の届きやすい位置で保持します。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

ら

わ

か

た

な

は

ま

ヤ

ら

わ **A-Z** ジャッキおよびリフティングプラットフォーム

サイド スカートのジャッキアップ ポイントの エリアには矢印マークがあります。

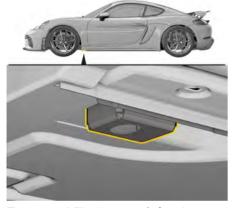


図75:フロント側のリフティング プラットフォーム とジャッキのジャッキ ポイント

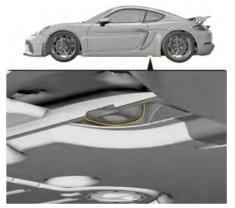


図76:リヤ側のリフティング プラットフォームおよ びジャッキ用のジャッキ ポイント

▲ 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水 平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定の ジャッキアップポイント(図75、図76)で 持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強 固なサポート スタンドで車体を支えてくだ さい。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。
- ▶ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させて、ギヤレバーをニュートラル位置に入れるか、またはセレクターレバーをPの位置にしてください。
- ▷「タイヤ交換」(136ページ)を参照してください。

車両キー

キーを使用する

1 インフォメーション

▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

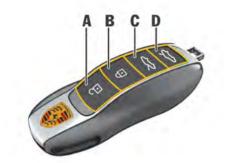


図77:キー

- Δ ロック解除
- B ロックする
- C フロント ラゲッジ コンパートメント リッドおよびドアをロック解除する
- D リヤ ラゲッジ コンパートメント リッドおよびドアをロック解除する

各キーにはエマージェンシー キーが内蔵されています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってく ださい。特別な状況を除いて、キーを放置 しないでください。
- ▶ わずかな時間でも車両から離れるときは、 キーを抜き取り、携行してください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

エマージェンシー キーを使用 する場合

エマージェンシー キーを取り外す



図78:エマージェンシーキーを取り外す

- リリースボタンを横に押してください (図78)。
- 2 エマージェンシー キーを抜き取ってください。

エマージェンシー キーを収納する

▶ リリースボタンのロック音が聞こえるまで、 エマージェンシー キーを押し込んでくだ さい。

キーのバッテリー交換

▲ 警告

リチウム バッテリー を誤って飲み込んだ場 合、体内で火傷を引き 起こし、死に至る危険 性があります。

キーの中にはリチウム バッテリーが収納されています。

リチウムバッテリーを誤って飲み込んだ場合、 2時間以内に体内で火傷を引き起こし、死に至 る危険性があります

- ▶ 新品または使用済みバッテリーは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーをお子様に近づけないでください。お 子様がキーを開いて、バッテリーを取り外 す恐れがあります。
- ▶ リチウム バッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

キーの電池が弱まり交換が必要になると、マルチファンクション ディスプレイにメッセージが表示されます。

1 インフォメーション

▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。

あ

か

さた

な

は

ま

や

b

わ

か

た

な

図79:電池の交換

さい。

電池の交換 (CR 2032、3V)

持ち上げてください。

意してください)。

てください。

さい。

1. エマージェンシー キーを取り出してくだ

2 適切な物 (エマージェンシー キーなど) を

3. 電池を交換してください(電極の向きに注

4. カバーを元通りにして、確実にはめ合わせ

5. エマージェンシー キーを元に戻してくだ

使用して、キー ハウジング背面のカバーを

は

ま

や

b

わ

A-Z

キーの 車両のバッ

キーの緊急ロック解除

車両のバッテリーが上がった場合、キーを抜き 取るには、緊急解除を行う必要があります。



図80:メタルフックの取り外し

- 1. 運転席側のヒューズ ボックス カバーのハン ドルをつかみ、引いて取り外してください。
- 2 ヒューズ ボックス カバーの裏に収納してあるメタル フックAを取り出してください。

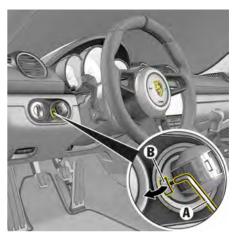


図81:イグニッション ロックからのプラスチック カバーの取り外し

- 3 メタルフックAを使用して、イグニッションロックからプラスチックカバーBを取り外してください。
- 4. 取り外したプラスチック カバー Bは紛失し ないように十分注意してください。

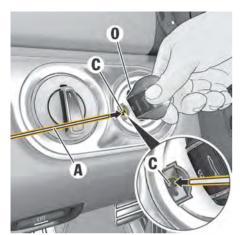


図82:緊急ロック解除

- キーをイグニッションロック位置0(初期位置)に回してください。
- メタル フックAを開口部Cに押し込んでく ださい。

キーの解除音が聞こえます。

- 7. 初期位置0でキーを抜き取ってください。
- 8. プラスチック カバー Bを元の位置に取り付けてください。

スペア キーの注文と登録

車両のスペア キーは、ポルシェ正規販売店の みでお求めいただくことができます。新しい キーを注文してからお手元に届くまでには大 変時間がかかる場合がございます。

- ▶ いつでもスペアキーを使えるように、あらか じめご用意いただくことを推奨いたします。
- ▶ スペア キーは安全な場所に保管し、決して 車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを車両に登録するには:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 車両のすべてのキーを再登録してください。

1 インフォメーション

最大で8本のキーを登録することができます。

i インフォメーション

- ▶ キーを紛失した場合または盗難にあった場合は、ポルシェ正規販売店でこのキーを無効にし、必要に応じてメカニカルロックを交換してください。
- ▶ キーを紛失または盗難に遭われた際、スペア キーを追加されたり交換されたりした際は、 ご契約の自動車保険会社にご連絡ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

ジャンパー ケーブルによ る始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパーケーブルを使用して外部電源を接続テリー搭載車でなくてはなりません。支援車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないよう確認してください。上続してください。両電気系統に正しく接続してください。

▷「バッテリー」(181ページ)を参照してください。

通常の作動状態でジャンパー ケーブルによる 始動を繰り返し行わなければならない場合は、 バッテリーの損傷が考えられます。

▲ 警告

不適切なジャンパー ケーブルや始動手順

不適切なジャンパー ケーブルを使用した場合や、ジャンパー ケーブルによる始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ ジャンパーケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパーケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両同士を接触させないでください。電流 が流れ、ショートする恐れがあります。
- ▶ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気 を通す装飾品が通電部に触れないように注 意してください。

ジャンパーケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。 ジャンパー ケーブルは、必ずジャンパー ケーブル接続用端子に接続してください。

▲ 警告

凍結または損傷した バッテリーのジャンプ スタート

凍結または損傷したバッテリーをジャンプスタートすると、爆発したり酸による火傷を負う 危険があります。

▶ 凍結または損傷したバッテリーには決し てジャンパーケーブルを接続しないでく ださい。

▲ 注意

腐食性のある電解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ► 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。

ジャンパー ケーブルによるエ ンジンの始動

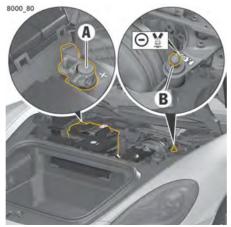


図83:バッテリー端子

- Δ プラス端子+
- B アース箇所(マイナス端子)-
- フロント ラゲッジ コンパートメント リッドを開いてください。
 - ▷ 「フロント ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除」(251ページ)を参照 してください。
- フロント ラゲッジ コンパートメントのカ バーを取り外してください。
 - ▷ カバーを取り外すには:「タイヤ シーラント (Tire Mobility System TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(245ページ)を参照してください。
- 3 充電器の赤色のプラスケーブルを放電したバッテリーのプラス端子Aに接続してください。
- 赤色のプラスケーブルを支援車バッテリー のプラス端子に接続してください。
- 5. 黒色のマイナス ケーブルを支援車バッテ リーのマイナス端子に接続してください。
- 6. マイナス側のケーブル (黒) をアース箇所 B に接続してください。 マイナス側のケーブル (黒) は絶対にバッテリーに直接接続しないでください。
- 7. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げ てください。
- 8. エンジンを始動してください。ジャンパーケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
- 9. エンジンが作動状態のまま、最初に、黒色のマイナス側ケーブルをアース箇所Bから外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外してください。
- 10. エンジンが作動状態のまま、まず支援車の バッテリープラス (+) 端子から赤色のプ ラス ケーブルを外してください。次に、ジャ ンプ スタートした車両のバッテリーのプラ ス端子Aからケーブルを外してください。

あ

か

さ

た

な
は

ま

や

わ

b

収納スペース

荷物の収納

▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積 載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 乗員スペースに荷物や固定していない物を 載せて走行しないでください。
- ▶ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れ があります。

▶ 収納ネット内には重たい荷物や大きな荷物 を積載しないでください。

車両の装備仕様により、次のような収納オプ ションが利用できる場合があります。

- カップ ホルダー
- ペンホルダー付きグローブボックス
- ドアの収納ボックス
- 助手席シート側のドア シル ポケット
- センター コンソール アームレストの小物 入れ
- 助手席足元の収納ネット
- シート バックレストの後ろ側の衣類用 フック
- シート後方のカバー付き小物入れ

グローブ ボックスの開閉

グローブ ボックスを開く



図84: グローブ ボックスを開く

ハンドル(図84)を引いて、リッドを開いてください。

i インフォメーション

グローブ ボックス リッドの内側にはペン ホル ダーがあります。

グローブ ボックスを閉じる

- ▶ 盗難防止のため、エマージェンシー キーで ハンドルを常にロックしてください。
- ▷「エマージェンシーキーを使用する場合」 (111ページ)を参照してください。



ETC受信機

ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されております。

ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

あ

か

た

な

は

ま

や

'n

わ

た

わ

ストの小物入れを開く



図85: センター コンソール アームレストの小物入れ を開く

▶ アームレストの右側のボタン(図85)を押 してください。 リッドが自動的に開きます。

国別仕様に応じて、小物入れにスマートフォン 閉じる トレーが内蔵されているものもあります。

▷ 「設定の変更」(157ページ)を参照してくだ てください。 さい。

センター コンソール アームレ シート後方の外側の小物入れを ドアの収納ボックスを開く 開く

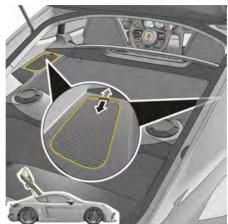


図86:カバー付きのシート後方の外側の小物入れ

開く

▶ カバーの取っ手を後方、矢印の方向に引い ▶ リッドB(図87)を持ち上げてください。 てください。

▶ カバーの取っ手を前方、矢印の方向に押し

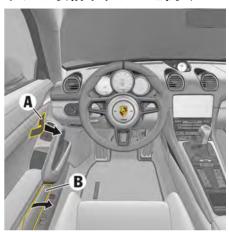


図87:ドアの収納ボックス

- A インナードア ハンドル
- B ドアの収納ボックス

知識

ドアを閉じるときに、ドアの収納ボックスを損 傷する恐れがあります。

▶ ドアを閉じる前に、収納ボックスのリッドを 閉じてください。

ステアリング ホイール

ステアリング ホイールの調節

▲ 警告

運転中のステアリング ホイールの調節

運転中にシステアリング ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 運転中はステアリング ホイールの調節を行わないでください。

ステアリング ホイールの手動調節

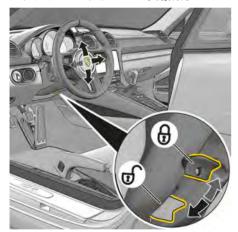


図88:ステアリング ホイール調節用ロック レバー

- 1. キーをイグニッション ロックに完全に差し 込んでください。
- 2 ロックレバーを押し下げてください。
- 3. シート バックレストの角度や着座位置に合わせて、ステアリング ホイールを前後上下 に動かし、希望の位置に調節してください。

4. ステアリング ホイールが確実に固定される まで、ロック レバーを元の位置まで戻して ください。

ステアリング ホイール ヒーターのON/OFF



図89: ステアリング ホイール ヒーター ボタン

- ✓ エンジンを作動状態にする
- ► マルチファンクション ディスプレイに「ス テアリング ホイール ヒーティング オン」ま たは「ステアリング ホイール ヒーティング オフ」のメッセージが短時間表示されるま で、センターステアリング ホイール スポー クのボタン (図89) を押し続けます。

か

さ

た

な

は

ま

+

È

わ

 $\mathsf{A}\text{-}\mathsf{Z}$

スポーツ エキゾースト システム

スポーツ エキゾースト システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

スポーツ エキゾースト システムのON/OFF



図90: センター コンソールのスポーツ エキゾーストシステム操作ボタン

✓ イグニッションをONにする

 かが ボタンを押してください。
 スポーツ エキゾースト システムが作動すると、ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

スモーカーズパッケージ

灰皿の使用

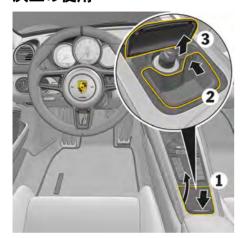


図91:灰皿を開く/中身を空にする

▲ 警告

灰皿による火災の危険

灰皿に紙くずなどを入れると発火するおそれ があります。

▶ 絶対に灰皿を紙くず入れとして使用しない でください。

灰皿を開く

1. 灰皿のリッドを短く押してください(図91 ▶ ヒーター エレメントまたはシガー ライター の**1**)。

リッドは自動で開きます。

灰皿を空にする

2 灰皿インサートの右上を前方に押して、ロッ 1. 灰皿のリッドを軽く押します(図92、 ク解除してください(図91の2および3)。

- ください。
- 4. 灰皿インサートを空にした後は、元の位置 に戻し、手応えを感じるまで押し込んでく ださい。

シガー ライターを使用する



図92:シガーライターを使用する

▲ 警告

高温のシガー ライター

シガー ライターの先端は、使用後は非常に熱 くなります。

- ▶ お子様のみを重内に残さないでください。
- の側面部は絶対に触れないでください。
- ▶ 作動ボタン以外で高温のシガー ライターを 持たないでください。
- 矢印)。

3. 灰皿のインサートを引き上げて取り外して 2. 作動ボタンをソケットに押し込んでくだ さい。

ライターのフィラメントが赤熱すると、シ ガーライターが元の位置まで飛び出します。

3 シガーライターを取り外してください。

シガー ライター ソケットで充電アダプターを 使用する際のインフォメーション:

▷ 「充電アダプターの接続」(150ページ)を参 照してください。

▲ 危険

火のついた煙草の投げ 捨てによる火災の恐れ

煙草が走行風によりエア インレットに入り込 み、エンジン コンパートメント内で火災が起 こる危険があります。

▶ 車内から煙草を投げ捨てないでください。

あ

か

t-

な

11

ま

や

b

わ

A-Z

119

か

た

さ

な

は

ま

や

わ

b

A-Z

接続

外部 SIM カード経由でデータ 接続を確立する

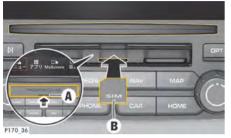


図93:外部SIMカードの挿入および取り出し

- ✓ SDおよびSIMカード リーダーのカバー Aを 開く
- 外部SIMカードBを挿入します (ミニSIM、 寸法:25x15mm)を挿入してください(切 り欠き部分を前方左側にして、チップ面を 下にしてください)。
- 2. PIN付きSIMカード:
 - **a.** 外部 SIM カードの PIN を入力し **OK** で確定します。
 - b. PIN を保存を選択してください。
- 3. 有効を選択し、データ接続を有効にしてください。このメッセージが繰り返し表示されるのを防ぐには、☑ 常に許可するを選択してください。

データ接続が確立されます。

▶ 外部SIMカードを取り出すには、挿入され たカードを押して抜き出します。

知識

SIMカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

SIMカードアダプターを使用すると、振動によりSIMカードがアダプターから外れ、カードピースがPCMから取り出せなくなる恐れがあります。

▶ SIMカードアダプターは使用しないでくだ さい。

i インフォメーション

複数のアクセス ポイントが利用可能な場合は、 複数のアクセス ポイント (APN) が使用できま す。選択してください。 というメッセージが表示されます。利用可能なアクセス ポイント (APN) のリストが表示されます。

- ▶ 希望のアクセス ポイント (APN) を選択してください。
- ▶ 外部SIMカードにアクセス ポイントが設定されていない場合は、携帯電話プロバイダーにAPNの設定を確認してください。アクセスポイント (APN) の設定をPCMで行うには、PHONE ボタントロア ボタントPHONE 設定トデータ接続トアクセスポイントを設定を選択してください。設定をリセットするには、アクセスポイント設定をリセットを選択してください。

1 インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を点検 してください:

- SIMカードのデータ容量が十分ある、および 正しく挿入されている。
- SIMカードが損傷していない、および適切に 作動している。
- APN 設定(インターネット アクセス)が正 常であるAPN 設定は通信事業者に連絡して 点検してください。
- 車両が十分ネットワーク受信が可能な場所 にある(遮蔽された場所でない)
- 必要に応じて PCM を再始動してください。

データ接続の設定に関するインフォメーション:

▷「データ接続設定」(158ページ)を参照して ください。

SIMカードのPIN設定およびその他の電話設定 に関するインフォメーション:

▷ 「電話設定の変更」(157ページ) を参照して ください。

Bluetooth®を用いて、PCMに携帯電話を接続する方法の詳細については:

▷「電話」(151ページ)を参照してください。

接続の利用

ポルシェ コネクトサービスを起動する

ポルシェコネクトサービスを初めて使用する 前に、起動/設定が必要です。

▶ www.porsche.com/connectで、ポルシェ コネクトサービスを起動してください。

ナビゲーション システムおよびボイス コ ントロール システムを使用する

- ✓ 外部SIMカードにより、データ接続が正常に 確立されている
 - ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。
- ナビゲーション目的地、ポータルPOI、および他のPOIカテゴリー入力のためのオンライン検索機能を、My Porsche から読み込んでください。
- 追加地図画面
- インターネットから入手した事故、道路工事、交通量情報やその他の事象等に関する リアルタイム交通情報

「アプリ」メニューのサービスを使用する

- ✓ 外部SIMカードにより、データ接続が正常に 確立されている
 - ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。
- ► HOME ボタン ► アプリ ##利用可能なサービスが表示されます。

アプリの機能に関する詳細情報:

▷ 「ポルシェ コネクト アプリ」(207ページ) を参照してください。

1 インフォメーション

- ポルシェコネクトサービス(カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュ リティ サービスを除く)は期間はサービス パッケージにより異なりますが、少なくと も3カ月の無料利用期間を提供しておりま す。無料利用期間についての詳細なイン フォメーションおよびそれ以降の費用およ び各サービスの利用についてのインフォ メーションは、www.porsche.com/connect また はポルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからポルシェ コネクト サービスが利用できます。外部SIMカードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては、 インターネットからデータ パッケージを受 信する際に追加料金が発生する場合があり ます。定額データプランのご利用をお勧め します。
- サービスの利用可否、範囲およびプロバイ ダーは年式、機器および使用料金によって 異なる場合があります。

Porsche Connect へのログイン

パーソナル設定を My Porsche から呼び出すためには、一部のサービスについて PCM にペアリングコードを入力する必要があります。

- HOME ボタン ▶アプリ ## ▶ OPT ボタン
- 2 Porsche Connect にログイン ▶新しいユーザー の作成 ▶ペアリング コードを入力。
- 3 My Porsche でサービスを正常に作動/設定 した後に表示されたペアリングコードを 入力してください。

Porsche Connect からログアウト

- ✓ ポルシェ コネクト ユーザーが作成され登録 される
- HOME ボタン ▶アプリ ## ▶ □PT ボタン
- 2 ポルシェコネクトからログアウト 現在ログインしているユーザーをログアウトします。

コンテンツの更新

► HOME ボタン ►**アプリ** ## ► OPT ボタン ►**更新** 購入したサービスのコンテンツが更新されます。

サービス情報の表示

► HOME ボタン ► アプリ ## ► OPT ボタン ► サービス情報 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

ら

わ

か

さ

た

な

は

ま

<u>ئ</u>د

'n

わ

A-Z

WiFi ホットスポット (ワイヤレスインターネットアクセス)の 起動

ホットスポットに接続可能な WiFi 機器は最大 8個です。

- ✓ 外部 SIM カード経由でデータ接続が確立されている
- フッターの ② または 』 (接続状況により異なる) ▶ホットスポットを選択してください。
- 2 OKでメッセージを確認してください。 PCMのWiFiアクセスデータ(機器名および WiFiパスワード)が表示されます。
- PCMのWiFiアクセスデータを機器のWiFi設定に入力してください。
 PCMのワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

WiFi設定に関するインフォメーション:

▷ 「WiFi設定の設定」(158ページ) を参照して ください。

i インフォメーション

お使いの携帯電話の料金体系によっては、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

セレクター レバーの緊急解除

知識

セレクター レバーを緊急解除した場合、車両が固定されずに動き出してしまうため、人身事故や器物の損壊を招く恐れがあります。

- ▶ エレクトリック パーキング ブレーキを作動 させ、車両が動き出さないように固定してく ださい (車止めを使用するなど)。
- ▷「エレクトリック パーキング ブレーキ」(193 ページ)を参照してください。

PDK装備車両の電気系統が故障した場合は、セレクターレバーの緊急解除を行ってセレクターレバーをN位置に動かしてください。

セレクター レバーの緊急解除

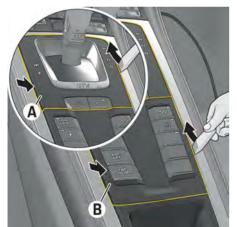


図94:セレクター レバー ゲートおよびスイッチ モジュールの取り外し

- 1. 工具セットからプラスチック ウェッジを取り出してください。
 - ▷ 「タイヤシーラント (Tire Mobility System - TMS) または工具セットの取り外しお よび収納」(245ページ)を参照してく ださい。
- 2 セレクター レバー ゲートAの両側のリヤ部 分(矢印)をプラスチック ウェッジで慎重 にこじるようにして外してください。
- 3. ダッシュボードBの両側のフロント部分(矢印) をプラスチック ウェッジで慎重にこじるようにして外してください。
- 4. スイッチ モジュールBを取り外し、脇によけてください。スイッチ モジュールのケーブルを引っ張らないようにしてください。

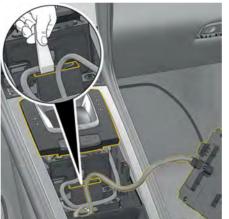


図95:セレクター レバー ロックの解除

5 セレクター レバー ロックを押したまま、 セレクター レバーをN位置に動かしてくだ さい。

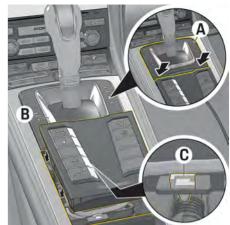


図96: スイッチ モジュールおよびセレクター レバーゲートの取り付け

スイッチ モジュールおよびセレクター レ バー ゲートの取り付け

- ケーブル クリップCがセレクター サポート に正しくはまっていることを確認してくだ さい。スイッチ モジュールBをフロント ガ イドにはめて、モジュールを完全に差し込 み、しっかりと押し込んでください。
- 2 セレクター レバー ゲートAがしっかりはまるまで押し込んでください。

あ

か

+

た

な

は

ま

や

b

わ

セントラル ロック

概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要説明は「セントラルロッキングシステム」に記載されているすべての情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図97:キー

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	その結果は?	ページ
ロック解除	▶ キーの	ハザード ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。	125
ロック	▶ キーの 分ボタンを押してください。	ハザード ライトが2回点滅します。ドアはロックされますが、インナードア ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 室内モニタリング システム装備車の場合:ドアは、インナードア ハンドルを引いて車内から開くことができません(セーフロック)。	125
室内モニタリング システム装備車両で 人/動物を 車内に残して ロックする: - セーフロックの作動を無効にする および - 室内モニタリング システムをOFFにする	▶ キーの 分ボタンを2回押してください (約2秒以内)。	ハザード ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー ドア ハ ンドルを引くことにより、車内からドアを開 くことができます。	125
アラーム システムのアラーム音をOFFにする	▶ キーの	アラーム音がOFFになります。	93

あ

カ

さ

た

は

1

や

i,

わ

 $\mathsf{A}\text{-}\mathsf{Z}$

124

セントラル ロッキング システムの使用

i インフォメーション

キーを使用するのは、車両が視界に入っている時だけにしてください。

キーを使用して、車両のロック/ロック解除ができます。

セントラル ロッキング システムは、次の部位 をロック/ロック解除します:

- ドア
- フィラーフラップ(燃料給油口カバー)

キーを使用する

▶ キーのボタンを使用します。

i インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明してい ます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション:

▷「ドアロック機能を設定する」(230ページ) を参照してください。

ドア ロックを解除してドアを 開く

ドアのロック解除機能の設定

設定により運転席ドアのみをロック解除する、 または助手席ドアも同時にロック解除することができます。

▷ 「ドア ロック機能を設定する」(230ページ) を参照してください。 選択した設定にかかわらず、両側のドアがロック解除します:

キーによるドアのロック解除



図98:キーによるドアのロック解除

- ゴボタンを押してください。
 ハザードライトが1回点滅します。
 ドアロックが解除されます。
- **2** ドアハンドルを引いてドアを開いてください。

i インフォメーション

ロックを解除した後、ドアまたはラゲッジ コンパートメント リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的に再ロックされます。警報システムは起動します。傾斜センサー*と室内モニタリングシステムは解除されます(盗難防止機能が制限されます)。

この場合、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

► ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。 再度ロックされた後は、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサー*が再び作動します。

i インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車両に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。更に、ハザードライトも自動的に作動します。

ドアをロックする

セーフロックの使用(国別仕様による)

セーフロック(室内モニタリング システム装 備車)は、ロックされた車両のインナードア ハンドルとセントラル ロッキング ボタンを無 効にし、不正な車内への侵入を難しくします。 あ

か

+

た

な

は

ま

や

'n

わ

A-Z

* 日本仕様に設定はありません。

か

た

な

11

-

や

わ

A-Z

▲ 警告

車外からのドアの ロック

室内モニタリングシステム装備車の場合、車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

キーによるドアのロック

- 1. ドアを閉じてください。
- ボタンを1回押します。
 ハザードライトが2回点滅します。

室内モニタリング システム (セーフロック) 装備車の場合:

車外、車内のどちらからもドアを開くこと ができなくなります。

室内モニタリング システム非装備車:

ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

または

人や動物を車内に残してロックする場合 (ロックされた車両のセーフロックの解除):

- ► ☆ボタンを2秒以内に2回押してください。 ハザードライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナードアハンドルを引くことにより、車内からドアを 開くことができます。
- ▶ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

- ドアまたはラゲッジコンパートメントリッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。
 - ッ (できょせん。 警告音が鳴り、マルチファンクション ディ スプレイに警告シンボルが表示されます。 ハザード ライトは点滅しません。
- 運転席ドアのみが閉じている状態でロック すると、車両はプリロックされます。
- ▶ ドをロックするときは、キーを車内に置き 忘れていないことを確認してください。残 りのドア/ラゲッジコンパートメントリッ キーを車内に残したままにすると、スペア キーを使用しなければロックを解除するこ とができなくなります。

車内からのドアの開閉操作と ロック

ドアをロックする



図99:セントラル ロッキング ボタン

✓ ドアを閉じる

▶ ☆ボタンを押してください。 すべてのドアがロックされます。

イグニッションがONの場合、ボタンのイン ジケーター ライトが点灯します。

ドアはインナー ドア ハンドルを引くこと により、車内側から開くことができます。

自動ドア ロック

この機能が有効になっているときは、車両の速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

▷ 「ドアロック機能を設定する」(230ページ) を参照してください。

ドア ロックの解除

▶ ☆ボタンを押してください。 すべてのドアがロック解除されます。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

自動ドア ロック解除

キーを抜くと、車両のロックが自動的に解除されます。

▷ 「ドア ロック機能を設定する」(230ページ) を参照してください。

i インフォメーション

キーまたはスペア キーで車両をロックした場合、セントラル ロッキング ボタンでロックを 解除することはできません。

ドアを開く



図100:車内からドアを開く A インナードアハンドル B ドアの収納ボックス

► インナードアハンドルAを引いてください (図100)。

i インフォメーション

ドア、フロントおよびリヤ ラゲッジ コンパートメント リッドおよびエンジン コンパートメント リッドは開けられません。

緊急ドア操作

キーのリモコンが機能しない場合、リモコンなしでもドアを開閉することができます。 リモコンが作動しない場合は、以下の原因が考えられます。

- 電磁波による通信の干渉

キーと電源の入った電子機器(携帯電話、 ノートパソコン、充電ケーブルなど)と一 緒に保管しないように注意してください。 必要に応じて、キーの保管場所を変更して ください。

- リモコンが作動しない場合、故障が原因と 考えられます。
- キーのバッテリーが切れている場合があります。
- ▷ 「キーのバッテリー交換」(111 ページ) を参照してください。

緊急ドア ロック解除



図101: リモコンが故障した場合の緊急解除

▶ 助手席側のフロントガラスの外端部にキーを置き、同時に ボタンを押してください (図101)。

車両のロックがまだ解除できない場合:

- エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
 - ▷ 「エマージェンシー キーを使用する場合」 (111ページ)を参照してください。



図102:ドア ロック シリンダー

2 エマージェンシー キーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください: ドア ハンドルを引いたまま保持してください。

ドア ロックにエマージェンシー キーを挿入 し、90°時計回りに回してエマージェンシー キーを再度抜き取ってください(図102)。

- 3. ドアハンドルから手を離し、もう1回引いて ドアを開いてください。
- 4. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、10秒以内にイグニッションをONにしてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

緊急ドア ロック

1 インフォメーション

緊急ロックをドアに使用する際は、必ずエンジンを停止してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除 してください。
- エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
 - ▷ 「エマージェンシー キーを使用する場合」 (111ページ)を参照してください。
- 2 運転席ドアを開いてください。
- 運転席ドアのドア ハンドルを持ち上げます (127ページの図102)。

ドア ロックにエマージェンシー キーを挿入し、進行方向と反対に90°回してエマージェンシー キーを再度抜き取ってください。 ハザード ライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。

4. ドア ハンドルから手を離し、ドアを閉じて ください。

運転席ドアがロックされます。

5. 助手席ドアの緊急ロックの場合、エマージェンシーキーを運転席ドアのドアロックに再び挿入し、進行方向と反対に90°回し、エマージェンシーキーを再び抜き取ります。

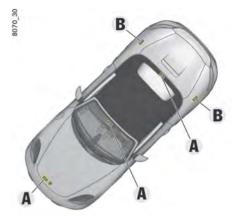
助手席ドアがロックされます。

i インフォメーション

セントラル ロッキング システムに異常があるときは、運転席ドアのドア ロックにエマージェンシー キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

- セントラルロッキングシステムの故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・エントリー&ドライブ



ポルシェ・エントリー & ドライブのアンテナの 取り付け位置

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやリヤ・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

▲ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室外アンテナAおよび車室内アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

か

あ

た

t

な

は

ま

や

b

わ

タイヤおよびホイール

タイヤの寿命は、タイヤ空気圧やシャシー設定 以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右 されます。

急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

▷ 「サーキット走行」(13ページ)を参照してください。

積載重量と速度

- ▶ 適切な速度で運転してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。
- ▷ 「重量 (メーカー発表値)」(267ページ) を 参昭してください。

タイヤ空気圧の点検

知識

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱 して目に見えない損傷が発生します。

- ► このような損傷が発生した場合は、空気圧を 調整しても正常な機能を回復できません。
- ▶ 一般道を走行するときは、タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しないでください。タイヤの温度が上昇すると、空気圧も上昇します。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。



図103: ドア シル (ドア開口部) のタイヤ空気圧プレート

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧は運転席側ドアシル (ドア開口部) にあるタイヤ空気圧プレート (図103)、および本書270ページの「テクニカルデータ」の章に記載されています。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき[20°C]を基準にしています。

- ▶ 少なくとも2週間に1回はタイヤの冷間時に タイヤ空気圧を点検してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(129 ページ)を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリング システムには次の 機能があります:

- タイヤ空気圧および温度を常時監視します。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧(実圧力)を 表示します。
- 空気圧の低下を2段階(黄色/赤色)で警告 します。
- 停車中に:規定空気圧との差を表示し、タイヤ種類およびレース サーキット モード (718 Cayman GT4のみ)を選択することができます。

▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

タイヤ空気圧が低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷を与えるばかりか、制動距離が長くなったり、事故を起こす 危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリング システムの有無にかかわらず、タイヤ空気圧を適切に維持し、タイヤ空気圧と気圧を高切に設定することは 運転者の責務です。

- ▶ 装着されているタイヤに合わせてタイヤ空 気圧を調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧」(270ページ) を参照してく ださい。
- ▼ マルチファンクション ディスプレイのタイヤ圧力 (TPM) メニューの設定が、車両に装着されているタイヤと一致していることを確認してください。
 - タイヤを交換したときは、タイヤ圧カメ ニューの設定を更新してください。
- ▶ タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく 装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズ が従来と同一であっても、マルチファンク ションディスプレイで改めて選択しなけれ ばなりません。

あ

か

さ

た

な

はま

や

b

わ

か

さ

な

た

は

ま

や

b

わ

A-Z

▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

- ▶ マルチファンクションディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。
- ▼ マルチファンクションディスプレイに赤色のタイヤ空気圧警告が表示された場合は、速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける 場合、そのタイヤでの運転を続けないでく ださい。ポルシェ正規販売店で点検を受け てください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 「パンク」(184ページ)を参照してください。

i インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。

突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、 急激な空気圧の低下は検出できず、警告しま せん。

タイヤ空気圧モニタリング システムの 故障

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメント パネルのタイヤ空気圧警告 灯 (!) が点灯し、マルチファンクション ディスプレイにメッセージが表示されます。

▶ 故障が継続する場合:ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の場合は監視が不完全になる場合があり ます:

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障 している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤの設定を更新した直後の登録プロセ ス中
- ホイールを交換した後、設定を更新しな かった場合
- タイヤの温度が高すぎる場合
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。
- ▷「警告灯および表示灯」(31ページ)を参照 してください。

タイヤ空気圧の確認

i インフォメーション

イグニッションをONにした後、車両の速度が約25km/hを超えたときのみタイヤ空気圧が「登録」されて表示されます。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-.-」を表示します。イグニッションをOFFにするか再度ONにした場合、または車両を約10分以上停止した場合、タイヤ空気圧は表示されなくなります。タイヤに0.1bar以上の空気を補充した場合、該当するタイヤ空気圧が更新されて表示されます。



図104:タイヤ空気圧表示

▶ タイヤ圧力メニューを選択します。

この空気圧表示は、情報としてのみ利用して ください。タイヤ空気圧は温度によって変化 します。

- ▶ いかなる場合も、この表示を元に公道走行 用タイヤ空気圧を調整しないでください。
- ▷ 「TPMメニュー「Race circuit」の選択(718 Cayman GT4のみ)」(132ページ)を参照し てください。

充填情報を見る



図105:圧力差の例

✔ 停車しているとき

▶ タイヤ圧力 ▶充填情報

該当するホイールの規定圧との差が表示され ます。

例:右リヤホイールの位置に「-0.1 bar」と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▶ タイヤ空気圧を補正するときは、充填情報 ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧 警告に表示される圧力差を必ず使用してく ださい。

タイヤをまだ登録していない場合、現在の圧 力差の代わりに、新しい規定空気圧が表示さ れます。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング システムの登録」(131ページ)を参照してください。

タイヤ種類の選択(装着タイヤの種類と サイズ)

i インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルタイプにより 異なります。このため本書で説明している選択 項目の中には、マルチファンクションディスプ レイで利用できないものが含まれることがあ ります。

▼ マルチファンクション ディスプレイに登録 されていないサイズのタイヤを装着すると きは、そのタイヤを装着する前に、マルチ ファンクション ディスプレイに不足情報を 追加する必要があります。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

✔ 停車しているとき

▶ タイヤ圧力 ▶タイヤ種類

選択できる設定と略語:

- 20"サマー: 20"(S)

- 20"ウィンター: 20"(W)

タイヤ圧力メイン メニューの**タイヤ種類**の行に選択された設定の略語が表示されます。

タイヤ空気圧速度警告

タイヤ空気圧が限度を下回ると、マルチファン クション ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▲ 警告

速度超過

タイヤ空気圧が低すぎる状態で制限速度を超過して走行するとタイヤおよびホイールの損傷につながります。

- ▶ 表示された最大速度まで車速を落としてく ださい。
- ▶ 高速走行するときは、タイヤ空気圧を規定 の空気圧まで充填してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

タイヤ空気圧モニタリング システムの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイールトランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤとその装着位置を認識します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。

登録中に冷間時のタイヤ (20°C) の規定圧力が 充填情報に表示され、メッセージがマルチファ ンクションディスプレイに表示されます。 すべてのタイヤの登録が完了するまで、インス

すべてのタイヤの登録が完了するまで、インス トルメント パネルのタイヤ空気圧警告灯 <mark>(!)</mark> が点灯したままになります。

▷ 「警告灯および表示灯」(31 ページ) を参照 してください。 あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

はま

ند

b

わ

 $\mathsf{A}\text{-}\mathsf{Z}$

TPMメニュー「Race circuit」の選択(718 Cayman GT4のみ)

レース サーキットを走行するために、ロード モード (公道走行モード) とは異なる空気圧を 設定し、その空気圧をモニタリングすることが できます。

レース サーキット モードは、公道での走行用 に設計されて**いません**。

経験を積んだドライバーが最適なハンドリング性を実現するため、このメニュー オプションから、サーキットに適したタイヤ空気圧にカスタマイズすることができます。

▲ 警告

タイヤ空気圧の不足

レース サーキット走行用にタイヤ空気圧を設 定した状態でタイヤ空気圧モニタリングを作 動させた場合も、ドライバーは責任を持って運 転してください。

▶ 規定空気圧は最高速度に合わせて調整して ください。

タイヤ空気圧警告が作動する警告限界値を 考慮してください。

警告限界値とタイヤ空気圧警告に関するイン フォメーション:

▷「タイヤ空気圧警告」(133ページ)を参照してください。

▶ タイヤ圧力 ▶サークル トラック

現在のタイヤ空気圧が表示されます。

レース サーキット用タイヤ空気圧の設定



図106:レース サーキット用タイヤ空気圧の適用例

i インフォメーション

各ホイールの任意のタイヤ空気圧は、1.8barを 下回ってはいけません。

- ▶ レース サーキット用に任意のタイヤ空気圧 を設定してください。
- ▶ タイヤ圧力 ▶サークル トラック ▶ 負荷をかける

i インフォメーション

タイヤ空気圧が最低空気圧を下回ると、最低目標圧力 1.8 bar に留意してくださいというメッセージが表示され、新しい空気圧の設定は適用されません。この場合、規定タイヤ空気圧を再度設定する必要があります。

マルチファンクションディスプレイに**新しい 設定負荷**というメッセージが表示された場合のみ、新しいタイヤ空気圧の設定が正常に適用されます。

レース サーキット モードが作動している場合、マルチファンクションディスプレイに **少**が常時表示されます。

ロードモード (公道走行モード) へ復帰する

ロード モードを復帰させるには、**2つ**のオプションがあります。

オプション 1:イグニッションを OFF にしない 場合

▶ タイヤ圧力 ▶サークル トラック ▶不可

最初にイグニッションをOFFにしないでレース サーキット モードからロード モードへ変更し た場合、前回のタイヤ選択が継続してモニタリ ングされます。

▶ タイヤ空気圧を補正するときは、**タイヤ空 気圧**メインメニューの**充填情報**ディスプレ イに表示される空気圧の差、または該当す るタイヤ空気圧警告を使用してください。

オプション2: イグニッションを OFF にした場合 イグニッションを長時間 OFF にした状態で レース サーキット モードが作動している場 合、イグニッションを ON にすると、マルチファ ンクション ディスプレイにサークル トラック (図106) が次のプロンプト (選択) と共に表示 されます: いいえ/はい/新しい負荷

- いいえ:いいえを選択し、タイヤ種類メニューを選択すると、規定タイヤ空気圧の設定はロードモードに復帰します。

ロード モードに復帰すると、タイヤ空気圧 モニタリング システムは各ホイールを再学 習します。その間**充填情報**メニューに冷間 時 (20°C) の規定空気圧が表示されます。

- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング システムの 登録!(131ページ)を参照してください。
- ▶タイヤ空気圧モニタリング システムの登録が終了したら、充填情報メニューですべてのタイヤの空気圧を点検してください。
- ▶必要に応じて、タイヤ空気圧を規定空気圧 (空気圧の差0.0) に調整してください。
- はい

はいを選択すると、モニタリング用にレースサーキットを走行するために設定したタイヤ空気圧が維持されます。

- 新しい負荷:

新しい負荷を選択すると、モニタリング用に レース サーキットを走行するための新しい タイヤ空気圧を設定することができます。

i インフォメーション

車両を発進する前に選択を行わなかった場合、システムは自動的にロードモードに切り替え、マルチファンクションディスプレイにメッセージ**タイヤを交換しましたか?設定を更新**が表示されます。

▶ 次回車両が停止したときにマルチファンク ションディスプレイの設定を更新してくだ さい。

タイヤ空気圧警告

インストルメント パネルのタイヤ空気圧警告 灯 (1)、およびマルチファンクションディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階(黄色/赤色)で異常を知らせます。

i インフォメーション

レース サーキット モード (718 Cayman GT4 のみ):

- 現在のタイヤ空気圧が1.6barを下回ると(温度低下などで)、赤色の警告が出されます。 現在のタイヤ空気圧が1.6barを上回ると (温度上昇などで)、すぐに赤色の警告は消えます。
- 空気圧が警告限界値を下回った場合でも、 タイヤが規定空気圧に再充填される(空気 圧の差 0.0)、または新しい規定空気圧がサー キットメニューで設定されると警告は消え ます。
- ▶ タイヤを規定空気圧に充填する(空気圧の差 0.0)前に、必ず損傷がないかを点検してく ださい。

i インフォメーション

タイヤ空気圧を規定空気圧に調整した場合の み、タイヤ空気圧警告灯が消灯します。

車両を停止してイグニッションをOFFにする、または再びイグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告が約10秒間表示されます。イグニッションをONにすると黄色のタイヤ空気圧警告を確認できます。

赤色の空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

タイヤ空気の充填

▲ 注意

高温充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの 充填ホースが高温になり、やけどの原因となり ます。

▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロント ラゲッジ コンパー トメント内のカバーの下にあります。

- ▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(246ページ)を参照してください。
- ▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってください。
- 充填ホースをタイヤ バルブにねじ込んでく ださい。
- 2 コンプレッサーを車両のソケットに接続 し、コンプレッサーをONにしてください。 タイヤに空気が充填されます。
- 3 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要であれば調整してください。もう1回タイヤ空気圧を点検してください。
- 4. コンプレッサーをOFFにしてください。
- 5. コンプレッサーの充填ホースをタイヤ バル ブから取り外してください。

1 インフォメーション

また、ガソリン スタンドでもタイヤ空気圧の点 検、およびタイヤに空気の充填ができます。

タイヤ空気圧を下げる

- 1. コンプレッサーをOFFにしてください。
- 2 充填ホースのエア抜きスクリューを規定の タイヤ空気圧になるまで開いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

か

さ

た

な

は

=

,

わ

A-Z

タイヤ表記の読み取り



図107:タイヤ表記

- A タイヤ幅 (mm) B 偏平率 (%)
- B 1佣十年 (%)
- C タイヤ構造記号 D リム径 (インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号Fは、そのタイヤの許容最高速度を示します。

- **H** 210km/hまで **V** 240km/hまで
- **W** 270km/hまで **Y** 300km/hまで
- (Y) 300km/hまで(Y記号タイヤの場合)タイヤのロードインデックス(最大積載容量)の85%までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することが可能です(300km/h以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

ホイール表記の読み取り

ホイールの情報は、タイヤ バルブの近くのホ イール スポーク裏面に刻印されています。



図108: ホイール表記

- A リム幅(インチ)
- B リムフランジ形状記号
- C ドロップセンター リム記号
- D リム径 (インチ)
- E ダブル ハンプ
- F リムオフセット (mm)

タイヤ損傷の点検

▲ 警告

見えないタイヤ損傷と リム フランジの損傷

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤ がバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態(側面も含めて)を 点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀 裂、側面の膨れなどがないか確認してくだ さい。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体(石など)に強くぶつかったり乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき(特に内側)は、専門家による点検を受けてください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

► いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全 のためにタイヤを交換してください:

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性 があるとき
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷 箇所がある場合など、それらが原因でタイ ヤが過熱したり、異常な負荷がかかったり した可能性があるとき

タイヤとホイールの交換

► ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

▲ 警告

グリップしない

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮で きません。

- ▶ 最初の200kmは、控えめな速度で走行して 新しいタイヤを慣らしてください。これに よりタイヤ寿命を伸ばし性能を最大限に引 き出すことができます。
- ▶ 4 輪に装着するタイヤは必ず同一メーカー の同一スペック番号(NO...など)に統一し てください。
- ▶ 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- ▶ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30%を超えないようにしてください。
- ► 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▶ トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▶ タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。 十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用 装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転を してください。

1 インフォメーション

新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング (TPM) のタイヤ空気圧センサーを取り付けなければなりません。

- ▶ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。適正ホイールとTPMに関する情報:ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▶ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

i インフォメーション

フロントまたはリヤ タイヤのみを交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤタイヤを交換した場合に顕著になります。この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

► ハンドリング特性の変化に合わせた運転を してください。

バルブおよびバルブ キャップ の点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブ キャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ► バルブ インサートの汚れを防ぐため、必ず バルブ キャップをしっかりと閉めてくださ い。バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少 の原因となります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブ キャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブ キャップのみを使用してください。

ウィンター タイヤを使用する

▲ 警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト (破裂) する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ タイヤの側面に「M+S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないウィンタータイヤを装着できます。オールシーズンおよびオールラウンドタイヤも速度制限の対象となり、これが表示されています。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ► マルチファンクションディスプレイで最高 許容速度を制限速度として設定する:
- ▷ 「制限速度の設定」(224ページ) を参照して ください。
- 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインタータイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。
- 新しいタイヤを取り付ける前に、最新の認可事情についてポルシェ正規販売店にお尋ねください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

i インフォメーション

このようなタイヤを気温が低い時に使用し続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が7°Cを下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェ社では気温が7°Cを下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨しています。更に外気温度が極端に低くなると(−15°C以下)、サマータイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインター タイヤは、トレッド溝の深さが 4mm以下になると性能が低下します。

スノーチェーンを使用する

スノー チェーンはリヤ タイヤにのみ装着して ください。また「テクニカル データ」の章の リストを参照して、スノー チェーンの装着に 適したタイヤ/ホイールを使用しなければなり ません。

- ▶ スノー チェーンとホイール ハウジングのク リアランスを十分に確保するため、ポル シェ社が承認したスノー チェーンのみを使 用してください。
- ▷ 認定スノーチェーンに関する情報: 「タイヤとホイール」(269ページ)を参照してください。
- スノーチェーンを装着する前に、ホイール ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を 取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってく ださい。

タイヤトレッドの点検

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。
- ▶ 多くのタイヤはトレッド中央分にウェアインジケーターを備えています。ウェアインジケーターは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の1.6mmになると現れます。 安全のため、ウェアインジケーターが現れ

安全のため、ウェアイノングーターか扱れる前にタイヤを交換してください。ウインタータイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

トレッド溝の深さの測定

▶ 市販のトレッド溝ゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入し、タイヤトレッドの深さを測定してください。

i インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合 が考えられます:

► ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの保管

- ► タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15 °C以下の場所にサマータイヤを保管したり、またはサマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。
- ▶ 製造から 6 年以上が経過したタイヤは使用 しないでください。

年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかりま

す。例えば、最後の4つの数字が3018の場合、タイヤは2018年の30番目の週に製造されたことを示します。

ホイールのバランス調整

安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマータイヤは春に、M+S 付きのタイヤは冬に入る前にホイール バランスの調整を受けてください。

トポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ交換

▲ 警告

車両の下に入っての 作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ジャッキアップしてタイヤを交換する前に、 すべての乗員を降ろしてください。
- 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面(上り坂や下り坂など)や道路 脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ アップしないでください。
- ▶ ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
- やむを得ず車体の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。ジャッキで車体を支えるのは危険ですのでおやめください。

i インフォメーション

ホイール交換に必要な工具(ジャッキ、ホイール ボルト レンチ、組み付け補助工具など)は 車両に標準装備されておりません。

必要となる工具に関する情報:ポルシェ正規販 売店にご相談ください。

i インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイール サイズは異なります。

ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転 方向や取り付け位置をマーキングしておき、取 り付け時はこれを目印にしてください。

▶ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/ タイヤを必ず使用してください。

ホイール取り付け面のお手入れ

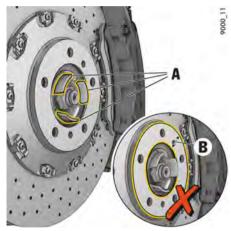


図109:ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキ ディスクのホイール取り付け面Bおよびホイール本体の取り付け面に油脂類を塗布しないでください。
- ► A部分のみに油脂類を塗布できます。この部分にはOptimoly® TAグリースを薄く塗布してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

他の油脂類は使用しないでください。

ホイール ボルトのお手入れ

- ▶ ホイール ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
- ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ► 損傷したホイール ボルトは交換してください。この車両専用のポルシェ純正ホイールボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイールボルトは160Nmの締め付けトルクで締め付けてください。

盗難防止ホイール ボルトの使用



図110:盗難防止ホイール ボルト アダプター

盗難防止ホイール ボルト用アダプターは、工 具セットに収納されています。

- ▶ 盗難防止ホイールボルトを脱着するときは、 このアダプターをホイールボルトとホイー ルボルトレンチの間に入れて使用してく ださい。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイールボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイールの交換

車両の準備

1. マニュアル トランスミッション装備車:1速 ギア

または

PDK装備車:セレクターレバーを**P**位置に入れてください。

- エレクトリック パーキング ブレーキを作動させてください。
- 3. キーを抜き取ってください。

あ

か

さ

な

t=

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

4. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めを するなどして、車両が不意に動き出さない ようにしてください。

- 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
- **6.** 車両のリフト アップは必ず所定のジャッキアップ ポイントで行ってください。
 - ▷「ジャッキおよびリフティング プラットフォーム」(110ページ)を参照してください。
- 7. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮か せてください。

タイヤ交換

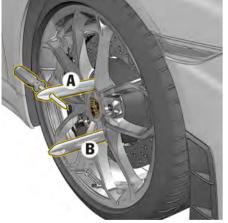


図111:組み付け補助工具

1. PCCB非装備車:ホイール ボルトAを取り外 してください(図111)。

または

PCCB装備車:ホイールボルトAおよびBを取り外してください(図111)。

2 取り外したホイール ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具(図111)をねじ込んでください。

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

- ► タイヤを交換する場合は、組み付け補助工具 を取り付けてください。
- 3. 残りのホイール ボルトを取り外してくだ さい。
- **4.** 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。
 - ▷ 「ホイール取り付け面のお手入れ」(137 ページ)を参照してください。
 - ▷ 「ホイール ボルトのお手入れ」(137ページ)を参照してください。
- 5. ホイール ボルトを挿入し、対角線方向の順 に少しだけ締め付けてください。
- 6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイールボルトを仮締めしてください。 すべてのホイールボルトを対角線方向の順に少しだけ締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
- 7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してく ださい。
 - ▷ 「タイヤ空気圧」(270ページ)を参照してください。
- 8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外 してください。
- 9. ホイール ボルトを対角線方向の順に完全に 締め付けてください。

ホイール ボルトを締め付けたら、直ちにトルク レンチを使用してホイール ボルトを 160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。

i インフォメーション

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングシステム(TPM)の設定をマルチファンクションディスプレイで更新する必要があります。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(129 ページ) を参照してください。

チャイルドシート

▲ 危険

チャイルド シート装置の誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。 車種に適さないチャイルドシートを使用した 場合、またはチャイルドシートを車両に正し く取り付けていない場合は、事故の際に保護効 果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ フル バケット シートではチャイルド シートを使用しないでください。
 - ▷ 「チャイルド シートの各種シートへの取り 付け」(145ページ)を参照してください。
- ► チャイルドシートは道路交通法に従って使用してください。
- ▶ ポルシェ社が推奨するチャイルドシートの みを使用してください。

ポルシェ社推奨のチャイルドシートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。

推奨外のチャイルドシートはテストされて おらず、万一のときに負傷する危険性が高 まります。

▶ チャイルド シートを助手席で使用する前に、 必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。 ポルシェ社はポルシェ テクイップメントのチャイルドシートを使用することを推奨します。 取り付け方法に関する情報は以下を参照:

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
- ▷「チャイルド シートの使用(シートベルト による固定)」(141ページ)を参照してく ださい。
- ▷ 「推奨するチャイルドシートの使用 (ISOFIX システムによる固定)」(143ページ)を参照 してください。

▲ 危険

チャイルド シートの 助手席での使用

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ チャイルド シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートが確実に接するように助手席のシートバックレストの角度を調節してください。
- ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF 助手席エア バッグOFF警告灯」(145ページ) を参照して ください。
- ▶ チャイルドシートを取り付けるときは、常にシート ヒーターのスイッチをOFFにしてください。





図112:サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

▶ 決してエアバッグの警告ステッカー A を剥がしたり、表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

BÖMER DUO

ECE R44/04

Universal

E1

0431133

あ

か

さ

た

な

は

ま

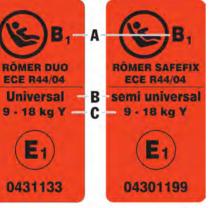
や

b

わ

A-Z

チャイルドシートの体重グ ループによる分類



SF1-529

図113: チャイルド シートのECEラベルの例

- Α サイズ分類
- B 「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ ユニバーサル) | マーク
- C 体重グループ

グループ 0 および 0+ のお子様:

13kgまで

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座 **するタイプ**のチャイルド シートを必ず使用し てください。

グループIのお子様:

9~18ka

この体重グループのお子様は、前向きに着座す るタイプのチャイルド シートを必ず使用して ください。

グループ || のお子楼:

15~25kg

この体重グループのお子様は、前向きに着座す るタイプのチャイルド シートを必ず使用して ください。

グループⅢのお子様:

22~36kg

この体重グループのお子様は、前向きに着座す **るタイプ**のチャイルド シートを必ず使用して ください。

チャイルドシートの使用(シートベルトによる固定)

推奨するチャイルド シート (シート ベルトによる固定)

▷ 「チャイルド シートの使用(シートベルトによる固定)」(142ページ)を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
グループ0および 0+: 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ ベビー シート GO+	E1 04301146	955.044.805.84	後ろ向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。
グループI: 9~18kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ ア シートISOFIX G1	E1 04301199	955.044.806.09	前向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII: 15~25kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ ア プラスG2+G3	E1 04301169	955.044.806.19	前向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。
グループIII: 22~36kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ ア プラスG2+G3	E1 04301169	955.044.806.19	前向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。

'n

チャイルド シート チャイルド シートの使用 (シートベルトによる固定) 下表は、ECE-R16規格を遵守し、シートベルトで固定して使用できるチャイルドシートの概要です。 あ 「汎用(ユニバーサル)」/「準汎用(セミュニバーサル)」のマークは、チャイルドシートのECEラベル(オレンジ色)に表示されています(図113)。 チャイルドシートの助手席での使用¹⁾²⁾ 体重グループ か U/L グループ0: 10kgまで U/L グループ0+: さ 13kgまで U/L グループ!: 9~18ka U/Iグループ!!: 15~25kg U/L グループ!!!: な 22~36kg は 1) 助手席エアバッグを OFF にしてください。141ページの助手席へのチャイルド シート取り付けに 関する注意事項を参照してください。 2) 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 ま U:この体重グループに属する「汎用(ユニバーサル)」のチャイルドシートの取り付けに適しています。 L:に記載されている特定のチャイルドシートの取り付けに適しています。141ページ

P

b

A-Z

わ

推奨するチャイルドシートの使用(ISOFIXシステムによる固定)

推奨するチャイルド シート (ISOFIXシステムによる固定)

「チャイルドシートの使用(ISOFIXシステムによる固定)」(144ページ)を参照してください。

体重グループ	メーカー	形状	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
グループ0および 0+: 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ ベビー シート GO+ 使用部品: ISOFIXベース	E1 04301146	955.044.805.84 使用部品: 955.044.805.97	- 後ろ向きに取り付けること。 - 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 - 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループI: 9~18kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ ア シートISOFIX G1	E1 04301199	955.044.806.09	前向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII: 15~25kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ ア プラスISOFIT G2+G3	E1 04301198	955.044.806.18	前向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。
グループIII: 22~36kg	Britax-Römer	ポルシェ ジュニ ア プラスISOFIT G2+G3	E1 04301198	955.044.806.18	前向きに取り付けること。助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。助手席エアバッグをOFFにすること。

か

11

チャイルドシートの使用(ISOFIXシステムによる固定)

下表は、ECE-R16規格に従ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルドシートの概要です。

「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミ ユニバーサル)」のマークは、チャイルド シートのECEラベル (オレンジ色) に表示されています (図113)。

体重グループ	サイズ分類	固定具	助手席シートのISOFIXリテーニング ラグ ^{1) 2) 3)}
ベビーシート	F	ISO/L1	X
(左向きまたは右向きチャ イルド シート)	G	ISO/L2	X
グループ0 :10kgまで	E	ISO/R1	IL/SU
グループ0+: 13kgまで	Е	ISO/R1	IL/SU
ū	D	ISO/R2	IL/SU
	С	ISO/R3	X
グループI:9~18kg	D	ISO/R2	IL/SU
-	С	ISO/R3	X
	В	ISO/F2	IL/SU
	B1	ISO/F2X	IL/SU
	А	ISO/F3	IL/SU
グループII:15~25kg			IL/SU
グループIII:22~36 kg			IL/SU

- 1) 助手席エアバッグをOFFにすること。143ページの助手席へのチャイルドシート取り付けに関する注意事項を参照してください。
- 2) 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。
- 3) **助手席シート**に ISOFIX 用のリテーニング ラグが装備されている場合、「準汎用 (セミ ユニバーサル)」のチャイルド シートが取り付けに適しています。チャイルド シートに付属の車両リストおよびポルシェ社が推奨するチャイルド シート (143ページ) を参照してください。
- X: このサイズ分類のチャイルド シートには適していません。
- SU:シートは「準汎用(セミユニバーサル)」ISOFIXシステム認証のチャイルドシートの取り付けに適しています。 チャイルドシートに付属の車両リストを参照してください。
- IL: 143ページに記載されている特定のISOFIXチャイルドシートに適しています。

わ

A-Z

144

チャイルドシートの取り付け

チャイルド シートの各種シートへの取り付け



図114:フルバケットシート

フル バケット シート (図114) ではチャイルドシートを使用しないでください。

その他の種類のシートでは、推奨するチャイルドシートが使用できます。

- ▷ 「シート」(105ページ)を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルド シート (シート ベルトによる固定)」(141ページ)を参照してください。
- ▷「推奨するチャイルドシート(ISOFIXシステムによる固定)」(143ページ)を参照してください。

ベビー キャリア

サイズ分類FおよびGの左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート(ベビーキャリアなど)は、いかなるシートにも使用できません。

▷「チャイルドシートの使用(ISOFIXシステムによる固定)」(144ページ)を参照してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のチャイルドシート(ポルシェベビーシートISOFIX GO+など)を使用することを推奨いたします。

- ▷ 「推奨するチャイルド シート (シート ベルトによる固定)」(141ページ)を参照してください。
- ▷ 「推奨するチャイルドシート(ISOFIXシステムによる固定)」(143ページ)を参照してください。

助手席エアバッグのON/OFF – 助手席エア バッグOFF警告灯



図115:助手席エアバッグのON/OFF

- 1. イグニッションをOFFにしてください。
- 2 グローブ ボックスを開いてください。

- エマージェンシー キーをキーから取り外してください。
 - ▷ 「エマージェンシー キーを使用する場合」 (111ページ)を参照してください。

知識

助手席エアバッグ スイッチまたはエアバッグ システムが損傷することがあります。

- ► エマージェンシー キーは、キー スイッチに 入るところまで差し込んでから回してくだ さい。大きな力をかけずにキー スイッチを 回してください。
- ▶ 助手席エアバッグは、イグニッションがOFF のときにのみ、ONまたはOFFに切り替えてく ださい。
- 4. エマージェンシー キーは、キー スイッチに入るところまで差し込んでください。 エマージェンシー キーの歯がキー スイッチ内に約3/4まで挿入されます。
- エマージェンシー キーに大きな力をかけず に回し、助手席エアバッグをOFF (解除) ま たはON (作動) にしてください。

助手席エアバッグOFF警告灯が点灯します。

▲ 危険

助手席エアバッグの不 意の作動により重傷ま たは致命傷を負う危険

キー スイッチにエマージェンシー キーを挿入 したまま走行すると、振動によりエマージェンシー キーが不意に回転してエアバッグが作動する恐れがあります。

- エマージェンシー キーを助手席エアバッグ スイッチに挿入したまま走行しないでくだ さい。
- エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ってください。
- 7. グローブ ボックスを閉じてください。

あ

か

さ

た

な

は

や

ま

'n

わ

か

さ

た

な

は

ŧ

や

'n

わ

A-Z

▲ 危険

助手席エアバッグを OFFにする

助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助 手席エアバッグを再びONにしてください。

1 インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにするキースイッチ、助手席エアバッグOFF警告灯および助手席のISOFIXアタッチメントブラケットは、特定の装備仕様にのみ取り付けられています。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください(フルバケットシート装備車には取り付けができません)。このシステムを取り付けた場合、助手席シートバックレストの調節範囲が制限されます。

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席側(シート2)エアバッグをOFFにした場合、イグニッションをONにしたとき、またはエンジン作動中にオーバーヘッドコンソールの助手席エアバッグOFF警告灯が常時点灯します。



図116:助手席エアバッグOFF警告灯

▲ 危険

助手席エアバッグの故 障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに**助手席エアバッグOFF**警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルド シートを取り付けないでください。
- ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ISOFIXチャイルドシートの取り付け



図117:助手席シートのISOFIXアタッチメント ブラケット

- ▷ 「推奨するチャイルドシート (ISOFIXシステムによる固定)」(143ページ)を参照してください。
- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

ISOFIXチャイルドシートを固定するリテーニングラグAの位置を示すマークは、助手席のシート面にあります(装備によって異なります)。

- エマージェンシー キーを使用して、助手席 エアバッグをOFFにしてください。 オーバーヘッド コンソールの 助手席エア バッグOFF警告灯が点灯します。
 - ▷ 「助手席エアバッグのON/OFF 助手席エ アバッグOFF警告灯」(145ページ)を参 照してください。



図118: ISOFIXシステム付きチャイルド シートの取り 付け

- 2 チャイルド シートを付属の説明書に従って リテーニング ラグAに固定してください。
- 3 チャイルドシートを引っ張って、両側のリテーニングラグに確実に固定されているか点検してください。

か

さ

な

た

は

ま

や

ら

わ

A-Z

テストスタンドでの測定

▲ 警告

有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす恐れがあり ます。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

► エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車するか、または 換気の良い場所で行ってください。

▲ 警告

不十分な車両の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティング プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷を受ける場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水 平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下回りにある規定の ジャッキアップポイント(図75、図76)で 持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強 固なサポート スタンドで車体を支えてくだ さい。
- ▶ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両が落下する恐れがあります。

テスト スタンド測定の実施

パフォーマンステスト

ポルシェ社ではローラー タイプ テスト スタン ドでのパフォーマンス テストを承認していま せん。

ブレーキ テストの実施

▶ ブレーキテストには、ローラータイプテストスタンドのみを使用してください。

以下の制限値を超えないでください。

- 測定速度: 7.5km/h以下
- 測定時間:20秒以内

エレクトリック パーキング ブレーキのテ スト

▶ ブレーキ テスト スタンドでエレクトリック パーキング ブレーキのテストを行うときは、必ずイグニッションをONにし、マニュアルトランスミッション車ではギヤシフトレ バーをニュートラルに、Porsche Doppelkupplung (PDK) 装備車はセレクターレバーをNの位置にします。

車両が自動的にブレーキ テスト モードに切り 替わり、エレクトリック パーキング ブレーキ のテストが可能になります。マルチファンク ション ディスプレイにメッセージが表示され ます。

デバイスマネージャー

デバイス マネージャーを開く



図119:デバイスマネージャーを開く

▶ フッターの a または 2 を選択してください (接続状態により異なる)。

または

PHONE ボタント OPT ボタントデバ イスマネージャーを選択してください。

以下の接続は、デバイス マネージャーを使用 して集中管理できます:

- **電話**:PCMを携帯電話にBluetooth[®]で接続してください。
 - ▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する(携帯電話の準備)」(152ページ)を参照してください。
 - ▷ 「別の携帯電話を接続して使用する」 (153ページ)を参照してください。
- Bluetooth オーディオ: PCMを外部Bluetooth® メディア ソースに接続してください。
 - ▷「外部機器を Bluetooth® 経由で接続する」 (215ページ) を参照してください。

- データ接続設定:外部SIMカード経由でデータ接続を確立します。
 - ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。
- **ホットスポット**: PCMのワイヤレス イン ターネット アクセスを利用する
 - ▷ 「WiFi ホットスポット(ワイヤレスインターネットアクセス)の起動」(122ページ)を参照してください。
- **ポルシェコネクトアプリ**: アプリを PCM に WiFi 経由で接続します。
 - ▷ 「ポルシェ コネクトアプリ」(207ページ) を参照してください。
- スマートフォンリンク: Apple CarPlayを使用してください。
 - ▷ 「Apple CarPlay」(261ページ)を参照してください。

接続ステータスの表示

▷ 「接続ステータスの表示」(153ページ) を参 照してください。

i インフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

な

A-Z

雷気ソケット

12Vソケットの使用

12Vプラグ ソケットには、12V仕様の電装品(ア クヤサリー)を接続できます。

12Vプラグ ソケットは助手席側の足元にあり ます。

充電アダプターの接続

i インフォメーション

- 12 V ソケットおよび接続している電装品 (アクセサリー)は、イグニッションが OFF のときでも、キーを抜いた状態でも使用で きます。

エンジンを停止したままアクセサリーを使 用すると、バッテリートがりの原因になり ます。車両のバッテリーを保護するため、30 分後に電源の供給が遮断されます。電装品 への電源供給を再開するには、イグニッ ションをONにしてください。

- 雷装品が1つだけ作動している場合、12Vプ ラグソケットまたはシガー ライターの最大 電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使 用する場合は、12Vプラグ ソケットまたは シガー ライター 1つ当たりの電流値が10A を超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、 電波干渉や車両電装品の故障の原因となる ことがあります。

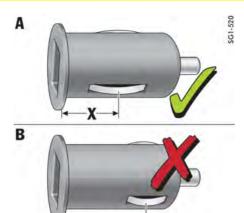


図120:12Vプラグ ソケットおよびシガー ライター用 の充電アダプター

- Δ 使用可能な充電アダプター
- R 使用できない充電アダプター

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター (A) のみを使用してく ださい:
 - グラウンド端子部から充電アダプター上端 までの寸法 X は約 16 mm 未満である必要が あります。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプタート端 までの(B) 寸法X が16mm以上の不適切な充 電アダプター を使用すると、12Vプラグソ ケットが損傷することがあります。

電話

概要

この概要説明は「電話」の章に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション: ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ)を参照してください。



P170_14 **B** 図121:電話番号を入力する



図122:電話番号を入力する(キーパッド)

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
携帯電話をBluetooth®で接続する(携帯電話の 準備)	▶ PHONE ボタン ▶電話を接続 ▶新しい電話を検索	152
接続された2つの携帯電話を切り替える	▶ ヘッドラインの	153
データ接続を確立する(接続)	▶ ポルシェ専用SIMカード経由でデータ接続を確立します。	120
番号をダイヤルする	 ▶ PHONE ボタン ▶ キーパッド ## (Bを参照) ▶ 数値フィールド Dを使用して番号を入力 ▶ を選択してください (Cを参照)。 	153
着信に応答する/拒否する	▶ 【 応答 または <mark>━ キャンセル</mark> を選択してください。	154
通話を終了する	▶ フッターまたは電話メニューの を選択してください。	154
電話会議を開始する	▶ PHONE ボタン ▶番号をダイヤル ▶キーパッド # ▶ 他の参加者の番号をダイヤル ▶	155
ポイスメールを聞く	▶ PHONE ボタン ▶キーパッド ## ▶1 を長押ししてください。	154
通話履歴を表示する	▶ PHONE ボタン ▶ 通話履歴	155
メッセージを表示する	▶ PHONE ボタン▶メッセージ ☑ [Gを参照] ▶SMSまたはEメール ▶フォルダーを 選択してください。	156
連絡先を表示する	▶ PHONE ボタン ▶連絡先 (H を参照) を選択してください。	155

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

▲ 警告

事故を起こす恐れがあ ります

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

▲ 警告

怪我をする恐れがあり ます。

ガソリン スタンド、燃料貯蔵所、化学工場、およびの爆破作業の近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は車両の装備品と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱 説明書に従ってください。

i インフォメーション

適合する携帯電話の一覧はウェブサイト (www.porsche.com) から入手することができます。

携帯電話をBluetooth®で接続する(携帯電話の準備)

新しい携帯電話を接続する

- ✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の 機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする
 - ▷「PCMのBluetooth®機能を有効にする」 (152ページ)を参照してください。

 PHONE ボタン ▶電話を接続 または

- 2 新しい電話を検索を選択し、機器リストから携帯電話を選択してください。 6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
- **3.** PCMと携帯電話に表示されたBluetooth® コードを比較してください。
- 4. PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致 する場合、承認します。 電話の接続に成功すると、数字入力 (メ ニューキーパッド ■ が PCM に表示され ます。

i インフォメーション

Windows®およびiOSオペレーティングシステムを搭載した携帯電話については、携帯電話から接続を開始することをお勧めします。

- ▶ 携帯電話のBluetooth®メニューから利用可能な機器を検索してください。PHONE ボタンを押してPCMを探索可能な状態にしてください。接続操作の際は、ディスプレイに電話を接続が表示されている必要があります。
- ▶ 利用可能な機器リストから PCM を選択して ください。 PCM の Bluetooth® デバイス名を 表示させるには、 PHONE ボタン ▶

□PT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶ Bluetooth ▶ **名前**: を選択します。

▷ 「Bluetooth®機能とデバイスを管理する」 (157ページ)を参照してください。

PCMのBluetooth®機能を有効にする

- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定
- 2 Bluetooth ►Bluetooth を ON を選択して、PCMの Bluetooth® 機能を有効にしてください。

i インフォメーション

Bluetooth®接続の場合、ハンズフリー プロファイル (HFP) を介して、携帯電話をPCMに接続することができます。

ハンズフリープロファイルを使用すると、PCM は接続された携帯電話のBluetooth®ハンズフリーユニットとして機能し、携帯電話によっては電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。そのため、車両を停車した後に現在の通話を携帯電話に転送し、車両の外でも通話を継続することができます。

▷ Bluetooth®のプロファイルに関する詳細な 情報は、携帯電話の取扱説明書を参照して ください。

登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話のBluetooth®機能を有効にし、他の 機器から探索可能な状態にする
- ✓ PCMのBluetooth®機能を有効にする
 - ▷ 「PCMのBluetooth®機能を有効にする」 (152ページ)を参照してください。
- ✓ これまでに PCM と接続したことのある携帯 雷話
- 1. フッターの 2 または m を選択してくだ さい (接続状態により異なる)。 または

PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶デバ イスマネージャー

- 2 電話1を選択してください。 登録されている携帯電話のリストが最大 20件表示されます。
- 3. リストから携帯電話を選択してください。 携帯電話がBluetooth®経由で接続されます。

別の携帯電話を接続して使用する

✓ 携帯電話がPCMに既に接続されている

フッターの または を選択してください (接続状態により異なる)。
 または

PHONE ボタン ► OPT ボタン ► デバイスマネージャー

- 2 電話2を選択してください。
- 3. リストから携帯電話を選択するか、新しい 携帯電話を接続してください。
 - ▷ 「新しい携帯電話を接続する」(152ページ)を参照してください。

接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話でのみ行うことができます。

Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示

- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶ Bluetooth ▶ Bluetooth デバイス
- 2 リストから携帯電話を選択してください。
- 3 登録された Bluetooth® デバイスのリストから任意の携帯電話を削除するには、**削除**を選択してください。 または

Bluetooth® デバイスの情報を見るには、**詳** 細を選択してください。

Bluetooth®アドレス、接続ステータス、および利用可能なBluetooth®プロファイルが表示されます。

または

Bluetooth[®] デバイスと PCM 間の接続を確立 する、または切断するには、接続を確立す る / 切断を選択します。

i インフォメーション

開始後、PCMは前のデバイス設定を自動的に復元します。デバイスが車内にない場合は、システムが他の認識済みデバイスを探索します。

電話をかけるには PCM を使用 してください

アジア諸国では、データ接続を確立する際にの み外部 SIM カードを使用します。

データ接続に関するインフォメーション:

▷ 「接続」(120ページ) を参照してください。

接続ステータスの表示

以下のアイコンがフッターに表示されます (接続状態により異なる)。

シンボル 意味

- 電話が接続されていません。
- データ接続は使用できません(考えられる原因:接続が確立されていない、ネットワーク通信接続不良、または音声接続中のデータ接続中断)。
- LTE 携帯電話ネットワーク経由など、 外部 SIM カードのデータ接続が確立 されています。
- UMTS/HSPA携帯電話ネットワーク (3G)経由でデータ接続が確立されています。
- EDGE携帯電話ネットワーク (GSM) 経由でデータ接続が確立されています。
- 電話機能用の携帯電話ネットワーク 受信強度を示しています。

デバイス マネージャーを開く

▷「デバイス マネージャー」(149ページ) を 参照してください。

電話番号をダイヤルする

電話番号を入力する(キーパッド)

- 1. PHONE ボタン ▶キーパッド III
- 2 数字フィールドから番号を入力してください。

電話番号が既知の場合は、選択が提示されます(vCardが表示されます)。

3. 📞 を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

3

な

は

#

や

i,

わ

A-Z

~*,*

I インフォメーション DTMF(デュアルトーンマ

DTMF (デュアル トーン マルチ周波数) トーン および付加サービス (*及び#キーによるコード サービス) に対応しています。

リダイヤル機能を開く

- 1. PHONE ボタン ▶キーパッド III
- 2 **と** を選択し、キーパッドで前回ダイヤル した電話番号を表示させてください。
- 3. 📞 を選択してください。

i インフォメーション

リダイヤルのメモリーはイグニッションをOFF にすると消去されます。

通話履歴から番号をダイヤルする

- ▷ 「通話履歴を表示する」(155ページ) を参照 してください。
- 1. PHONE ボタン ▶通話履歴 🤘
- 2 希望の通話履歴を選択し、項目を選択して ください。
- 3. くを選択してください。

連絡先から番号をダイヤルする

- ▷ 「連絡先を使用する」(155ページ)を参照してください。
- PHONE ボタン ▶連絡先
- 2 希望の連絡先を検索し、選択してください。
- 3. 希望の電話番号をダイヤルしてください。
- 4. 📞 を選択してください。

ボイスメールを聞く

- 1. PHONE ボタン ▶**キーパッド !!!**
- 2 ボイスメールを聞くには、1... を押し続けてください。

i インフォメーション

この機能を最初に使用するときは、ボイスメール番号の入力プロンプトが1回表示されます。

▷ 「電話設定の変更」(157ページ)を参照して ください。

着信に応答する/通話を終了する

着信に応答する/拒否する

✓ 着信が入ったとき

▶ 【 応答を選択してください。 または

携帯電話の通話ボタンを押してください。 **または**

ステアリング ホイールの通話ボタンを押 してください。

▶ 着信を拒否するには、 **担否**を押してく ださい。

または

携帯電話の終話ボタンを押してください。 **または**

ステアリング ホイールの終話ボタンを押 してください。

1 インフォメーション

携帯電話で「ミュート」または「会議」プロファイルを設定している場合、一部のデバイスでは、着信があった場合にもPCMの呼び出し音が鳴らないことがあります。

通話を終了する

▶ フッターまたは電話メニューの を選択してください。

または

携帯電話の終話ボタンを押してください。 **または**

ステアリング ホイールの終話ボタンを押 してください。

通話中の各種機能

マイクのミュート

✓ 通話中である

▶ マイクをミュートするには を選択してください。

通話の保留

✓ 通話中である

接続表示の隣にある▼ を選択してください。または

OPT ボタン ▶ 通話を保留を選択してください。

通話を再開するには、保留中表示の隣にある を選択してください。または

OPT ボタン **▶通話する**を選択してください。

* 日本仕様に設定はありません。

電話会議を開始する

✓ 通話中である

- 1. PHONE ボタン▶キーパッド III
- 2 **せ** を選択して、新たな会議を追加してく ださい。
- 新しい会議を追加するには:
 数字フィールドを使用して新しい電話番号をダイヤルします。

または

通話履歴から電話番号を選択します。 **または**

電話帳にある既存の連絡先を選択します。

- 4. 📞 を選択してください。

または

PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶会議

► 会議を保留にするには、PHONE ボタンン ► OPT ボタン ► 会議を保留を選択してください。

2つの会議間の切り替え (スワッピング)

- ✓ 通話中である
- ✓ 通話が保留中である
- ► 保留中の通話を選択して有効にし、それまで有効だった通話を保留にします。 または

PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ 通話 を切り替え

通話履歴を表示する

通話の表示

- 1. PHONE ボタン ▶通話履歴 <
- 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
 - 全ての通話
 - 不在着信
 - 発信
 - 着信
- 3. 通話履歴から項目を選択してください。 詳細画面が表示されます。

通話を消去

- ✓ 携帯電話がBluetooth®経由で接続されている
- 1. PHONE ボタン ▶通話履歴 🤝
- 2 希望の通話履歴を選択し、発信者を選択してください。
- 4. PCM の通話履歴から通話を消去するには、 通話を削除を選択してください。

i インフォメーション

車両から発信された通話のみが消去されます。

マルチファンクション ディス プレイで電話を使用する

マルチファンクション ディスプレイの使用に 関するインフォメーション:

▷「マルチファンクションディスプレイ」 (221ページ)を参照してください。

電話番号をダイヤルする

- 1. 電話メニューを選択してください。
- 2 リストから希望の番号を検索し、項目を選択してください。
- 電話帳
- 発信履歴

着信に応答する/拒否する

- ✔ 着信が入ったとき
- ■話メニューを選択してください。
- 通話応答
- 通話拒否

同時に複数の通話を行う/通話を終了する ✓ 通話中である

- ▶ 電話メニューを選択してください。
- **新しい通話**:通話中に別の参加者に電話します。
- 通話を切り替え:別の通話を行うために、参加者を切り替えます。
- 会議通話:電話会議に参加者を追加します。
- 通話終了:通話中の電話を終了します。

連絡先を使用する

連絡先の表示

1. PHONE ボタン ▶連絡先 ▲

あ

か

さ

た

な

ま

1,1

や

b

わ

か

た

な

11

ま

b

わ

連絡先の検索

- PHONE ボタン ▶連絡先 ●連絡先を 検索
- 入力フィールドに名前を入力してください。
 結果リストが表示されます。
- 3. 希望の項目を選択してください。

連絡先の送信

- 1. PHONE ボタン ▶連絡先 1.
- 2. 連絡先を選択してください。 連絡先詳細が表示されます。
- 3. **OPT** ボタンを押してください。
- 4. vCard で送るを選択してください。
- 利用可能な状況に応じて、送信 (SMS、 Eメール) またはメモリー オプション (SD、 USB) を選択してください。

連絡先リストの並び替え

- PHONE ボタン ▶連絡先 □ ▶ OPT ボタン ▶並べ替え条件
- 2 並べ替えの順序を**姓、名**または**名、姓**から 選択してください。

MyScreenにお気に入りを追加

- 2. 個人画面1、個人画面2または個人画面3 を選択してください。
- 3. カテゴリー電話を選択してください。

- 4. タイル**山田太郎**を左プレビュー側にある 任意のコンテナーにドラッグ&ドロップ してください。タイルは、緑色のエッジが 見えるとすぐにコンテナーに挿入するこ とができます。
- または で個人画面を設定メニューを終了してください。
- **6. ここをタッチして連絡先を選択**。 連絡先リストが開きます。
- 7. 希望する連絡先を選択してください。 連絡先詳細が表示されます。
- 8. 電話番号をダイヤルしてください。 選択した画面に連絡先がお気に入りとして保存されます。

MyScreenのお気に入りを消去

▷「MyScreenを作成する」(213ページ)を参照 してください。

メッセージの表示および消去

メッセージ機能を使用することで、SMS や E メールを読んだり、音声で読み上げさせたり、メッセージに書かれている電話番号に電話をかけたりできます。

この機能は、携帯電話が Bluetooth® メッセージアクセスプロファイルに対応している場合のみ利用することができます。携帯電話はテキストメッセージ機能に対応していても、Eメール機能には対応していないことがあります。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

i インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキストメッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキストメッセージは携帯電話メッセージリストには表示されません。
- PCMはマルチメディアメッセージングサービス (MMS) に対応していません。

テキストメッセージの表示

- 1. PHOINE ボタン ▶メッセージ **▼** ►SMS
- 2 ▶フォルダーを選択してください。
- **3.** 希望のテキストメッセージを選択してくだ さい。

Eメールの表示

- PHONE ボタン ▶メッセージ ▼ ►
 Eメール
- 2 Eメールアカウントを選択してください。 受信トレイが開きます。最大で100件のE メールが表示されます。
- 3. 必要に応じて、
 プラフォルダーを選択してください。
- 4. 希望のEメールを選択してください。

i インフォメーション

多く携帯電話は、複数のアカウントからのPCM へのEメール転送に対応していません。多くの 場合、メーカー固有のアプリによって管理され たEメールのみが転送されます。

メッセージを聞く(テキスト、Eメール)

- PHONE ボタン ▶メッセージ
- SMS メニューまたは Eメール メニューを 選択してください。
- 3. □ ▶フォルダーを選択してください。
- 4. 希望のテキスト メッセージまたはEメール を選択してください。
- 5. **読み上げ** 🚺 を選択してください。

メッセージの削除(テキスト、Eメール)

- 1. PHONE ボタン ▶メッセージ ☑
- **2 SMS** メニューまたは E **メール** メニューを 選択してください。
- 3. ▶フォルダーを選択してください。
- 希望のテキストメッセージまたはEメール を選択してください。
- 5. **OPT** ボタンを押してください。
- **6.** メッセージの**削除**を選択してください。 メッセージが消去されます。

メッセージの作成

テキスト メッセージの作成

- PHONE ボタントメッセージ ► 表示 されているアカウントから1つを選択します。
- 2 **声 ▶新しい SMS** を選択してください。
- 入力フィールドに受信者の番号を入力してください。

または

電話帳にある既存の連絡先を選択します。

- 4. テキストボックスを選択してください。
- 入力フィールドにテキストを入力し、OK で確定してください。
- **6. 送信** を選択してください。
 メッセージが送信されます。

Eメールの作成

- PHONE ボタン ▶メッセージ ▼
 Eメール
- 2 **⇒新しいEメール**を選択してください。
- 入力フィールドに受信者のEメール アドレスを入力してください。
- 4. 電話帳にある既存の連絡先を選択します。
- 5. テキスト ボックスを選択してください(件 名など)。
- 入力フィールドにテキストを入力し、OK で確定してください。

設定の変更

通話中の設定(プライベートモード)

- ✓ 携帯電話がBluetooth®および ハンズフリープ ロファイル (HFP) を介して接続されている✓ 通話が確立している
- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン
- 2 以下から希望の設定を選択してください。
- **プライベートモードを起動:** 通話はハンズフリー機器から電話に転送されます。

電話設定の変更

- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶電話
- 2 以下から希望の設定を選択してください。

- PCM電話のON/OFF: PCM内の電話モジュールをON/OFFしてください。
- **通信事業者検索**:通信事業者を選択するか、 または自動通信事業者選択を作動します。
- **3者通話を有効にする**:現在の通話に別の相手を追加することを許可します。
- SIMカード:挿入された外部 SIM カードの設定を変更します。
- **ポイスメール ナンバー**:接続している携帯 電話のメールボックス電話番号を表示また は変更します。
- **シリアル ナンバー**: PCM電話モジュールの IMEIシリアル ナンバーを表示します。

Bluetooth®機能とデバイスを管理する

- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶Bluetooth
- 2 以下から希望の設定を選択してください。
- 新しいデバイスを追加する:新しい Bluetooth[®]デバイスを検索し、PCMに登録します。
- **Bluetoothデバイス**:登録したBluetooth®デバイスを管理し、登録したBluetooth®デバイスをPCMに接続します。
- ▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示」 (153ページ)を参照してください。
- **Bluetooth を起動 / Bluetooth を停止**:
 Bluetooth®機能を作動/停止します。
- Bluetooth デバイス置き忘れ警告:車両を離れるときは、接続したBluetooth®デバイスのリマインダーを作動させてください。
- **名前:**PCM の Bluetooth® 名を設定します。

あ

か

さ

な

た

は

ま

や

b

わ

WiFi設定の設定

- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶WiFi 設定
- 2 以下から希望の設定を選択してください。
- WiFi を起動 / 停止: PCMのWiFi機能をON/OFF にします。
- PCMのWiFiホットスポット設定: PCMのWiFi アクセスデータを表示し、設定します。こ のデータはデバイス(携帯電話など)をWiFi 経由でPCMに接続したり、PCMのWiFiホット スポットを使用するために必要です。

データ接続設定

- PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶
 PHONE 設定 ▶データ接続設定
- 2 以下から希望の設定を選択してください。
- **データ接続設定**:
 - **オン:**常にデータ接続を許可します。
 - **オフ:**データ接続をOFFにします。
 - プロンプト:データ接続を使用する前に、データ接続を許可するかを確認する メッセージが表示されます。
- データ接続を共有する:WiFi デバイス用の データ接続を可能にします。
- **ローミング:**他のネットワークへのデータ接続を許可する/許可しません。
- アクセスポイントを設定:SIMカードのデータ接続用ネットワークアクセスデータ (APN名、ユーザー名、およびパスワード)を変更します。
- 一 設定をリセット: APN設定を工場出荷時の設定に戻します。 APNの設定に関するインフォメーション:
 - ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。

連絡先の管理

- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶連絡先
- 2 以下から希望の設定を選択してください。
- 連絡先メモ:使用している連絡先メモリーを表示します。
- **並べ替え条件**:姓または名で、携帯電話に 保存されている連絡先を並び替えます。
- 連絡先を同期: Bluetooth® 経由で接続されている携帯電話の連絡先を PCM に手動で移動することができます。

着信音設定の変更

- ✓ 携帯電話が PCM に接続されている、または SIMカードが挿入されている
- 1. PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶ PHONE 設定 ▶ 着信音設定
- 2 以下から希望の設定を選択してください。

以下のオプションが設定可能です。

- 着信音を選択:接続している携帯電話が Bluetooth®経由で着信音を送信しない場合、 PCMの着信音を設定します。
- 着信音量:着信音量を設定します。
- マイク音量:電話マイクの音量を設定します。
- メッセージの受信音:メッセージの受信音を設定またはOFFにします。





た

は





'n

わ

ドア ミラー ヒーター

ドア ミラー ヒーター

√ 718 Spyder



図123:ドアミラーヒーターボタン

ドア ミラー ヒーターをONにする

✓ エンジンを作動状態にする

► IIII ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

外気温度によって、約5分 \sim 20分後にドア ミラー ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

再度ONにする

► I ボタンをもう一度押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

ドアミラーヒーターをOFFにする

► Ⅲボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

i インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、ドア ミラー ヒーターの作動が制限され、その後OFFになり ます。

な

は

ま

や

b

わ

W

か

さ

な

た

は

#

や

ら

わ

A-Z

盗難防止機能

盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください:

- ▶ サイドウィンドウを閉じてください。
- ▶ コンバーチブルトップを閉じてください。
- エレクトリック パーキング ブレーキを作動 させてください。
- ▶ キーを抜き取ってください。
- ▶ グローブボックスを閉じてください。
- ▶ すべての小物入れを閉じてください。
- ▶ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自 宅の鍵などを車内に残さないでください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント リッドを閉じて ください。
- ▶ 車両をロックしてください。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー(電子回路)が組み込まれています。イグニッションをONにする前に、イグニッションロックがコードを照合します。あらかじめ登録されているキーを使用したと

あらかじめ登録されているキーを使用したと きのみイモビライザーが解除され、エンジンを 始動することができます。

ステアリング コラムのロック 解除/ロック

ステアリング コラムを自動的にロック解 除する

▶ キーで車両のロックを解除してください。
または

キーをイグニッション ロックに差し込んで ください。

ステアリング コラムを自動的にロック する

▶ キーを抜き取ってください。

ドライビング データの表示 (トリップ情報)

トリップメニューには、走行時間、走行距離、 平均車速、平均燃費などの一連のドライビング データが表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ)を参照してください。

マルチファンクション ディスプレイの使用に 関するインフォメーション:

- ▷「マルチファンクション ステアリング ホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。
- ▷「マルチファンクション ステアリング ホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。

マルチファンクション ディス プレイにドライビング データ を表示する

- 1. トリップ メニューを選択してください。
- 2 リストから項目を選択してください。
- **以降**:現在運転中のドライビング データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング データが自動的にリセットされます。
- **合計**:手動でリセットするまでデータが蓄積されます。ドライビングデータは、イグニッション キーをOFFにして長時間駐車した場合でも保持されます。

 目的地まで:ルート案内を開始すると目的 地までのドライビング データが計算され、 表示されます。

マルチファンクション ディス プレイでドライビング データ をリセットする

- 1. トリップ ▶リセット
- 2 リストから項目を選択してください。
- 以降
- 合計
- **すべて:以降**および**合計**のドライビング データをリセットします。

PCMのパーソナルディスプレイの内容を設定する

- 1. CAR ボタン ▶トリップ ②
- 2 希望の表示レベルを閲覧(スワイプ)してください。
- パーソナルトリップ:必要に応じて、ドライビングデータを4つのデータフィールドにグループ分けできます。
- **からのトリップ**:現在運転中のドライビングデータです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビングデータが自動的にリセットされます。
- トリップ合計:手動でリセットするまで データが蓄積されます。ドライビングデー タは、イグニッションキーをOFFにして長 時間駐車した場合でも保持されます。
- 3. **リセット**を選択して、希望のドライビング データをリセットしてください。

PCMのパーソナルディスプレイの内容を設定する

パーソナルトリップ メニューでは、個々のデータフィールドの内容を個別に設定することができます。日付、時刻、外気温、到着時刻、平均車速、燃費データなどの一般情報、およびナビゲーション エリアから選択された様々なデータフィールドの車両パラメーターから選択することができます。

- CAR ボタントリップ ② トパーソ ナルトリップ ▶設定
- 2 変更したいデータ フィールドを選択してください。
- データ フィールドの希望のコンテンツを 選択してください。

i インフォメーション

メニュー項目 「次のガソリン スタンドまでの 距離」をデータ フィールドに指定した場合、 タッチ スクリーンに表示されたシンボルを素 早く押すと、このガソリン スタンドまでのルー ト計算が開始されます。

このガソリン スタンドまでのルート案内開始を選択してください。

あ

か

さ

た

は

ま

や

ら

わ

か

さ

な

11

ŧ

b

わ

トランスミッション

マニュアル トランスミッショ ンによる走行



図124:ギヤレバーのシフトパターン

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マット、正しく固定されていないフロア マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

- ▶ フロア マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。
- ▶ 変速するときはクラッチペダルをしっかりと踏み込み、ギヤレバーを確実に操作してください。
- ▶ 上り坂ではエンジンパワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジンブレーキがかかるように、 適切な低いギヤにシフトダウンしてください。

トランスミッションをニュートラルにシ フトする

トランスミッションのニュートラル位置は3速 ギヤと4速ギヤの間にあります。

リバース(後退)に入れる

✔ 停車しているとき

▶ リバースギヤには、ギヤレバーを左にいっぱいまで動かした後にシフトすることができます。

イグニッションONでギヤ レバーをリバース(後退)に入れると、リバースライトが点灯します。

締結ギヤを表示する

タコメーター内のギヤ ポジション ディスプレイBは現在締結されているギヤを表示します。

シフトアップ インジケーターを使用した 走行



図125:シフトアップ インジケーター Aおよびギヤ インジケーター B

燃費重視の運転を促すシフトアップ インジケーター Aは、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセルペダルの踏み込みに応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

シフトアップ インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

i インフォメーション

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアシストをマルチファンクション ディスプレイに表示することができます。

▷「ギヤシフトアシストメニュー」(225ページ)を参照してください。

エンジン許容回転数を遵守する

▶ タコメーター(回転計)の指針が赤色のエリア(レッドゾーン)に到達する前に、1段高いギヤにシフトアップするか、アクセルペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色 のエリア(レッドゾーン)に到達すると、燃料 の供給が遮断されます。

知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転(オーバーレブ)が原因でエンジンを 損傷する恐れがあります。

▶ 低いギヤにシフトダウンするときは、エンジンが最高許容回転数を超えないように注意してください。

AUTO BLIP(自動スロットルブリッピング機能)のON/OFF



図126: AUTO BLIP (自動スロットルブリッピング機能)

✓ マニュアルトランスミッション装備車 スロットル ブリッピング機能がONのときは、 シフトダウン時に最適なエンジン回転数補正

シフトダウン時に最適なエンジン回転数補正 を行い、荷重変化時により一層の車両安定性を 確保します。

► **鉛**門 ボタンを押してください。 スロットル ブリッピング機能をONにする と、ボタンのインジケーター ライトが点灯 します。

1 インフォメーション

- スロットル ブリッピング機能のON/OFFを切り替えても、PASMモードには影響を与えません。
- スロットルブリッピング機能は、イグニッションをOFFにすると自動的にOFFになります。

Porsche Doppelkupplung (PDK) による走行

Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチック モードとマニュアル セレクション モードを備 えた7段変速トランスミッションです。

オートマチック モード (セレクター レバーが Dの位置) では、変速が自動的に行われます。 ステアリング ホイールのシフト パドルを操作することにより、一時的にオートマチックモードからマニュアル モードに切り替えることができます。

マニュアルモード(セレクター レバーがMの位置) では、セレクター レバーまたはステアリング ホイールのシフト パドルの操作で変速できます。

セレクター レバーのDとMは、走行中でも切り替えることができます。

▶ オートマチックとマニュアルのどちらの モードにあるときでもステアリングホイー ルのシフトパドルを誤って操作しないよう に注意してください。トランスミッション が思わぬタイミングで変速されます。

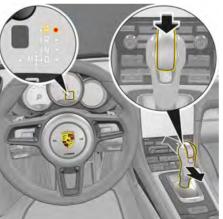


図127:セレクターレバーの操作

セレクター レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター レバーは動かないようにP位置に固定されます。 イグニッションがONの場合、リリースボタン を押し、ブレーキペダルを踏んでいるときの み、セレクターレバーをPおよびNの位置から 動かすことができます。

ロック解除ポタン

セレクター レバーのロック解除ボタン(**矢印**)は、ギヤ シフトの誤操作を防止するための機構です。

セレクター レバーをRまたはPの位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

エンジンの始動

セレクター レバーがPかNの位置にあり、ブレーキ ペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

車両の発進

► エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、R)にシフトしてください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフットブレーキを解除した直後にブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。

▷ 「発進アシスタント」(180ページ) を参照してください。

停車

- ► 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクターレバーを走行位置のまま保持し、ブレーキペダルを踏んでください。
- 上り坂ではアクセルペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。プレーキペダルを踏むか、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

▶ 車両から離れるときは、必ずエレクトリックパーキングブレーキを作動させ、セレクターレバーをPの位置にしてください。

駐車

あ

か

t

た

な

11

ŧ

b

わ

A-Z

▶ アクセルペダルは慎重に操作してください。



図128:セレクター レバー ポジション インジケー ターおよびギヤ ポジション インジケーター

セレクター レバー ポジション インジ ケーターおよびギヤ ポジション インジ ケーターを読み取る

エンジン作動中に、セレクター レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター レバーが2つのポジションの間に ある場合は、該当するセレクター レバー ポジ ションが点滅し、マルチファンクション ディ スプレイに警告が表示されます。 処置:

▶ フットブレーキを踏んで、セレクターレバー を正しい位置に動かしてください。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクターレバーがPまたはN位置から動いてギヤに入ってしまった場合(故障または誤った操作

で)、シフトインジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。

▶ 発進するには、ブレーキペダルを踏み、セレクターレバーを再びPまたはNから希望のギヤに入れてください。

インストルメント パネルのセレクター レバー 位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。 原因:

- フットブレーキを踏まずにセレクター レバーを切り替えた
- 最高許容速度以上でセレクター レバーをR にシフトした
- 駐車または移動操作中に運転席ドアが開いた 法規等に準拠し、ブレーキペダルおよびア クセルペダルが踏み込まれない場合は2秒 後にエンジンとトランスミッション間の駆動力の伝達が遮断されます。

処置:

▶ ブレーキペダルを踏み、セレクターレバー を再びPまたはNから希望するギヤに入れて ください。

セレクター レバー ポジション

P-パーキング ロック

車両が完全に停止してからパーキングロックをかけてください。

セレクター レバー位置 P が点滅している場合、パーキング ロックは正しくかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。

セレクター レバーを再びRからPの位置に 入れてください。

キーは、セレクター レバーがPの位置にあると きのみ、抜き取ることができます。

R-リバースギヤ

▶ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N-ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクターレバーをNの位置にしてください。

- エンジンがアイドリング状態のときのみ、 セレクター レバーのN位置を使用してくだ さい。
- ► エンジンがアイドリング状態で、ブレーキペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(D、M、R)にシフトしてください。

D-オートマチック モード

基本設定

PDKトランスミッションは、スポーティーなシフトを行うよう初期設定されています。 ギヤシフトは常に素早く行われます。

▶ 「通常」の走行時には、セレクターレバーの Dの位置を使用してください。 車速とアクセル ペダルの踏み込み方によ

り、ギヤは自動的に切り替わります。 変則順序とギヤシフトポイントは、ドライ ビングスタイルに合わせて調整されます。



図129: PDKスポーツ モード

PDKスポーツ モードのON/OFF

PDKスポーツ モードでは、PDKトランスミッションがレース サーキットでの走行に適したスポーティなギヤ シフト特性に切り替わります。ギヤのシフトアップ/シフトダウンがより高い回転数で行われます。

変速順序とギヤシフトポイントも、PDKスポーツモードの走行スタイルに合わせて最適に調整されます。

i インフォメーション

- セレクター レバーが D の位置にある場合、 PDK スポーツ モードでは 7 速ギヤへの締結 は自動的には行われません。
- PDK スポーツ モードの ON/OFF は、PASM モードまたはオート スタート / ストップ機 能には影響しませか。

i インフォメーション

ステアリング ホイールのシフト ボタンを操作 することにより、一時的にオートマチックモー ドDからマニュアル モードMに切り替えること ができます。

例えば、以下のような状況ではこの操作を行ってください。

- コーナー前でシフトダウンしたいとき
- 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるため にシフトダウンしたいとき
- 急加速時にシフトダウンしたいとき タコメーターのセレクター レバー ポジション ディスプレイに D と M が同時に点灯します。 以下の場合は、マニュアル モードが維持され ます。
- コーナリング時(横方向の加速度に応じて)
- オーバーラン時
- 車両が交差点などで停車した場合
- マニュアルで選択したギヤが、オートマ チックモードのシフト設定で選択されるギャよりも高い場合

次の場合は、マニュアルモードが解除されます。

- 約6 秒後自動的に (コーナリング時やオーバーラン (惰性走行) 時以外)
- 発進後

M-マニュアル モード



図130:オートマチック モード

▶ セレクター レバーをDからMの位置に押して ください。

現在のギヤは、DからMにシフトしてもその まま維持されます。

MからDにシフトした場合は、現在のドライビングスタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

i インフォメーション

セレクター レバーが M の位置にあるときは、 エンジンが許容最高回転数に達しても自動的 にシフトアップされません。 あ

か

さ

た

な

ま

は

や

ら

わ **A-Z**

175

か

さ

た

な

は

ま

や

Ì,

わ

A-Z



図131:シフト パドル付きステアリング ホイール

セレクター レバーまたは右「+」シフト パド ルでのシフトアップ

▶ セレクター レバーまたは右側シフト パドル を手前に引いてください。

セレクター レバーまたは左「-」シフト パドル でのシフトダウン

▶ セレクターレバーを前方に押してください。 または左側シフトパドルを手前に引いてく ださい。

セレクター レバーまたはシフト パドルの連続 操作による素早いギヤ シフト

シフト パドル、またはセレクター レバーを素早く連続操作した数と同じ数のギヤ段をシフトアップまたはダウンできます。

変速したときにエンジンの許容回転数(最高回転数または最低回転数)を超える場合は、変速が実行されません。

シフト パドルを使用してN - ニュートラルにシ フトする

▶ 両側のシフトパドルを同時に引いて保持してください。

トランスミッションはN - ニュートラルに シフトします。

車両はエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジンブレーキの効果は得られません。ギヤシフトインジケーターの数字が点滅します。

シフトパドルを放すと、ギヤが再び締結します。

i インフォメーション

- ポルシェスタビリティマネージメント(PSM) がONの場合、クラッチは段階的につながり ます。
- エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) またはトラクション コントロール (TC) が OFF の場合、クラッチは急につながります。

これにより不安定な走行状態になる場合が あります。



図132:シフトアップ インジケーター A

低燃費走行のためのシフトアップ インジケー ター

✓ セレクター レバー ポジションM

燃費重視の運転を促すシフトアップ インジケーター Aは、ドライバーが経済的な運転をできるように支援します。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル ペダルの踏み込みに応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▶ シフトアップ インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

ローンチ コントロールを使用した発進

ローンチ コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

i インフォメーション

乾いた路面でタイヤが作動温度に達している 場合にのみ最適な機能が保証されます。

▲ 警告

車両のコントロールの 喪失、または他の通行 者への危険

特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険がおよぶ恐れがあります。

- ▶ ローンチョントロールはサーキットでの使用をお薦めします。
- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、 安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ ローンチョントロールを使用して発進するときは、他の通行者に危険がおよばないようにしてください。

1 インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成 部品に与える負荷は劇的に増大します。

マニュアル トランスミッション装備車

- ✓ エンジンが作動温度に達している
- ✓ トラクション コントロール (TC) をONにする
- ✓ 平坦な場所に駐車する
- ✓ エレクトリック パーキング ブレーキを締 結しない
- クラッチ ペダルをいっぱいに踏み込み続けてください。
- 2 ギヤレバーを1速にしてください。
- 3. 素早くアクセル ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください。 エンジン回転数が約5,000rpmに維持されます。
- 4. 素早くクラッチを締結してください。

PDK装備車

- ✓ エンジンが作動温度に達している
- ✓ トラクションコントロール (TC) をONにする
- 1. 左足でブレーキ ペダルを踏んでください。
- 2 素早くアクセル ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください。 エンジン回転数が約6,500rpmに維持されます。
 - マルチファンクション ディスプレイにローンチ コントロールが有効であることを示すメッセージが表示されます。
- 3. 素早くブレーキを解除してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

トランスミッションおよびシャーシ コントロール システム

システム/名称	適用	ページ		
PSM ポルシェ スタビリティ マネージメント	 ドライビング スタビリティ コントロール (ESC) トラクション コントロール (TC) アンチロック ブレーキ システム (ABS) ブレーキ ブースター (油圧ブレーキ アシスト) オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) エンジンドラッグ トルク コントロール (MSR) 発進アシスタント 	217		
PASM ポルシェ アクティブ サスペンション マ ネージメント	- 無段階補正コントロール付きショック アブソーバー システム	206		
PADM ポルシェ アクティブ ドライブトレイン マウント	 多様な減衰調整が可能なダイナミックエンジンマウント (PADM) は、走行ダイナミクスと走行快適性の両方を向上させるためのシステムです。 走行状況に応じて、理想的なマウント剛性および減衰力が自動的に設定されます。選択の範囲は、エンジン/ボディ間のコネクションが最も強固な状態(走行ダイナミクスが向上)からエンジンとボディが切り離されている状態(走行快適性が向上)までです。 			
PTV ポルシェ トルク ベクトリング	より俊敏なコーナリングのためのラテラル ダイナミック ブレーキ制御ロック率非対称型リヤ ディファレンシャル ロック			

168

A-Z

わ

あ

な

は

ま

ナビゲーション

概要

この概要説明は「ナビゲーション」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:
▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) 」(209ページ) を参照してください。







図134:マップビュー

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
目的地を検索する	NAV ボタン ▶検索またはオンライン検索 (A を参照) ▶目的地を入力 / 選択してください。	170
Porsche Concierge Service を開始する	► NAV ボタン ► ポルシェ コンシェルジュ (B を参照) ► ポルシェ コンシェルジュに連絡 を 選択してコンシェルジュを呼び出してください。	170
目的地住所を入力する	► NAV ボタン ▶県、市区町村 (C を参照) ▶目的地住所を入力してください。	170
前回の目的地を選択する	▶ NAV ボタン ▶ 目的地履歴 ▶リストから項目を選択してください。	171
施設情報を入力する	NAV ボタン ▶施設 ▶施設のオプションを選択 ▶施設を選択してください。	171
マップ コードを入力する	NAV ボタントマップ コードトマップ コードを入力してください。	171
連絡先から目的地を選択する	 NAV ボタン ▶登録地 ★ (D を参照) ▶連絡先ページまでブラウズ (スワイプ) ▶リストから項目を選択してください。 	171
すぐにルート案内を開始/停止する	▶ MAP ボタン ▶開始 (H を参照) または 停止 (H を参照) を選択してください。	172
経由地を入力する/ツアーを計画する	 NAV ボタント目的地を入力ト新規・○※ (Eを参照)ト経由地を入力ト追加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	171
保存したツアーを開始する	► NAV ボタン ► 登録地 ★ (D を参照) ► 保存された目的地のページまでブラウズ (スワイプ) ► ツアー ► ツアーを選択 ► 開始を選択してください。	171
交通情報を表示する	▶ NAV ボタン / MAP ボタン ▶VICS 🕰 を選択してください (F を参照)。	174
ルートを表示および編集する	▶ NAV ボタン / MAP ボタン ▶ルート ■ を選択してください (G を参照)。	173
道路通行料自動徴収システム(ETC) を設定する	► CAR ボタン ►料金 🍑	176

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

さた

な

11

ŧ

や

è

わ

A-Z

▲ 警告

事故を起こす恐れがあ ります

ポルシェ ナビゲーション システムは、目的地まで快適に到着できる走行ルートを案内し、ドライバーを補助します。推奨された走行指示が実際の交通規則と反する場合は、必ず実際の交通規則に従って走行してください。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。



図135:目的地入力

目的地の検索(検索、オンライン検索)

検索機能を使用して検索すると、PCM の内部 データベースにアクセスします。インターネットで目的地を検索するには、オンライン検索機 能を利用してください。

- ✓ オンライン検索:オンライン検索を行うにはデータ接続を確立する
 - ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。

- 1. NAV ボタンを押してください。
- 検索またはオンライン検索を選択してください (A を参照図135)。
- 3. 検索語句を入力してください(県、市/区、 名称など)。
- 4. 候補のリストから希望の項目を選択してください。
- 開始 ► を選択してください。

ポルシェコンシェルジュを開 始する

コンシェルジュ サービスはドライバーのパーソナル アシスタントです。リクエストに応じて、希望の施設や個人住所へのナビゲーションデータをPCMに直接送信し、ドライバーをサポートします。

- ✓ 挿入されたSIMカードにより、データ接続が 正常に確立されている
- ✓ 携帯電話がPCMに接続されている
 - ▷ 「携帯電話をBluetooth®で接続する(携帯電話の準備)」(152ページ)を参照してください。
- ✓ Apple CarPlayを使用していない
- 1. NAV ボタンを押してください。
- 2 ポルシェ コンシェルジュ サービスを選択 してください (B を参照図135)。
- コンシェルジュを呼び出すには、ポルシェコンシェルジュに連絡を選択してください。
- **4.** 呼び出しを開始することを通知で**承認**してください。

5. コンシェルジュエージェントと会話を開始 し、施設情報または個人住所を要求してく ださい。

コンシェルジュが通話を終了させた後に、ナビゲーション目的地が送信されます。そのため、先に通話を終了させないでください。

- 6. POIまたは個人住所を選択してください。
- 7. 開始 ▶ を選択してください。

i インフォメーション

- 現在位置、ナビゲーション目的地の地理的 位置などのコンシェルジュサービスデータ の使用時は、車両識別データ、言語設定が コンシェルジュコンタクトセンターに転送 される場合があります。
- 1回のコンシェルジュ サービスにつき、最大5つの目的地のナビゲーション データを PCM に送信することができます。

目的地住所の入力

- 1. NAV ボタンを押してください。
- 2 **都道府県**または市区町村を選択してください (Cを参照図135)。
- **3.** 住所を入力してください(県、市/区、施設情報、またはマップコードなど)。
- 4. リストから希望の項目を選択してください。
- 開始 № を選択してください。

保存した目的地または連絡先の使用(目的地履歴)

- 1. NAV ボタンを押してください。
- 2 目的地履歴を選択してください。
- 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
 - 目的地履歴:最近使用した目的地
 - 保存された目的地:お気に入りとして 保存した目的地
 - ▷「保存した目的地の呼び出し(お気に入り)」(173ページ)を参照してください。
 - **連絡先**:接続している電話に保存されている連絡先住所
- 4. リストから項目を選択してください。

施設情報の入力

- 1. NAV ▶施設
- 2 希望する施設情報オプションを選択して ください(**目的地周辺検索**など)。
- 3. 施設情報カテゴリーまたは施設情報を入力または選択してください。
- 4. 開始 № を選択してください。

1 インフォメーション

NAV ▶ナビ へ ▶施設 ▶希望の施設情報 オプション(目的地周辺検索など)▶ポータルリ スト POI を選択して、My Porsche から他の施設 情報カテゴリーを読み込んでください。

▷ 「Porsche Connect へのログイン」(121ページ)を参照してください。

マップコードを使用した目的地の入力

- 1. NAV ボタン ▶マップ コード
- **2** 希望する目的地の**マップコード**を入力して ください。
- マップ コード ポジションを入力し、OK を クリックして確定してください。

地理座標を使用した目的地入力

✓ ルート案内がまだ開始されていない

- NAV ボタン ► OPT ボタン ► GPS 座標を入力
- 2 GPS 座標を入力し、OK をクリックして確定してください。
- **3. 開始 №** を選択してください。

地図からの目的地入力

- ✓ ルート案内がまだ開始されていない
- 1. MAP ボタンを押してください。
- 2 地図上で目的地を選択してください(必要 に応じて、ボタンを長押しする)。
- ヘッドラインに表示された目的地を選択してください。
 目的地の詳細が表示されます。
- **4. 開始 №** を選択してください。

ツアーの計画(経由地の入力)

ツアーは1つの目的地、および1箇所~8箇所までの経由地で構成されます。

ツアーの入力および保存

- 1. NAV ボタンを押してください。
- **2** 目的地を入力し、ルート案内を開始してください。
- 3. ルート を選択してください。
- 4. ツアーを選択してください。
- 新規 → を選択してください。
- 6. 経由地を入力してください。
- 7. 追加・よ を選択してください。
- 8 ツアー名を入力し、OK をクリックして確定してください。 ツアーが保存されます。

i インフォメーション

経由地は後で変更することができます。

NAV ボタン ▶ルート → ンプーを選択し、該当する経由地を押したまま希望の位置に移動してください。

保存したツアーの呼び出し

- ✔ ツアーが保存されている
- NAV ボタン ▶登録地 ★
- 2 保存された目的地のページまでブラウズ (スワイプ) してください。
- 3. ツアーを選択してください。
- 4. 希望するツアーを選択してください。

あ

か

さ

た

な

1,1

ま

や

b

わ

か

た

な

は

ま

ャ

b

A-Z

h

マルチファンクション ディス プレイでの目的地の入力

マルチファンクション ディスプレイの使用に 関するインフォメーション:

- ▷「マルチファンクション ステアリング ホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。
- ▷「マルチファンクション ステアリング ホイールでのマルチファンクション ディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。

1. ナビ ▶目的地入力

- 2 希望のリストを選択してください。
 - 目的地履歴:最近使用した目的地
 - 保存された目的地:恒久的に保存した 目的地
- 3. リストから項目を選択して、ナビゲーションを開始してください。

ルート案内の開始/停止

目的地入力メニューでのルート案内の開始

- ✔ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない
- ▶ NAV ボタン ▶開始

目的地入力によるルート案内の開始

- ✓ 目的地データが入力されている
- ✓ ルート案内がまだ開始されていない
- ✓ 詳細画面で目的地が表示されている
 - ▶ 開始 ※ を選択してください。

目的地入力メニューでのルート案内の 停止

✔ ルート案内を開始している

NAV ボタン ▶停止を選択してください。

マルチファンクションディスプレイによるルート案内の開始および停止

- ✔ 目的地データが入力されている
- ✔ ルート案内がまだ開始されていない
- ナビゲーション メニューを選択してください。
- 2 希望の項目を選択してください。
- ルート案内の開始:ルートを計算します。
- **ルート案内の停止**:ルート案内を停止します。

目的地の保存、および保存した目的地の呼び出し(お気に入り)

目的地の保存(お気に入り)

- ✓ 目的地データが入力されている✓ ルート案内が開始されていない
- 1. **保存** ★ を選択してください。
- 2 OK をクリックして目的地名を確定してください。

目的地が保存されます。

または

目的地名を変更し、OK をクリックして確定してください。

目的地は、入力した名前で保存されます。 または

すでに割り当てられている名前 (**自宅**など) をリストから選択し、**OK** をクリックして確定してください。

既存の名前の目的地情報は、新しい情報で 上書きされます。

1 インフォメーション

目的地は、NAV ボタン ▶登録地 ★ ▶保 存された目的地 ▶お気に入りとして保存を使 用して保存することもできます。

保存した目的地の呼び出し(お気に入り)

- NAV ボタンまたは MAP ボタン ▶登録地 ★
- 希望のページをブラウズ(スワイプ)してください。
 - 目的地履歴:最近使用した目的地
 - **保存された目的地**:お気に入りとして 保存した目的地またはツアー
 - **連絡先**:接続している電話に保存されている連絡先住所
- 3. リストから項目を選択してください。

1 インフォメーション

My Porsche から他の目的地を読み取るには、
NAV または MAP ボタン ▶登録
地 ★ 保存された目的地 ▶パーソナル施設情報を使用してください。

▷ 「Porsche Connect へのログイン」(121ページ)を参照してください。

目的地およびツアーの消去または編集

- NAV ボタンまたは MAP ボタン ▶登録地 ★
- 希望のページをブラウズ (スワイプ) してください。
 - 目的地履歴:最近使用した目的地
 - 保存された目的地:お気に入りとして 保存した目的地
 - **連絡先**:接続している電話に保存されている連絡先住所
- 3. リストから項目を選択してください。
- 4. **ロPT** ボタンを押してください。
- 5. 希望のオプション選択してください。
 - 削除
 - 住所を地図上に表示

i インフォメーション

ルートの表示および編集

✓ ルート案内が開始されている

- 1. NAV ボタンまたは MAP ボタン ▶ルート ■
- **2** オプションを選択して、設定を変更して ください。
- ルートオプション:
 - **ルートの設定条件**:ルートの計算方法 (推奨、有料回避、時間優先)を設定し ます。
 - **ルート回避オプション設定**:ルート計算をするとき、フェリーおよび季節規制道路を除外するか、または含めるかを設定します。
 - ダイナミックリルート:動的なルート管理を使用して、渋滞や障害を回避します。
 - **手動ダイナミック リルート**:確認後に、 動的なルート管理が作動
- **リスト表示**:次の特徴的なルート地点(施 設情報、分岐点など)が表示されます。
- **ツアー**:開始されたツアー ルート案内の目 的地および距離が表示されます。
- **代替ルート**:ここでは、現在の案内中のルートに代わるルートを選択することができます。代替ルートを開始するには、**開始** ▼ を選択してください。

マップビューを開いて設定する

マップ ビューを開く



図136:表示および機能要素を含むマップ ビュー

- A:車両位置を地図の中央に置く
- B:ルート案内情報、目的地までの時間および距離、または到着時間
- C:縮尺表示とオートズームを切り替える
- D:地図サイドメニューを開く
 - ▷ 「地図コンテンツの設定」(174 ページ) を参照してください。
- E:地図の向きを北向きまたは進行方向に切り替える

あ

か

さ

た

な

ŧ

1,1

や

b

わ

地図コンテンツの設定



図137:地図サイドメニューを含む地図コンテンツ

- MAP ボタン ▶サイド メニュー を選択してください。
- 2 希望の地図コンテンツを選択してください。 必要に応じてロータリー プッシュ ボタン またはタッチスクリーンを使用してサイド メニュー内をスワイプ ダウン (スクロール) し、追加メニューを表示してください。
- ✓ インターネットからデータを読み込むマップ ビューの利用には、有効なデータ接続が必要
- ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。 有効な地図コンテンツは赤色、無効なコンテン ツは白色で表示されます。
- **3D**: 3Dビュー (または2Dビュー)
- オンライン交通情報:インターネットから 入手した事故、道路工事、交通量情報やそ の他の事象等に関するリアルタイム交通情 報の表示/非表示を切り替えます。
- **ルート情報**:現在のルート計画が表示される
- **POI 表示**: 地図上の施設情報の表示 / 非表示を切り替える

- **コンパス**:地図上のコンパスの表示 / 非表示を切り替える
- **天気**:地図上の天気情報の表示/非表示を切り替える
- **オートズーム**:地図上のオートズーム機能 の表示 / 非表示を切り替える

i インフォメーション

地図のサイド メニューから各種機能に素早く アクセスすることができます。これらの機能を 設定するには、 MAP ボタン ► OPT ボ タン ► MAP 設定 ►マップ ビュー ►マップ レイ ヤーを選択してください。

マルチファンクション ディス プレイによるマップ ビューの 表示および設定

マルチファンクション ディスプレイの使用に 関するインフォメーション:

- ▷「マルチファンクションディスプレイ」 (221ページ)を参照してください。
- 1. 地図メニューを選択してください。
- 2 希望する表示オプションを選択してください。
- オートズーム:現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
- **3D マップ**:3次元地図を表示します。
- 北向き:常に地図の上方が北になります。
- マニュアルズーム:地図の縮尺を地図画面 に合わせて調節します。
- **目的地を表示**:地図上でナビゲーション目 的地を選択し、拡大表示します。
- **現在地を表示**:地図上で車両の現在地を選択し、拡大表示します。

交通情報の表示



図138:交通情報の表示

NAV メニューおよび MAP メニューで、現在地または選択したルートに関する交通情報を取得することができます。 以下の情報が表示されます。

- 斜線区間:交通渋滞の長さを示します。
- 色付き警告シンボル:選択したルート上に 差し迫った交通渋滞ルート案内が有効でな い場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- グレー表示の警告シンボル:選択したルー ト上ではない交通渋滞

あ

か

さ

た

な

は

ま

+

ì

わ



図139: DSRC/VICS交通情報

- 1. NAV ボタンまたは MAP ボ タンを押してください。

交通 交通 メニューに表示されている数字は、選択されたルートに関する交通情報通知の件数を示します。

3. 希望の交通情報通知を選択してください。 または

すべての交通情報を表示するには、すべての交通情報通知を表示を選択してください。

希望する交通情報のカテゴリーを選択してく ださい。

- DSRC/VICS交通情報: □ アイコンを選択したときは、交通情報が読み上げられます。ミニマップはエリア内の交通情報の概要を提供します。
 - ▷ 「全般的なVICS設定の変更」(176ページ) を参照してください。

- FM図形情報: ラジオ局によって提供される 地図形式、またはスクロール可能なテキス ト概要形式のFM交通情報を表示します。
- FMテキスト情報:個別のスクロール可能な テキスト形式で提供されるFM交通情報を表 示します。
- **DSRC交通ポイス メッセージ**: DSRC交通情報の自動アナウンスのON/OFFを切り替えます。

交通情報通知は、動的なルート管理により渋滞や障害を避けるのに役立ちます。 MAP ボタン ▶ルート ▶ダイナミックリルートを使用して、迂回のための自動ルート変更機能をONにすることができます。 手動ダイナミックリルートにより、動的なルート計画の作成を手動で開始することができます。

i インフォメーション

ラジオ局には交通情報通知に対する責任があります。従って、この情報の完全性および正確性に対してポルシェ社では責任を負いかねます。

交通情報の表示

- ✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと
 - ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。
- 1. MAP ボタン ▶サイド メニュー

 を選択してください。
- 2 オンライン交通情報を選択してください。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑色のライン:円滑に流れる交通状態
- 橙色のライン:流れの遅い交通状態
- 赤色のライン:渋滞
- ▷ 「地図コンテンツの設定」(174ページ) を参 照してください。

i インフォメーション

- ポルシェコネクトサービス(カー コネクト サービスを含む、セーフティおよびセキュ リティ サービスを除く)は期間はサービス パッケージにより異なりますが、少なくと も3カ月の無料利用期間を提供しておりま す。無料利用期間についての詳細なイン フォメーションおよびそれ以降の費用およ び各サービスの利用についてのインフォ メーションは、www.porsche.com/connect また はポルシェ正規販売店から入手できます。
- データ利用可能な外部 SIM カードからポルシェコネクトサービスが利用できます。外部SIMカードは、携帯電話プロバイダーとの料金ベースの個別契約が必要です。

ナビゲーション設定の変更

- NAV ボタン ▶ □PT ボタン
- 2 希望のオプション選択してください。
- **地点情報**:現在の位置情報が表示されます。
- **GPS 座標を入力**: GPS 座標を入力し、**OK** を クリックして確定してください。
- NAV 設定
 - **ナビゲーション案内音量**:ナビゲーション案内の音量を調節、および案内のON/ OFFを切り替え
 - **ナビゲーションデータベースアップ デート**: ナビゲーションデータベースを SD カード、CD/DVD または USB デバイス を使用してアップデートします。
 - ▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。
 - 燃料警告:残可走距離情報の表示/非表示
 - 免責事項非表示:ナビゲーション情報の表示/非表示

あ

か

さ

たな

は

ŧ

や

b

わ

か

さ

た

な

は

b

わ

A-Z

地図設定の変更

- 1. MAP ボタン ▶ □PT ボタン ▶ MAP 設定
- 2 希望のオプション選択してください。
- マップ ビュー:マップ ビュー(北向き、3Dマップ、3D建築物)とマップ レイヤーの調整
- **ズーム**:拡大縮小の適用
 - **オートズーム**: 現在のルート案内におけるズーム レベルの自動選択
 - **交差点拡大**:現在のルート案内で交差点に 接近したときのズームレベルの自動選択
 - **交差点詳細地図**:交差点に近づいた場合、より詳細な走行案内を表示
- **警告**:施設に近付いた場合の警告、または 燃料警告を設定
 - 燃料警告
 - DSRC/VICS 交通情報
 - 交通イベント通知マップ
 - 合流警告
 - 踏み切り
 - レーン警告
 - スピードカメラ
- 初期設定
 - **昼 / 夜表示**:日中 / 夜間表示を切り替えます。
 - **フッターを表示**: マップ ビューにタッチ スクリーン フッターを表示
 - レイヤー表示:マップ ビューにレイヤー サイド バーのボタンを表示
 - **到着時刻表示**: 到着時刻と残りの走行時間を切り替え
 - **経由地までの走行データ**:経由地までの 時間および距離を表示

全般的なVICS設定の変更

- NAV ボタン ▶VICS ♠ ▶ □PT ボタンまたは
- 2 MAP ボタン ►VICS 🛱 ► OPT ボタン
- 3. 希望の項目を選択してください。
- **ポップアップ設定**ポップアップのON/OFF 切り替え、および:
 - ポップアップ表示時間とポップアップ メッセージ割込
 - DSRC運転支援情報
 - ITSスポット一般
 - DSRC交通ポイスメッセージ
- VICS 受信ステータス:
 - **選択した局**(東京など)
 - 受信ステータス:例:検索中
 - 受信時間
 - オン/オフライン VICS状態
- **DSRC更新機能**: ON/OFFを切り替えます。
- NAV 設定:「ナビゲーション設定の変更」 (175ページ)を参照してください。
- MAP 設定:「地図設定の変更」(176ページ) を参照してください。

道路通行料自動徴収システム (ETC)の使用

ETCカードリーダーにカードを挿入/取り出し



図140: グローブ ボックス内のETCカード リーダー

- 1. 有効なETCカードを、グローブ ボックス内 のカード リーダーにロックされるまで差 し込んでください。
- 2 ETCカードを取り出すには、△ボタンを押してください。

カードの紛失またはカードのエラーを表示する I PCM スクリーンの下部に表示されます。

支払履歴の表示

✓ ETCカードが挿入されていること

► **CAR** ボタン **料金 過行料履歴** 通行料履歴は、このカードを使用して以前 に支払われたすべての金額を表示します。

i インフォメーション

車両から離れるときは、カードをカード リー ダーから抜き取ることを推奨いたします。

これには**カード取り忘れリマインダー**機能が 役に立ちます。

▷ 「一般的なETC設定」(177ページ)を参照してください。

一般的なETC設定

✓ ETCカードが挿入されている

- 1. CAR ボタン ▶料金 本・ ▶設定 ▶ETC 設定
- 2 希望のオプション選択してください。
- **通行料通知**:現在支払が必要となっている 通行料金を表示します。
- **通行料アナウンス**:通行料の音声アナウン スのON/OFFを切り替えます。
- ETC警告:現在のルート上にある、支払いが 必要な通行料に関する警告を表示/非表示 します。
- カード取り忘れリマインダー:車両を離れるときに、ETCカードをカードリーダーから抜き取ることを促すメッセージのON/OFFを切り替えます。

あ

か

さ

た

な

は

ŧ

や

b

わ

か

さ

な

t-

は

ま

キ

ら

わ

A-Z

パークアシスト

ドライバーが車庫入れをする場合にパーキング アシスタントが車両後部と障害物の距離を警告音でお知らせします。

リバース カメラの映像がPCMに表示されます (車両装備によって異なります)。

▲ 警告

運転中または駐車中の 不注意

パーキング アシスタントにより操作の快適性 は向上しますが、無謀な運転は避けてくださ い。パーキング アシスタントを使用している 場合も、ドライバーには駐車時や障害物に注意 を払う責任があります。このシステムは、ドラ イバーの注意力の代わりになるものではあり ません。

▶ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

距離の測定



フロントおよびリヤ バンパーの超音波センサー Aが障害物との距離を測定します (車両装備により異なる)。障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。障害物との距離が約30 cm以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキングアシスタントが障害物として検出できません。

警告音の音量をマルチファンクション ディスプレイで変更できます。

▷ 「警告音量およびパーキング アシスタント の調節」(231ページ)を参照してください。

パーキングアシスタントの作動

自動作動(約15km/hの速度まで)

- ✓ イグニッションをONにする
- ✓ リバース(後退)ギヤに入れる または
- ✓ 車両の後退が検知されている

手動での作動

► CAR ボタントアシストトパーキングアシスタントを表示する

パーキングアシスタントの停止

自動停止

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替える(障害物が検出されない場合は約2分後)または
- ✓ PDK装備車: セレクター レバーがPの位置に ある

手動での停止



図142:オーバーヘッド コンソールのボタン

- ▶ オーバーヘッド コンソールのボタンAを押してください。
 - ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。
 - PCMには何も表示されません。PCMの表示を手動で再度ONにすることはできません。

図141:距離測定用超音波センサー

例外

構造上、パーキング アシスタントは以下のも のを検出できません。

- 音波を吸収する物体(例:粉雪などの雪、布 地や毛皮の衣類など)
- 音波を反射する物体(例:ガラス面や平ら な途装面など)
- 非常に細い物体(細い支柱など)

その他、他車のエアブレーキ、掃除機、エアジャッキなど、超音波を発する機器の近くでは障害物の検出が妨げられる恐れがあります。

メンテナンス上の諸注意

- ▶ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。
- ▶ センサーを擦ると故障の原因になります。
- ▶ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。
- ► ナンバープレートホルダーの改造、または ナンバープレートの移設、曲がり、取り付 け不良などはシステムに悪影響を及ぼす恐 れがあります。

リバースカメラ

リバース カメラの作動

自動

✓ リバース ギヤに入れてイグニッションを ONにする

または

✓ 車両の後退が検知されている

手動

► CAR ボタン・アシスト ►パーキング アシスタントを表示する

リバース カメラの停止

白動

- ✓ リバースから前進にギヤを切り替える(障害物が検出されない場合は約2分後)または
- ✓ PDK装備車: セレクター レバーがPの位置に ある

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

はま

や

ら

わ

A-Z

発進アシスタント

発進アシスタントは、坂道発進時のドライバー の運転操作を支援するシステムです。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に 防ぎます。

発進アシスタントを使用した 発進操作

✓ エンジンを作動状態にする

- フットブレーキをかけて坂道で停車してください。
- 2 マニュアルトランスミッション装備車: クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでく ださい。
- 3. マニュアルトランスミッション装備車: 坂道を登るために適切なギヤに変速します (1速またはリバースギヤ)。 PDK装備車:

坂道を登る方向に応じてDまたはRにシフトしてください。またはセレクター レバーポジションMで1速にシフトしてください。

- 4. ブレーキ ペダルを放してください。 このとき発進アシスタントが作動して、車 両は坂道での停車状態を維持し、後退を防 ぎ、発進を容易にします。
- 5. 通常の運転操作で発進してください。

i インフォメーション

- 車両がエレクトリックパーキングブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。 エレクトリックパーキングブレーキはドラ
 - エレクトリックパーキングフレーキはドラ イバーの発進操作を検出し、パーキングブ レーキを自動解除します。
- ドライバーが運転席シートベルトを外し、運 転席ドアを開いた場合、エレクトリックパー キングブレーキが自動的に作動します。

▷「エレクトリックパーキングブレーキ」 (193ページ)を参照してください。

i インフォメーション

次のような場合は、発進アシスタントは機能しません。

- クラッチを踏んでいない状態(マニュアルトランスミッション装備車)
- セレクター レバーがN位置のとき (PDK装 備車)
- 車両が停止していないとき
- エンジンが作動していないとき
- 坂道の勾配率が5%以下のとき
- ブレーキペダルの踏力が弱すぎるとき

▲ 警告

車両コントロールの 喪失

発進アシスタントが装備されていても、車両の 物理的限界を超えて車両をコントロールする ことはできません。上り坂での発進時は、発進 アシスタントを過信せず、常に責任ある運転を 小がけてください。

発進アシスタントは、滑りやすい路面(凍結路 やぬかるみなど)で停止および発進するときは 役立たないことがあります。この場合、発進時 に車両がスリップする恐れがあります。

▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。

発進アシスタントが機能していない場合、坂道 での発進時に運転操作を支援しません。

▶ フットブレーキをかけて停車してください。

バッテリー

▲ 警告

感電、ショートまたは 火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテ リー マイナス ケーブルの端子を外してく ださい。
- ► 工具や電気を通す装身具(指輪、ネックレス、時計バンドなど)が、車両の電気部品と接触しないように注意してください。

▲ 警告

火災または爆発

燃料、エンジン オイル、トランスミッション オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは 非常に引火しやすい性質を持っています。燃料 蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛 バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガス が発生することがあります。

- 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリーマイナスケーブルの端子を外してください。
- ▶ 静電気の帯電を防ぐため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
- ▶ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
- ▶ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
- ► メンテナンス作業は屋外か、屋内の換気が 良い場所のみで実施してください。

▲ 注意

腐食性のある雷解液

鉛バッテリーには腐食性の高いバッテリー液が入っており、付着すると皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

- ► 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してくだ さい。
- ▶ バッテリー液の漏出を防ぐため、バッテリーを傾けないでください。
- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、多量の 冷水で数分間洗い流してください。

知識

回路のショート、火災またはオルタネーター、 電子制御式コントロール ユニットおよび構成 部品を損傷する恐れがあります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリーマイナスケーブルの端子を外してください。



図143:バッテリー

バッテリーはフロント ラゲッジ コンパートメント内のプラスチック カバーの下にあります (図143)。

プラスチック カバーの取り外しに関するインフォメーション:

- ▷ 「タイヤ充填コンプレッサーの取り外しおよび収納」(246ページ)を参照してください。
- ▶ ジャンパー ケーブルによるエンジン始動時は、黒色のマイナス ケーブルを絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。必ず充電器の黒色のマイナス ケーブルをアース箇所 (マイナス端子) B (図144)に接続してください。

ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動に 関するインフォメーション:

▷「ジャンパーケーブルによる始動」(114 ページ)を参照してください。 あ

か

さ

た

な

ま

は

や

ò

わ

か

さ

t-

は

ま

b

わ

警告シンボルへの対応

表示

意味



バッテリーの充電レベルが低い ときは、マルチファンクション ディスプレイにいずれかのシン ボルが表示されます。



オルタネーターに不具合が発生 しています。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75ページ) を参昭してください。

バッテリーに記載されている 安全に関するシンボルに注意 してください。



取扱説明書をお読みください。



保護眼鏡を必ず着用してください。



お子様を絶対に近づけたりしないでく ださい。



爆発の危険があります。

バッテリー充電中は爆発性の高い気体 混合物が発生します:



火気、火花、裸火を近づけたり、そばで 喫煙したりすることは絶対に避けてく ださい。

電気配線や電装品を取り扱うときは、火 花を発生させたり、ショートさせたりし ないでください。



酸による火傷の危険があります。

バッテリー液には極めて強い腐食性が あります 保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してく ださい。 ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる

恐れがあるため、バッテリーを傾けない でください。

広急奶置

バッテリー液が目にかかった場合、直ち に水で数分間洗い流し、

直ちに医師の診察を受けてください。 皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹸 水で中和し、多量の水で洗い流してくだ さい。

万一バッテリー液を飲み込んでしまっ た場合は、直ちに医師の診察を受けてく ださい。



廃棄

古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃 棄してください。



古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃 棄しないでください。

バッテリーのお手入れ

インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充 電状態を維持してください。バッテリーが充 電不足のときは温度が0°Cであっても凍結する ことがあります。完全に充電されている場合 は-40°Cまで凍結しません。

運転者が何を したいか?

その操作方法は?

バッテリー 上がりを防 ぐには

- 短距離の運転時は、不要な 電気装備類をOFFにしてく ださい。
- ▶ 車両から離れるときはイグ ニッションをOFFにし、キー を抜いてください。
- ▶ エンジン停止時には、PCMを 使用しないでください。

お手入れ

- バッテリーの ▶ バッテリー表面は清潔で乾 いた状態に保ってください。
 - ▶ バッテリー端子は必ず確実 に接続してください。

備えて

- 冬季の走行に ▶ 冬になる前に、ポルシェ正 規販売店でバッテリーの点 検を受けてください。
- バッテリーを ▶ 凍結または損傷したバッテ 充雷する
 - リーは決して充電しないで ください。
 - ▷「バッテリーの充電」(183 ページ)を参照してください。

車両を保管するとき

- ▶ 車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間 保管する場合は、ドアやリッド類を確実に 閉じてください。
- ▶ キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端 子を外してください。

1 インフォメーション

バッテリーを切り離している場合、警報装置は 作動しません。バッテリーを切り離す前に車両 がロックされていた場合、バッテリーを再接続 したときに警報システムが作動します。

▷ 「警報システム」(93ページ)を参照してく ださい。

i インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常 に放雷しています。

- ► 正常に使用可能な状態を保つには、約 6 週間ごとの充電または AGM (Absorbent Glass Mat (アブソーバント ガラス マット)) バッテリーに適したトリクル充電器の使用が必要です。
 - ポルシェ社では、ポルシェ テクイップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することを推奨いたします。
- ▶ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通 しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意して ください。

バッテリーの充電

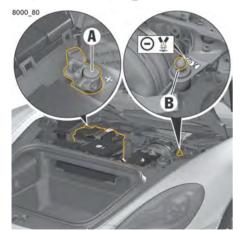


図144:バッテリー端子

- Δ プラス端子+
- B アース箇所(マイナス端子) -

▲ 警告

凍結または損傷した バッテリーの充電

凍結または損傷したバッテリーを充電すると、 爆発や酸による火傷の危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーは決して充電しないでください。
- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ バッテリーの充電中は必ず十分に換気を 行ってください。
- フロント ラゲッジ コンパートメント リッドを開いてください。
- ▷「フロントラゲッジコンパートメントリッドの緊急解除」(251ページ)を参照してください。
- ラゲッジ コンパートメント カバーを取り 外してください。
- ▷ カバーを取り外すには:「タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(245ページ) を参照してください。
- 3. 充電器の赤色のプラス ケーブルをバッテ リーのプラス端子Aに接続してください。
- 4. 充電器の黒色のマイナス ケーブルをアース 箇所Bに接続してください。
- 5. 充電器のスイッチをONにしてください。
- 6. バッテリーの充電が完了したら、充電器の 電源をOFFにしてから、ケーブルを外してく ださい。
- ▷「電源供給遮断後の車両の作動復帰」(183 ページ)を参照してください。
- ▶ 適切な充電器に関する情報は、ポルシェ正 規販売店にご相談ください。

バッテリーの交換

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

- ► バッテリーの脱着は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。
- ► バッテリーの交換時は、車両が必要とする 要件を満たしたAGM (Absorbent Glass Mat: 浸透ガラス マット) バッテリーを必ず使用 してください。ポルシェ純正バッテリーの 使用を推奨いたします。
- ▶ 電池の廃棄に関する指示を遵守してください。
- ► 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロールユニットでの初期化が必要です。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電源供給遮断後の車両の作動 復帰

バッテリーを接続した後、または放電してしまったバッテリーを充電した場合、以下の作業を実施してください:

- パワー ウィンドウの停止位置を保存してく ださい。
- ▷「サイドウィンドウ停止位置の保存」(36 ページ)を参照してください。
- 2 タイヤ空気圧モニタリング システム (TPM) にタイヤを登録してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(129 ページ)を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

さ

な

た

はま

+

ら

わ

A-Z

パンク

警告シンボルへの対応

のシンボルが警告メッセージとともにマルチファンクションディスプレイに表示された場合は、タイヤ空気圧モニタリングシステムが著しい空気圧低下を検出しています。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検 してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

車両を安全な場所に停車する

- 1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所 に停車してください。ジャッキがセットで きる固く平坦な滑りにくい場所に駐車して ください。
- 2 ハザードライトを点滅させてください。
- エレクトリック パーキング ブレーキを作動 させてください。
- 4. マニュアル トランスミッション装備車:1速 ギア または

PDK装備車:セレクターレバーを**P**位置に入れてください。

- 5. フロント ホイールを直進位置にしてくだ さい。
- 6. ステアリングのロックとエンジンの誤始動 防止のために: キーを抜き取ってください。
- 7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。このとき、周囲の交通状況に注意してください。
- 8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。
- 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めを するなどして、車両が不意に動き出さない ようにしてください。

損傷したタイヤの補修

▲ 警告

シーラントでふさいだ だけのタイヤは、事故 の原因となる可能性が あります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、 不適切な速度で走行したり連続的な負荷がか かったりすると圧力を失ったり、バーストした りする可能性があります。

- ► タイヤ シーラントを使用してタイヤの傷を ふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行 するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤ シーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用できません。
- ▶ リムが損傷している場合や、空気圧が低い タイヤや収縮したタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しない でください。
- ▶ 外気温度が-20°C未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてく ださい。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検 してください。タイヤ空気圧が1.5bar以下の 場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷した タイヤを交換します。
- ► タイヤ シーラントおよびコンプレッサーの 各取扱説明書に記載されている安全と操作 の指示を読み、それに従ってください。

パンクした場合、タイヤシーラントキット (Tire Mobility System – TMS) を使用して、タイヤの傷を一時的にふさぐことができます。損傷したタイヤを適切に補修するには以下が必要です。

- タイヤ シーラント セット (Tire Mobility System - TMS) は、フロント ラゲッジ コン パートメント内に収納されており、以下で 構成されています。
 - 充填ボトル
 - 充填ホース
 - バルブ回し
 - 交換バルブインサート
 - 許容最高速度表示用ステッカー
 - 操作説明
 - ▷ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System TMS) または工具セットの取り外しおよび収納」(245ページ)を参照してください。
- コンプレッサーはフロント ラゲッジ コンパートメント内にあります。
 - ▷「タイヤ充填コンプレッサーの取り外し および収納」(246ページ)を参照してく ださい。

タイヤ シーラントの充填 (Tire Mobility System - TMS)

▲ 警告

人体に有害な可燃性 シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。 長時間または繰り返し触れていると、刺激、ア レルギー反応または臓器の損傷の原因となり ます。

- ▶ タイヤ シーラントを取り扱う際、火炎、裸 火、喫煙は禁止されています。
- ▶ お子様の手の届かない場所に保管してくだ さい。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意し てください。
- ▶ タイヤ シーラントが皮膚に付着したり目に 入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗 い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたとき は、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてく ださい。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないよう にしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだとき は、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の 水を飲んでください。無理に嘔吐しないで ください。直ちに医師の診察を受けてくだ さい。

▲ 警告

タイヤ空気圧の低下

タイヤ シーラントが付着したタイヤ空気圧セ ンサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できま せん。

▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ 空気圧センサーも必ず一緒に交換してくだ さい。

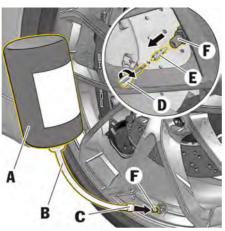


図145:タイヤ シーラントの充填 (Tire Mobility System -TMS)

- Δ 充填ボトル
- B 充填ホース
- C 充填ホースプラグ
- n バルブ回し
- バルブ インサート
- タイヤ バルブ

充填作業の準備

- 1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取 り除かず、そのままタイヤに残しておいて ください。
- 2 フロント ラゲッジ コンパートメントから タイヤ シーラントおよび同封のステッカー を取り出してください。 タイヤ シーラントはラゲッジ コンパート メント内の右側ボックスに収納されていま す。コンプレッサーはラゲッジ コンパート メント内のカバーの下にあります。
 - ▷ 「タイヤ充埴コンプレッサーの取り外し および収納」(246ページ)を参照してく ださい。
 - ▷ 「タイヤ シーラント (Tire Mobility System - TMS) または工具セットの取り外しお

よび収納」(245ページ)を参照してく ださい。

3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバー の目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤ シーラントの充填 (Tire Mobility System -TMS)

- ▷ タイヤ シーラントに添付されている取り扱 い上の注意事項を遵守してください。
- 1. 充垣ボトルAを振ってください。
- 2 充填ホース B を充填ボトルに取り付けてく ださい。 充填ボトルを開封してください。
- 3 タイヤ バルブFからバルブ キャップを取り 外してください。
- 4. バルブ回しDを使用して、バルブインサート Eをタイヤバルブから取り外してください。 交換用バルブ インサートが入手できない場 合は、バルブ インサートを清潔で乾燥した 場所に保管してください。
- 5. 充埴ホースBのプラグCを取り外してくだ さい。
- 6 充填ホースをタイヤ バルブに押し付けてく ださい。
- 7. 充填ボトルをタイヤ バルブより上方に持ち 上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタ イヤに充填してください。
- 8 充填ホースをタイヤ バルブから引き抜いて ください。
- 9. 入手可能な場合は、バルブ回し D を使用し て、交換用バルブ インサートまたはバルブ インサートEに確実にねじ込んでください。

タイヤ空気の充填

- ▷ コンプレッサーの取扱説明書に従ってくだ さい。
- ▷ 「タイヤ空気の充填」(133ページ) を参照し てください。
- 1. コンプレッサーを車両のプラグ ソケットに 接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤ に空気を入れてください。タイヤ空気圧が この規定値に達しない場合は、タイヤが激 しく損傷しています。このようなタイヤで 運転を続けないでください。
- 2 バルブ キャップをタイヤ バルブFに取り付 けてください。

あ

か

さ

t-

な

ま

1,1

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

A-Z

わ

空気圧の点検

▶ 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検 してください。

タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合は、運転を中止してください。タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。

▷ 「タイヤ空気圧」(270ページ)を参照してください。

タイヤ交換

▷「タイヤとホイールの交換」(135ページ)を 参照してください。

ホイールを交換した後は、マルチファンクションディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

▷ 「タイヤ空気圧モニタリング[TPM]」(129ページ)を参照してください。

コラプシブル スペア ホイール の使用

✓ コラプシブル スペア ホイール装備車 コラプシブル スペア ホイールは、バッグに収納 された状態で助手席後部に固定されています。

▲ 警告

コラプシブル スペア ホイールの不十分な 固定

コラプシブル スペア ホイールが車内でしっか りと固定されていない場合、ブレーキや車線変更、または衝突の際に、コラプシブル スペア ホイールがホルダーから外れて飛び出し、乗員がケガをする恐れがあります。

► 走行前および長距離走行中は定期的にコラ プシブル スペア ホイールがしっかりと固 定されているか点検し、必要に応じて2本の テンション ストラップでしっかりと締め付 けてください。

▲ 警告

車両のハンドリング特 性の変化

コラプシブル スペア ホイールを装着すると車 両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ コラプシブル スペア ホイールは緊急時に 短距離を走行する場合にのみ使用してくだ さい。 安全のため、トレッドの溝にスリップ サイン(深さ 1.6 mm) が現れる前にタイヤを交換 してください。
- ▶ ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) システムを解除しないでください。
 - ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。 コラプシブルスペアホイールを装着すると車両の走行挙動が変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも、80 km/hの最高速度を厳守してください。
- ▶ 他車用のコラプシブル スペア ホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のコラプシブル スペア ホイール を他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のコラプシブル スペア ホイール を使用しないでください。

コラプシブル スペア ホイールの取り外し

- 助手席シート バックレストを倒してください。
 - ▷「バックレストを倒す」(106ページ)を 参照してください。

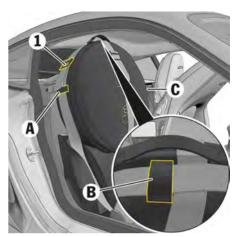


図146:リテーニングストラップ1の解除

2 リテーニングストラップ1を解除し、タブA、B、Cから引き出します。

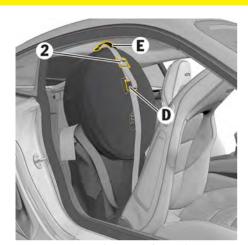


図147:リテーニング ストラップ2の解除

- 3. リテーニング ストラップ2を解除し、タブD とバッグ ハンドルEから引き出します。
- コラプシブル スペア ホイールが収納され たバッグを取り外します。
- コラプシブル スペア ホイールをバッグから 取り外します。

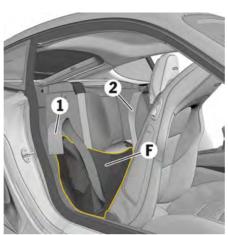


図148:718 Cayman GT4の例:フォーム パーツ、リテーニング ストラップ、スプリング フックの取り外し

- 6. フォームパーツFを車両から取り外します。
- 7. リテーニング ストラップ2のファスナーを ラゲッジ ホルダー下部 (718 Cayman GT4) ま たはロールオーバー バー (718 Spyder) から 引き出し、リテーニング ストラップを車両 から取り外します。
- 8. リテーニング ストラップ1をスプリング フックから引き出し、車両から取り外します。
- 9. ISOFIXアタッチメント ブラケットからスプリング フックを外し、車両から取り外します。

コラプシブル スペア ホイールの使用

- 車両をジャッキアップした状態で、空気の入っていないコラプシブルスペアホイールを車両に取り付けてください。
 - ▷「タイヤ交換」(136ページ)を参照して ください。
- 2 タイヤに空気を入れてください。
 - ▷ 「タイヤ空気の充填」(133 ページ) を参 照してください。

コラプシブル スペア ホイールを使用した 後は

▶ コラプシブル スペア ホイールを収縮させます。そのためには、コラプシブルスペアホイールのバルブキャップをゆるめます。コラプシブルスペアホイールは元の形状に戻るのに空気を抜いてから数時間かかります。コラプシブルスペアホイールは、元の形状に戻してからバッグに収納し、車内に搭載してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

ま

b

わ

コラプシブル スペア ホイールの収納

- 1. 助手席シート バックレストを倒してください。
 - ▷「バックレストを倒す」(106ページ)を 参照してください。



図149:718 Cayman GT4の例:スプリング フック、リテーニング ストラップ、フォーム パーツの取り付け

- スプリング フックをISOFIXアタッチメント ブラケットに取り付けます。
- リテーニングストラップ1をスプリングフックに通します。

i インフォメーション

718 Spyder: ウィンドデフレクターを取り外す必要があります。

4. リテーニング ストラップ2をシートに対して配置し(図149)、ファスナーをラゲッジホルダー下部 (718 Cayman GT4) またはロールオーバー (718 Spyder) に通し入れます。

フォーム パーツFをリテーニング ストラップ2上に配置します。



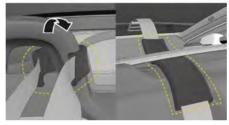


図150:摩耗防止プロテクターの配置

6 リテーニング ストラップ2の摩耗防止プロテクターをマークした箇所(図150)に配置します。



図151:コラプシブル スペア ホイールの配置

7. コラプシブル スペア ホイールを収納した バッグをフォーム パーツF上に配置します。 バッグ ハンドルを頂部に配置し、バッグの 文字を進行方向側に向けます。

図152:リテーニングストラップ2の締め付け

インフォメーション

- ▶ リテーニングストラップを取り付ける際、ス トラップがねじれていないことを確認して ください。
- 8. リテーニング ストラップ2のファスナーを バッグ ハンドルEに後部から诵し、**タブBが** 隠れないように配置します。
- 9. リテーニング ストラップ2のもう一方の端部 を後部からタブDに通し、ファスナーの中に 入れ、締め付けます。

知識

シート バックレストを損傷する恐れがあり ます。

▶ 締め付けた後、リテーニング ストラップ2の ファスナーがタブDの上部に配置されてい ることを確認してください。

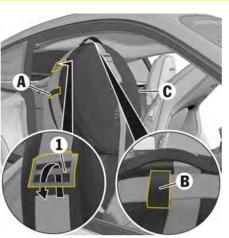


図153:リテーニング ストラップ1の締め付け

- 10. リテーニング ストラップ1のファスナーをタ ブCとBに通します。
- 11. リテーニング ストラップ1のもう一方の端 部を後部からタブAに通し、ファスナーの中 に入れ、締め付けます。

締め付けた後、リテーニング ストラップ1の ファスナーがタブAとBの間に配置されてい ることを確認してください。

- 12 シートを最低位置に調節します。
- 13. シートがフォーム パーツFとコラプシブル スペアホイールに軽く接触するように、 シートの前後位置を調節します。
- 14. シート バックレストをカチッとはまるまで 後方へ倒してください。
 - ▷ 「シート」(105ページ)を参照してくだ さい。

知識

シートを損傷する恐れがあります。

▶ シートに過剰な圧力がかからないように位 置を調節してください。

コラプシブル スペア ホイールに不具合が 発生した場合は:

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポ ルシェ正規販売店のご利用を推奨いたしま す。十分なトレーニングを受けた経験豊か なスタッフが、最新の技術情報と専用工具 や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束 します。

あ

か

さ

t-

な

14

ま

や

b

わ

A-Z

189

ヒューズ

▲ 警告

ショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする 恐れがあります。ショートは火災の原因となり ます。

▶ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテ リーマイナスケーブルの端子を外してく ださい。

▲ 警告

不適切な処置および不 適切なアクセサリー

ヒューズ ボックスへの不適切な処置、または不 適切なアクセサリーの使用は、電気/電子回路に 損傷や不具合を発生させる恐れがあります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ社が承認した電装品(アクセサリー)のみを使用してください。認定アクセサリーに関するインフォメーション:ポルシェ正規販売店にご相談ください。

リレー

リレーの点検と交換はポルシェ正規販売店で 行ってください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズの点検および交換



図154: 左側足元のヒューズ ボックスにあるエレメント 1 スペア ヒューズ

2 プラスチック製ヒューズ リムーバー

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。 ヒューズ ボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。 ヒューズ リムーバーおよびスペア ヒューズは上部カバーの下、両方のヒューズ ボックス内にあります。

- 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
- 2 穴に指を入れて、プラスチック カバーを外してください。
- 3. ヒューズを点検するため、プラスチック製 ヒューズ リムーバー2を使用して、スロッ トからヒューズを引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
- 4. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。スペア ヒューズ1は左側のヒューズ ボックスのプラスチック製ヒューズリムーバー 2の隣にあります。

i インフォメーション

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原 因を早急に修理してください。

★ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。 十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

運転席側のヒューズ



図155:運転席側足元のヒューズキャリア

Δ列

- 1 左下:エアコンブロワー(右ハンド 40 A ル車のみ)
- 2 左上: PSMコントロール ユニット 40 A
- 3 右下:シートおよび運転席シート 25 A □ コントロール ユニットの調整
- **4** 右上:718 Spyder:コンバーチブル 40 A ► トップ

あ

カ

さ

た

な

は

110

わ

'n

わ

A-Z

190

5 A

1	ヘッドライトの右側/左側通行の変更 40 A
	フロント リッド ライト
	フロント リッド アクチュエーター
	ハイ ビーム ヘッドライト、左
	ロー ビーム ヘッドライト、左
	サイド マーカー ライト、右フロント
	方向指示器、左リヤおよび左フロント

- ク エキゾーストフラップコントロール 15 A
 ハイマウント ブレーキ ライト、リヤ スポイラー リヤ リッド アクチュエーター リヤフォグライト、右 ブレーキ ライト、左 リバース ライト、左 テール ライト、左 デイタイム ドライビング ライト、左
- 3 アラームホーン

4 インテリアライト ホール センサー オリエンテーション ライト リヤ ウィンドウ ヒーター リレー セントラル ロッキングLED ドアパネルIFD アンビエント ライト ライセンス ライト リヤフォグライト、左 ハイマウント ブレーキ ライト ブレーキ ライト、右 リバース ライト、右 テール ライト、右 デイタイム ドライビング ライト、右

- 5 燃料ポンプ リレーおよびコント 20A ロール ユニット
- 10 A 6 フィラーフラップロック ステアリング コラム ロック端子30 ウォッシャー ポンプ、フロントおよ びリヤ
- 7 未使用

9 未使用

15 A 10 ステアリング コラム ストップウォッチ

C列

15 A

- 1 センター コンソール ボタン パネル 10 A ゲートウェイ コントロール ユニット 故障診断用ソケット イグニッションロック ステアリング コラム ロック ライト スイッチ 718 Cavman GT4: ラゲッジ コンパー トメントライト
- 15 A **2** フットウェル ライト 40 A イグニッション ロックの取り外し 防止ロック 方向指示器、右フロントおよび右リヤ ハザード ライト ボタンLED イグニッション ロック ライト 方向指示灯(サイド)、右フロント および左フロント ハイ ビーム ヘッドライト、右 ロー ビーム ヘッドライト、右 車幅灯、左フロント
 - 3 未使用
 - 4 ホーン

5 フィラーフラップ (燃料給油口力 30 A■ バー) リヤスポイラー コントロール (展開/ 格納) 718 Spyder: コンバーチブルトップ

ロック クロージング エイド 718 Spyder: コンバーチブル トップ コンパートメント キャッチの開閉

8 エアコンコントロールユニット 7.5 A ■ 6 パワー ウィンドウ コントロール ユ 25 A ■ ニット、左 ドア コントロール ユニット、左

7 ヘッドライト クリーニング システム 30 A ■

25 A 8 PSMコントロールユニット

9 アラームサイレン

10 室内モニタリング センサー

5 A

D列

1 未使用

2 未使用

15 A 3 左ヘッドライト

5 A 4 フロントカメラコントロールユ ニット PDCコントロール ユニット ゲートウェイ/故障診断用ソケット エア クオリティ センサー ヘッドライト コントロール ユニット

5 A 5 PSMコントロール ユニット

6 ステアリング コラム スイッチモ ジュール 電動ステアリング ギヤ 冷媒圧カセンサー ラジエーター ファン リレー

7 セレクター レバー コントロール ユ 5A■ ニット クラッチ スイッチ センサー

8 右ヘッドライト

15 A

9 ルームミラー

5 A

5 A

10 未使用

15 A

あ

か

7

t-

な

は

ま

や

b

わ

さ

わ

助手席側のヒューズ

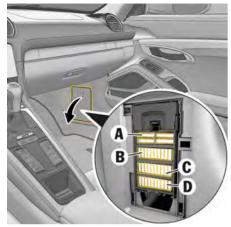


図156:助手席側足元のヒューズキャリア

Α列

- 1 左下:DC/DCコンバーター PCM
- 40 A

- 2 未使用
- 3 右下:外気ブロワー モーターおよび 40 A ファンコントロール (左ハンドル車 のみ)
- **4** 右上:シートおよび助手席シート コ 25 A □ ントロール ユニットの調整

B列

1 レインセンサー

- 5 A
- 2 エアコン/シート ヒーター コント 25 A ロール ユニット
- 3 PCMコンポーネント:
 (リバース カメラ、アンテナ アンプ、
 コントロール ユニット ディスプレ
 イ、USBハブ、カップリング アンテナ、カード リーダー)
- **4** 外部ブースター付きセントラル コ 7.5 A ンピューター
 - 内部ブースター付きセントラル コ 20 A ンピューター
- 5 TPMコントロール ユニット 5 A エアコン コントロール ユニット
- 6 サウンド システム アンプ
- 40 A

10 A

- **7** Burmester®サブウーファー ブース 40 A ター
- 8 未使用
- 9 インストルメント クラスター
- 10 未使用

C列

- 1 未使用
- 2 エレクトリック パーキング ブレー 5A■ キスイッチ
- 3 オーバーヘッド コンソール
- 5 A
- 4 PDKコントロール ユニット
- 25 A

- 5 未使用
- 6 フロント ワイパー モーター
- 30 A

- 7 パワー ウィンドウ コントロール ユ 25 A ニット、右 右ドア コントロール ユニット
- 8 ステアリング コラム調整
- 25 A

- 5 A 9 未使用
 - 10 未使用

D列

- 1 エアバッグ コントロール ユニット 5A シート センサー コントロール ユ ニット
- 2 PASMコントロールユニット
- 5 A

5 A

- 3 未使用
- 4 未使用
- 5 未使用
- 6 未使用
- 7 始動関連の電装品 DME、PDK コントロール ユニット リヤBCM
- 8 未使用
- 9 センター コンソール ソケット シガー ライター
- 10 助手席足元ソケット

20 A

20 A

エレクトリック パーキング ブレーキ

エレクトリック パーキング ブレーキは後輪に作用し、停車中に車両が動き出さないように固定します。



図157:エレクトリック パーキング ブレーキ スイッチ

パーキングブレーキを作動させる

▶ (P) スイッチを押してください。 (P) スイッチのインジケーター ライトとインストルメント パネルのブレーキ警告灯(1) が点灯します。

警告灯およびインジケーター ライトに関する インフォメーション:

▷「インストルメント パネル」(30ページ) を 参照してください。

パーキングブレーキを手動で解除する

- ✓ イグニッションがONのとき
- 1. ブレーキペダルを踏んでください。
- 2 (P) スイッチを引いてください。

インストルメント パネルのブレーキ警告灯 (①) が消灯します。

パーキングブレーキの自動解除

パーキング ブレーキをかけたままでも通常の ように発進することができます。

- ✔ エンジンが作動している
- ✔ 運転席ドアを閉じている
- ✔ 運転席シートベルトを着用している

エレクトリック パーキング ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング ブレーキを自動解除します。

これらの条件のいずれかが満たされていない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック パーキング ブレーキが自動解除されません。

マルチファンクション ディスプレイにメッセージが表示されます。インストルメント パネルのブレーキ警告灯 (①) および (②) スイッチのインジケーター ライトが点滅します。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

パーキングブレーキの自動ロック

✔ PDK装備車

セレクター レバーがD、RまたはMの位置にあり、車両が停止状態で、運転席ドアが開いている場合、エレクトリック パーキング ブレーキがロックされます。

(D) スイッチのインジケーター ライトとインストルメント パネルのブレーキ警告灯 (1) が点灯します。

警告灯およびインジケーター ライトに関する インフォメーション:

▷「インストルメントパネル」(30ページ)を 参照してください。

i インフォメーション

パーキング ブレーキの自動ロックは手動で無効にすることができます。

▶ (P)スイッチを引いてください。 バーキングブレーキが解除された。

バーキング ブレーキが解除された状態のままになります。

エレクトリック パーキング ブレーキの締結を 無効にした場合、この機能はドアを再度開いた 場合にのみ利用できます。

緊急ブレーキ機能を作動させる

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリックパーキングブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

▶ (P) スイッチを押し続けてください。

インストルメント パネルのブレーキ警告灯(()) および((P)) スイッチのインジケーターライトが点滅します。

緊急ブレーキ機能を解除するには:

▶ **(P)**スイッチを放してください。

▲ 警告

急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、 車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用して ください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

警告シンボルへの対応

停車中にエレクトリック パーキング ブレーキが完全にかからない場合、(P) スイッチのインジケーター ライトおよびインストルメント パネルのブレーキ警告灯 (T) が点滅します。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75ページ) を参照してください。 あ

か

さ

た

な

は

ŧ

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

A-Z

フットブレーキ

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルが不意に作動したり、ブレーキペダルが妨げられたりする可能性があります。これにより、予期しない加速やブレーキ操作が難しくなる場合があります。

- 車両に適切なフロア マットのみを使用して ください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ いくつものフロアマットを重ねて置かないでください。
- ▶ 清掃などの際に、フロアマットを取り外した後、再び正しく固定されていることを確認してください。

▲ 警告

ブレーキ ブースター の機能停止

ブレーキ ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

- ▶ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。
- ▷「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(94ページ)を参照してください。

▲ 警告

ブレーキ ディスクに 付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

▲ 警告

制動力の低下

凍結防止剤(塩分)が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

車両を長期に渡り駐車したまま放置した場合、 ブレーキディスクの腐食は避けられません。そ の結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

- ▼ ブレーキディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」 駐車してください (ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ装備車を除く)。
- ► ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店でブレーキシステムを点検してください。

イルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ ブレーキの効きを維持するため、下り坂を走 行するときは、タイミング良くギヤを落と し、エンジンブレーキを利用してください。 急な下り坂でエンジンブレーキの効果のみでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキペダルを踏んでください。ブレーキペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するイン フォメーション:

▷「ブレーキ フルード」(196ページ)を参照 してください。

ブレーキ パッドおよびブレーキ ディスク

ブレーキ パッドやブレーキ ディスクの摩耗 は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって 大きく左右されるため、必ずしも走行距離には 依存しません。

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから異音が発生することがあります。新品のブレーキ部品に必要な慣らし運転後にもブレーキから異音が発生する場合があります。

警告シンボルへの対応

ブレーキ パッドが摩耗限度に達すると、警告 シンボルが表示されます。

- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。
- 直ちにブレーキパッドを交換してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキシステムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。

このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境(気温、湿度等)によってブレーキから 異音が発生する場合があります。

ブレーキ パッドやブレーキ ディスクなどのブレーキ システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離に依存するとは言えません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。 サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ 正規販売店にお問い合わせください。 な

は

や

ま

'n

わ

か

さ

た

な

は

170

+

ら

わ

A-Z

ブレーキ フルード



図158:ブレーキ液タンク

警告シンボルへの対応

ブレーキ液量が許容範囲を下回ると、インストルメントパネルに(①)のシンボルが表示され、マルチファンクションディスプレイにメッセージが表示されます。ブレーキペダルの踏み代が過大になる他、警告灯が点灯してブレーキシステムの故障を示す場合もあります。

- ▶ 直ちに安全な場所に停車し、運転を続けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

ブレーキ液量の点検

- ▶ ブレーキ液タンクのブレーキ液量を読み取ってください(図158)。フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。
- ▶ ブレーキ液量が MIN マークより下にある場合は、ブレーキ液を補充してください:ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ フルードの交換

ブレーキ フルードの定期点検と交換はメンテナンスの一部です。

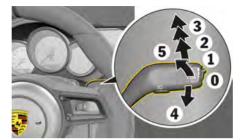
▷ 「サーキット走行」(13ページ) を参照して ください。

フロント ワイパー

概要

この概要説明は「フロント ワイパー」に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」 を必ずお読みください。



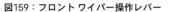




図160: レイン センサー/間欠作動感度のスイッチ(A)

希望する操作	操作方法	ページ
ワイパーオート作動(レインセンサー/間欠作動)	操作レバーを1の位置にしてください。	199
レイン センサー /間欠作動の感度設定	操作レバー右部のスイッチAを上(作動回数が増える)または下(作動回数が減る) 方向に押してください。	199
フロント ワイパー作動	低速:操作レバーを2の位置にしてください。 高速:操作レバーを3の位置にしてください。 ワンタッチ:操作レバーを4の位置に押してください(4の位置で保持すると、ワイ パーの動きが速くなります)。	198
ワイパー &ウォッシャー作動	操作レバーをステアリングホイール方向5に引いて、保持してください。	198
フロント ワイパーを立てる	イグニッションをOFFにして、ワイパー レバーを1回下方向4に押してください。 フロント ワイパーが上方に約45°移動します。	198

か

さた

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

▲ 警告

ワイパーの不意の作動

フロント ワイパーは間欠/レイン センサーモードで自動的にワイプ作動を行います。

► 不意に作動することのないよう、フロント ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーを OFFにしてください。

知識

フロント ウィンドウおよびワイパー システム が損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態で ワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因に なります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ 凍結時はヘッドライト ウォッシャーを操作 しないでください。
- ▶ (間欠またはレイン センサー機能により) 不 意に作動することのないよう、フロント ワ イパーをOFFにしてください。
- ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライト ウォッシャーを操作しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。
- ワイパーブレードを交換する場合は、ワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

フロント ウィンドウ ワイパー の操作



図161: フロント ワイパー操作レバー

0 フロントワイパー OFF

フロント ワイパーまたはイグニッション をOFFにすると、ワイパー アームが通常位 置からわずかに上方に動きます。この動き により、ワイパープレードのウィンドウ 接触面の向きを整えます。

1 レインセンサー /間欠作動 フロント ワイパー

▶ ワイパー レバーを1段目の位置まで上 方向に押してください。

2 ワイパー低速作動

▶ ワイパー レバーを2段目の位置まで上 方向に押してください。

3 ワイパー高速作動

▶ ワイパー レバーを3段目の位置まで上 方向に押してください。

4 フロントワイパーのワンタッチ機能

▶ ワイパーレバーを下方向に押してください。 フロントワイパーが1回作動します。

5 ワイパー /ウォッシャー システム

▶ ワイパー レバーをステアリング ホイールの方向に引いてください。 レバーを引いている間、ウォッシャーシステムとワイパーが作動します。 レバーを放 その後ワイパーが数回作動します。 なお、フロントウィンドウのウォッドシャーが10回作動するごとに、が自動います。

1 インフォメーション

- ▶ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
- ▶ 頑固な汚れ(昆虫の死骸など)は定期的に 清掃してください。

良好な視界を確保するためには、完全な状態のワイパーブレードが不可欠です。

▷「ワイパー ブレード」(260ページ) を参照 してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション: ▷ 「お手入れ」(57ページ)を参照してください。

アイス/サンシールドの装着とワイパー ブレードの交換

► イグニッションをOFFにして、ワイパーレバーを1回下方向4に押してください。 フロントワイパーが上方に約45°移動します。

ワイパー作動間隔の調整



図162: レイン センサー /間欠作動感度の切り替えスイッチ

レイン センサー非装備車では、フロント ワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

ワイパーの作動間隔を短くする

▶ スイッチAを上方向に押してください。 フロントワイパーが1回ワイプ作動を行い、 設定が切り替わったことを知らせます。

ワイパーの作動間隔を長くする

▶ スイッチAを下方向に押してください。

レイン センサー作動の調節

レイン センサー装備車の場合、フロント ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント ワイパーをONにしているときに速度 が約4km/h以下になると、レイン センサーが自 動的に作動します。

速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きが レバーで設定した速さに復帰します。

i インフォメーション

- イグニッションをONにしたとき、ワイパー レバーが既に1の位置にあった場合、速度が 4km/hを超えるまでレイン センサーは作動 しません。
- イグニッションをONにしたときに、すでに ワイパーレバーが2または3の位置にある場合、フロントワイパーはワイパーレバーを 操作しなければ作動しません。

1 インフォメーション

ラゲッジ コンパートメント リッドを開くとワイパーが停止します。

► 再度ワイパーをONにするには、フロントワイパー操作レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レイン センサー感度の手動調節

ワイパー速度を手動で設定することができます:

感度を高くする

▶ スイッチAを上方向に押します。 フロント ワイパーが1回ワイプ作動を行い、 設定が切り替わったことを知らせます。

感度を低くする

▶ スイッチAを下方向に押します。

ヘッドライト ウォッシャー システムの 操作

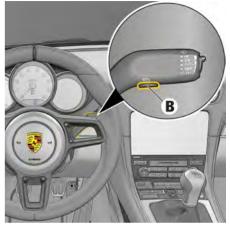


図163:ヘッドライト ウォッシャー システムのボタン

- ✔ ロー/ハイビームが作動している
- ▶ ワイパーレバーの下側のボタンBを押して ください。

i インフォメーション

なお、フロント ウィンドウのウォッシャーが 10回作動するごとに、ヘッドライト ウォッシャー システムが自動的に作動します。ロービームを消灯すると、フロント ウィンドウウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

た

b

ヘッドライト

知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐 れがあります。

▶ ヘッドライトにカバー (ストーン ガードや フィルムなど)を装着しないでください。

インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることが あります。十分な距離を走行すると、この曇り は取れます。

▶ 诵気を確保するため、ヘッドライトとボ ディの隙間にカバーをしないでください。

ヘッドライト調整

▶ ヘッドライトの調整は、専用の調整装置が ある整備工場のみで実施してください。 ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたし ます。十分なトレーニングを受けた経験豊 かなスタッフが、最新の技術情報と専用工 具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約 束します。

ヘッドライトの照射方向を右 発光ダイオード(LED)とロン 側/左側通行用に切り替える (ダイナミック コーナリングラ イト装備重)

✔ ポルシェ ダイナミック ライト システム (PDLS) またはポルシェ ダイナミック ライ トシステムプラス (PDLSプラス) 装備車両 車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異 なる国で走行する場合は、ヘッドライトをマル チファンクション ディスプレイで切り替える 必要があります。これによりロー ビームの照 射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドラ イバーの幻惑を防ぐことができます。

▷ 「左側 / 右側诵行でヘッドライトを切り替え る」(230ページ)を参照してください。

『 インフォメーション

変更後は、イグニッションをONにするたびに マルチファンクション ディスプレイにメッ セージが表示されます。

▶ 帰国した時は、ヘッドライトを元に戻すこ とを忘れないでください。

1 インフォメーション

ダイナミック コーナリング ライト (PDLS/PDLS Plus) 非装備車のバイキセノン ヘッドライトは 左側または右側通行用に切り替えできません。 このタイプのヘッドライトの配光は両方の通 行帯で共通で、対向車の眩惑を防止します。

グライフバルブの交換

方向指示灯、バイキセノン ヘッドライトのガス ディスチャージ ヘッドライト、テール ライト、 ライヤンス ライト、およびインテリア ライト など、様々なライトに発光ダイオード (LED) と ロングライフバルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ バルブの交換には専門知識が必 要です。

▶ 発光ダイオード(LED)とロングライフ バル ブの交換はポルシェ正規販売店にお任せく ださい。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたし ます。十分なトレーニングを受けた経験豊 かなスタッフが、最新の技術情報と専用工 具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約 束します。

ボイスコントロール

▲ 警告

事故を起こす恐れがあ ります

緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。これにより電話接続の要求が認識できずに失敗したり、接続に時間を要してしまう恐れがあります。

▶ PCM経由で緊急電話にダイヤルしてくだ さい。

PHONE、TUNEA、NAV および MEDIA のメインメニューの各種機能は、ボイスコマンドで呼び出すことができます。ボイスコントロールは話者に適応し、最初の会話から登録を開始します。

▷ ボイスコマンドの例は(203ページ)を参照してください。

i インフォメーション

- サウンドおよび車両のメインメニューは、 ボイスコントロールでは操作できません。
- ボイス コントロールはすべてのシステム言語に対応しているわけではありません。

1 インフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメ ント (PCM)」(209ページ) を参照してくだ さい。

ボイスコントロールの呼び出し

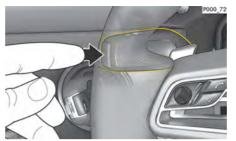


図164:操作レバーのボイス コントロール ボタン

ボイスコントロールの作動

- ✓ イグニッションがONのとき
- ✓ 通話中でない
- ✓ パーキング アシストを使用していない
- 1. 操作レバーの ((()) ボタンを押してください (図164)。 起動音が鳴り、ボイス コントロールの ファイコンがPCMに表示されます。
- 2 ボイスコマンドを発話してください。

ポイスコントロールを無効にする

- ✓ ボイス コントロールが作動している
- ▶ 操作レバーの ((口) ボタンを押してください (図164)。 終了音が鳴ります。

または

- ▶ ボイス コマンドでキャンセルまたは終了と 発話してください。 または
- ▶ PCMの任意のボタンを押してください。

ボイス コマンド ボタンのその他の機能

操作レバーの ((・) ボタン (図164) は、アプリケーションに応じて様々な機能を開始することができます。

短く押すと、PCMのボイス コントロールが 有効になります。

- 長押しすると、Siriボイス コントロール システムが起動します。
 - ▷ 「Siri音声認識機能を使用してApple CarPlayを操作する」(262ページ)を参 照してください。
- ボイス コントロールの現在のアナウンスを 終了します。
- アナウンスを次のパートにスキップします。
- 現在の会話を中止します。

i インフォメーション

- 会話中は、ナビゲーション案内および交通 情報通知が中断されます。
- ボイス コントロールが有効のとき、リスト 項目をボイス コントロール、ロータリー プッシュ ボタン、またはタッチスクリーン によって選択することができます。
- 発話されたボイス コマンドが理解できない場合、または意味が解釈できなかった場合、ボイス コントロールはもう一度お願いしますと応答するので、再度ボイス コマンドを繰り返してください。2回目以降はPCMが操作を支援します。
- 選択したメニュー言語[NAV ボタント 目的地入力のメニューで選択]によっては、 目的地入力時に目的地の綴りを発話する必要があります。

ボイス コントロールによる対話を円滑に行う ために、以下の点に注意してください。

- 通常通りの声量で、はっきりと分かりやす く発話してください。
- 高速走行時は少し大きな声で発話してくだ さい。
- 長い間をおかずにむらなくボイス コマンド を強調してください。
- ボイス コントロールがアナウンスをしているときは発話しないでください。
- ドア、ウインドウ、スライディング ルーフ を閉じ、混乱の原因となる雑音を低減して ください。
- ハンズフリー マイクはドライバー側に向いているため、ドライバーのみがボイスコントロールを操作してください。

あ

か

さ

た

な

は

や

ま

ら

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

ボイス コントロールの調節

- 1. CAR ボタン ▶設定 C= ▶システム ▶ ポイス コントロール
- 2 以下から希望の設定を選択してください。
- ショートダイアログ:この機能が有効のと きは、音声応答に短いアナウンスが含まれ ます。
- **ヘルプ テキスト**:この機能が有効のとき、 発話可能なコマンドが表示されます。

ヘルプの呼び出し

文字による入力支援の呼び出し

- 操作レバーの (□) ボタンを押してください (図164)。
 - コマンド例のリストがPCMに表示されます。
- 各メインメニューでコマンド例を表示させるには、PCMの該当するメインメニューのアイコンまたはコマンド例を選択してください。

1 インフォメーション

▷「ボイスコントロールの調節」(202ページ) を参照してください。

音声による入力支援の呼び出し

✓ ボイス コントロールが作動している

▶ ヘルプと発話してください。 または

ボイスコントロールのヘルプと発話してください。

または

例えば以下のように話しかけてください。 チューナーのヘルプ、メディアのヘルプと 発話してください。

各メインメニューで入力支援が得られます。

ボイス コマンドの発話

基本的に、使用可能なボイス コマンドは3種類 あります。

- グローバル ボイス コマンド
- 一般ボイスコマンド
- ダイアログ関連ボイス コマンド

表示されるボイス コマンドは使用可能なすべてのコマンド集です。システムは同義語でも認識します。例えば、電話する山田と言う代わりに、電話山田またはダイヤル山田と発話することもできます。

▶ ボイス コマンドの例は203ページを参照してください。

グローバル ボイス コマンドの発話

特定の機能を呼び出すために使用可能なすべってのボイスコマンドは、グローバルボイスコマンドは、グローバルボイスコマンドは、選択したメインメニューに関係なく、いつできます。これによって、対応要する、任意の機能を直接呼び出すことができます。例えばナビのメインメニューが表示できれているときに、ボイスコマンドで放送局ラジオステーション XY (例) と発話しても、その放送局が呼び出されます。

以下はグローバル ボイス コマンドの例です。

- 放送局 ラジオ ステーション XY (例)
- 電話する山田(例)

一般ボイス コマンドの発話

一般ボイス コマンドは会話中にいつでも発話 することが可能です。

以下は一般ボイス コマンドの例です。

- 新規項目:ボイス コントロールを再開します。
- **修正:**例えば、電話番号をいくつかのブロックに分けて発話した場合(0711 911など)、ボイスコマンドは最後に発話したブロックを取り消します。
- **ヘルプ**:可能なボイス コマンドを示す入力 支援が表示されます。
- **キャンセル**:会話を中断します。

ダイアログ関連ボイスコマンドの発話

ダイアログ関連ボイスコマンドは、PCMとの会話が開始されるとすぐに必要になります。例えば、これには以下のボイスコマンドが含まれています。

- 行1
- 次のページ/前のページ
- はい/いいえ

音声でリストを使用する

リストをブラウズする

▶ リストを前 / 後にブラウズするには、次のページ / 前のページと発話してください。 または

タッチスクリーンまたはロータリー プッシュ ボタンでリストを使用します。

リスト項目の発話

青いリスト項目を発話することができます。別 の方法として、リスト項目を青い行番号で呼び 出すこともできます。

▶ ボイスコマンドで行1と発話してください。

ラジオのボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか?	知識
受信範囲を切り替える	(設定 / ON にする) チューナー FM/AM (例)	
放送局を選択する	放送局を選択する	現在受信が可能な放送局のみを発話することができます。
現在受信が可能な放送局を選局する	放送局 ステーション XY (例) (選局)	現在受信が可能な放送局のみを発話することが できます。
周波数を入力する	周波数 91.1 (例) (選択)	必要な場合は、周波数の直接選択により、受信 範囲が変更されます。
ヘルプの呼び出し	チューナーのヘルプ	チューナー機能で役に立つ音声ヘルプです。

メディアのボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか?	知識
メディア ソースを変更する	再生ディスク/SDカード/USB/ジュークボックス/Bluetooth など	
アーティストを直接選択する	再生 アーティスト アラン テーラー (例)	
アルバムを直接選択する	再生 アルバム Songs for the Road (例)	有効なメディア ソース内にあるアーティスト/
トラックを直接選択する	再生 トラック Let the Music Flow (例)	アルバム/トラック/ジャンルのみを発話するこ
ジャンルを直接選択する	再生 ジャンル ロック (例)	とができます。
現在再生している曲と類似の音楽を選択する	似たテイストの曲を再生	
ヘルプの呼び出し	メディアのヘルプ	メディア機能で役に立つ音声ヘルプです。

ま

や

b

わ

や

b

わ

ナビゲーションのボイス コマンド

希望する操作	どのように発話するのか?	知識
新しい目的地を入力する	ルート案内 東京都千代田区霞が関 1-3-2 (例) 住所を入力 / 新しい目的地を入力	「ルート案内」と一文で発話するか一言ずつ発話することで、ナビゲーションを作動することができます。
ポルシェ コンシェルジュ サービスを開始する	コンシェルジュ サービス	
前回の目的地を選択する	前回の目的地/保存した目的地	
目的地として自宅/職場を選択する	自宅へ帰る/職場へ行く	保存されている住所へのナビゲーションが開始 されます。住所の保存方法に関するインフォ メーション: ▷「目的地の保存(お気に入り)」(172ページ) を参照してください。
目的地または施設情報を検索する	検索 (施設情報) Porsche Service (例)	ブランド名や施設情報のカテゴリーを発話する ことができます (例:空港を探す)。
目的地をオンライン検索する	オンライン検索 / インターネット検索	✓ 有効なデータ接続が利用可能なこと ▷ 「接続」(120ページ)を参照してください。 これらのサービスはすべての言語およびマーケットで利用できるわけではありません。
市町村を選択する	都道府県を入力	
レストラン/休憩所/トイレ/ガソリン スタンド を検索する	次の レストラン / 休憩所 / トイレ / ガソリン スタンド	近隣のそれぞれの検索基準を表示します。
ルート案内を開始/終了する	ルート案内の開始 / 停止	
残りの燃料を計算する	走行可能距離 / 残可走距離 / タンク情報	
交通情報を呼び出す	交通情報	✓ ルート案内を開始している
到着時間を要求する	到着までの残り時間 / 到着時刻	✔ ルート案内を開始している
ヘルプの呼び出し	ナビゲーションのヘルプ	最も重要なナビゲーション機能の音声ヘルプを 呼び出します。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

t

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

ポルシェ アクティブ サス PASMモードの選択 ペンション マネージメン ► (PASM)

PASMはショック アブソーバーをアクティブに 調整します。 アジャスタブル ダンパー システ ムは、走行状態や条件に応じて各タイヤの適切 なダンパー レベルを選択します。走行安全性、 俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択 できます:

- 「ノーマル シャーシ」
- 「スポーツ シャーシ」

標準モードでは、シャーシは基本設定になり、 一般道および平坦ではないレース サーキット に適しています。

スポーツ モードでは、極めて高い走行ダイナ ミクスのためのショック アブソーバー設定と なり、平坦なレース サーキットなどに適して います。

走行状況に合わせて、マニュアル モードに加 えて、PASMもショックアブソーバーを調整し、 スポーティーまたは快適な走行を可能にし ます。



図165:センター コンソールのPASMボタン

- 1. イグニッションをONにしてください。
- 2 ♥ボタンを押してください。

「ノーマル シャーシ」(初期設定)を選択し た場合、インジケーター ライトは点灯しま せん。

「スポーツシャーシ」を選択した場合、イン ジケーター ライトが1つ点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファ ンクション ディスプレイに短時間表示され ます。

1 インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択 しているシャーシ設定がメモリーに保存され ます。

警告シンボルへの対応

PASMの故障がマルチファンクション ディスプ レイに表示されます。

マルチファンクション ディスプレイに表示 される警告シンボルに関するインフォメー ション:

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

ポルシェ コネクトアプリ¹⁾

一部の国で利用可能なアプリを使用して、携帯電話を車両にネットワーク接続できます。これにより、車両の情報を携帯電話経由で直接読み取ることができ、一部の車両設定をアプリから行うことができます。

▲ 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを 使用したりすると、運転に対する注意力が低下 することがあります。車両のコントロールを失 う恐れがあります。

▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させて から行ってください。

個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力などを、携帯電話から PCM に転送することができます。ポルシェコミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ)を参照してください。

WiFi を使用したアプリの PCM への接続と PCM での起動

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされます (Apple App Store または GOOGLE® Play ストアからダウンロード)。
- ✔ アプリが起動しました。
- ✓ 携帯電話でWiFiを有効にしている
- ✓ PCMでWiFiを有効にしている
 - ▷ 「WiFi 設定の設定」(158 ページ) を参照 してください。



図166: デバイスマネージャーを開く

- (接続ステータスに応じて)フッターの または かを使用してデバイスマネー ジャーを開いてください。
- 2 PCM (外部SIMカードによりデータ接続が確立されています)のWiFiホットスポット(ワイヤレスインターネットアクセス)により接続を確立してください。
 - ▷ 「接続」(120ページ) を参照してくだ さい。
 - a. デバイスマネージャーからポルシェコ ネクト アプリ ▶PCM の WiFi ホットス ポット設定を選択してください。
 - b. 携帯電話の WiFi 設定に PCM の WiFi データ (ホットスポット名およびホッ トスポットのパスワード) を入力して ください。
- 3. HOME ボタンを押してください。

1 インフォメーション

- PHONE ボタン ► OPT ボタン ► PHONE 設定 ► WiFi 設定 ► PCM の WiFi ホットスポット設定を順に選択することでも、PCM の WiFi アクセス データを表示することができます。
- デバイスマネージャーに関するインフォ メーション:
- ▷「デバイス マネージャー」(149ページ) を参照してください。

ナビゲーション目的地およびカレンダー入力をPCMに転送する

✓ アプリが PCM に接続されています。

- 1. アプリで、ナビゲーション目的地またはカレンダー入力を選択してください。
 - a. オンライン検索: オンライン検索機能を使用して、目的地を選択してください。
 - b. 連絡先:住所の詳細を含む連絡先を選択してください。
 - c. **カレンダー**:住所の詳細を含むカレン ダーを選択してください。
 - d. **画像**:保存された画像を使用して、目的地を選択してください。
- 2 <u>1</u> アイコンを使用して、目的地を**登録目 的地**のお気に入りリストに追加してください。

お気に入りリストに追加済みの項目には チェックマークが付きます。 あ

か

さ

た

な

ま

1,1

や

b

わ

¹⁾ 名前と機能は変更される可能性があります

か

さ

た

な

は

ま

+

ら

A-Z

わ

 アプリが PCM に接続されている場合は、 登録目的地に保存されている内容が PCM に転送されます。

必要に応じて PCM ディスプレイを
HOME ボタン ▶アプリ ## を使用して手動で更新してください。

 HOME ボタントアプリトから登録目的 地またはカレンダーを選択してください。
 または

NAV ボタン **▶保存された目的地 ▶ 登録目的地**を選択してください。

5. 転送された目的地へのルート計算を開始 してください。

PCMを使用して音楽を再生する

- ✓ 別途音楽サービス アプリをダウンロード し、音楽サービスの登録手続きを済ませて いる
 - ▶ 音楽サービスのプロバイダーが提供する情報に従ってください。
- ✓ アプリが PCM に接続されています。
- ► HOME ボタントアプリ ## ► 希望の音楽サービスを選択してください。
 または

SOURCE ボタン▶希望の音楽サービス を選択してください。 または

希望の音楽サービスが表示されるまで MEDIA ボタンを押し続けてください。

i インフォメーション

MyMusic の MEDIA メニューで、ユーザーはオフラインで保存された既存のプレイリストおよび楽曲を再生することができます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

概要

本概要は「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」に記載されている完全な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。







図168: タッチスクリーン、ホーム メニュー

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
PCMをONにする	▶ イグニッションをONにするか、ボリューム スイッチAを押してください。	
PCMをOFFにする	▶ イグニッションをOFFにするか、ボリューム スイッチAを押し続けてください。	
音量を調節する	▶ ボリュームスイッチAを回してください。	
オーディオソースのミュート	▶ ボリューム スイッチAを短く押してください。	
メインメニュー(ラジオなど)を開く	▶ ボタン(例: TUNER)を押してください。	
音質設定を表示する	▶ HOME ボタン ▶ OPT ボタン ▶SOUND 設定 ▶音量 ■ またはサウンド □	216
デバイスマネージャーを開く / 接続を確立する	▶ フッターの 🛛 または 📶 (Bを参照) を選択してください。	149/ 120
日付と時刻を変更する	▶ フッターの時刻 984 (Cを参照) を選択してください。	210
MyScreenを開いて設定する	▶ HOME ボタン ▶個人画面 🔀	213
システム設定を変更する	▶ HOME ボタン ▶ 設定 ○ □	215
CD/DVDまたはSDカードから音楽を再生する	▶ CD/DVD または SD カードを挿入 ▶SOURCE ボタン ▶希望のメディア ソースを選択してください。	213
外部機器から音楽を再生する	▶ 外部機器をUSBまたはBluetooth®を介して接続 ▶SOURCE ボタン ▶希望のメディア ソースを選択してください。	214

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

操作に関する重要なインフォ メーション

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) は、ラジオ、サウンド設定、ナビゲーション システム、様々なメディアや電話を操作するためのセンター コントロール ユニットです。

安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

PCMの操作時に運転者や同乗者がケガをしたり、危険にさらされたりすることがないよう、常に以下の安全に関する指示を遵守してください。

▲ 警告

事故を起こす恐れがあ ります

PCMを操作すると、道路状況から注意が逸らされる恐れがあります。

- ▶ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってPCMの操作を行ってください。安全を確保できない場合は、車両を適切な場所に停車してからPCMの操作を行ってください。
- ► 緊急車両(パトカー、救急車など)のサイレンなど、常に車外の音が聞こえる程度の 音量に設定してください。

▲ 警告

事故を起こす恐れがあ ります

機器を固定しなかったり不適切な位置に載せると、ブレーキやステアリングを操作したとき、急加速時または事故の際に、飛び出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 車内に固定していない物を載せて走行しないでください。
- ▶ 走行中は必ず小物入れを閉じてください。

▲ 注意

負傷する恐れがあり ます

ハウジングが開いている場合や損傷した場合は、目に見えないレーザーが照射される危険があります。

▶ PCMはクラス1レーザー製品です。ハウジン グを分解しないでください。メンテナンス 作業が必要になった場合は、必ずポルシェ 正規販売店で実施してください。

i インフォメーション

バッテリーを保護するため、PCMはイグニッションをOFFにしてから数分経過すると自動的にOFFになります。

PCMのON/OFF

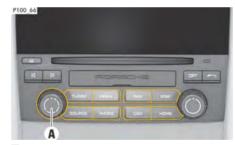


図169: PCMのON/OFF

- ► PCMはイグニッションをONにすると作動します。
- ► イグニッションの位置に関係なく、ボリュームスイッチAを長押しするとPCMのON/OFFを切り替えることができます。

日付と時刻の設定

時刻表示から、日付と時刻の設定に素早くアクセスできます。

- ▶ フッターの時刻 9:34 を選択してください。
- ▷ 「全般的なシステム設定を変更する」(215 ページ)を参照してください。

タッチスクリーンの操作ボタン



図170:タッチスクリーンの操作ボタン

あ

t

t-

な

は

ま

や

'n

わ

A ホーム画面

HOME ボタンを押すと、使用可能な機能が表示されます。

B 有効なメインメニューの機能

どのメイン メニューが有効になっているかに応じて、ツールバーには異なるメニューが表示されます。

C フッター

有効なメインメニューの機能、接続シンボルおよび設定可能な温度または時刻を表示します。

D 時刻または外気温ディスプレイ

▷「日付と時刻の設定」(210ページ)を参照してください。

E ヘッドライン

例えば、選択されたラジオまたはメディア ソースが表示されます。

F デバイスマネージャーを開く

(電話を接続する、WiFi 設定を表示しワイヤレス インターネット アクセスを設定する、Bluetooth® 機器を接続する、Apple CarPlay およびアプリの接続状態を表示する)

▷「デバイス マネージャー」(149ページ) を参照してください。

G コントローラー

タッチスクリーンに接近すると追加機能を 表示します。

H 他のページを表示

スクロール (スワイプ) すると、他のページが開きます。

タッチスクリーンでPCMを操作 する

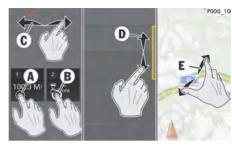


図171:タッチスクリーンでPCMを操作する

A タッチ (選択)

タッチスクリーンを指で素早くタッチしてください。例:機能を選択する、またはボックスをチェックする/チェックを外す。

B 長押し

タッチスクリーンを長くタッチしてください。例: TUNER メインメニューで放送局を保存する。

C スワイプ

タッチスクリーンを指で左右にスワイプ してください。例:ラジオ放送局を含む他 のページを表示する。

D スクロール

タッチスクリーンを指で上下にスワイプ してください。例:リストを手動でスク ロールする。

E ズーム

2本の指をディスプレイに触れたまま指を 広げる、または指を狭めてください。タッ チスクリーンを2回タップすると、そのセ クションが拡大表示されます。例:地図を 拡大表示する。

ロータリー プッシュ ボタンで PCMを操作する



図172:ロータリー プッシュ ボタン

- 1. 希望の機能がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタンを回してください。
- 2 ハイライトされた機能を有効にするには、 ロータリープッシュボタンを押してくだ さい。

メニューを開く

直接メインメニューを開く

▶ PCMのボタン(例: TUNER)を押して ください。

1 インフォメーション

いずれかのメイン メニューから別のメニューにいつでも切り替えることができます。メインメニューに戻ると、前に開いていた内容が再び表示されます。

あ

か

さ

た

な

ま

は

や

b

わ

か

さ

な

は

t-

ま

や

わ

A-Z

ホーム メニューからメイン メニューを 開く

- 1. HOME ボタン ▶メニュー □
- メイン メニュー (チューナーなど) を選択してください。

有効な機能の設定を開く

- ✓ 希望のメインメニューが選択されている (例: TUNER)
- ▶ □PTボタンを押してください。 該当するメニューの設定および他の機能 が表示されます。

テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、 テキストや文字を入力する必要があるときは、 入力フィールドが表示されます。



図173:タッチスクリーン キーボード

- A 現在のカーソル位置
- B キーボードを表示する/隠す
- C 手書き文字認識機能(タッチスクリーンを使用してアルファベットや文字を入力する)
- D キーボードの調整
- E スペースを挿入する
- F 入力を決定する

- G 文字、数字および特殊文字の入力を切り 替える
- H 入力データを削除する
- | Caps LockのON/OFFを切り替える(大文字と小文字を切り替える)
- **J** 候補のリスト

テキストおよび文字を入力するには、3種類の 方法があります。

キーボードによる入力

- 1. 入力フィールドを選択してタッチスク リーン キーボードを開きます。
- **2** 希望のテキストまたは文字を入力してく ださい。

ロータリー プッシュ ボタンによる入力

- 希望のアルファベットや文字がハイライトされるまで、ロータリープッシュボタン(図172)を回してください。
- 2 ロータリー プッシュ ボタンを押し、ハイライトされたアルファベットまたは文字を決定してください。

手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指でテキストや文字を書くことができます。



図174: 手書き入力

- **2** 指で希望のテキストや文字を書いてくだ さい。
- スペースを入れるには、左から右に指でスワイプしてください。
- ▶ 入力データを削除するには、右から左に指 でスワイプしてください。

1 インフォメーション

- PCM はひらがな、カタカナ、ローマ字、漢字の手書き入力に対応しており、該当する文字を表示します。
- ボイス コントロールを使用して、テキスト や数字を入力することも可能です(例:電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。
 - ▷「ボイス コントロール」(201ページ)を 参照してください。

デバイス マネージャーを開く

▷「デバイスマネージャー」(149ページ)を 参照してください。

アプリを開く

- ► HOME ボタン ► アプリ !!!
- ▷「ポルシェコネクトアプリ」(207ページ) を参照してください。

バックグラウンド イメージを 表示する

バックグランドイメージは、HOME メニューで表示/非表示を切り替えることができます。

► HOME ボタント OPT ボタントバックグラウンドイメージを表示

MyScreenの設定

個人画面メニューでは、様々なカテゴリー (NAV や電話など) のタッチスクリーン コンテンツを希望に合せて個別にグループ分けすることができます。

合計3種類のMyScreenを設定できます。

MyScreenを作成する

- HOME ボタン ▶個人画面 → OPT ボタン ▶個人画面設定
- 2 個人画面 1、個人画面 2 または個人画面 3 を選択してください。
- 3. カテゴリー(SOURCE など)を選択して、選択 可能なタイルのリストを開いてください。



図175:MyScreenの設定

4. 希望のタイルをクリックし、左側のプレビューにある任意のコンテナーにドラッグ&ドロップしてください。タイルは、緑色のエッジが見えるとすぐにコンテナーに挿入することができます。

5. **×** または **<** で個人画面を設定メニュー を終了してください。

► 左側のプレビューからタイルを取り除くには、ドラッグ&ドロップで削除したいタイルをコンテナーから取り除くか、別のタイルと入れ替えてください。

電話のお気に入りの追加に関するインフォ メーション:

▷「MyScreenにお気に入りを追加」(156ページ) を参照してください。

MyScreenを開く

- 1. HOME ボタンを押してください。
- 個人画面1、個人画面2および個人画面3を切り替えるには、該当する個人画面が表示されるまで左右にスワイプしてください。

MyScreenをリセットする

- 2 個人画面をリセットを選択してください。 MyScreenの2ページおよび3ページのコン デンツが削除されます。MyScreenの1ペー ジのコンテンツが初期設定にリセットされます。

各種ドライブおよび外部接続 機器に関する諸注意

対応するメディアおよびファイル形式に関す るインフォメーション:

- ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ) を参照してください。
 - 記憶媒体に多くのファイル、フォルダーまたはプレイリストが含まれている場合、最初にトラックを読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報(アーティスト、タイトル、アルバムカバーなど)が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも個々の追加情報が表示されない場合があります。
- USB 延長ケーブルまたはアダプターを使用 しないでください。性能が損なわれる原因 になります。
- USBハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。大切なデータは、SDカード、ジュークボックス、CD/DVDまたはボータブルプレーヤーに決して保存しないでください。
- 外気温が異常に高いまたは低いときは、一時的にCD/DVDが再生できなくなる場合があります。CD/DVDおよび走査レーザーを保護するために、熱保護回路が搭載されています。
- PCMは、コピー プロテクト機能付きのCD/ DVDまたは規格に準拠していないCD/DVDを 再生できない場合があります。
- 原則として私的使用を目的とする場合にのみ、CD/DVDのコピーを作成することが認められています。場合にといるといるといる。場合は、著作権法に定められた例外の対象になりません。MP3ファなられたの人の規制をしたで再生可能の対がました。場合は、一般のでは、一般が回りまする国際の対が象しない。まず作権、自体であっても、本着作権保有者に事前の対対ない。

あ

か

さ

t-

な

は

ま

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

くしてコピーすることはできません。該当する著作権法を遵守してください。お客様自身が作曲およびレコーディングの著作権保有者である場合、あるいは場合は、たって権利を付与された場合は、場合においても、現行の法的な見解が適用されます。

CD/DVDドライブにロードする

知識

CD/DVDを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

- ▶ 直径12cmの丸型、標準タイプのCD/DVDのみ を使用してください。
- ▶ CD/DVD に触れるときは、必ず端を持ってください。ラベルのない面を手で触れないでください。
- ▶ CD/DVDへの汚れの付着を避け、必要な場合 には清掃してください。
- ▶ CD/DVDには何も貼り付けないでください。
- ▶ CD/DVDを変形させないでください。
- ▶ CD/DVD をドライブに無理に押し込んだり、 取り出したりしないでください。

CD/DVDを挿入する

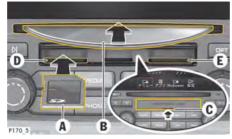


図176:CD/DVDまたはSDカードのロード

- CD/DVD のラベル面を上にして、自動的に 引き込まれるまでスロットBに押し込んで ください。
- 2 SOURCE ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

CD/DVDを取り出す

► △ ボタンを押し、CD/DVDを取り出してく ださい。

SDカードを挿入する

知識

SDカードを正しく使用しないと、PCMを損傷する恐れがあります。

ー体型以外のSDカードを使用すると、振動によりSDカードがアダプターから外れて各カードがSDカードリーダーに詰まる恐れがあります。

▶ SDカードアダプターは使用しないでくだ さい。

SDカードを挿入する

- 指の爪でスロット C (図176) のカバーを上 方に開いてください。
- 2 SDカードAをラベル面を上にして、SDカードリーダー1(Dを参照)または2(Eを参照)または2に、ぴったりと収まるまで押し込みます。

SDカードを取り出す

- ✓ SDおよびSIMカードリーダー カバーが開い ている
- 1. 挿入されたカードを押して、取り出してく ださい。
- 2 SDおよびSIMカードリーダーカバーを閉じてください。

SIMカードの挿入および取り 出し

▷ 「外部 SIM カード経由でデータ接続を確立 する」(120ページ)を参照してください。

外部機器の接続

対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメ ント (PCM)」(209ページ) を参照してくだ さい。

1 インフォメーション

- 一部の外部機器では、音量の個別調節が必要に なる場合があります。
- 1. 外部機器の音量を調節してください。
- 2 PCMで希望の音量に設定してください。

USBを介して外部機器を接続する



図177: グローブ ボックス内の USB ポート (タイプ A)



図178:センター コンソールの USB ポート (タイプ A)

- 1. グローブ ボックスまたはセンター アーム レストを開いてください。
- 2 外部デバイス (iPod、USB フラッシュ ドライブなど) を USB ポート (タイプ A) に接続します。
- 3. SOURCE ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

i インフォメーション

- USBポートは、グローブ ボックス内および センター コンソールに配置されています。 Apple CarPlayは、センター コンソールのUSB ポートを介してのみ使用できます。
 - ▷ 「Apple CarPlay」(261ページ) を参照して ください。
- 外部機器(携帯電話など)は、USB充電ケー ブルを使用して車内で充電することができ ます。
- 携帯電話をセンター コンソールに置く前に、 キーボード/コード ロックを有効にすることをお勧めします。

外部機器をBluetooth®経由で接続する

フッターの または ② を選択してください (接続状態により異なる)。

PHONE ボタン ▶ OPT ボタン ▶デバ イスマネージャー

- 2 Bluetooth オーディオ ▶新しいデバイスを 検索を選択してください。 6桁のBluetooth®コードが牛成され、PCMお
 - 6桁のBluetooth®コードが生成され、PCMおよび携帯電話に表示されます。
- 3. PCM と携帯電話に表示された Bluetooth® コードを比較してください。
- 4 PCM と携帯電話の Bluetooth® コードが一致 する場合、承認します。 デバイスが正常に接続されると、そのこと がデバイスの概要に表示されます。

Bluetooth[®]機器の管理に関するインフォメーション:

▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示」 (153ページ)を参照してください。

全般的なシステム設定を変更 する

 HOME ボタン ▶設定 ○ ▶システム または

CAR ボタン ▶**設定** ◯ **≥ システム**

2 希望のオプション選択してください。

- 日付&時刻

- オートタイム: GPS信号で時刻、日付、サマータイムを同期します。
- 時刻
- 日付
- **自動タイムゾーン**: オートタイム モードでは、タイムゾーンも自動的に設定されます。
- タイムゾーン時刻表示
- 日付表示
- 単位
- 速度
- 温度
- **圧力**(タイヤ空気圧)
- 燃料消費量
- **言語**:システム言語を選択してください。 - **英語**
 - 日本語
- ボイス コントロール:
 - ショートダイアログ:ボイスコントロールはショートボイスコマンドテキストを使用します。
 - へルプテキスト:アクティブボイスコントロールで可能なコマンドを表示します。
- 初期化
 - **初期化**:すべての設定値が規定値にリセットされます。個人データは保持されます。
 - **車両引渡し**:すべての設定値が規定値に リセットされます。住所、目的地、電話 番号などの、すべての個人データが削除 されます。

あ

か

さ

た

な

は

や

ま

ら

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

PCMディスプレイの設定を変更 する

- 1. HOME ボタン ▶設定 ▶PCM 表示 または
 - CAR ボタン ▶設定 ▶PCM 表示
- 2 希望のオプションを選択してください。
- **ディスプレイを OFF にする**:次にタッチするまでタッチスクリーンがOFFになります。
- ディスプレイの明るさ
- **フッター**
 - 温度:フッターに温度を表示します。
 - **時刻**:フッターへの時刻表示**。**
- **近接センサー**:近接センサーを有効 / 無効にします。
- **タッチ操作音**:ディスプレイにタッチした 時の操作音を有効/無効にします。

音量および音質の変更

音量を調節する

ボリューム スイッチA (図169を参照)を回すと、音量を調節できます。

オーディオ ソースのミュート

- ▶ ボリューム スイッチA (図169を参照)を 短く押してください。
 - フッターにミュートの **メ**シンボルが表示されます。
 - 運転アドバイス、電話の会話および交通情報は聞くことができます。
- ▶ ミュート機能を解除するには、ボリューム スイッチAを再び短く押してください。

音質設定を変更する

- HOME ボタン ► OPT ボタン ► サウンド
- **2** オプションを選択して、設定を変更してく ださい。
- バス:低音域の調節
- トレブル:高音域の調節
- **フェーダー**:前後スピーカーの音量調節
- バランス:左右スピーカーの音量調節

音量設定を変更する

- HOME ボタン ▶ OPT ボタン ▶ サウンド設定 ▶音量
- 2 希望のオプションを選択してください。
- **ナビゲーション案内**:ナビゲーション案内 の音量を設定
- 速度適応音量:車速に応じた音量調節
- Bluetooth オーディオ: Bluetooth[®]オーディオ 再生用の音量を設定
- マイク音量:通話中のマイク音量を調整
- 着信音量:着信音の音量を設定
- **電話中のナビゲーションをミュート**:通話中はナビゲーション アナウンスを再生しない
- タッチ操作音:ディスプレイにタッチした 時の操作音を設定
- **メッセージの受信音**: テキスト メッセージ およびEメール受信時のサウンドON/OFFを 切り替える

Burmester®音質設定を変更する

- HOME ボタン ► OPT ボタン ► サウンド設定
- 2 Burmester を選択します。
- 3. 希望の項目を選択してください。
- ピュア:純粋で忠実な音響設定。
- **スムーズ**:リラックスした長時間のリスニン グに適した音響設定
- サラウンド: 非常に開放感を感じる音響設定
- **ライブ**:ライブの臨場感を伴う広がりのある音響設定
- ポジション:座席別の音質調整
- **サウンド コンディショナー**:音響を周囲の音量に合わせて適応させます。

BOSE®音質設定を変更する

- HOME ボタン ► OPT ボタン ► サウンド設定
- 2 BOSE を選択してください。
- 3. 希望のオプションを選択してください。
- サラウンド: 非常に開放感を感じる音響設定
- リニア:低音重視の音質設定(リニア OFF) からニュートラルでバランスのよい音質 (リニアON) に変更
- オーディオ パイロット®:この機能をONに すると、車内のノイズ レベルをモニターし、 その変化に合わせて最適なオーディオ再生 を行います。

ポルシェ スタビリティ マネージメント(PSM)

PSM は、過酷な走行条件下で車体を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。 PSM は、アンチロック ブレーキ システム (ABS)、エンジンドラッグトルクコントロール (TC)、エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC)、油圧ブレーキ ディファレンシャル (ABD) の機能を利用します。

▶「通常」走行では常にPSMをONにすることを 推奨いたします。特に濡れた路面では作動 させてください。

▲ 警告

車両コントロールの 喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

PSMは危険なスピードによる事故のリスクを 減らすことはできません。

以下の条件でPSMコントロールの作動を知る ことができます。

- インストルメント パネルのPSM警告灯が点 滅します。
- 油圧作動音が聞こえます。
- PSMがブレーキを制御することで、減速の度 合いやステアリング操作力が変化します。
- エンジン出力が低下します。
- ブレーキ ペダルが振動し、ペダルの位置が 変化します。

最大の制動力を得るため、ブレーキ ペダル に振動を感じたら更に強く踏み込んでくだ さい。

オートマチック ブレーキ ディファレンシャル(ABD)

いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

トラクション コントロール(TC)

トラクション コントロールは、エンジン出力を制御することでホイールの空転を防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン ドラッグ トルク コントロール (MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジンドラッグトルクコントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

PSMの解除

PSMは、以下の2段階でOFFにできます:

- ステージ1**ESC OFF**:
 - エレクトロニック スタビリティ コント ロール(ESC) を OFF にします。
- ステージ 2 ESC+TC OFF: トラクション コントロール (TC) も OFF にします。

▲ 警告

PSMアシストの停止

どのOFFステージにおいても安定指向のブレーキコントロールは行われません(ブレーキを使用したときでも)。

▶「通常」走行では常にPSMをONにすることを 推奨いたします。特に濡れた路面では作動 させてください。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です:

- ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
- スタックした車両を脱出させる場合

エレクトロニック スタビリティ コントロール(ESC)をOFFにする



図179:センター コンソールのESC OFFボタン

- ✓ ESC+TC OFFボタンのインジケーターライト が消灯している
- ► こ ボタンを約1秒間押し続けてください。 エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) がOFFになっています。

ボタンのインジケーター ライトとインスト ルメント パネルのPSM OFF警告灯が点灯し ます。

マルチファンクション ディスプレイにエレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) がOFFに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。音も鳴ります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

さ

た

な

は

ま

ら

わ

A-Z

i インフォメーション

- エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) をOFFにすると、よりスポーティーなトラクションコントロール (TC) 作動になります。
- ブレーキ介入は解除されます。
- ABSは作動したままになります。

エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) をONにする

▶ 目標 ボタンを押してください。 エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) が直ちに復帰します。 ボタンのインジケーター ライトとインストルメント パネルのPSM OFF警告灯が消灯します。

マルチファンクション ディスプレイにエレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) がONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

エレクトロニック スタビリティ コントロール(ESC)とトラクション コントロール(TC)をOFFにする



図180:センター コンソールのESC+TC OFFボタン

► *** ボタンを約1秒間押し続けてください。

エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) とトラクション コントロール (TC) が完全にOFFになります。

ボタンのインジケーター ライトとインスト ルメント パネルのPSM OFFおよびTC OFF警 告灯が点灯します。

マルチファンクション ディスプレイにエレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) とトラクション コントロール (TC) が OFFに切り替わったことを示すメッセージ が表示されます。音も鳴ります。

i インフォメーション

- すべてのPSM機能が解除されます。
- ABSは作動したままになります。
- ESC+TC OFFボタンを使用して、直接PSMを 解除した場合、ESC OFFボタンのインジケー ターライトも点灯します。

エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) およびトラクション コントロール (TC) をONにする

▶ ★TCDFF ボタンを押してください。 直ちにPSMが復帰します。

ボタンのインジケーター ライトとインスト ルメント パネルのPSM OFFおよびTC OFF警 告灯が消灯します。

マルチファンクション ディスプレイにエレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) とトラクション コントロール (TC) が ONに切り替わったことを示すメッセージが表示されます。

i インフォメーション

PSMがOFFにされているとき、トラクションコントロール(TC)を個別にONにすることができます:

▶ 間にボタンを押してください。 トラクション コントロール (TC) が直ちに 復帰します。

#15 ボタンのインジケーター ライトと インストルメント パネルのTC OFF警告灯が 消灯します。

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) はOFFのままになります。

警告シンボルへの対応

PSM警告灯に関するインフォメーション 5:

▷ 「警告および情報メッセージ」(75ページ) を参昭してください。

ABSブレーキ システム (アンチロックブレーキ システム)

▲ 警告

車両コントロールの 喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを 減らすことはできません。

ABSの特徴:

- ステアリングの操作性の確保:安定したステアリングコントロール性能を維持します。
- 優れた走行安定性:ホイール ロックによる スリップを回避します。
- 制動距離の短縮:ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- ホイール ロックの回避:タイヤのフラット スポットを回避できます。

機能

ABSは緊急回避が必要な状況で最も効果を発揮し、走行安定性とステアリング コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、 車両が停止する直前までホイール ロックを回 避します。 ホイールのロック点付近でブレーキをかけた ときにABSは作動し始めます。

このブレーキ コントロールは、非常に小刻みなポンピング ブレーキをかけるのと似た状態です。

ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバー が道路状況に対してスピードを調整する警告 の役目をします。

最大制動力が必要な場合:

急ブレーキ操作が必要な場面では、ブレーキペダルが振動してもしっかりとブレーキペダルを踏み続けてください。ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告シンボルへの対応

ABS警告灯に関するインフォメーション()

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。 あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

か

さ

た

な

ま

は

や

わ

'n

17

A-Z

ポルシェ トラック プレシ ジョンアプリ¹⁾

このアプリを使用すると、無線ローカルネットワーク (WiFi) 経由でスマートフォンを車両に接続することができます (一部の国でのみ使用可能)。このアプリにより、スマートフォン上で走行データの表示、保存、分析ができます。PCM で WiFi 接続を確立するためのインフォメーション:

▷ 「WiFi ホットスポット(ワイヤレス インターネット アクセス)の起動」(122ページ)を 参照してください。

アプリのインストールと機能に関する詳細情報はアプリ内から入手するか、www.porsche.com またはポルシェ正規販売店から入手できます。

A 危険

車両コントロールの 喪失

速度の出し過ぎや危険な操作により、車両のコントロールが失われる恐れがあります。

- ▶ 路面、天候など、周囲の交通状況と運転者 のドライビングスキルに適したスタイルで 走行してください。
- ▶ アプリはサーキット走行するときにのみ使用してください。公道では使用しないでください。

▲ 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを 使用したりすると、運転に対する注意力が低下 することがあります。車両のコントロールを失 う恐れがあります。

▶ 操作、設定は必ず車両を停止させてから 行ってください。

i インフォメーション

このアプリを使うと車両固有データにアクセスできるため、第三者による無断アクセスから データを保護することをお勧めします。

¹⁾ 名前と機能は変更される可能性があります

マルチファンクションディスプレイ

この取扱説明書は機能の一部のみを紹介しています。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

▲ 警告

走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクションディスプレイ、マルチファンクション ステアリング ホイール、ラジオ、ナビゲーション システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ► 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に 限って運転中の操作を行ってください。
- ► 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

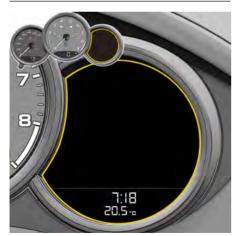


図181:マルチファンクションディスプレイの位置

1 インフォメーション

マルチファンクション ディスプレイはイグ ニッションがONのときのみ操作できます。

安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

マルチファンクション ステア リング ホイールを使用しない マルチファンクション ディス プレイの操作



図182:ステアリング コラム レバーの機能

メニューおよび機能/オプションを選択 する(スクロール)

▶ レバーを下方向3、または上方向4に押して ください。

選択の決定(Enter)

▶ レバーを前方1に押してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

▶ レバーをステアリング ホイールの方向2へ 1回、または数回引いてください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目 の冒頭までスキップする

▶ レバーを下方向3、または上方向4に押し続けてください。

頭文字を選択する画面が表示されます。

► 任意の頭文字を選択してください。 選択した頭文字ではじまる登録情報の、最 初の項目にスキップします。

マルチファンクション ステア リング ホイールでのマルチ ファンクションディスプレイ の操作

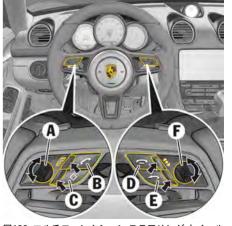


図183:マルチファンクション ステアリング ホイール のファンクション ボタン

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

か

さ

た

な
は

ŧ

や

è

わ

A-Z

i インフォメーション

マルチファンクション ステアリング ホイール の操作では、ポルシェ コミュニケーション シ ステム*をON/OFFできません。

音量を上げる/下げる

ボリューム スイッチAを上方または下方に回してください。

ミュート機能のON/OFFを切り替える

▶ ボリュームスイッチAを押してください。

メニューおよび機能/オプションを選択する (スクロール)

▶ ロータリー ノブFを上方向または下方向に回してください。

電話およびラジオ一覧から希望する項目の冒 頭までスキップする

- ▶ ロータリー ノブFを上方向または下方向に素早く回してください。 頭文字を選択する画面が表示されます。
- ► 任意の冒頭文字を選択してください。 選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

選択の決定(Enter)

▶ ロータリーノブFを押してください。

保存された機能を有効にする

▶ ◇ボタンCを押してください。

ボタンは個別に割り当てることができます。初 期設定ではオーディオ ソースの選択に設定さ れています。

ボタンの個別設定に関するインフォメーション:

▷「マルチファンクションステアリングホイールのボタンの割り当て変更」(230ページ)を 参照してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

▶ バックボタンEを押してください。

着信を受ける

► ハンドセット ピックアップ ボタンBを押してください。

通話を終了するまたは着信を拒否する

▶ ハンドセット ハングアップ ボタンDを押してください。

マルチファンクション ディス プレイの表示エリア



図184:マルチファンクションディスプレイの表示エリア

A/D-上部/下部ステータス エリア

上部/下部ステータス エリアには、コンパス、時刻、温度などの基本情報が表示されます。 ステータス エリア表示は個別の設定ができます。

▷「マルチファンクション ディスプレイの表示を変更する」(227ページ)を参照してください。

B-タイトル エリア/メニュー インジケー ター

タイトル エリアには、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニューインジケーター(灰色のバー)には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。

メニュー インジケーターの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C-インフォメーションエリア

インフォメーション エリアには、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニュー項目を選択した後は、そのメニュー項目に関係する情報や、その他の選択肢が表示されます。

オプションの選択および機能 の有効化

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

◎ 選択されたオプション

■ 選択されていないオプション

機能の作動/停止

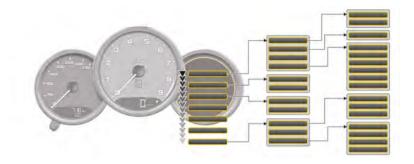
| 機能が作動している

■■ 機能が停止している

メニュー概要

マルチファンクションディスプレイでは、車両の装備に応じてオーディオ(ラジオ、CD、iPodなど)、オイルレベル、タイヤ空気圧、ストップウォッチ、ナビゲーションシステムといった車両情報を確認することができます。また、様々な車両設定を変更することができます。

タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) の設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。



メニュー	何ができるか	ページ
▶ 車両▶情報	車両情報を表示する(メッセージ、サービス間隔)	224
▶ 車両 ▶オイル レベル	エンジン オイル レベルの測定と表示	49
▶ 車両 ▶制限	速度制限の設定	224
▶ 車両 ▶設定 ▶表示	マルチファンクションディスプレイの表示を変更する	227
▶ 車両 ▶設定 ▶日付 & 時刻	日付と時刻の調整	229
▶ 車両 ▶設定 ▶ライト & ビュー	エクステリア ライト、インテリア ライト、後退時のディスプレイ補助、 およびフロント ワイパー設定の調整	229
▶ 車両 ▶設定 ▶ハンドル操作 ▶◇ ポタン	マルチファンクション ステアリング ホイールの◇ボタンを割り当てる	230
▶ 車両 ▶設定 ▶ロック	ロック解除/ロックの設定	230
▶ 車両 ▶設定 ▶エアコン	エアコンの設定	231
▶ 車両 ▶設定 ▶音量	警告音およびパーキング アシスタントの音量調節	231
▶ 車両 ▶設定 ▶単位	車両ディスプレイ用測定単位の調整	231
▶ 車両 ▶設定 ▶言語	言語設定	232
▶ 車両 ▶設定 ▶Car Connect	車両とアプリ間の通信の停止	232
▶ 車両 ▶設定 ▶リセット	工場出荷時の設定に戻す	232
▶ オーディオ	有効なオーディオ ソースから放送局またはトラックを選択する	253/238
▶ 電話	電話を使用する	155

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

メニュー	何ができるか	ページ
▶ 地図	地図画面を表示/調整する	174
▶ ナビゲーション	ナビゲーション システムを使用する	172
▶ トリップ	走行データを表示/リセットする	
▶ タイヤ空気圧	タイヤ空気圧を表示してタイヤ設定を調整する	130
▶ クロノ	ストップウォッチで時間を計る	72
▶ シフトアシスト	ギヤシフト アシストを使用する	225
► G-Force	縦加速度および横加速度を表示する	225

車両メニュー

メッセージの表示

▶ 車両 ▶情報 ▶メッセージ

未解決の警告または車両メッセージが表示されます。

下部のステータス エリアに表示される警告シンボル マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。

複数の警告メッセージが未解決の場合、メッ セージリストで閲覧できます。

サービス インターバルの表示

次回のサービス(点検)時期が表示されます。

- 1. 車両 ▶情報 ▶サービス間隔
- **2** 任意のサービスインターバルを選択してください。

制限速度の設定

制限速度を設定して機能を作動させると、その 速度を超えたときに警告シンボルが表示され ます。

例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に 合わせて運転するように運転者に注意を喚起 したいときに利用できます。

- 1. 車両 ▶制限 ▶制限 1 または制限 2
- 2 任意の制限を選択してください。
- 実際の速度:現在の速度を設定してください。
- 手動:任意の速度値を設定してください。
- 有効:
 - ▼ 速度制限が作動しています。
 - □ 制限速度無効

車両設定の調節

▷ 「マルチファンクション ディスプレイを使用した車両設定」(227ページ)を参照してください。

オーディオ メニュー

▷ 「マルチファンクション ディスプレイを使用して放送局を選択する」(253ページ)を

参照してください。

▷「マルチファンクション ディスプレイを使用して、有効なオーディオ ソースからトラックを選択する」(238ページ)を参照してください。

電話メニュー

▷「マルチファンクション ディスプレイで電話を使用する」(155ページ)を参照してください。

地図メニュー

▷ 「マルチファンクション ディスプレイによるマップ ビューの表示および設定」(174ページ)を参照してください。

わ

A-Z

b

あ

か

7

た

な

は

ŧ

224

ナビゲーションメニュー

- ▷「マルチファンクション ディスプレイでの 目的地の入力」(172ページ)を参照してく ださい。
- ▷ 「マルチファンクション ディスプレイによるルート案内の開始および停止」(172ページ) を参昭してください。

トリップ メニュー

▷「マルチファンクション ディスプレイにドライビング データを表示する」(161ページ)を参照してください。

クロノ メニュー

▷ 「クロノストップウォッチ」(71ページ)を 参照してください。

ギヤ シフト アシスト メニュー



図185:ギヤ シフト アシストの例

▶ シフト アシスト メニューを選択してください。

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、シフトアップインジケーターが表示されます。ギヤシフトアシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が白、黄色、赤の順番に変化します。



図186:例:ギヤのシフトアップ

すべてのセグメントが赤に変わると、+記号が 現在のギヤの横に表示され、次のギヤへのシフトを促します。

G-Force メニュー



図187:加速度の例

▶ G-Force メニューを選択してください。

現在の横および縦加速度が円グラフで表示されます。

最大縦加速度および横加速度を表示する

► G-Force ►G-Force max

最大縦加速度および横加速度をリセットする

▶ G-Force ▶G-Force max ▶リセット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

パフォーマンスメニュー



図188:トルクの例

パフォーマンス ▶出力またはトルク

エンジン回転数に応じた現在のトルクがグラ フで表示されます。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

226

マルチファンクション ディスプレイを使用した 車両設定

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、様々な車両設定を調整できます。ここではすべての車両設定について記載していますが、これらがすべてのモデル、国別仕様および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。車両設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

オプションの選択および機能の有効化

- ▷ 「マルチファンクションステアリングホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。

各オプションの項目名の前に付いているシンボルマークは、その項目が選択されているか、またはその機能が有効になっているかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

- 選択されたオプション
- 選択されていないオプション

機能の作動/停止

- | 機能が作動している
- 機能が停止している

PCMを介した車両設定

特定の車両設定はPCMからも行うことができ ます。

▶ CAR ボタン ▶設定 O= ▶車両設定

マルチファンクション ディス プレイの表示を変更する

▷ 「マルチファンクション ディスプレイの表示 エリア」(222ページ)を参照してください。

上部のステータス エリアの表示を変更 する

▶ 車両 ▶設定 ▶表示 ▶上のライン ▶ 残りの距離

機能が有効になると走行可能距離が表示されます。

情報エリアを変更する



図189:情報エリアの構成例

A フィールド 1: 車両エレクトリカル システム電圧

B フィールド2: 冷却水温度 C フィールド3: エンジン油温

D フィールド4:エンジン油圧

様々な車両情報の中から 4 つを選択して、フィールド1、2、3および4に表示できます。車両情報の1つの項目を複数のフィールドに同時に割り当てることはできません。

B – 冷却水温度

バーが左側にあるとき-エンジン冷間時

▶ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

バーが中央にあるとき-エンジン通常作動温度 外気温が高いときにエンジンに大きな負荷を かけるとレッドゾーンを示すことがあります。 あ

か

さ

た

な

ŧ

1,1

や

ら

わ

か

な

11

や

5

わ

A-Z

バーがレッド ゾーンにあるとき – 作動温度が 高すぎる

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

冷却水温度が異常に高くなると、水温計の指針が最高温度マークまで動きます。エンジン温度が高いことを示す警告シンボルがマルチファンクションディスプレイに表示され、警告灯が点灯または点滅します。

- ▶ レッド ゾーンに達した場合は、直ちに適切 な場所に停車してエンジンをOFFにしてくだ さい。運転を続けないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、冷却水温度を低下させてください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

クーラント レベルが低い場合、急な坂道など 車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなど して長いカーブで走行した場合に横加速度が 発生したりすると、警告シンボルが表示される ことがあります。車両が「通常」の作動状態に 戻っても警告灯が消えない場合、クーラントレ ベルを点検してください。

▷「クーラントレベルの点検と補充」(67ページ)を参照してください。

C-エンジン油温

エンジン油温が高温になりすぎると、マルチファンクションディスプレイに警告シンボルが表示されます。

- 直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジン の負荷を軽減してください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

D-エンジン油圧

オイル圧力はエンジンの作動状態に応じて制御されます。

規定値

エンジン回転数	オイル圧力
4,500 rpm	2.5 bar 以上
5,000 rpm	2.7 bar 以上
5,500 rpm	3.0 bar 以上

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

オイル圧力が低くなりすぎると、マルチファン クション ディスプレイに警告シンボルが表示 されます。

- ▶ オイル圧力が低すぎる場合は、直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。
- ▶ 必要な措置を講じて、オイル圧力を上昇させてください。
- ▷ 「警告および情報メッセージ」(75ページ) を参照してください。
- 1. 車両 ▶ 設定 ▶ 表示 ▶ 車両メニュー ▶
 フィールド1またはフィールド2またはフィールド3またはフィールド4
- 2 希望の表示項目を選択してください:
- 車両エレクトリカルシステム電圧
- オイル圧力:エンジン油圧
- オイル温度:エンジン油温
- **冷却水温度**:冷却水温度
- 残可走距離
- **目的地:到着**:目的地または立ち寄り地へ の到着時刻および距離

- **目的地:走行時間**:目的地または立ち寄り 地までの走行時間および距離
- コンパス
- GPS 高さ:海面上の車両の標高
- 時刻
- 日付
- **放送局 / 曲**:現在のラジオ放送局または音楽トラック
- 電話情報:信号の強さ/ネットワーク名
- **表示なし**:空白

下部ステータスエリアの表示を変更する

- 1. 車両 ▶設定 ▶表示 ▶下のライン
- 2 希望の表示項目を選択してください:
- 時刻
- 温度
- 時間&温度

メインメニューを変更する

メイン メニューの特定の項目を必要に応じて表示する/非表示にすることができます。

- 1. 車両 ▶設定 ▶表示 ▶メニュー種類
- 2 希望する表示項目を選択してください。
- オーディオ
- 電話
- 地図
- ナビゲーション
- トリップ
- タイヤ空気圧
- クロノ
- シフトアシスト
- G-Force

マルチファンクションディスプレイに PCM情報を一時的に表示する

- 1. 車両 ▶設定 ▶表示 ▶PCM 表示
- 2 希望するPCM情報を選択してください。
- 地図情報:ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
- 矢印情報:ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
- **電話情報**:着信/発信電話の情報が表示され ます。
- ボイスコントロール:ボイスコントロール ボタンを押すとヘルプテキストが表示されます。

マルチファンクション ディスプレイの明 るさを調節する

- 1. 車両▶設定▶表示▶ディスプレイの明るさ
- 2 希望の明るさを選択してください。

メニュー項目のヘルプ テキストの表示/ 非表示

▶ 車両 ▶設定 ▶表示 ▶ヘルプ テキスト

機能が有効になっているときにメニュー項目 を選択すると、ヘルプ テキストが数秒間表示 されます。

日付と時刻の設定

事前設定された日付と時刻の表示は、車両のすべてのディスプレイに採用されます。

時刻の設定

- 1. 車両▶設定▶日付&時刻▶時刻▶時間/分
- 2 任意の時刻を設定してください。

時刻表示の設定

- 1. 車両▶設定▶日付&時刻▶時刻▶形式
- 2 任意の時刻表示形式を選択してください。

- **12h**: 12時間表示 - **24h**: 24時間表示

GPS信号により自動的に時刻を同期する

▶ 車両 ▶設定 ▶日付 & 時刻 ▶時刻 ▶自動時刻 調整

機能が有効なときは、時刻はGPS信号と同期されます。

1 インフォメーション

時刻をGPS信号と同期させるよう設定した場合、日時を手動で設定することはできません。衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

ダッシュボードのストップウォッチの時 刻表示

▶ 車両 ▶設定 ▶日付 & 時刻 ▶時刻 クロノ

機能が有効なとき、ダッシュボードのストップ ウォッチに時刻が表示されます。

日付の設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶日付 & 時刻 ▶日付 ▶日付
- 2 任意の日付を設定してください。

日付表示の設定

- 1. 車両▶設定▶日付&時刻▶日付▶形式
- 2 希望の日付表示形式を選択してください。
- DD.MM.YYYY
- MM/DD/YYYY
- YYYY/MM/DD

ライト、フロント ワイパーおよ びミラーの調整

ウェルカム ホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整

- 1. 車両 ▶設定 ▶ライト&ビュー ▶外部ライト ▶ 遅延消灯
- 2 任意の遅延消灯を設定してください。
- ▷「オートマチック カミング ホーム ライトをONにする」(241ページ)を参照してください。

あ

か

さ

な

t-

は

ま

や

ら

わ

か

さ

な

た

はま

や

ら

わ

A-Z

左側/右側通行でヘッドライトを切り替 える

- ✓ ポルシェダイナミック ライト システム (PDLS) またはポルシェダイナミック ライト システムプラス (PDLSプラス) 装備車両
 ✓ 停車しているとき
- 車両▶設定 ▶ライト&ビュー ▶外部ライト ▶ 左/右側通行
- 2 希望の項目を選択してください。
- 標準: ヘッドライトが左ハンドル車では右側通行、右ハンドル車では左側通行に最適な位置になります。
- **反転**: ヘッドライトが左ハンドル車では左側通行、右ハンドル車では右側通行に最適な位置になります。

1 インフォメーション

ヘッドライトの位置を**反転**に設定すると、イグニッションまたはロービームを ON にするたびに、マルチファンクションディスプレイにライトが反転されたことを示すメッセージが表示されます。

ダイナミック ハイ ビームの作動/停止

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 装備車
- 車両 ▶設定 ▶ライト&ビュー ▶外部ライト ▶ 動的前方照明

機能が有効なとき、ダイナミック ハイ ビーム を使用することができます。

▷「ダイナミックハイビーム」(242ページ) を参照してください。

ドアを開いたときのインテリア ライト自動点灯の有効/無効

車両▶設定 ▶ライト&ビュー ▶内部ライト ▶ (ドアを開く時) 機能が有効なときは、ドアを開くとインテリア ライトが点灯します。

オリエンテーション ライトの明るさを調 節する

- 車両 ▶設定 ▶ライト&ビュー ▶内部ライト ▶ オリエンテーション
- 2 希望の明るさを選択してください。

アンビエント ライトの明るさ調節

- 1. 車両▶設定 ▶ライト&ビュー ▶内部ライト ▶ 明るさ調整
- 2 希望の明るさを選択してください。

インテリア ライトの遅延消灯モードを設 定する

- 1. 車両 ▶設定 ▶ライト&ビュー ▶内部ライト ▶ 消灯遅延
- 2 任意の遅延消灯を設定してください。

マルチファンクション ステア リング ホイールのボタンの割 り当て変更

マルチファンクション ステアリング ホイールの◇ボタンに、マルチファンクションディスプレイまたはPCMの任意の機能を割り当てることができます。

- 車両 ▶設定 ▶ハンドル操作 ▶◇ ボタン ▶
 PCM 機能または組み合わせ機能
- 2 希望の項目を選択してください。

PCM機能:

- **オーディオ**:オーディオを切り替えます。
- ボイスコントロール:音声操作の作動

- **音声案内繰返**:ナビゲーションの音声案内 を繰り返します。
- **放送局/曲<**:前の放送局または曲を選択します。
- **放送局/曲**>:次の放送局または曲を選択します。
- 地図: PCM にナビゲーション地図を表示します。

組み合わせ機能:

- **計時開始 / 停止**:計時を開始または停止します。
- **車両メニュー**:車両メニューを表示します。
- **オーディオ設定**:オーディオメニューを表示します。
- **電話メニュー**:電話メニューを表示します。
- 地図メニュー:マルチファンクションディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- ナビメニュー: ナビゲーション メニューを 表示します。
- **トリップメニュー**:トリップメニューを表示します。
- TPM メニュー: TPMメニューを表示します。
- クロノメニュー: スポーツ クロノ メニュー を表示します。
- **G-Force メニュー**: G-Force メニューを表示 する
- ギヤシフトアシストメニュー: ギヤシフトアシストメニューを表示します。

ドア ロック機能を設定する

ドアのロック解除機能の設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ロック解除
- 2 希望の項目を選択してください。
- **すべてのドア**: 車両のロックを解除すると、 すべてのドアのロックが解除されます。
- **運転席ドア**:車両のロックを解除すると、運 転席ドアのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ドアロック
- 2 希望のオプション選択してください。
- **オフ**:乗車後にドアは自動でロックされません。
- **イグニッション ON の後**:イグニッション をONにすると、ドアが自動的にロックされます。
- **発進後**:車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

ドアミラーの自動格納のON/OFF

▶ 車両 ▶設定 ▶ロック ▶ミラー引き戻す

機能を有効にすると、車両をロックしたときに ドア ミラーが自動的に格納します。

イージーエントリーのON/OFF

車両 ▶設定 ▶ロック ▶ポルシェエントリー& ドライブ

機能を有効にすると、運転者の乗降性を高める ために運転席シートとステアリング ホイール を自動的に遠ざけることができます。

エアコン設定

✓ 2ゾーンエアコン装備車

送風の強さと送風量を調節する

- 1. 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶風量
- 2 希望の項目を選択してください。
- ソフト:エア ベントからの送風が和らぎます。空気の流れに敏感な乗員に適しています。
- ノーマル:標準の設定です。
- ハード:車内への送風が強くなります。風 の流れをはっきりと感じられるようになり ます。

アッパー ベンチレーション パネルのON/ OFF

▶ 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶換気フィールド

機能を有効にすると、ダッシュボードのアッパーベンチレーションパネルがONになります。

内気循環モードのON/OFF

▶ 車両 ▶設定 ▶エアコン ▶自動内気循環

機能を有効にすると、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

警告音量およびパーキング ア シスタントの調節

- 車両 ► 設定 ► 音量 ► パークアシストまた は警告トーン
- 2 希望の項目を選択してください。
- 高
- 中
- 低

単位の設定

スピードメーターの単位の設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶単位 ▶スピードメーター
- 2 希望の項目を選択してください。
- km / km/h
- マイル/mph

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- 積算距離計/トリップメーター
- デジタル スピードメーター
- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

温度計の単位の設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶単位 ▶温度
- 2 希望の項目を選択してください。
- °C
- °F

あ

か

さ

な

た

は

ŧ

や

b

わ

か

7

た

な

11

ŧ

'n

わ

A-Z

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

圧力計の単位の設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶単位 ▶圧力
- 2 希望の項目を選択してください。
- bar
- psi
- 1 インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

平均燃費の表示単位の設定

- 1. 車両▶設定▶単位▶消費量
- 2 希望のオプション選択してください。
- L/100 km
- mpg(米国)
- mpg (英国)
- km/L

i インフォメーション

単位は以下のディスプレイで調整されます。

- マルチファンクションディスプレイ
- PCM

言語設定

- 1. 車両 ▶設定 ▶言語
- 2 任意の言語を選択してください。

i インフォメーション

マルチファンクション ディスプレイの言語が 調整されます。

ポルシェカー コネクトの設定¹⁾

▶ 車両 ▶設定 ▶Car Connect ▶プライバシー

機能を有効にすると、車両とアプリ間の通信が制限されます。車両固有の情報はアプリに送信されません。このアプリを使用した車両設定は実施できません。

車両の契約が有効でない場合、 $Car\ Connect\ imes$ ニュー項目は使用できません。

▷ 「Porsche Car Connect」 (263ページ) を参照 してください。

詳しい情報は、www.porsche.com/connectまたはポルシェ正規販売店から入手できます。

i インフォメーション

プライバシー機能を有効にしていても、車両が 故障したとき、緊急電話をかけたとき、または 車両が盗まれたときなどは車両の位置情報が 送信されます。

車両を使用するすべての人に、プライバシー機能が解除される場合があることを伝えてください。

工場出荷時の設定に戻す

i インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、マルチファンクション ディスプレイで選択した**すべての**設定が削除されます。

▶ 車両 ▶設定 ▶リセット ▶工場設定 ▶はい

¹⁾ 名前と機能は変更される可能性があります

ミラー

ドアミラーの使用

▲ 警告

ドア ミラーに周囲が ゆがんで映るため、交 通状況を正しく評価で きないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行 状況を正しく評価できず、事故につながる場合 があります。

- ▶ 後方の車両との距離を推測する際や駐車する際、ミラーにはゆがんで映るということを考慮に入れてください。
- ▶ 距離の判断はルーム ミラーと併用して行ってください。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能 性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引 き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着 衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してく ださい。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア ミラーを損傷 する恐れがあります。

▶ 洗車機を使用する前にドア ミラーを格納してください。



図190:ドアミラーの操作

- A ドアミラーの選択 運転席側
- B ドアミラーの選択 助手席側
- C ドア ミラーの調節
- D ドアミラーの格納/復帰

ドア ミラーの調節



図191:ドアミラーの調節

- ✓ イグニッションがONのときまたは
- ✓ イグニッションをOFFにして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態 (最大10分以内)
- 運転席側のドアミラーを調節するときはボタンAを、助手席側を調節するときはボタンBを押してください。
 - 選択したボタンのインジケーター ライトが 点灯します。
- 2 調節ボタンCを操作して、ドア ミラーの角 度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

▶ ドア ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

あ

か

さ

た

な

11

ŧ

や

ら

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

A-Z

ドアミラーの格納/復帰



図192:ドアミラーの格納/復帰

ドア ミラーの手動格納

► ミラー ハウジングを手でいっぱいまで上方 に回転させてください。

ドア ミラーの手動復帰

ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドアミラーの電動格納/復帰

✓ 速度が50km/h以下のとき

▶ ボタンDを押してください(図190を参照)。 両方のドアミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

▶ ドアミラーの手動格納と手動復帰

車外からのドアミラーの格納/復帰

車両をロックするときに、ドア ミラーを自動 的に格納することができます。

ドアミラーの自動復帰

► イグニッションをONにしてください。 ドアミラーが自動的に復帰します。

ドアミラーの自動的な格納/復帰

✔ 機能が作動している

▷ 「ドアミラーの自動格納のON/OFF」(231ページ) を参照してください。

ドアミラーの自動格納

▶ 車両をロックしてください。 ドアミラーが自動的に格納します。

ドアミラーの自動復帰

► イグニッションをONにしてください。 ドアミラーが自動的に復帰します。

i インフォメーション

ボタンDを押して手動でドア ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置に復帰しません(図190)。

ドアミラーの自動防眩機能の ON/OFF

ルーム ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア ミラーの防眩機能が作動します。

▷ 「ルーム ミラーの自動防眩機能のON/OFF」 (235ページ)を参照してください。

ルーム ミラー防眩機能の手動 操作



図193:ルームミラー防眩機能の手動操作

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバーAを車内側に向けてください。

- ▶ 基本設定 レバーを車内側に向けます。
- ► 防眩位置 レバーをフロント ウィンドウ側 に向けます。

ルーム ミラーの自動防眩機能のON/OFF

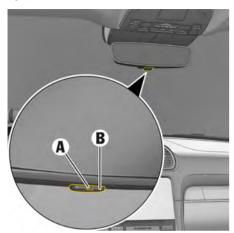


図194:ルーム ミラーの自動防眩機能

自動防眩機能をONにする

ボタンBを押します。
 インジケーター ライトAが点灯します。
 光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ルーム ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

1 インフォメーション

リバース ギヤに入れた場合、**または**インテリアライトが点灯している場合は、ルーム ミラーの自動防眩機能は作動しません。

自動防眩機能をOFFにする

▶ ボタンBを押します。 インジケーター ライトAが消灯します。

▲ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解 液が漏れ出すことがあ ります

ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出す恐れがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

- ▶ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やか にきれいな水で洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて医師の診察を受けてください。

知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着 衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れて いる間に取り除いてください。

▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してく ださい。

i インフォメーション

ルーム ミラーに投射する光を妨げないでください。(リヤ ウィンドウにステッカーを貼り付けたり、後方視界を妨げるほど大きな荷物をラゲッジ コンパートメントまたはラゲッジ コンパートメント カバーに積むなど)。同様に、フロント ウィンドウを通ってフロント照度センサーに当たる光をステッカー等で妨げないようにしてください。

あ

か

さ

た

な

はま

や

'n

わ

か

さ

た

な

は

メディア

概要

この概要説明は「メディア」に記載された情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション: ▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ)を参照してください。



図195:メディアソース、iPodなど



図196:メディアソース、USBなど

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
メディア ソースから音楽やビデオ ファイルを 再生する	 ► CD/DVDを挿入してください。 ► メディアの内容をジュークボックス(内部メモリ)にインポートしてください。 ► SDカードを挿入してください。 ► USBを介して外部機器を接続してください。 ► 外部デバイスをBluetooth®経由で接続してください。 ► アプリでオンライン ラジオ サービスを開きます。 	214 239 214 215 207
メディアソースを選択する	► SOURCE ボタン ► 希望のメディア ソースを選択してください。 または MEDIA ボタンを繰り返し押してください。	237
音楽を再生/一時停止する	MEDIA ボタン ▶プレーヤー □ ▶ または e選択してください (Aを参照)。	237
再生中に次の/前のトラックの頭出しをする	▶ MEDIA ボタン ▶プレーヤー □ ▶ I または N を選択してください (Bを参照)。	237
メディア ライブラリー内を検索する	▶ MEDIA ボタン ▶検索 ♀ (C を参照) またはブラウズ ➡ (D を参照) を選択してください。	238
プレイリストを開く	▶ MEDIA ボタン ▶プレイリスト ★ (E を参照) を選択してください。	238
類似の音楽を聴く	▶ MEDIA ボタン ▶ DPT ボタン ▶似たテイストの曲を再生	238
オーディオ/ビデオ ファイルをジュークボック スにインポートする	▶ MEDIA ボタン▶ロPT ボタン▶Jukeboxヘコピー	239

236

A-Z

b

わ

メディアソースの挿入/接続

- ▷ 「CD/DVDドライブにロードする」(214ページ)を参照してください。
- ▷ 「SDカードを挿入する」(214ページ)を参 暇してください。
- ▷ 「外部機器の接続」(214ページ)を参照して ください。

メディア ソースの選択

► SOURCE ボタンを押し、希望のメディアソースを選択してください。

または

▶ 希望のメディア ソースが選択されるまで MEDIA ボタンを押してください。

または

- 1. ヘッドラインに表示されたメディアソースを押してください。 選択可能なソースが表示されます。
- 2 メディアソースを選択してください。

メディアを再生する

メディア機能を使用して再生するには、オーディオおよびビデオフォーマットが特定の要件を満たしている必要があります。対応するメディアおよびファイル形式に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメ ント (PCM)」(274ページ) を参照してくだ さい。



図197:音楽の再生



図198:ビデオの再生

1.00 (2) (3.0)() (2.0)	
機能	ボタン
メディアを再生する	•
メディアを一時停止する	H
次のトラック/チャプターへ進む	→ I
前のトラック/チャプターに戻る	14
音楽をランダムに再生する	\propto
カバーフロー ビューを表示する	
ビデオをフルスクリーン モード で表示する	****
カバーフロー ビューまたは用意 されたビデオ ソースを開く	•=•
ビデオ メイン メニューに戻る	≔

音楽を再生する

✓ オーディオソースが選択されている

- 1. MEDIA ボタン ▶プレーヤー □
- 2 カバーフロー ビューA(図197)で、希望のアルバムが中央に拡大表示されるまで 左または右にスワイプしてください。 または

アルバムを再生するには、**▶** を選択してください。

または

ロータリー プッシュ ボタンを押してくだ さい。

または

アルバムおよび希望の楽曲を選択してください。 オーディオソースを選択すると、メディアの最初の曲が自動的に再生されます。 ジュークボックスを使用する場合は、最近再生された曲が再生されます。

次の/前のトラックの頭出しをする

✓ メディアソースが選択されている

- ▶ 前にスキップするには、
 ▼ を選択するか
 ▼ ボタンを押してください。
 トラックの再生が始まった直後であれば、前のトラックの先頭に戻ります。トラック
- 次にスキップするには、▶ 次にスキップするには、▶ ボタンを押してください。

の再生が始まって3秒以上経過していれ

ば、再生中のトラックの先頭に戻ります。

早送り/早戻し

✓ メディアソースが選択されている

タイム バーを希望の位置までスライドさせてください。

あ

か

さ

た

な

1,1

ŧ

や

ら

わ

か

た

t

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ランダム再生のON/OFF

✓ メディア ソースが選択されている

- ► 本を選択してください。 ランダム再生がONになります。
- ▶ ランダム再生をOFFにするには、もう一度 ボタンを押してください。

類似の音楽を表示する

- 1. **OPT** ボタンを押してください。
- **2 似たテイストの曲を再生**を選択してくだ さい。

曲を繰り返し再生する

- ✔ メディア ソースが選択されている
- ✓ アルバムまたはプレイリストが選択されている
- 1. **OPT** ボタンを押してください。
- 2 トラックをリピートを選択してください。 ヘッドラインにリピート モードが表示されます。
- ▶ リピートモードを OFF にするには、□PT ボタンを押してリピート OFF を選択してください。

ビデオの再生

✔ ビデオ ソースが選択されている

▶ **▶** を選択してください。 **または**

希望するビデオを選択してください。 **または**

- および希望のチャプターを選択してください。
- ▶ ビデオのメインメニューに戻るには、 を選択してください。

マルチファンクション ディスプレイを使 用して、有効なオーディオ ソースからト ラックを選択する

マルチファンクション ディスプレイの使用に 関するインフォメーション:

- ▷「マルチファンクション ステアリング ホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクションステアリングホイールでのマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。
- 1. オーディオメニューを選択してください。
- 有効なオーディオソース (ディスクなど) からトラックを選択してください。

メディア ソースの検索

トラックまたはビデオを検索する

✓ メディア ソースが選択されている

- 1. **検索** 👂 を選択してください。
- 2 検索を選択し、テキスト検索フィールドに 希望のトラックを入力してください。 または

検索に使用するカテゴリー (ジャンル、アーティスト、アルバム、トラック、ビデオ)を選択してください。

3. 希望のトラックを選択してください。

メディアの閲覧

- ✓ メディアソースが選択されている
- 1. ブラウズ ⇒ を選択してください。
- 希望のフォルダーおよびメディアトラックを選択してください。

▶ フォルダー構成に戻るには、ヘッドライン にある希望のメディアフォルダーを選択 してください。

プレイリストを開く

選択したメディアソースに応じて、追加のプレイリストを使用してメディアを再生できます。

プレイリストを開く

- ✓ オーディオソースが選択されている
- 1. **プレイリスト** ★ を選択してください。
- 2 希望のオプション選択してください。
- 現在の再生リスト:選択したソースのフォルダー構成またはトラック/チャプター リストが表示されます。
- 最近再生された曲
- 再生回数が多い曲
- 星評価を含むトラック

ジュークボックスのオーディ オ/ビデオ ファイルのインポー トおよび削除

USBフラッシュ ドライブまたはSDカードの オーディオおよびビデオ ファイルをジューク ボックスにインポートすることができます。

現在のトラックまたはアルバムのインポート中

- ✓ ジュークボックスにコピーするトラックまたはアルバムが含まれるメディアソースを 選択している
- ✓ 希望のトラックまたはアルバムが選択されている
- 1. □PT ボタン ▶Jukebox ヘコピー
- 2 現在のトラックをコピーまたは現在のアルバムをコピーを選択してください。 トラックまたはアルバムがインポートされます。

フォルダーまたはファイルのコピー中 ✓ メディア ソースが選択されている

- 1. □PT ボタン ▶Jukebox ヘコピー
- 2 ファイル/フォルダーをコピーを選択してください。 使用可能なすべてのフォルダーおよびファイルが表示されます。
- 3. 選択/選択解除により、希望のファイルま たはフォルダーを選択してください。
- メディアのインポートを開始するにはコピーを選択してください。

ジュークボックスからメディア コンテン ツを削除する

- ✓ ジュークボックスがメディア ソースとして 選択されている
- 1. MEDIA ボタン ▶ OPT ボタン ▶ Jukebox 設定
- 2 希望の項目を選択してください。
- 現在のトラックを削除
- 現在のアルバムを削除
- ファイル/フォルダーを削除:選択/選択解除によりファイルまたはフォルダーを選択し、削除を押して決定してください。

記憶容量 (空き領域/使用領域) を表示する

- ✓ ジュークボックスがメディア ソースとして 選択されている
- 1. MEDIA ボタン ▶ OPT ボタン ▶ Jukebox 設定
- 2 ソースの詳細を選択してください。

設定の変更

全般的なメディア設定

- MEDIA ボタン ► OPT ボタン ►メ ディア設定
- 2 希望の項目を選択してください。
- **スマートフォンリンク**: USBで接続された スマートフォンを管理します。
- **Bluetooth オーディオ:**Bluetooth®接続のON/ OFFを切り替えます。
- Gracenote Online:機能が作動しており、 データ接続が有効な場合、インターネット から、アルバムカバーがダウンロードできます。
- **Bluetooth**: Bluetooth[®]機能およびデバイス を管理します。

▷ 「Bluetooth®デバイスの削除、または Bluetooth®インフォメーションの表示」 (153ページ) を参照してください。

ビデオの設定

✓ ビデオファイルを含むDVDが挿入されている

- MEDIA ボタン ► OPT ボタン ►
 DVD 設定
- 2 希望の項目を選択してください。
- **画面比率**:アスペクト比を設定します。
- **音声トラック**:サウンドトラックおよび音質を設定します。
- 字幕:機能を有効化すると、字幕が表示されます(利用可能な場合)。
- チャイルドロック: ビデオファイルの再生を制限するには、パスワードを入力し、OKを選択して確定してください (デフォルトのパスワード: 1234)。
 - ディスクのセーフティ レベル: セーフティレベルを選択してください。セーフティレベル5を選択すると、セーフティレベル1~5のすべてのDVDが再生されます。セーフティレベルがこれより高いDVDの再生はブロックされます。セーフティレベルが必要ない場合はレベル0を選択してください。
 - **パスコードを変更**:チャイルドロック用 の新しいパスワードを入力することが できます。

i インフォメーション

- チャイルド ロックは挿入されたDVDに応じてON/OFFを切り替えることができます。
- 誤ったチャイルド ロック用パスワードを3 回入力した場合:
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

や

ま

ら

わ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A-Z

ライト

ライト スイッチの設定

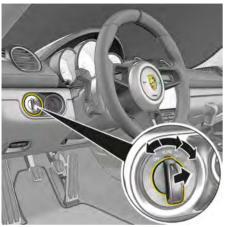


図199:ライトスイッチ

☆ ライトスイッチ

OFF ライトの消灯

イグニッションがONのとき、デイタ イム ドライビング ライトが点灯し ます。

AUTO オートマチック ドライビング ライト アシスタント

日中にイグニッションがONのとき、 デイタイムドライビングライトは自 動的に点灯します。

シシ 車幅灯

ライセンス ライト、インストルメント ライトおよびデイタイム ドライビング ライトが点灯します。

■ ロービーム/ドライビングライト

イグニッションがONのときのみ、 フォグライト、モーターウェイライ トおよびダイナミック ハイ ビームが 非作動となります。

() サフォグライト

ロー ビーム位置でスイッチを引いて ください。インジケーター ライトが 点灯します。

i インフォメーション

- 灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドア を開くと、警告音が鳴り、バッテリー上が りを防止します。

各国の法律等に準拠して仕様が異なる場合 があります。

気温と湿度により、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。十分な距離を 走行すると、この曇りは取れます。

ロービーム/ドライビングライト

ライトスイッチを AUTO の位置にすると、次の 状況でロービームが自動的に点灯します:

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時
- 高速走行(ポルシェダイナミックライトシステムPDLS装備車)

ロー ビームの点灯時には、スピードメーター のインジケーター ライト **○○** が点灯します。

i インフォメーション

オートマチック ヘッドライトは、霧を感知することができません。

霧が発生したときは、手動でドライビング ライトを点灯させてください。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビングライトが自動的にONになります。

周囲が明るくワイパーが約4分間使用されない状態が続くと、ドライビングライトが消灯します。

オートマチック ドライビング ライトアシスタント

ドライビング ライト アシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビングライト(ロー ビーム)は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。

オートマチック ヘッドライト機能は、デイタイム ライト、オートマチック カミングホーム ライトおよびダイナミック コーナリング ライト (装備仕様による) なども制御します。オートマチック ドライビング ライト アシスタントを有効にするには:

► ライト スイッチを **AUTO** の位置に回してく ださい。

i インフォメーション

なおドライビング ライトアシスタントを作動させているときも、法律等を遵守し、ライトスイッチの手動操作によってドライビング ライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。ドライビング ライトアシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

▲ 警告

無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバー の視界を大きく制限するのみでなく、他のドラ イバーや歩行者の視認性を大きく妨げること になります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動で ONにしてください。
- ▶ 地域の法律などを遵守してロービームで走行してください。

オートマチック カミング ホーム ライトをONにする

- ► ライト スイッチを AUTO にしてください。 一定時間、次のライトが点灯したままになり、 車両に乗降するときの足元を明るく照らして 安全性を高めます:
- デイタイムドライビングライト
- ドア ミラーのカーテシー ライト (電動格納 式ドア ミラー装備車)
- リヤの車幅灯
- ライセンスライト

ウェルカム ホーム機能(遅延消灯)

キーを抜き取ると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが占灯したままになります。

エクステリア ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション:

▷「ウェルカムホーム/エントリー機能の外部ライト遅延消灯の調整」(229ページ)を参照してください。

エントリー /イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクションディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、 車両の周囲が照らされます。

以下の場合は、ライトが消灯します:

- イグニッションをONにする
 - ライトスイッチを AUTO の位置から動かした とき

エクステリア ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション:

▷「ウェルカム ホーム/エントリー機能の外部 ライト遅延消灯の調整」(229ページ)を参 照してください。

ポルシェ ダイナミック ライト システム(PDLS)

ダイナミック コーナリング ライトおよび夜間 の高速道路機能を作動させるには:

▶ ライトスイッチを AUTO の位置に回してください。

ダイナミック コーナリング ライト

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリグホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロービームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。ダイナミックコーナリングライトが故障した場合、インストルメントパネルのPDLS警告灯が点滅します。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビング ライトの配光特性が変化します。

このときドライビングライトは、より遠くが見渡せるように昭射距離を長くします。

フォグ ライト

速度が約70km/h以下でリヤフォグライトが点 灯している場合、ドライビングライトの配光 特性が変化します。

このときドライビング ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

あ

か

さ

た

な

はま

や

わ

'n

11

A-Z

ポルシェ ダイナミック ライト システムプラス(PDLS Plus)

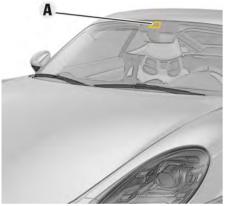


図200:カメラの取り付け位置

ダイナミック ハイ ビーム

ダイナミックハイビーム装備車では、ルームミラー付近に取り付けられたカメラAで前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビングライトの遮光ポイントをハイビームからロービームの間で段階的に調節します。ドライビングライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機 能が作動します:

- ✓ ライト スイッチの AUTO 位置が選択されている
- ✓ 速度が約60km/h以上
- ✓ マルチファンクション ディスプレイでダイナミック ハイビームを有効にする
 - ▷「ダイナミックハイビームの作動/停止」 (230ページ)を参照してください。
- ✓ ダイナミックハイビームがONになっている
 - ▷「ハイビームの作動」(243ページ)を参照してください。

市街地走行時にハイ ビームに切り替わらない ようにするため、ダイナミック ハイ ビームは 約35km/h以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も 自動的にハイ ビームからロー ビームに切り替 わります。

▲ 警告

集中力の低下

ダイナミック ハイ ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります:

- 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきな どの悪天候時
- 対向車を確認しにくい道路(高速道路など)
- 明るさが弱いライトの他車(自転車など)が 走行している場合
- 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
- 明かりが少ない市街地
- 光を強く反射する物体(看板など)がある 道路
- フロントウィンドウのカメラの視界に曇り、 汚れ、凍結がある、またはステッカーで覆 われている
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両周囲には常に注意を払って ください。
- 必要な場合、ハイ ビームを周囲の明るさ、 視界、交通状況に合わせて手動で調節して ください。

i インフォメーション

- ▶ カメラの作動に干渉するものがないことを確認してください:
 - ルーム ミラーのカメラの視界 (図200を参照) をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
- ▷ 車両のお手入れについて:「お手入れ」(57 ページ)を参照してください。

方向指示灯/ハイビームレバー の操作

このレバーを使用して、方向指示灯およびハイ ビームに加えて、パーキングライトおよびヘッ ドライト パッシング も操作できます。



図201:方向指示灯およびハイ ビーム操作レバー

- 1 方向指示灯、左
- 2 方向指示灯、右
- 3 ハイ ビーム、ダイナミック ハイ ビーム
- 4 ヘッドライト パッシング

方向指示灯の操作

▶ 操作レバーを1または2段階目まで押してく ださい。

方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位 置に戻すか、ステアリング ホイールを回し たときに自動的に初期位置に戻るまで、作 動したままになります。 ▶ 操作レバーを1または2段階目まで1回動かしてください。

方向指示灯が3回点滅します。

ハイビームの作動

ハイ ビームの点灯/消灯(ダイナミック ハイビーム非装備車)

- ▶ 点灯:操作レバーを3段階目まで1回動かしてください。
- て、たらい。 インジケーター ライト **■** か点灯します。
- ▶ 消灯:操作レバーを4段階目まで1回動かしてください。

ダイナミックハイ ビームの作動/停止

ダイナミック ハイ ビームを作動させるには、 次の条件を満たさなければなりません:

- ✔ 夜間
- ✓ ライト スイッチの AUTO 位置が選択されている
- ✓ 速度が約60km/h以上
- ✓ マルチファンクション ディスプレイでダイナミックハイビームを有効にする
 - ▷ 「ダイナミック ハイ ビームの作動/停止」 (230ページ) を参照してください。
- ▶ 作動:操作レバーを3段階目まで1回動かしてください。

インジケーターライト ■ が点灯します。 ロー ビームとハイ ビームの間で段階的に 配光が自動調節されます。

ハイ ビームの一時的な点灯時または完全な 点灯時には、**■**○ インジケーター ライトが 点灯します。

▶ 停止:操作レバーを4段階目まで1回動かしてください。

インジケーター ライト **□** が点灯しているときのみダイナミック ハイ ビームを解除できます。

ダイナミック ハイ ビームの手動点灯/消灯

ダイナミック ハイ ビームを解除した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイ ビームの点灯/消灯を切り替えることができます。

以下の条件を満たさなければなりません:

✔ 夜間

- ✓ ライト スイッチのAUTO位置が選択されて いる
- ▶ 点灯:操作レバーを3段階目まで2回動かしてください。

インジケーター ライト ■ ○ が点灯します。

▶ 消灯:操作レバーを4段階目まで1回動かしてください。

ヘッドライト パッシングの操作

▶ 操作レバーを4段階目まで1回動かしてください。

インジケーター ライト **□** が短時間点灯します。

パーキング ライトの点灯/消灯

✓ イグニッションをOFFにする

▶ 操作レバーを上方向2または下方向1に押す と右または左側のパーキングライトが点灯 します。

パーキング ライトが点灯している場合は、イグニッションをOFFにしてドアを開くとマルチファンクション ディスプレイにメッセージが表示されます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

ハザードライトのON/OFF



図202: センター コンソールのハザード ライト ボタン

ハザード ライトはイグニッションがOFFのと きでも機能します。

ハザード ライトのON/OFF

▶ センター コンソールのハザード ライト ボタンを押してください。 すべての方向指示灯とボタンのインジケーター ライトが同時に点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約70km/h以上の速度で走行中、目前に渋滞の 最後尾が現れたとき、停車するために急ブレー キをかけると、制動中にブレーキ ライトが点 滅し、車両の停車後にハザード ライトが自動 的に作動します。

センター コンソールのハザード ライト ボタンを押して、ハザード ライトを停止して ください。 車両が再度動き出すと、ハザード ライトは 自動的に停止します。

事故後のハザードライトの解除

衝突時、ハザードライトが自動的に作動します。

▶ ハザードライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

発光ダイオード(LED)とロン グライフバルブの交換

デイタイム ドライビング ライト、フロント サイド ライト、方向指示灯、バイキセノン ヘッドライトのガスディスチャージ バルブ、テール ライト、ライセンス プレート ライト、ハイマウント ブレーキ ライトおよびルーム ライトには、発光ダイオード (LED) およびロングライフ バルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ バルブの交換には専門知識が必要です。

▶ 発光ダイオード (LED) とロングライフ バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

あ

か

さ

た

な

は

+

や

b

+

ラゲッジ コンパートメント

荷物の積載

▲ 警告

積載時の車両の操縦性 の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ► ハンドリング特性の変化に合わせた運転を してください。
- ► 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▷「重量 (メーカー発表値)」(267ページ)を 参照してください。

停止表示板の取り外し

停止表示板は、ラゲッジ コンパートメントの 裏側(図203のA)に収納されています(国別 仕様により異なります)。

応急処置セットの固定および 取り外し

応急処置セットは、フロント ラゲッジ コンパートメント内のカーペット (マジックテープ図204のB) に固定することができます (国別仕様により異なります)。

タイヤ シーラント (Tire Mobility System – TMS) または工具セッ トの取り外しおよび収納



図203:タイヤ シーラント (Tire Mobility System – TMS) を収納したブラスチック ボックス **C**

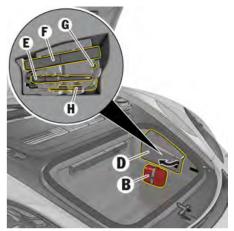


図204:車載工具を収納したプラスチック ボックスD

- E けん引フック
- F 車載工具
- G 盗難防止ホイール ボルト アダプター
- **H** コンバーチブル トップの緊急操作用キー (718 Spyder)

タイヤシーラント/工具セットの取り外し

▶ プラスチックボックスの取っ手をつかんで、 取り外してください。

タイヤ シーラント/工具セットの収納

- 1. 後部のラグを挿入してください。
- プラスチック ボックスの前部をはめ込んでください。

あ

か

さ

た

な

ま

11

わ

ら

A-Z

わ

た

b

A-Z

タイヤ充填コンプレッサーの 取り外しおよび収納

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し



図205:プラスチックカバーの取り外し

- 1. プラスチック カバー Aの取っ手(矢印)を 持って持ち上げ、ラッチを外してください (外れる音が聞こえます)。
- **2** プラスチック カバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。



図206:プラスチック カバーの取り付け

3. プラスチック カバー下側の固定ストラップ Bを外し、ラゲッジ コンパートメント リッ ドに取り付けてください。



図207:タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックスを開く

- 4. タイヤ充填コンプレッサーの収納ボックス を開いてください(図207)。
- タイヤ充填コンプレッサーを収納スペース から取り出してください。

タイヤ充填コンプレッサーの収納



図208:タイヤ充填コンプレッサーの交換

- 1. タイヤ充填コンプレッサーを収納ボックス に入れてください(図208)。
- 2 収納ボックスのカバーを閉じてください。

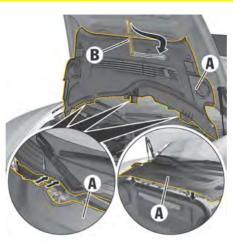


図209:プラスチック カバーを閉じる

- 3. 固定ストラップBを外し、プラスチック カ バーにはめ込んでください。
- 4. プラスチック カバーAの後端部をガイドに 差し込み、ホルダー上に置いてください。 プラスチック カバーの前部を下げてくだ さい。
- 5. カバー下側のセンタリングピンが各ガイドにはまっていることを確認してください。 ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

ラゲッジ カバーの取り外し/取り付け

√ 718 Cayman GT4

ラゲッジ カバーはラゲッジ コンパートメント 内の荷物を直射日光や人目から覆い隠します。

知識

ラゲッジ カバーは鋭利な物や滑った荷物によって損傷する恐れがあります。

▶ ラゲッジ カバーを損傷する恐れのある荷物 を積み込むときは、ラゲッジカバーを取り 外してください。

ラゲッジカバーを取り外す



図210:ラゲッジ カバーを取り外す

- 片手でラゲッジ カバーを押さえながら、両 方のロックを反時計回りに回してください。
- 2 両手でラゲッジ カバーを取り外してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

ラゲッジ カバーを取り付ける



図211:ラゲッジ カバーを取り付ける

▶ 両手でラゲッジカバーをマウントに差し込み、片手で押さえながら両方のロックを時計回りに回してください。

あ

か

た

さ

な

は

ま

b

わ

A-Z

248

ラゲッジ コンパートメント リッド

ラゲッジ コンパートメントリッドの開閉操作とロック

車内のボタンでフロント ラゲッジ コンパートメントリッドを開く

知識

ラゲッジ コンパートメント リッドまたはフロント ワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ラゲッジ コンパートメント リッドを開くと きは、ワイパーが起きていないことを確認し てください。
- ▶ ラゲッジ コンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ワイパーをOFF (ワイパーレバーをOの位置) にしてください。ぶつかる恐れがあります。 ワイパー アームが停止位置にない場合、ワイパーが停止位置に移動するようにワイパーシステムを一時的に ONにしてから OFF に切り替えてください。
- ▷ 「フロント ウィンドウ ワイパーの操作」 (198ページ)を参照してください。

i インフォメーション

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源 を接続すればフロント ラゲッジ コンパートメント リッドを開くことができます。

▷「フロント ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除」(251ページ)を参照してください。



図212: ラゲッジ コンパートメント リッドのロック解除

- A フロント ラゲッジ コンパートメント リッド ボ タン
- B リヤ ラゲッジ コンパートメント リッド ボタン
- ボタンAを引いてください。
 リッドがロック解除されます。



図213:フロント ラゲッジ コンパートメント リッドのロック解除

- 2 リッドを少し持ち上げ、セーフティー ラッチ(**矢印**)を解除してください。
- **3.** リッドを完全に開いてください。

車内のボタンでリヤ ラゲッジ コンパート メント リッドを開く

- ✓ 718 Spyder: コンバーチブル トップが開いています。
- ▷ 「コンバーチブル トップの開操作」(96ページ) を参照してください。

1 インフォメーション

718 Spyder: コンバーチブル トップを閉じているときは、運転席隣のボタンBが無効になります。

- 1. ボタンBを引いてください。 リッドがロック解除されます。
- **2** リッドをわずかに持ち上げ、それから完全に開いてください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

か

た

7

な

ま

11

や

ら

わ **A-Z**

リア ラゲッジ コンパートメント リッド のロック

√ 718 Cayman GT4

ラゲッジ コンパートメント リッドは、2箇所の 位置で開いたままロックすることができます。

- ▶ 位置1: ラゲッジ コンパートメント リッドを 抵抗がある位置まで持ち上げてください。
- ▶ 位置2: ラゲッジ コンパートメント リッド を抵抗がある位置から更に持ち上げてくだ さい。

キーでラゲッジ コンパートメント リッド を開く

- ✓ 718 Spyder: コンバーチブル トップが開いています。
- ▷ 「コンバーチブル トップの開操作」(96ページ) を参照してください。

1 インフォメーション

718 Spyder: コンバーチブル トップを閉じて いるときは、キーの

ボタンは無効になります。



図214:キーでラゲッジ コンパートメント リッドを開く

- 2 リッドを少し上げてください。
- 3 フロントラゲッジコンパートメントリッド:セーフティキャッチを解除してください。
- 4. リッドを完全に開いてください。

i インフォメーション

キーを使用してラゲッジ コンパートメントリッドのロックを解除すると、車両ドアのロックも解除されます。

ラゲッジ コンパートメント リッドを閉 じる

▲ 注意

重いラゲッジ コン パートメント リッド

半分開いた状態のラゲッジ コンパートメント リッドを閉じるとき、それ自体の重さによって ロックされます。

- ▼ 可動部品(ヒンジ)付近やラゲッジ コンパートメント リッドの下に物を置いたり、指を挟んだりしないように注意してください。
- 1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
- 2 リッドが確実にロックされていることを確認してください。
- 3. リッドが正しく閉じていない場合、走行時 にマルチファンクション ディスプレイに メッセージが表示されます。

フロント ラゲッジ コンパート メントリッドの緊急解除

バッテリートがりの場合、フロントラゲッジ コンパートメント リッドを開くには外部バッ テリーを使用する必要があります。



図215: ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解除 -プラス端子の接続

- A プラスチック製ヒューズ リムーバー
- C プラス端子(赤色)
- 1. エマージェンシーキーを使用して、ドアロッ クを解除してください。
 - ▷ 「エマージェンシーキーを使用する場合」 (111ページ)を参照してください。
 - ▷ 「緊急ドアロック解除」(127ページ)を 参照してください。

- バーを取り外してください。
- 3. ヒューズ リムーバーA(黄色)を使用して、 ヒューズ ボックスのプラス端子C(赤色)を 引き出してください。
- 4. 赤いジャンパー ケーブルを使用して、外部 バッテリーのプラス端子と、ヒューズ ボッ クスのプラス端子Cを接続してください。

インフォメーション

車両がロックされていた場合、マイナス端子を 接続したときに警報システムのホーンが鳴り ます。。

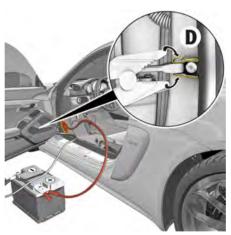


図216: ラゲッジ コンパートメント リッドの緊急解 除 - マイナス端子の接続

- 2 左側ヒューズ ボックスのプラスチック カ 5 黒色のジャンパー ケーブルを使用して、外 部バッテリーのマイナス端子と、ドア ラッ チDを接続してください。
 - 6 キーの ≥ ボタンを約2秒間押し続けてく ださい。

フロント ラゲッジ コンパートメント リッ ドがロック解除され、警報システムがOFFに なります。

- 7. マイナス ケーブルを先に外し、次にプラス ケーブルを外してください。
- 8 プラス端子C (図215) をヒューズ ボックス に押し込み、ヒューズ ボックスのプラス チックカバーを取り付けてください。

あ

か

さ

t-

な

11

ま

や

b

わ

ラジオ

概要

この概要説明は「ラジオ」に記載された情報に 代わるものではありません。操作する際は、こ の概要のみでなく「安全指示」および「警告」 を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷「ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)」(209ページ)を参照してください。



図217:FM周波数

運転者が何をしたいか?	その操作方法は?	ページ
周波数を設定する	▶ TUNER ボタンを押して、希望する周波数範囲 (AM または FM) をヘッドラインに表示してください。	253
放送局リストから放送局を選択する	▶ TUNER ボタン ▶リスト 1/12 ▶放送局を選択してください。	253
スキップ ボタンで選局する	▶ 【【 ボタンまたは 】 ボタンを希望の放送局が流れるまで何度か押してください。	
放送局リストから放送局を保存する	▶ TUNER ボタン ▶ リスト № ▶放送局を選択 ▶ 保存 し ▶放送局ボタンを選択してください。	254
保存した局を選択する	▶ TUNER ボタン ▶プリセット □ ▶ 希望の放送局ボタン (A など) を選択してください。	253
放送局の詳細を表示する	▶ TUNER ボタン ▶プリセット ■ ▶詳細を選択してください。	254

あ

か

さ

た

な

は

.

ま

や

4

わ

A-Z

252

周波数を設定する

- 1. SOURCE ボタンを押してください。
- AM または FM を選択してください。
 または
- ► TUNER ボタンを押し、希望の周波数 範囲 (AM または FM) を設定してください。
 または
- 1. TUNER ボタンを押してください。
- 2 ヘッドラインに表示された周波数を選択してください。
- 3. SOURCE メニューから AM または FM の希望する周波数帯を選択してください。

選局

保存した放送局を表示および選択する



Abb. 218: 放送局ボタン

- 1. TUNER ボタン ▶プリセット □
- 2 放送局を選択してください。 選択した放送局ボタン(例:A)がハイライトされます。

計20の放送局ボタン(プリセット)を使用して、放送局を割り当てることができます。

最初の3ページにある放送局ボタンを自由に割り当てることができます(現在選択されているページを表示させるには、Bを参照)。受信電波の最も強い5つのラジオ放送局が、自動的に4ページの放送局ボタンに割り当てられます(ベストFMレベル)。

スキップ ボタンで選局する

選択したメイン メニューに関わらず、および ○ のスキップ ボタンを使用して 選局することができます。

放送局一覧の次/前の放送局または利用可能な周波数が設定されます。

手動で選局する

- 1. TUNER ボタン ▶選局 🕪
- 2 周波数バーを使用して周波数を選択してください。

放送局リストから放送局を選択する

- 1. TUNER ボタン ▶リスト 竹=
- 2 放送局を選択してください。 受信可能なすべての放送局が放送局リストに表示されます(最高100局まで)。

放送局のスキャンと選局

- 1. TUNER ボタン ▶ OPT ボタン
- 2 スキャンを開始を選択してください。 周波数の各放送局のスキャンには約5秒か かります。
- スキャンした放送局で停止するには、コントローラーで停止を選択してください。
 または

□PT ボタン **▶スキャンを停止**を選択してください。

マルチファンクション ディスプレイを使用して放送局を選択する

マルチファンクション ディスプレイの使用に 関するインフォメーション:

- ▷ 「マルチファンクション ステアリング ホイールを使用しないマルチファンクションディスプレイの操作」(221ページ)を参照してください。
- ▷ 「マルチファンクション ステアリング ホ イールでのマルチファンクションディスプ レイの操作」(221ページ)を参照してくだ さい。
- 1. オーディオメニューを選択してください。
- 2 放送局リストから放送局を選択してください。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

あ

か

さ

な

t-

11

ま

b

わ

A-Z

放送局の保存

選局した放送局を保存する

- 1. TUNER ボタン ▶プリセット □
- 2 希望の放送局ボタンを 3 秒間押してくだ さい。

または

- 1. TUNER ボタン ▶ OPT ボタン
- 2. 放送局を保存▶放送局ボタンを選択してく ださい。

または

- 1. ボタン TUNER ▶選局 🕪 /リスト 🏗
- 2. 放送局を選択して、 と を選択してくだ さい。
- 3. 希望の放送局ボタンを選択してください。

放送局を自動で保存する

- 1. TUNER ボタン ▶プリセット □
- 2. ASを1秒以上押し続けてください。 検索が開始されます。受信電波の最も強い 5つのラジオ放送局が、選択されている ページに保存され、最も強い電波で受信さ れた放送局が設定されます。

放送局情報の表示

放送局の詳細を表示する

- 1. TUNER ボタンを押してください。
- 2 プリセット ▶ 詳細を選択してください。 または

リスト ¶ ▶ OPT ボタン ▶ 放送局の詳細 を選択してください。プログラム関連情報 が表示されます。

設定の変更

- 1. TUNER ボタン▶ OPT ボタン▶ AM 設定 / FM 設定
- 2 希望のオプション選択してください。
- **放送局トラッキング** (FM):機能が有効でFM 周波数の雷波品質が低い場合、チューナー が選局した放送局の代替周波数へ自動的に 切り替えを試みます。
- **リージョン適応**(FM):地域によって、FM周 波数のプログラムは一部異なっており、内 容は地域別のプログラムでそれぞれ配信さ れています。この機能をONにすると、その 地域の代替周波数に切り替えることができ ません。
- 並べ替え条件
 - 放送局名 (FM): 放送局リストがアルファ ベット順に並び替えられます。
 - 周波数 (FM、AM): 放送局リストの放送局 は、周波数域順にソートされています。
 - ジャンル(FM): 放送局リストはプログラ ムの種類、またはジャンルによって並び 替えられます。ポップス、ロック)

- 受信状態 (FM、AM): 放送局リストは放 送局の電波の強さによって並び替えら れます。受信状態の良い放送局がリスト の最上部に表示されます。
- **放送局の表示設定** (FM)
 - 放送局名: 放送局名が表示されます。
 - 周波数: 放送局の周波数が表示されます。
- ステーションイメージ(FM):
 - ステーションイメージ表示地域: 放送局 のロゴを選択する地域の調整
 - ステーションイメージを表示: 放送局口 ゴの表示/非表示を切り替えます。

放送局名の固定

- 1. TUNER ボタン ▶ OPT ボタン
- 2 選曲名を選択してください。

現在表示されている放送局名を固定する ことができます。このときラジオ局のテキ スト放送は表示できなくなります。

▶ テキストをもう一度スクロールするには、 リリース名を選択してください。

ラップ トリガー

ラップ トリガーはラップ タイムを自動的に計測します。このシステムは、サーキットのコース脇に設置される赤外線送信機と、車両に搭載される赤外線受信機で構成されています。

テクニカルデータ

送信機の許容電圧範囲	11V~16V
送信機の消費電力	1.2W
受信機の許容温度範囲	+10 °C~+60 °C

受信機の諸注意

- 走行するサーキットによって、受信機を車両 の右側、または左側に取り付けてください。
- 最適な送受信を確保するために、受信機と 送信機の間に障害となる物がないようにし てください。
- 送受信に障害が発生する恐れがあるため、 受信機を直射日光があたる場所に設置しな いでください。

知識

外気温度が+10 °C以下になると、受信機に恒久的な損傷が生じることがあります。

▶ 外気温度が+10 °C以下の場合は、車両から 受信機を取り外してください。

受信機の取り付け

クラブ スポーツ パッケージ装備車

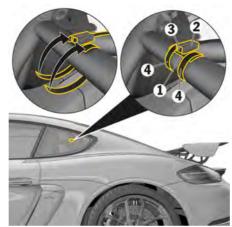


図219: クラブ スポーツ パッケージ装備車

- ブラケット1をベルクロ ストラップ4でロー ルケージに固定してください。
- 2 受信機2をブラケット1と水平になるように取り付けてください。受信部3がリヤサイドウィンドウから見える位置に取り付けてください。

クラブ スポーツ パッケージ非装備車

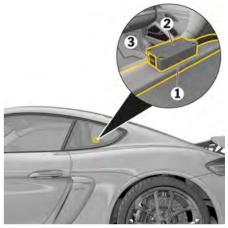


図220: クラブ スポーツ パッケージ非装備車

▶ 受信機2をブラケット1と水平になるように ベルクロストラップで取り付けてください。受信部3がリヤサイドウィンドウから 見える位置に取り付けてください。 あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

 $\mathsf{A}\text{-}\mathsf{Z}$

あ

か

さ

た

な

は

ま

. .

ら

わ

A-Z

接続 サーキットのコース脇への送信機の設置



図222:送信機の設置

1. 受信機のケーブルを助手席シート後部にあるソケットに挿入してください。

図221:小物入れのソケット

コネクターのネジ部を回し、ソケットに固定してください。

i インフォメーション

サーキット上にポルシェ ラップ トリガー システムを装備した複数の車両が走行している場合、送信機は1台のみ設置してください。受信側は複数の送信機を区別することができません。また、送信機の前を通過を検出するたびに新たなラップに入ったと認識されます。

市販されている高さ調整可能なカメラ用三脚が使用できます。

三脚を使用しない場合は、送信機を固く平坦な 場所に設置してください。

知識

送信機を損傷する恐れがあります。

車両通過時の風により、送信機が倒れたり、飛 ばされたりする恐れがあります。

- ▶ 送信機は安全かつ安定した場所に設置して ください。
- 送信機 A が受信機と同じ高さになるように サーキットのコース脇に設置してください。
- 2 送信機 A をコースと平行になるように調節 してください。

送信機への電源

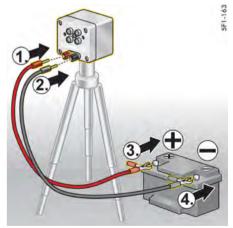


図223:送信機への電源

市販されているバイクまたは自動車用のバッテ リーを使用して送信機に電源を供給できます。

▶ バッテリーが十分に充電されていることを 確認してください。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

- ▶ バッテリーは乾いた状態に保ってください。
- ▶ 極性が合っているか確認してください。
- 1. 送信機の赤色のコネクターに赤色のケーブルを挿入してください。
- 2 送信機の黒色のコネクターに黒色のケーブ ルを挿入してください。
- 3. バッテリーのプラス (+) 端子に赤色のケー ブルを接続してください。
- 4. バッテリーのマイナス (-) 端子に黒色の ケーブルを接続してください。

計測の開始

最初のラップは手動で計測を開始してください。 ラップ タイムが自動的に記録されます。

▶ クロノ ▶開始

▷ 「計時の開始」(72ページ)を参照してくだ さい。 は

な

ま

や

b

わ

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

i,

わ

A-Z

リヤ ウィンドウ ヒーター / ドア ミラー ヒーター

リヤ ウィンドウ ヒーターおよ びドア ミラーヒーター

🗸 718 Cayman GT4



図224:リヤ ウィンドウ ヒーター /ドア ミラー ヒーター

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターをONにする

✔ エンジンを作動状態にする

► IIII ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

外気温度によって、約5~20分後にリヤ ウィンドウ/ドア ミラー ヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

再度ONにする

► Ⅲ ボタンをもう一度押してください。 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

リヤ ウィンドウ ヒーターおよびドア ミラー ヒーターをOFFにする

► IIII ボタンを押してください。 ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

1 インフォメーション

バッテリー電圧が低すぎると、まずリヤ ウィンドウ ヒーター /ドア ミラー ヒーターの作動が制限され、その後OFFになります。

√ 718 Spyder

リヤ スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

オートマチック モード

リヤスポイラーは約120km/hを超えると自動的に展開し、約80km/hを下回ると格納します。 オートコントロールシステムに不具合があると、マルチファンクションディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告および情報メッセージ」(75 ページ) を参照してください。

▲ 警告

格納式リヤスポイラーの故障

格納式リヤ スポイラーが故障すると、マルチファンクション ディスプレイに警告シンボルが表示されます。高速走行時にリヤ アクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で 運転を行ってください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアル モード



図225: センター コンソールのリヤ スポイラー操作ボタン

リヤ スポイラーは、イグニッションをONにして、センター コンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。

リヤ スポイラーがマニュアル モードの場合、 ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

手動でのリヤスポイラーの展開

► ◆ ボタンを短く押してください。 リヤスポイラーが展開します。 ボタンのインジケーター ライトが点灯し ます。

リヤ スポイラーはマニュアル モードに切 り替わります。

手動での格納

0~15 km/h:

★ ボタンのインジケーター ライトが消灯する まで、 ボタンを押し続けてください。

15km/hを超える速度:

ボタンを短く押してください。
 ボタンを押した後、すぐにインジケーターライトは消灯します。
 リヤスポイラーはオートマチックモードに切り替わります。

▲ 注意

リヤスポイラーの展開/ 格納

車両を停車させてリヤスポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

▶ リヤスポイラーが稼動する範囲に人や物がないことを確認してください。

知識

リヤ スポイラーを損傷する危険があります。

リヤスポイラーを持って車両を動かさないでください。

あ

か

さ

な

た

は

ま

や

b

わ

あ

か

さ

た

な

ŧ

は

や

ら

A-Z

わ

ワイパーブレード

知識

ワイパー アームが不意に倒れるとフロントウィンドウを損傷する恐れがあります。

▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパーアームをしっかりと保持してください。

知識

ワイパーブレードは低温で凍結することがあります。

▶ 走行する前にワイパー ブレードの凍結を溶かしてください。

知識

不適切な清掃をすると、ワイパーブレードの グラファイト層が損傷する恐れがあります。

- ▶ 高圧洗浄水をワイパー ブレードに向けて直接噴射しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードは布やスポンジで清掃しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードは必ずきれいな水で洗浄してください。

ワイパーブレードのお手入れ

良好な視界を確保するためには、完全な状態の ワイパーブレードが不可欠です。

 ウィンドウ クリーナーを使用してフロント ウィンドウを定期的に清掃してください (「ウィンドウの清掃」(59ページ)を参照し てください。)。特に洗車機を使用した後は 清掃してください。

ポルシェ社では、Porsche Tequipment製品のカーケア用品を使用することを推奨いたします。

▶ 汚れがひどい場合(虫の残骸などによって)、スポンジまたは布を使用してフロントウインドウを清掃してください。

ワイパーブレードの交換

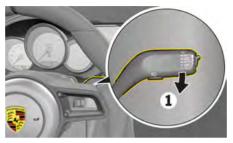


図226:ワイパーレバー

知識

ワイパー ブレードを交換したときに、ブレードが確実に取り付けられていないと、走行中に 脱落することがあります。

- ► ワイパー ブレードは、ワイパー アームに正しく固定されていなければなりません。
- ▶ ワイパー ブレードがしっかり取り付けられているか確認してください。

ワイパーブレードは1年に2回(冬季の前後)またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパーブレードが損傷した場合に交換してください。

- ✓ イグニッションをOFFにする
- ワイパーレバーを下方に押してください (図226の1)。
 フロントワイパーが上方に約45°移動します。

2 ワイパーブレードの交換は、ワイパーブレードに付属の取扱説明書を参照してください。 ワイパー ブレードを交換する場合は、 左右でワイパーブレードの長さが異なるので注意してください。

i インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業 を行ってください。

ポルシェ正規販売店のご利用を推奨いたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

Apple CarPlay

PCMでApple CarPlayを開く



図227:センター コンソールの USB ポート (タイプ A)

- ✓ iPhone 7以降、iOS 12.2以上
- ✓ SiriおよびApple CarPlayがお使いのiPhoneの 設定で有効になっている
- iPhone をセンター コンソールの USB ポート A (タイプ A) に接続してください。
 - ▷ 「USBを介して外部機器を接続する」 (215ページ)を参照してください。
- 2 Apple CarPlayの使用を希望していることを確認してください。
 利用可能なアプリが表示されます。
- 3. HOME ボタン ▶メニュー ♪Apple CarPlay

インフォメーション

- 最新バージョンの iOS をインストールする ことをお勧めします。
- Apple CarPlayに対応しているiPhone内のアプリのみが表示されます。対応アプリに関するインフォメーション:
 - ▷ www.apple.com/ios/carplay を参照してく ださい。
- Apple CarPlayの表示コンテンツおよび機能は、 接続済みのiPhoneでのみ提供されます。
- Apple CarPlayをご使用の場合、通話に使用できるのは接続されているiPhoneのみになります。PCMにBluetooth®経由で接続された携帯電話は、自動的に接続が切断されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じて、追加料金が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。

i インフォメーション

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関するインフォメーション:

▷ 「ポルシェ コミュニケーション マネージメ ント (PCM)」(209ページ) を参照してくだ さい。

PCMでApple CarPlayを操作する

利用可能なすべてのアプリは、PCMのタッチス クリーン、ロータリー プッシュ ボタンおよび バック ボタンで使用できます。

- ► Apple CarPlay のメイン メニューを開くに は、PCM のタッチスクリーンでホーム ボ タン ① を押してください。
- ► PCM のメイン機能に変更するには、
 HOME ボタン ►ポルシェを押します。
 または

いずれかのワンタッチ ボタン(例: TUNER)を押してください。 あ

か

さ

た

な

は

ま

や

b

わ

さ

た

な

は

ま

や

'n

Siri音声認識機能を使用して あ Apple CarPlay を操作する

Siriを有効にする

- ✓ Siriがお使いのiPhoneの設定で有効になっている
- ✓ イグニッションおよびPCMをONにしている ✓ 通話中でない
- ✓ パーキングエイドを使用していない
- ✓ PCMボイス コントロールを無効にしている

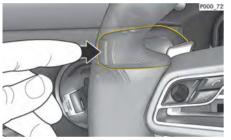


図228:操作レバーのボイス コントロール ボタン

 操作レバーの (√) ボタンを押し続けてく ださい。

または

PCMタッチスクリーンのホームボタン ○ を押し続けてください。

2 希望のボイス コマンドを発話してくだ さい。

Siriを解除する

- ✓ 音声認識が有効で、ボイスコマンドを待機 している
- 操作レバーの((○) ボタンを押してください。終了音が鳴ります。

または

ボイス コマンドで**キャンセル**または**終了** と発話してください。

または

PCMの任意のボタンを押してください。 該当する機能が開きます。

i インフォメーション

操作レバーの (パイ) ボタンを素早く押すと、PCM の音声認識機能が有効になります。

▷「ボイス コントロール」(201ページ)を参 照してください。

iPhoneをiPodとして使用する場合およびApple CarPlayモードで使用する場合の切り替え

iPhoneをセンター コンソールのUSBポートに接続 した後にiPodとして接続した場合、 Apple CarPlayは使用できません。

デバイス マネージャーを使用して、iPhoneをiPodとして使用するか、または Apple CarPlay モードで使用するかを切り替えることができます。



図229:デバイスマネージャーを開く

- 1. フッターの am または ② を選択してください (接続状態により異なる)。
- 2 スマートフォン リンクを選択してくだ さい。
- 3. ご使用中のiPhoneを選択してください。
- 4. iPod として使用 または

Apple CarPlay モードで使用。

わ

Porsche Car Connect¹⁾

このアプリを使用すると(一部の国では使用不可)、移動通信ネットワーク経由で車両と接続できます。これにより、車両の情報をスマートフォン経由で直接読み取ることが可能になり、アプリを使用して選択した設定を車両で実行することが可能になります。

アプリのインストール、機能、管理、契約およびサービスに関する詳細情報は

www.porsche.com/connect またはポルシェ正規 販売店から入手できます。

車両とアプリケーション間の 通信の停止

車両とアプリ間の通信は、マルチファンクションディスプレイから停止できます。

▷ 「ポルシェ カー コネクトの設定」(232ページ)を参照してください。

▲ 警告

走行時の設定と操作

運転中にアプリの設定を変更したりアプリを使用したりすると、運転に対する注意力が低下することがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

▶ 操作、設定の変更は必ず車両を停止させて から行ってください。

i インフォメーション

このアプリは車両固有データおよびその他の機能にアクセスするために使用できるので、第三者による不正なアクセスを防いでこのデータを保護することが推奨されています。このアプリを使用すると、モバイル通信ネットワークでデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

'n

わ

¹⁾ 名前と機能は変更される可能性があります

テクニカルデータ

以降のページには、車両に関するテクニカル データが掲載されています。

テクニカルデータ

車両の識別データ

重台番号



図230: 車台番号

車台番号はフロント ウィンドウ枠の左下と助 手席シートの下にあります。

► スペア パーツの注文をする場合は、必ず車 台番号を明示してください。

ビークルプレート



図231:ビークルプレート固定位置

ビークル プレートは助手席側ドア シル (ドア 開口部) に取り付けられています。

タイヤ空気圧プレート



図232:タイヤ空気圧プレート固定位置

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドアシル (ドア開口部) に貼られています。

データ バンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。 データバンクは紛失したり、破損したりして も再注文することはできません。

エンジンデータ(メーカー発表値)

	718 Cayman GT4、718 Spyder
シリンダー数	6
総排気量	3,995 cm ³
最高出力 (ECE-R 85)	309 kW (420 hp)
エンジン回転数	7,600 rpm
最大トルク (ECE-R 85)	420 Nm ¹⁾ 430 Nm ²⁾
エンジン回転数	5,000~6,800 rpm ¹⁾ 5,500 rpm ²⁾
エンジンオイル消費量	最大0.8 L/1,000 km
エンジン許容最高回転数	8,000 rpm

¹⁾ マニュアル トランスミッション装備車

充填容量

▶ ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳細なインフォメーションについては:ポルシェ正規販売店にご相談ください。

燃料

718 Cayman GT4、718 Spyder約64リットル(予備用の約8リットルを含む)

フロント ウィンドウ/ヘッドライト ウォッシャー液 約2.5リットル(ヘッドライト ウォッシャー システム装備車は約5リットル)

燃料消費量とCO₂排出量

CO₂排出量は燃費に直接影響されます。安全運転や定期点検によって、CO₂排出量を最小限に抑制できます。

i インフォメーション

国により、車両の燃費と排出値が納車時に提供された書類に記載されている場合があります(例:「適合証明」)。所定の測定方法による値を表示しています(Euro 6:現行バージョンのRegulation (EC) 715/2007; Euro 5: 現行バージョンの ECE-R 101 と ECE-R.83)。

²⁾ PDK装備車

重量(メーカー発表値)

EU規格1230/2012に基づく空車重量 (運転者1名+荷物分 (75kg)を含む)

▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加アクセサリーなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。

	718 Cayman GT4 マニュアル トランスミッション	718 Spyder マニュアルトランスミッション
車両重量(装備による)		
DIN 70020規格	1,420 kg \sim 1,535 kg	1,420 kg ~ 1,505 kg
EC規格1230/2012に基づく	1,495 kg ∼ 1,610 kg	1,495 kg ~ 1,580 kg
最大軸荷重、フロント	800 kg	810 kg
最大軸荷重、リヤ	995 kg	955 kg
最大総重量	1,750 kg	1,720 kg

	718 Cayman GT4 PDK	718 Spyder PDK
車両重量 (装備による)		
DIN 70020規格	1,450 kg ~ 1,565 kg	1,450 kg ~ 1,535 kg
EC規格1230/2012に基づく	1,525 kg ~ 1,640 kg	1,525 kg ~ 1,610 kg
最大軸荷重、フロント	800 kg	810 kg
最大軸荷重、リヤ	1,025 kg	985 kg
最大総重量	1,780 kg	1,750 kg

テクニカルデータ

車両寸法

	718 Cayman GT4	718 Spyder
全長(装備仕様により異なる)	4,456 mm	4,430 mm
全幅	1,801 mm	1,801 mm
ドア ミラーを含む全幅	1,994 mm	1,994 mm
DIN規格空車重量での車高	1,269 mm	1,258 mm
DIN規定空車重量時の地上高 装備によって異なります	82 mm ∼ 103 mm	83 mm ∼ 104 mm

タイヤとホイール

タイヤ/ホイール サイズ

ポルシェ社が承認したタイヤにより、この車両に最適な走行性能が得られます。記載されている荷重指数(「94」など)と速度記号(「Y」など)以上の性能のタイヤを使用してください。新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は:

- ▷ 「タイヤおよびホイール」(129ページ)を参照してください。
- ► スノーチェーンは適切なマークが付いたタイヤ/ホイールサイズにのみ、またリヤホイールにのみ装着してください。 スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。 ポルシェ社が認可したファインリンクエッジチェーンのみを使用してください。
- ▶ 交換するタイヤ/ホイールがEU規格に適合しているか確認してください。必要であればホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に適合するか 参照してください。詳細なインフォメーションについては:ポルシェ正規販売店にご相談ください。

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノーチェーンの装着
718 Cayman GT4、 718 Spyder			
サマータイヤ	FA: 245/35 ZR 20 (95Y) XL RA: 295/30 ZR 20 (101Y) XL	FA: 8.5J x 20、 RO 61 RA: 11J x 20、 RO 50	不可
	FA: 235/35 R 20 92V M+S RA: 275/30 R 20 97V M+S	FA: 8J x 20、RO 57 RA: 10J x 20、RO 45	可
ウインタータイヤ	FA: 245/35 R 20 91V M+S RA: 295/30 R 20 97V M+S	FA: 8J x 20、 RO 57 RA: 10J x 20、 RO 45	不可

FA = 7DV + 7DXU, RA = V + 7DXURO = V + TDV

スペア ホイール

▷ 「コラプシブル スペア ホイールの使用」(186ページ)を参照してください。

タイヤ種類	タイヤ サイズ	ホイール サイズ	スノーチェーンの装着
コラプシブル スペア ホイール	175/55 R19	6.5B x 19、RO 28	不可

タイヤ空気圧

これらの標準タイヤ空気圧は、冷間時のタイヤ空気圧(20℃)として、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

- ▶ マルチファンクションディスプレイで、タイヤ種類を選択してタイヤ空気圧を調整してください。
- ▷ 「タイヤ空気圧モニタリング(TPM)」(129ページ)を参照してください。
- ▷ 「タイヤおよびホイール」(129ページ)を参照してください。

標準タイヤ空気圧

タイヤ	718 Cayman GT4、718 Spyder	
	FA	RA
サマータイヤ	2.0bar	2.3 bar
245/35 ZR 20 / 295/30 ZR 20	200 kPa	230 kPa
	29 psi	33 psi
ウインタータイヤ	2.5 bar	2.5 bar
235/35 R 20 / 275/30 R 20	250 kPa	250 kPa
	36 psi	36 psi
ウインタータイヤ	2.5 bar	2.5 bar
245/35 R 20 / 295/30 R 20	250 kPa	250 kPa
	36 psi	36 psi

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル

タイヤ	718 Cayman GT4、718 Spyder	
	FA	RA
	3.5 bar	3.5 bar
175/55 R19	350 kPa	350 kPa
	51 psi	51 psi

シャーシ設定

一般道およびレースサーキットでの走行

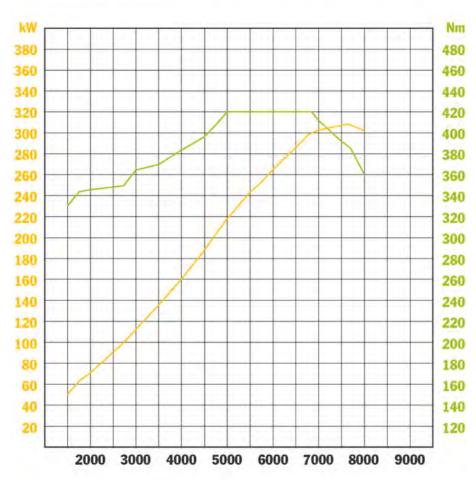
アンチロール バーは、フロント アクスルとリヤ アクスルで個別に調整できます。標準設定はレース サーキットを走行する場合にもお勧めします。

一般道を走行する場合、シャーシは標準設定にしてください。

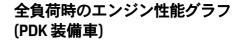
718 Cayman GT4:シャーシ設定に関する注意事項については:

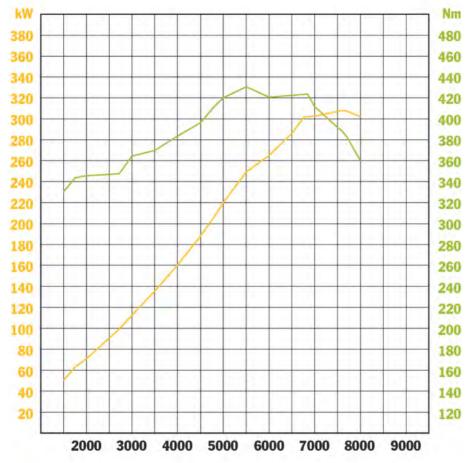
▷ 別冊の「サーキット走行の前に」を参照してください。

	718 Cayman GT4
フロント アクスル、トータル トーイン	+2' ±2'
リヤアクスル、各ホイールの個別トーイン	+10' ±2'
フロント <i>アクスル、キャンパー</i>	-1°30′ ±3′
リヤアクスル、キャンバー	-1°30′ ±5′



全負荷時のエンジン性能グラフ (マニュアル トランスミッション装備車)





ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

	テクニカル データ:オーディオおよびビデオ ファイル
対応するメディア	SDカード(最大128 GB) DVDドライブオーディオ CD (最大 80 分)、CD-ROM (最大 700 MB)、DVD±R/RW、標準ビデオ DVD、ビデオ DVD 互換 DVD オーディオ
	ポータブルプレーヤー MTPプレーヤー、USBスティック、専用ドライバー不要のUSB MP3プレーヤー、外部USBフラッシュ メモリーおよびハード ディスクなどの「USBデバイス サブクラス1および6」のUSB2.0デバイス
ファイル システム	SD/SDHC/SDXC/MMC メモリー カード USB大容量記憶装置exFAT、FAT、またはFAT32、NTFSファイル システム(最大4パーティション) DVDドライブ ISO9660、Joliet、UDF
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3:Windows Media Audio 9および10;MPEG 2/4;FLAC、MPEG 1/2;ISO-MPEG4;DivX 3、4および5;Xvid;ISO-MPEG4 H.264(MPEG4 AVC);Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3;.wma;.asf;.m4a;.m4b;.aac;.flac;.mpg;.mpeg;.avi;.mp4;.m4v;.mov;.wmv
プレイリスト	.M3U; .PLS; .WPL; .M3U8; .ASX
特徵	最大 320 kbit/s および 48 kHzサンプリング周波数;最大 2,000 kbit/s および 720x576 px.(最大 25 fps時)
ファイル数	DVDドライブ 最大1,000ファイル DVD Jukebox (最大10 GB ストレージ容量)最大3,000ファイルをコピー可 USB 大容量記憶装置 および メモリーカード 最大 10,000 ファイル(1 メディアあたり)、最大 1,000 ファイル(1 ディレクトリ / プレイリストあたり)
メタデータ	アルバム カバー最大 800 x 800 ピクセル、GIF、JPG、およびPNGフォーマット、またはGracenote® 1] データベース経由
ビデオDVDリージョ ンコード	コード1: USA、カナダおよび米国自治領 コード2: ヨーロッパ、グリーンランド、南アフリカ、エジプトおよび中東、日本 コード3: 東南アジア、韓国、香港、インドネシア、フィリピン、台湾 コード4: オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、中央アメリカ、南アメリカ コード5: ロシアおよび他の旧ソ連諸国、東ヨーロッパ、インド、アフリカ コード6: 中華人民共和国 コード8: 国際領土(船舶、航空機)

¹⁾ Gracenoteロゴは米国およびその他の国におけるGracenoteの商標または登録商標です。

	テクニカルデータ:接続
携帯ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE:デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+:トリプルバンド、900 MHz(Band VIII)/1800 MHz(Band III)/2100 MHz(Band I) LTE:クワッドバンド、800 MHz(Band 20)/900 MHz(Band 8)/1800 MHz(Band 3)/2600 MHz(Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth [®] 2.1、IEEE 802.15.1、クラス2、通信範囲約10 m
SIMカードの挿入お よび取り出し	ミニSIM、寸法25 x 15 mm

	テクニカル データ:ラジオ
周波数範囲/規格	UKW (FM): 87.5~108 MHz(100 kHzごとの手動調節) MW (AM): 531~1.602 KHz(1 kHzごとの手動調節)

テクニカル データ:CD/DVDドライブ					
一般的なインフォ メーション	製造時に、このレーザー製品はドイツ/国際規格DIN EN 60825-1に準拠して製造されています:2008-05およびDHHSルール21 CFR Subchapter J、クラス1レーザー製品として分類されています。クラス1レーザー製品のレーザー光線は、通常の作動条件下では危険を生じない程度の弱いものです。この製品は、レーザー光線がデバイス内部に完全に密閉されるように設計されています。				
レーザー光線出力	DVD: 0.68 mW CD: 0.85 mW				
レーザー光線波長	DVD: 665 nm CD: 795 nm				

テクニカルデータ

ライセンスについて				
Bluetooth®	Bluetooth®マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO., LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。 他の登録商標および商品名はそれぞれの所有者により所有されています。			
Dolby Digital	Dolby Laboratories のライセンスの下で製作Dolby およびダブル D シンボルは Dolby Laboratories の登録商標です。			
DTS Digital Surround	DTS 特許については、http://patents.dts.com を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround は DTS, Inc. の商標です。 © DTS, Inc. All Rights Reserved.			
Gracenote	Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。			

エンド ユーザー ライセンス合意

Gracenote®

このアプリケーションまたは機器には Gracenote, Inc. (カルフォルニア州エメリービル)(「Gracenote」)のソフトウエアが含まれています。このアプリケーションは Gracenote のソフトウェア(「Gracenote Software」)を利用し、ディスクおよび/またはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報(「Gracenote Data」)をオンライン サーバーまたは実装データーベース(総称として「Gracenote Servers」)から入手するとともに、その他の機能も実現しています。このアプリケーションまたは機器の本来のエンド ユーザー機能によってのみ Gracenote データを使用することができます。

Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人目的および非営利目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたはGracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについての全ての所有権を含む、全ての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。 Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。

Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者については何も情報を得ないでクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブ ページを参照してください。

GracenoteソフトウェアおよびGracenoteデータの各アイテムは、お客様に対して「現状のままで」提供され、使用が許諾されるものとします。GracenoteはGracenote サーバーからのGracenoteデータの正確性について、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を持ちません。またいつでもサービスを中断することができます。

Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenoteは一切責任を負いません。

© 2000 to present Gracenote, Inc.

Bluetooth®認証(抜粋)

AlbaniaAndorra

AngolaAruba

AustraliaAustriaBahamas

BahrainBarbados

BelarusBelgiumBelize

– Belize – Bolivia – Bonaire

Bosnia and Herzegovina

BrazilBruneiBulgariaBurkina Faso

Burkina FasoCanada

ChileChina

ColombiaCosta Rica

Costa RicaCroatia

CuracaoCyprus

Czech Republic

Denmark

Dominican Republic

EcuadorEgyptFLSalvar

El Salvador

EstoniaEthiopia

FinlandFrance

French GuyanaFrench Polynesia

GabonGermany

GhanaGibraltar

GuadeloupeGuatemalaGreece

GreenlandHong Kong

HungaryIcelandIndia

IndonesiaIrelandIraq

IsraelItalyIvory Coast

- Jamaica - Japan

- Jordan - Kenya - Kosovo

Kuwait Latvia Lebanon

Lesotho
Liberia

Libya Liechtenstein

LithuaniaLuxembourg

- Macau

MacedoniaMadagascarMalaysia

- Malta

MartiniqueMauritius

MexicoMonaco

MongoliaMorocco

MozambiqueNetherlandsNew Caledonia

New ZealandNigeria

NorwayOman

PakistanPanama

PeruPoland

PortugalPuerto Rico

QatarReunion

RomaniaRussia

- San Marino - Saudi Arabia

- Senegal - Serbia

SingaporeSlovakia

South Africa

Spain

- St. Lucia
- Sweden
- Switzerland
- Tahiti
- Taiwan
- Thailand
- United Arab Emirates
- United Kingdom
- Uruguay
- USA
- Venezuela
- Vietnam
- Yemen
- Zimbabwe

リサイクル

エアバッグおよびシートベルト テンショ ナーユニット

未作動のガス発生器又は、エアバッグ ユニット、シートベルト テンショナー ユニットが付いたままの車両や部品は、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

適切な廃棄に関する詳細情報について:

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

文電気/電子部品および使用済みバッテ リー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気/電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごみと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 電気 / 電子部品および使用済みバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

適切な廃棄に関する詳細情報について:

▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。

欧州化学物質規制(REACH)に 基づく表示

欧州化学物質規制 (REACH) により、ポルシェ 社は車両に含まれる物質についての情報を開 示します。

この情報はインターネット上で確認すること ができます。

https://www.porsche.com/international/reachregulation/

無線装置 (EU の地域外)

検査マークおよび適合宣言書

アルバニア、バーレーン、ポスニア ヘルツェゴビナ、フランス領ギアナ、ジョージア、ジブラルタル、グアドループ、アイスランド、イスラエル、コートジボワール、クウェート、マケドニア、マルティニーク、モナコ、モンテネグロ、ニューカレドニア、ノルウェイ、レユニオン、スリランカ、セントルシア、スイス、トリニダードトバゴ、トルコ

CE

オーストラリア



バハマ

Continental Automotive GmbH PAG-BCU-433-180528 SN (Serial Number) FCC ID: KR5315-140930 Continental Automotive GmbH PAG-BCU-434-180528 SN (Serial Number) FCC ID: KR5315-140930

プラジル

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."









Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos requisitos técnicos aplicados.

Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

香港

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



インドネシア

40556/R/I/SDPPI/2018 4211



63118/SDPPI/2019 2692

イスラエル

Model Name: TSSRE4Dg

Manufacturer: Huf Electronics Bretten

שם הדגם (Hebrew : Model name) 28416031/2 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)
Continental AG

Siemensstraße 12 93055 Regensburg

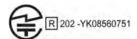
SA1-367

ジャマイカ

This product has been Type Approved by Jamaica: **SMA - PAG-BCU-433-180528**.

This product has been Type Approved by Jamaica: **SMA - PAG-BCU-434-180528**.

日本



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

ヨルダン

TRC No. T/4/11/11/6679
Continental Automotive GmbH
PAG-BCU-433-180528
SN (シリアル番号)
TRC/LPD/2018/58
Continental Automotive GmbH
PAG-BCU-434-180528
SN (シリアル番号)
TRC/LPD/2017/546

マレーシア

Continental 28416032 / 28416031 RAAW/33A/0512/S(12-0755)

モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC

Numéro d'agrément: MR 5371 ANRT 2010

Date d'agrément : 2019/12/05

Numéro d'agrément: MR 9186 ANRT 2014

Date d'agrément : 22/04/2014

Numéro d'agrément :MR 15787 ANRT 2018

Date d'agrément: 12/02/2018

メキシコ

Radar de largo alcance, 77GHz, MARCA:BOSCH, MODELO : LRR3, MoldaCOFETEL:(RCPBOLRO9-0828)

IFETEL: RCPBOMP14-0922

Continental

PAG-BCU-315-180528

Para su uso en México, la operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

モルドバ



オマーン

Oman - TRA/TA-R/1049/09

パラグアイ



フィリピン



Type Approval No: ESD-1408917C

カタール

Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714

ロシア



Declaration of Conformity Based on Technical Regulation of Customs Union 020/2011 No. EA?C No RU?-DE.?M03.B.00128 valid from 10.11.2017 until 09.11.2022, registered by Certification Body-Branch of the FSUE NIIR TESTING CENTRE "OMEGA".

セルビア



シンガポール

Complies with IMDA Standards DB101762 Complies with IMDA Standards DB106879

南アフリカ







韓国





This equipment has been approved under EMC Registration as a Class B device (for domestic use) and can be used in both residential and commercial areas





MSIP-RRM-TAL-433-140930 Model name: PAG-BCU-433-180528 R-RRM-TAL-434-140930 Model name: PAG-BCU-434-180528 Applicant: Continental Automotive GmbH Date of Manufacturing: 12/2017 Country of Origin: Romania

台湾

低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條: 經型式認證合格之低功率射頻電機 非經許可,公司、商號或使用者均不得擅自變 更頻率、加大功率或變更原 設計之特性及功 能。

第十四條: 低功率射頻電機之使用不得影響飛航 安全及干擾合法通信;經發現有干擾現象時 應立即停用,並改善至無干擾時方得繼續使 用。

前項合法通信。指依電信法規定作業之無線電

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學 及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。 CCAB10LP3800T1

CCAK15I P0801T1

Regulations for the low-power radio wave radiation devices:

Without permission, for the approved low-power radio-frequency devices, any companies, firms or users are not allowed to change the frequency band. increase the power or change the specifications and functionality of the original design.

The low power radio-frequency devices are not allowed to influence aircraft safety or interfere any legal communications. In case any interference phenomenon is detected, the use of this device should stop immediately, and it is allowed to continue to use until it is improved to be without interference any more.

The term legal communications stated in last paragraph refers to the operating radio communication system which is in compliance with the Regulations for the Telecommunications.

The low power radio-frequency devices should be able to tolerate the interferences from any legal communications or industrial, scientific and medical radio wave radiation devices or equipment.

タイ



Importer No.: 6550000 Dealer No.: 6550001 (Bangkok) Dealer No.: 6550002 (Pattanakarn) 1) เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือข้อกำหนดของ กสทช. 2) เครื่องวิทยคมนาคมนี้มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้ าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสขภาพของมน ษย์จากการใช้เครื่องวิทยคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโท รคมบาคมแห่งชาติประกาศกำหนด

ウクライナ

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers. and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

https://porsche.ua/accessoriesandservice/ porscheservice/





アラブ首長国連邦

TRA REGISTERED No: 0016889/09. DEALER No: 0014972/08 TRA REGISTERED No: 0016889/09, DEALER No: DA36785/14 TRA REGISTERED No: ER39135/15. DEALER No: DA36785/14 TRA REGISTERED No: ER38964/15, DEALER: HUF ELECTRONICS GmbH TRA REGISTERED No: ER39739

DEALER No: DA36758

索引

符号	
◇ ボタンの設定	230
718 Spyder	
ウィンドデフレクター	101
コンバーチブル トップ	
コンバーチブル トップの開閉	96
A-Z	
A/C MAX ボタン	
2ゾーンエアコン	
マニュアル エアコン	40
A/C ボタン	
2ゾーンエアコン	
マニュアル エアコン	39
ABS(アンチロック ブレーキ システム)	
機能説明	
Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地、お手入れ	61
Apple CarPlay	
PCM で開く	
Siri	262
AUTO BLIP	
スロットル ブリッピング機能の ON/OFF	
AUTO (ライト スイッチ)	
ドライビング ライト アシスタント	240
Bluetooth®	
デバイスの管理	
電話を接続する	
CD/DVD ドライブにロードする	
ETC 受信機	115
Eメール	
作成	
表示および消去	
G-Force ディスプレイ	225
ISOFIX システム	
規定のチャイルドシート取り付け方向	
助手席エアバッグの ON/OFF	
推奨するチャイルド シート	143

MyScreen (PCM)	
	213
電話のお気に入りを追加する (PCM)	156
OFF/ON の切り替え (PCM)	210
ON/OFF の切り替え(PCM)	210
PADM	
PASM(ポルシェ アクティブ サスペンション	
マネージメント)	
シャーシ設定の選択	206
PCCB(ポルシェ セラミック コンポジット ブレーキ))
一般的なインフォメーション	195
PCM	
Apple CarPlay	261
CD/DVD ドライブにロードする	214
MyScreen の設定	
PCM ホットスポットの使用	
SD カードの挿入および取り出し	
お手入れの諸注意	
外部機器の接続	
システム設定	
接続(データ接続)	
電話	151
トライビング データ(トリップ情報) * まニナス	1/1
を表示する ナビゲーション	
パークアシスト	
ボイス コントロール	
メディア	
ラジオ	
PCM システム設定	
PCM 設定	
音量および音質	216
概要	
電話を接続する	
ナビゲーション	175
日付と時刻	210
マップ	176
メディア	
ラジオ	254

PCM ドライブ	
CD/DVD をロード	
SD カードの挿入および取り出し	
外部機器の接続	
知識	
PCM ドライブに関する諸注意	213
PCM にドライビング データを表示する	161
PCM にバックグラウンド イメージを表示する	213
PCM の操作	
ON/OFF の切り替え	210
概要	209
タッチスクリーンから	
タッチスクリーンの要素	
テキストおよび文字を入力する	
ボイス コントロール	
ロータリー プッシュ ボタンで	
PDK	
シフトアップ インジケーター ステアリング ホイールでのギヤ シフト	
	165
Porsche Connect	404
ログイン	
Porsche Doppelkupplung (PDK)	
ステアリング ホイールでのギヤ シフト セレクター レバー ポジション	
	163
PSM(ポルシェ スタビリティ マネージメント)	047
OFF にする エレクトロニック スタビリティ コントロール	217
(ESC) およびトラクション コントロール (TC) を	
ON にする	218
エレクトロニック スタビリティ コントロール	
(ESC) を ON にする	218
エレクトロニック スタビリティ コントロール	017
(ESC) を OFF にする機能説明	
1XRE就切	
SD カードの挿入および取り出し	214
SIM カードの挿入および取り出し	
挿入および取り出し	
Siri	262
TPM(タイヤ空気圧モニタリング)	129

索引

WiFi (PCM)		スピードメーター	30	積算距離計 / トリップ メーター	30
PCM WiFi ホットスポットの使用	122	積算距離計 / トリップ メーター	30	タコメーター(回転計)	30
WiFi を使用してポルシェ コネクト アプリを		タコメーター(回転計)	30	燃料計	31
PCM に接続する		燃料計	31	油温計	
設定	158	油温計	228	ライト調節	33
+		インストルメント パネル		運搬(カー トレイン、フェリーなど)	
あ		オドメーター (積算距離計)	30	車両の固定	95
アームレスト		概要			
ドア ポケットを開く	116	クーリング システム、水温計	227	え	
アイス / サン シールドの装着	198	警告灯および表示灯	31	エアベント	
アダプティブ シリンダー コントロール		スピードメーター	30	開閉(2 ゾーン エアコン)	11
3 気筒休止機能	5.4	積算距離計 / トリップ メーター	30	開閉(マニュアル エアコン)	
コンジン ノイズ		タコメーター(回転計)		調整	
		燃料計		調整(2 ゾーン エアコン)	44
アダプティブ ライト システム、ドライビング ラィアシスタント		油温計		調整(マニュアル エアコン)	
アッパー ベンチレーション パネル	240	ライト調節		エアコンコンプレッサー	
The second secon		インストルメント ライト	33	2ゾーンエアコン	12
2ゾーンエアコン	44	ディスプレイの明るさを調節する	30	マニュアル エアコン	
圧力		インターネット		エアコンシステム	
タイヤ	269	データ接続を確立する(PCM)	120	エアコノシステム 送風量の設定	20
アプリ		ハニリマニフト		大気	
Porsche Car Connect		1 ノデリア ライト ON/OFF	33	フロント ウィンドウ デフロスター	
Porsche Connect		オリエンテーション ライト			40
デバイス マネージャー				エアコン システム(マニュアル) A/C MAX モードの ON/OFF	40
ポルシェ トラック プレシジョン	220	う		A/C モードの ON/OFF	
アルミニウム リム		ウインター タイヤ		A/U モートの UN/UFF	39
お手入れの諸注意	60	ー般的なインフォメーション	105	エテコンコンプレッサーに関するインフォーション	38
アンダーコーティング、お手入れの諸注意	59	タイヤ交換		エアコンコンプレッサーの ON/OFF	
アンチロック ブレーキ システム(ABS)			130	温度の設定	
機能説明	219	ウィンドデフレクター 取り外し / 取り付け	101	加及り B C C C C C C C C C C C C C C C C C C	
IX ICUC-71	2 1 /		101	バッテリー電圧低下時の自動 OFF	
(1)		ウィンドウ		フロント ウィンドウ デフロスター	
イグニッション ロック		お手入れの諸注意	59	冷房機能の ON/OFF	
イクニッショノロック キーの緊急操作	110	ウェルカム ホーム機能		エアバッグ	
機能説明		ON にする	241	安全に関する注意事項	47
	52	ウォッシャー液		お手入れの諸注意	
イモビライザー	4.0	充填容量	266	機能	
機能説明		不凍液	37	タコメーターの警告灯	
インジケーター ライト	31	補充	37	取り付け位置	47
インストルメント クラスター		運転席		廃棄	
インストルメント グラスター オドメーター (積算距離計)	30	オドメーター (積算距離計)	30	エキゾースト システム	
概要	30	クーリング システム、水温計		スポーツ	118
クーリング システム、水温計		警告灯および表示灯		エマージェンシーキー	
警告灯および表示灯	31	スピードメーター	30	エマーシェンシー キー	

エミッション コントロール(チェック エンジン)		アッパー ベンチレーション パネル	44	高圧洗浄機の使用	5
機能説明	32	エアコン コンプレッサーに関するインフォ		シートベルト	
エミッション コントロール警告灯		メーション	42	シール	
		エアコン コンプレッサーの ON/OFF		- 車両の保管	
エミッション値	266	オート モードの ON/OFF	42	洗車	
エレクトリック パーキング ブレーキ		温度の設定	43	·/···································	
解除する		自動内気循環モードの設定	45	ファブリック ライニング	
緊急ブレーキ機能	193	送風量の設定	43	ヘッドライト、プラスチック製部品	
警告灯		バッテリー電圧低下時の自動 OFF	42	ホイール ボルト	13
操作	193	冷房機能の ON/OFF		お手入れの諸注意	
発進時のパーキングブレーキ自動解除		オート スタート / ストップ機能		お子八100日注息 Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地	4.
ブレーキ テスト スタンドでの測定	148	ON/OFF	55	PCM	6
エンジン		エンジンの自動始動		アンダーコーティング	
オイル レベルの測定と表示	49	作動原理		ウィンドウ	
オイルの補充		前提条件		エアバッグ	
オイルレベル表示		表示		カーペット	
開始		例外		ガーベット 革製品	
クーリング システム		F 27 1		半袋品 軽合金製ホイール	
自動停止(オートスタート/ストップ機能)		オートマチック カミング ホーム ライト		シート ベルト	
停止		オートマチック ドライビング ライト アシスタント	240	シート ベルト	
テクニカル データ		オートマチック トランスミッション	163	シール 車両の保管	
エンジンオイル		オイル		年间の保管	
エンシンオイル 圧力計	220	圧力計	228	近年 塗装	
一般的なインフォメーション		一般的なインフォメーション		坐表ファブリック ライニング	
温度計		温度計		フロア マット	
給油口		A		ホイール ボルト	
交換容量		交換容量			13.
燃料消費量		燃料消費量		オドメーター(積算距離計)	
補充		補充		表示	
^{抽元}	00	マルチファンクションディスプレイでの		リセット	
オイル圧力の警告	82	オイル圧力の警告	82	オリエンテーション ライト	34
マルチファンクションディスプレイの	02	マルチファンクションディスプレイの		オルタネーター	
オイル レベル表示	49	オイル レベル表示	49	車両エレクトリカル システムの警告	8
レベルの点検		レベルの点検	49	音楽(PCM)	
レベル表示		レベル表示	49	日末(FGM) CD/DVD をロード	21.
エンジンノイズ		応急処置セット	245	SD カードの挿入および取り出し	
3 気筒休止機能	E4	オクタン価、燃料		外部機器の接続	
部分負荷状態			05	再生	
		お手入れ		ザエ ジュークボックスに入れる	
エントリー機能、乗車時のカーテシー ライトの 点灯		Alcantara®/ Race-Tex / その他の生地		シューシホックスに八れる 設定	
	241	アンダーコーティング		対応するメディア形式	
お		ウィンドウ		プレイリストを開く	
**		エアバッグ		メディア ソースの検索	
オートエアコン		革製品		メディア ソースの選択	
A/C MAX モードの ON/OFF		軽合金製ホイール			
A/C モードの ON/OFF	44	警告	57	音質と音量の調節(PCM)	21

温度の設定	き			グローフ ホッグス	
2ゾーンエアコン				閉じる	
マニュアル エアコン	38 +	50 5 5 6 4 TH (1414		開く	
オンボード コンピューター		ジェンシー キーを取り外す		ロック	115
オイル レベルの測定	Δ9	— キー		クロノ	
項目数の多いリストの閲覧	777	ー		クロノ ストップウォッチ	71
作動原理	.221	ロック ロック解除			
タイヤ空気圧モニタリング	. 129		125	け	
電話の使用	100	ートコントロール)		軽合金製ホイール	
ドライビング データの表示(トリップ情報)		ロック解除		お手入れの諸注意	60
マップ ビュー		슼		警告およびインフォメーション メッセージ	
マルチファンクション ステアリング ホイールの		インジケーター	31	安全	76
操作		ョンディスプレイ	31	エンジン	
マルチファンクションディスプレイ	.221			車両	
メニュー概要	. 220	Doppelkupplung (PDK)	160	ドライビング システム	
ラジオ放送局の選択		フトアシスト		警告シンボル	
オンライン サービス	2.71	ファブ インジケーター		会合シノバル タイヤ空気圧	100
データ接続を確立する(PCM)	J-1	アル トランスミッション		· · · · — · · —	
音量と音質の調節 (PCM)	216	アシスト		警告灯	31
4.				携帯電話	
か	曲の再生(F	PCM)	237	Bluetooth® 経由で接続する	
カーテシー ライト、エントリー機能	241 緊急解除			接続ステータスの表示	153
カーペット、お手入れの諸注意	ラゲッ	ジ コンパートメント リッドの	251	警報システム	
	取 会 協 化			ON/OFF	
会議(電話)	. 155 コンバ	ーチブル トップ	101	機能説明	
開始	フィラ	<mark>ー フラップ(燃料給油ロカバー)</mark>	66	室内モニタリング システムおよび傾斜センサ	
エンジン	53 <u>緊急ブレー</u> :	+機能	193	を OFF にする	93
外部機器 (PCM) の接続	.214	i pane		言語	
開閉操作とロック				PCM の設定	215
概要	¹²⁴ クーラント	('A+n+L)		マルチファンクション ディスプレイで	
キーによるドアのロック解除	不油冻	(/ 本本水)	47	変更する	232
(リモート コントロール)	الأنميا 125	の点検		検査マーク	
コンバーチブル トップ	96		07	ラジオ システム	280
サイド ウィンドウ			00	けん引	
車内からのドアの開閉操作とロック	120	ファンクションディスプレイの警告	83	一般的なインフォメーション	94
概要	クラッチ			けん引フック	95
ドアの開閉	.124 マニュ	アル トランスミッション	162	けん引ロープまたはけん引バーの使用	94
格納式リヤ スポイラー	クルーズ コ			けん引フック	
展開 / 格納		する		工具セット内	245
確立する	ON ICT	トる	69		
*唯立する データ接続 (PCM)		明		i i	
	迷度の	設定		コーナリング ライト	
カップ ホルダー	中國法	作		コーナリング フィト ダイナミック	241
革、お手入れの諸注意	⁶⁰ 車台番号、f	位置	265	917 = 99	24

高圧洗浄機
取扱説明書57
工具245
工具セット
取り外しおよび収納
交通 (交通情報の表示)
交通情報の表示(ナビゲーション、PCM) 174
故障 イグニッション ロック内のキーの緊急操作
SS急時のフィラーフラップの操作
警告およびインフォメーション メッセージ
コンバーチブル トップ101
サイド ウィンドウ停止位置の保存
パワー ウィンドウ
故障診断用ソケット4
小物入れ
グローブ ボックス115
シート後方、開く
収納スペース
フロント アームレスト、開く
コラプシブル スペア ホイール
使用186
タイヤ空気圧
コントローラー (PCM)210
コントロール システム
概要 (PSM、PASM、PADM、PTV)
コンバーチブル トップ
ウィンドディフレクターの取り外し /
取り付け101
お手入れ58
開閉操作96
緊急操作101
さ
サービス ポジション
サイド ウィンドウ
サイト ワイントワ キーによる開閉(リモート コントロール)
停止位置の保存36
サマータイヤ
リャータイヤ 収納スペース136
タイヤ交換 136
サンバイザー 104

シート	
シート位置の調節	
推奨するチャイルド シート	
チャイルドシート	
バックレストを前方または後方へ倒す	
フロント シート位置の調節 ベビー シート、ベビー キャリア	
シート ヒーターを ON/OFF する	106
シートベルト	
お手入れの諸注意	
警告 警告シンボル	
シート ベルト プリテンショナー	
シートベルトを外す	
タコメーターの警告灯	
着用	109
シート ベルトプリテンショナー	108
廃棄	279
シート位置の調節	105
シーラント / シーラント セット	
パンクしたタイヤ用	184
シール、車両のお手入れ	60
シガー ライター	
施設情報(ナビゲーション、PCM)の入力	
自動内気循環モードの設定	
2ゾーンエアコン	45
自動防眩機能の ON/OFF	
シフトアップ インジケーター	
締め付けトルク ホイール ボルト	197
シャーショントロールシステム	137
概要(PSM、PASM、PADM、PTV)	160
www.radwk.radwk.radwk.rrv/	100
選択	206
ジャッキ	200
シャッキ 車両のリフト アップ	110
	110
車幅灯 ON にする	240
車両キー	
単川十一	177

車両キー(リモート コントロール)	
イグニッション ロック内のキーの緊急操作	112
ウィンドウの開閉	36
バッテリーの交換	
車両情報	
マルチファンクションディスプレイの	
呼び出し	224
車両設定	
エアコン設定	23
警告音およびパーキング アシスタントの	
音量調節	231
言語設定	
工場出荷時の設定に戻す	
単位の設定	
ドア ロック機能を設定する	
日付と時刻の設定	229
マルチファンクション ステアリング ホイール	
のボタンの割り当て変更	
マルチファンクション ディスプレイの調節	22
マルチファンクション ディスプレイの 表示を変更する	227
ライト、フロント ワイパーおよびミラーの	22
調整	229
車両データ	
車両ドア	
キーによるロック(リモート コントロール)	126
緊急ロック	
車内からの開閉操作とロック	
車内からのロック	
車内からのロック解除	
開く	
車両の洗浄	57
車両の保管	
ジャンパー ケーブルによる始動、外部電源	
ジュークボックスに入れ管理する (PCM)	
渋滞メッセージ	
充填容量	1/4
元県谷重 ウォッシャー液	244
エンジン オイル	
クーラント (冷却水)	
フルードおよび燃料の概要	

収納スペース		スマートフォン		走行時間の表示	161
グローブ ボックス	115	Bluetooth® 経由で接続する	152	総排気量	
シート後方の外側の小物入れを開く	116	接続ステータスの表示	153	テクニカル データ	266
収納オプション	115	スモーカーズ パッケージ	119	送風量の設定	
フロント アームレストの小物入れを開く	116	スロットルブリッピング機能		2 ゾーン エアコン	43
重量(メーカー発表値)		ON/OFF	163	エアコン システム	
テクニカル データ	267				
出力		せ		た	
テクニカル データ	266	セーフロック	125	ダイナミック コーナリング ライト	241
消火器		積算距離計 / トリップ メーター		タイヤ	
収納位置	10	表示	30	ウインター タイヤ	
知識		リセット		(一般的なインフォメーション)	135
取り外し		接続ステータスの表示 (PCM)		交換	
助手席エアバッグ OFF 警告灯	48	Territoria de la constanta de	153	シーラント	
助手席ミラー		接続する		収納スペース	136
格納 / 復帰する	234	Porsche Connect へのログイン		スノーチェーン	
調整		デバイス マネージャー		(一般的なインフォメーション)	
Ind TF		接続マネージャー	149	タイヤ空気圧プレート	265
व		設定		タイヤ空気圧モニタリング システム(TPM)	
		MyScreen (PCM)	213	に新しいタイヤを登録する	
スタート / ストップ機能		マルチファンクション ディスプレイの調節	227	タイヤ交換(一般的なインフォメーション)	
ステアリング コラム ロック	160	セレクター レバー ポジション ディスプレイ	164	タイヤ表記	
ステアリング ホイール		セレクター レバーの緊急解除		パンク修理	
◇ ボタンの設定				ホイール ボルトの締め付けトルク	
ステアリング ロック		セレクターレバー ポジション インジケーター		ホイール表記	134
調整		選局(ラジオ)	253	マルチファンクション ディスプレイで種類 およびサイズを設定する	101
ヒーターの ON/OFF	117	洗車	57		131
ステアリング ホイール ヒーターの ON/OFF	117	センターアームレスト		タイヤシーラント	0.45
ステアリング ロック	160	ドア ポケットを開く	116	取り外しおよび収納	245
ストップウォッチ		セントラルロック		タイヤ シーラント / シーラント セット	
	/ 1	概要	12/	パンクしたタイヤ用	
スノー チェーン 一般的なインフォメーション	107	キーによるドアのロック		タイヤ バルブ	135
		(リモートコントロール)	126	タイヤ空気圧	
スピードメーター		土―に上るドアのロッカ解除		警告	133
スペア キー	113	(リモートコントロール)	125	現在の設定	129
スペア ホイール		機能説明		システムの登録	131
使用	186	車内からのドアの開閉操作とロック		速度警告	
タイヤ空気圧		セーフロック	125	タイヤ空気圧プレート	
スポーツ エキゾースト システム ボタン	118	7		テクニカル データ	270
スポーツクロノ		7		マルチファンクションディスプレイの	
PCM でのスポーツ クロノ ストップウォッチ(π	ソース(PCM メディア)の選択	237	呼び出し	
表示		ソースの検索(PCM メディア)	238	タイヤ空気圧警告灯	31
		ま行い動のま す		タイヤ空気圧プレート	265

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	129	停止		ドア ミラー	
登録		エンジン	53	格納 / 復帰する	23
タイヤ充填コンプレッサー		エンジンの自動停止		調整	23
取り外し	246	(オート スタート / ストップ機能)	54	ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える	
荷物		停止表示板	245	(718 Cayman GT4)	25
タイヤの速度記号	134	テキストメッセージ		ドア ミラー ヒーターの ON/OFF を切り替える	
タコメーター(回転計)		作成	157	(718 Spyder)	15
表示	30	表示および消去	156	盗難防止ホイール ボルト用ソケット レンチ	
縦方向の加速度	00	テクニカル データ		使用	13
表示	225	エンジン	266	盗難を防止するために	16
4.7.	220	重量(メーカー発表値)	267	イモビライザー、ステアリング コラム ロック	<mark>ン 16</mark>
ち		タイヤ、ホイール	269	警報システム	
		燃料消費量	266	時計	
チェック エンジン(エミッション コントロール) 機能説明	22	デジタル スピードメーター	30	クロノ ストップウォッチ	7
	32	テスト スタンド		閉じる	
遅延消灯	0.44	ブレーキ テスト	148	車内からのドア ロック	12
ON にする	241	デバイス マネージャー (PCM)		金装 ************************************	
地図(ナビゲーション、PCM)		電話	1-17	※表 お手入れの諸注意	5
設定		^{亀品} Bluetooth [®] 経由で接続する	150	傷の補修	5 5
地図からの目的地入力		Bluetooth [®] 経田 C接続する 接続ステータスの表示		つや出し(ポリッシュ)	5 5
マップ ビューを開いて設定する		通話履歴		保護する	
マップコード	171	週間模症 ボイスメールを聞く		汚れ、染みの除去	5
マルチファンクションディスプレイの	174	メッセージの作成		塗装面のお手入れ	
マップ ビューの設定		メッセージの表示および消去			5
チャイルド シート		連絡先		ドライビング ライト アシスタント	
ISOFIX チャイルド シートの取り付け			133	ON にする	
助手席エアバッグの ON/OFF		電話の使用	455	ダイナミック コーナリング ライト	
推奨するチャイルド シート		マルチファンクションディスプレイでの操作。	155	ロー ビーム	24
着信に応答する / 通話を終了する (電話)	154	電話を接続する		トランスミッション	
駐車		SIM カードを使用		Porsche Doppelkupplung (PDK)	
PDK	164	会議		マニュアル トランスミッション	16
機能説明、パーキング アシスタント	178	設定		トランスミッションおよびシャーシ コントロール	,
		着信に応答する / 通話を終了する		システム	
つ		通話の保留		概要(PSM、PASM、PADM、PTV)	16
通話の保留 (電話)	154	番号をダイヤルする	153	トリップ メーター	
通話履歴(電話)		٤		表示	
理前樣座(电前)	155			リセット	3
て		ドア		トルク	
		キーによるロック(リモート コントロール)	126	ホイール ボルトの締め付けトルク	13
データ バンク	265	キーによるロック解除 (リモート コントロール)	105	トルク、テクニカル データ	26
データ接続(PCM)		(リモート コントロール) 緊急ロック			20
PCM ホットスポットの使用					
WiFi 設定		車内からの開闭探作とロック			
設定					
デバイスマネージャー	149	開く	12/		

な		パーキング ブレーキ (エレクトリック パーキング ブレーキ)		ひ	
内気循環ボタン	45	自動解除	193	ビークル プレート、位置	265
マニュアル エアコン	40	手動解除		引き出し / 駐車	
内気循環モードを ON にする		操作	193	機能説明、パーキング アシスタント	178
エアコンシステム	45	パークアシスト		左側通行(ヘッドライトの切り替え)	200
マニュアル エアコン	40	機能説明	178	日付と時刻の設定 (PCM)	
ナビゲーション		ハイ ビーム ヘッドライト			2 10
, こ, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	174	スイッチ	243	日付と時刻の設定 (マルチファンクションディスプレイ)	220
施設情報を入力する		ハイ ビーム操作レバー	243	ビデオの再生 (PCM)	227
設定		廃棄			237
前回の目的地の使用		茂来 エアバッグ	270	ヒューズ ヒューズの交換	100
地図からの目的地入力		シート ベルト プリテンショナー		ヒュー人の父換	190
ナビゲーションデータベースのアップデート		灰皿		న	
マップ ビューを開いて設定する			110		
マップコード マルチファンクション ディスプレイの	1/1	開く 開く		ファブリック ライニング(お手入れの諸注意)	61
マルナファンクション ティスノレイの マップ ビューの設定	17/	#出ガス 排出ガス		ファン設定	
目的地住所の入力				2ゾーンエアコン	43
目的地の検索(検索、オンライン検索)		バケット シート		マニュアル エアコン	
目的の保存および使用(お気に入り)		ハザード ライトの ON/OFF	244	フィラー フラップ、緊急操作	66
ルート情報の表示		バックレストを前方または後方へ倒す	106	フィラー フラップ(燃料給油ロカバー)	
		発進		フィラー フラップの位置の表示	31
		より坂発進時のアシスタンス	180	フットブレーキ	
造物		ローンチ コントロール	167	安全に関する注意事項	194
³ 122 荷物	245	発進アシスタント	180	不凍液	
19 18	2 .0	バッテリー		ウォッシャー液の割合	37
ha e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		ー般的なインフォメーション	181	クーラントの割合	67
就 要!		交換		部分積載時	
^級 オクタン価	65	車両エレクトリカル システムの警告		3 気筒休止機能	54
燃料計		ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動		エンジンノイズ	
燃料残量警告灯		充電	181	プラグ ソケット (12V)	
燃料消費量	266	接続後の作業			130
燃料タンクの容量	266	取り付け位置		フルードおよび燃料 ウォッシャー液	0//
品質	65	バッテリーの注意事項	182	フォッンヤー液	
補給	65	バッテリー上がり時のジャンパー		燃料	
然料計	31	ケーブルによるエンジンの始動	114	ブレーキ	200
燃料計	31	バニティー ミラー	104	テスト スタンド	140
		バルブの交換	244	フットブレーキ	
は		パワー ウィンドウ		ブレーキ パッドの警告シンボル	
パーキング ブレーキ				ブレーキ パッド	174
解除する 解除する	193	車両キーによるサイド ウィンドウの開閉 (リモート コントロール)	36	グレーキ ハット 警告シンボル、ブレーキ	104
操作		停止位置の保存			
ブレーキ テスト スタンドでの測定	148	パワー ウィンドウ停止位置の保存	36	ブレーキ フルード	
		番号をダイヤルする (電話)		プレイリストを開く(PCM)	

フロア マット、お手入れの諸注意	61	収納スペース	136
フロント ウィンドウ ウォッシャー システム		スノー チェーン	
ウォッシャー液の補充	37	(一般的なインフォメーション)	
充填容量		タイヤ シーラント	
不凍液		タイヤ空気圧	
フロント ウィンドウ デフロスター		タイヤ空気圧プレート	
2ゾーンエアコン	16	タイヤ交換(一般的なインフォメーション)	
エアコンシステム		タイヤ表記	134
マニュアル エアコン		盗難防止ホイール ボルト	407
フロントシート		(ソケット レンチ)	
ブロンド シート 調整	105	ハング修理	
調室		ホイール バランス	
	100	ホイール ホルト (お手入れの諸注意)	
フロントワイパー		バイール表記	
お手入れの諸注意			
概要		ホイール ボルト	
操作フロント ワイパー / ウォッシャー システム		ホイールのお手入れ	60
		ボイス コントロール	
レイン センサーをワイパー ブレードの交換	198	Siri	262
ワンタッチ機能	100	調整	202
ソノダップ機能	198	電話のボイス コマンド	204
^		ナビゲーションのボイス コマンド	205
		メディアのボイス コマンド	
平均速度の表示		呼び出し	
平均燃費の表示	161	ラジオのボイス コマンド	203
ヘッドライト		ボイスメール(電話)を聞く	
ウォッシャー システムの操作		方向指示灯操作レバー	243
お手入れの諸注意		放送局情報の表示(ラジオ)	254
左側 / 右側通行の切り替え	200	放送局を保存する(ラジオ)	
ベビーシート	145		
規定の取り付け方向		補給	
助手席エアバッグの ON/OFF		フィラー フラップの位置の表示	31
推奨するチャイルド シート	141	ホットスポット	
ベントパネル		PCM WiFi ホットスポットの使用	122
アッパー	44	ポルシェ アクティブ サスペンション	
		マネージメント (PASM)	
ほ		機能説明	206
ホーン	17	ポルシェ コネクト アプリ	
ホイール	17	デバイス マネージャー	149
ポイール ウインター タイヤ		ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)	
リインター ダイヤ (一般的なインフォメーション)	135	OFF にする	217
概要		エレクトロニック スタビリティ	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		コントロール (ESC) およびトラクション	
サイズ		コントロール (TC) を ON にする	218
締め付けトルク		エレクトロニック スタビリティ	

コントロール (ESC) を ON にする	218
エレクトロニック スタビリティ	
コントロール (ESC) を OFF にする	
機能説明	
ルシェ セラミック コンポジット ブレーキ (PCCB)	
一般的なインフォメーション	195
ルシェ ダイナミック ライト システム プラス	
	242
ルシェ ダイナミック ライト システム(PDLS)	2/1
WOLD TO COO DATE ON A (FDEO)	271
ニュアルトランスミッション	
シフトアップ インジケーター	162
ルチファンクション ステアリング ホイール	
◇ ボタンの設定	230
ルチファンクション ステアリング ホイールの	
タンの割り当て変更	230
ルチファンクションディスプレイ	
オイル レベルの点検	40
オプションの選択および機能の有効化	
クロノストップウォッチ	
項目数の多いリストの閲覧	
作動原理	
車両情報の呼び出し	
タイヤ空気圧警告	
タイヤ空気圧モニタリング	
電話の使用	
ドライビング データの表示(トリップ情報)	
表示エリア	
マップ ビュー	
マルチファンクション ステアリング ホイール	
操作	
メニュー概要	
ラジオ放送局の選択	
ルチファンクション ディスプレイの	
ルナファンクションティスノレイの ライビング データ	161
	101
ーのときは	0.4
けん引	
パンクしたとき	184

み		6		リヤノオシライト	
右側通行(ヘッドライトの切り替え)	200	ライト		ON にする	
名別処门(ベットクイトの切り目だ)	200	雨天時の作動	240	ドライビング ライトの調節	241
ミノー 自動防眩機能の ON/OFF	235	お手入れの諸注意		リレー 交換	100
ドア ミラー ヒーター (718 Cayman GT4)		車両から離れるときに点灯する			
ドア ミラー ヒーター (718 Spyder)		乗車時に点灯	241	履歴(電話)	155
ドア ミラーの格納 / 復帰		乗車時のカーテシー ライトの点灯	241	7	
ドアミラーの調節		バルブの交換	244	る	
バニティー ミラー		ヘッドライト パッシング	243	ルート情報の表示(ナビゲーション、PCM)	173
		ライト スイッチ		ルーム ミラー	
め		AUTO 機能	240	減光	234
メッセージ		概要	240	自動防眩機能の ON/OFF	
作成	157	ラゲッジ カバー	247	調整	234
表示および消去		ラゲッジ カバーの取り外し / 取り付け	247	40	
メディア (PCM)		ラゲッジ コンパートメント		れ	
CD/DVD をロード	214	緊急解除		冷房機能	
SD カードの挿入および取り出し		第じる		2ゾーンエアコン	44
外部機器の接続		開く		マニュアル エアコン	39
再生		ラゲッジ カバー		レイン センサー作動	
ジュークボックスに入れる	239	ラゲッジ コンパートメント リッド		連絡先 (電話)	
設定	239	緊急解除		任相儿(电阳)	100
対応するメディア形式	274	第じる		ろ	
プレイリストを開く		開く		ローンチ コントロール	4.7
メディア ソースの検索		ラジオ (PCM)			16/
メディア ソースの選択	237	周波数を設定する	252	ロック	
メンテナンス				キーによるドアのロック (リモート コントロール)	10/
ウォッシャー液の補充	37	選局		車内からのドア ロック	
エンジン オイル レベルの点検		放送局情報の表示		単内からのトテロック 車両ドアとキー(リモート コントロール)	
エンジン オイルの補充		放送局の保存	254		120
クーラント レベルの点検と補充	67	ラジオ システム		ロック解除	
5		サンカッパテム 検査マーク	280	キーによるドアのロック解除 (リモート コントロール)	125
•		ラップ トリガー		車内からのドア ロックの解除	
目的地住所の入力(ナビゲーション、PCM)	170	機能説明		ラゲッジ コンパートメント リッドの	120
目的地の検索(ナビゲーション、PCM)	170	1发形式约	200	ロックを解除してリッドを開く	249
目的地の保存および使用(お気に入り)		IJ			
(ナビゲーション、PCM)	172	リモート コントロール	111	わ	
		ドアのロック		ワイパー	
よ		ドアのロック解除		操作	198
横方向の加速度		リヤ ウィンドウ ヒーターの ON/OFF	120	ワイパーブレード	
表示	225	リヤ ワイントワ ヒーターの UN/UFF を切り替える (718 Cayman GT4)	250	カ手入れの諸注意	260
			236	交換	
		リヤ スポイラー 作動原理	250	ワイパー作動間隔の調整	
		TF	259		
				ワイヤレス インターネット アクセス	122

- ●車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- ●説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致 します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル: 0120-846-911

(販売店で保管)	
VIN:車両識別ナンバー	
エンジンナンバー	
	月書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、 点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツール ました。
販売店スタンプ	
日時	

車両受領証